YAO TOKUSHUKAI GENERAL HOSPITAL

病院年報

2020年



医療法人徳洲会

八尾徳洲会総合病院

Yao Tokushukai General Hospital

目次 Contents

理念・基本方針・患者様の権利	1
ご挨拶	2
概要・沿革	3
教育認定施設の指定状況・機関特定・高度医療機器設備	4
許可施設基準	5
八尾徳洲会総合病院 組織図	6
八尾徳洲会総合病院 委員会組織図	7
患 者 統 計	8
1.外　来	
1）外来患者統計	10
2）科別・月別外来患者数	10
3）1日平均外来患者数	11
4）1日平均外来新患者数	11
2.入　院	
1）入院患者統計	12
2）科別・月別1日平均入院患者数	12
3）病棟別・月別1日平均入院患者数	12
3.救　急	
1）月別救急搬送件数	13
2）救急搬送人数 年齢別・性別分布	14
3）救急搬送件数分布	15
病 歴 統 計	16
1）科別退院患者数	18
2）死亡退院患者統計	19
3）疾病分類＜大分類＞科別	20
4）疾病分類＜中分類＞	21
診 療 部	24
内　　科	26
循環器内科（カテーテル部門）	33
消化器内科	34
呼吸器内科	35
腫 瘍 内 科	36
血管透析科	38
腎 臓 内 科	41
糖尿病・代謝内科	42
脳神経内科	44
内分泌内科	45
膠原病リウマチ内科	47
小　児　科	49
放 射 線 科（診療部）	51
救　急　科	52
外　　科	54
整 形 外 科	56
脳神経外科	59
心臓血管外科・大動脈センター	61
形成外科・美容外科	63
呼吸器外科	65
小 児 外 科	66
歯科・歯科口腔外科	69
泌 尿 器 科	71
眼　　科	73
麻　酔　科	75
肝臓センター	76
皮　膚　科	80
婦　人　科	81
耳鼻咽喉科	82
リハビリテーション科（診療部）	83
病理診断科	84
副 診 療 部	86
薬　剤　科	88
放 射 線 科	91
臨床検査科	93
リハビリテーション科	95
（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心臓リハビリテーション）	
臨床心理科	101
臨床工学科	103
栄　養　科	110
治験センター	113
医療福祉相談室（MSW 医療ソーシャルワーカー）	115
病診連携室	118
健診センター	125
情報システム管理室	127
保　育　室	129
がん相談支援センター	131
医療安全管理部	134
臨床腫瘍センター	139
看 護 部	142
4階東　5階西	144
5階東　6階西　6階東	145
7階西　7階東　8階西	146
8階東　ＩＣＵ	147
ＨＣＵ	148
外来・ＥＲ　手術室　透析室	149
退院調整チーム	150
保健指導	151
委 員 会	158
呼吸ケアチーム（RST）	160
院内感染対策委員会（ICT）	161
褥瘡対策委員会	164
研修管理委員会	165
栄養サポートチーム（NST）	168
緩和ケアチーム	170
がん緩和支援委員会	171
関 連 施 設	174
八尾徳洲会介護センター	176
よろこび訪問看護介護センター	179
よろこび訪問看護ステーション	180
介護老人保健施設 八尾徳洲苑	182
八尾徳洲苑介護センター	190
特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷	192
学 術 業 績	196
学会発表	198
学術論文	202

Yao
Tokushukai
General Hospital

理　　念

1. 生命を安心して預けられる病院
2. 健康と生活を守る病院

基本方針

1.『年中無休・24 時間オープン』で救急医療を提供します。
2. 患者様からの贈り物は一切受け取りません。
3. 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。

患者様の権利

当院は次の項目について患者様の権利を尊重した医療を提供しています。

1. いつでも安全で良質な医療を受ける事が出来ます。
2. 医療についての説明を受け、医療行為を選択する権利があります。
3. 継続して一貫した医療を受ける事が出来ます。
4. プライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれています。
5. 医療の情報について常に提供を受け健康教育や講演を受ける事が出来ます。
6. 生活の質と環境に配慮した医療の提供を受ける事が出来ます。

ご　挨　拶

八尾徳洲会総合病院　院長　原田　博雅

いつも当院の診療に御支援いただき深く感謝申し上げます。

この度、2020 年八尾徳洲会総合病院年報を発刊することができました。

2020 年は全世界が新型コロナ一色に染まった一年でした。もちろん当院にも多大な影響があり、コロナが最優先となりました。新型コロナの診療は 2 月 4 日からのテント設置から始まりました。本当に多くの方の診断治療を行いました。軽症 , 中等症のみならず、人工呼吸を行う必要のある重症者も担当しました。人工呼吸のみならず ECMO も積極的に導入しました。その中で残念ながら救命できなかった方もいます。職員にも感染者が出ました。11 月にはクラスター発生も経験しました。病棟閉鎖や手術の制限、救急の制限等、非常に大きな影響があり、地域の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。私達はこの厄介な感染症に対して、出来るだけの努力を行ってきました。その中で、わたしたちは病院自体の力不足を感じました。また、世界全体の感染症に対する無力さも経験しました。今後この感染症が収束に向かうことを希望しつつ、私達が最大限何ができるかを考え、日々診療にあたりたいと思います。

2020 年の私達にとってもう一つの大きな出来事は、国際的な医療施設評価認証機関である JCI（Joint Commission International）の認証を取得したことです。JCI という一つの医療安全の文化の導入を目指して、2019 年 1 月より取り組むことを正式決定し、同年 4 月より病院全体で準備を開始しました。一年半にわたる準備期間を要しましたが、コロナ禍の 11 月 9 日より 13 日の 5 日間に 3 名のサーベイヤーによるハイブリッド型（一人は当院で審査をし、二人は日本国外でウェブ上で審査する）の審査がおこなわれました。職員の非常な頑張りにより、大変に良い成績で審査に合格することができました。このことが私達に教えてくれたことは、医療安全と医療の質向上のために、多大な努力を払う必要であるということです。国際的な評価が高い素晴らしい病院を目指して、3 年後の再認定に向けて今後も努力していく所存です。

本誌を閲覧いただきました皆様方の更なる私達への御指導をお願い申し上げます。

概要

創　　立	1978 年 7 月 1 日
病 院 長	原田　博雅
職 員 数	931 名（2019.12.31 現在）
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、内分泌内科、脳神経内科、心療内科、精神科、リウマチ科、血管透析内科、腎臓内科、皮膚科、小児科、救急科、放射線科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、肝臓外科、乳腺外科、小児外科、形成外科、美容外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、婦人科、リハビリテーション科、病理診断科
関連施設	介護老人保健施設　八尾徳洲苑 八尾徳洲苑介護センター よろこび訪問看護ステーション よろこび訪問看護介護センター 八尾徳洲会介護センター（居宅介護支援事業所） 特別養護老人ホーム　久宝寺愛の郷 八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷
1 日平均外来患者数	782.8名（2020年）
1 日平均入院患者数	373.0名（2020年）

沿革

1978年 7 月	開院　　許可病床数　250床
1979年 7 月	三基準取得　看護・給食・寝具
1980年 10 月	西館増築　許可病床数　350床
1986年 4 月	東館・西館改修　許可病床数　335床
1989年 9 月	新館増築　許可病床数　415床
1992年 9 月	基準看護　特Ⅰ類取得
1994年 7 月	基準看護　特Ⅱ類取得
9 月	総合病院認可　心臓血管外科開設
1995年 7 月	新看護2.5：1（A）　10：1看護補助の承認
9 月	デイケア開設
1996年 5 月	病院管理棟増築
11 月	よろこび訪問看護ステーション開設
1998年 2 月	日帰り手術センター開設
3 月	歯科・歯科口腔外科開設
4 月	ER（救急総合診療部）開設　　臨床研修指定病院指定
12 月	老人保健施設　八尾徳洲苑（100床）開設
2000年 4 月	よろこび訪問看護介護センター開設
	八尾徳洲会介護センター開設
2001年 4 月	病児保育（八尾市委託）
12 月	ICU施設取得（6床）
2002年 4 月	心臓疾患リハビリテーション施設開設
2003年 1 月	日本医療機能評価機構取得
3 月	睡眠障害センター開設
10 月	2：1看護取得
	電子カルテ導入
2004年 3 月	駐車場増設
4 月	医療安全管理部設置
6 月	亜急性病床開設（12床）
2005年 3 月	新病院用土地の取得
2006年 6 月	DPC導入
10 月	健診センター開設
11 月	治験センター開設
2007年 6 月	プライバシーマーク制度（JISQ.15001.1999）取得
	新病院建設開始
12 月	日本医療機能評価機構Ver.5受審
2008年 1 月	日本医療機能評価機構Ver.5取得
2009年 1 月	高規格救急車導入
8 月	新病院移転
11 月	エンゼル保育室新病院内移転
2010年 3 月	HCU施設基準取得（4：1）
4 月	大阪府がん診療拠点病院認可
2011年 4 月	大動脈センター・美容外科開設
2011年 8 月	肝臓センター開設
9 月	一般7：1入院基本料取得
10 月	小児外科開設
2012年 11 月	放射線治療開始
	日本医療機能評価機構Ver.6受審
2013年 1 月	日本医療機能評価機構Ver.6取得
9 月	卒後臨床研修評価機構認定
2014年 9 月	特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷開設
2015年 5 月	創傷ケアセンター開設
2017年 4 月	八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷開設
2018年 2 月	日本医療機能評価機構3rdG.Ver1.1受審
2020年 11 月	JCI認証取得

教育認定施設の指定状況

厚生労働省基幹型臨床研修病院
日本内科学会認定医制度教育病院
日本呼吸器学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本消化器病学会認定医制度研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本神経内科学会認定准教育施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム研修施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本透析医学会専門医制度教育関連施設
日本肝臓学会認定関連施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
日本小児外科学会教育関連施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本乳癌学会関連施設認定
日本乳癌オンコプラススティックサージャリー学会インプラント実施施設認定
日本がん治療認定医機構認定研修施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本成人心臓血管外科手術データベース機構認定施設
日本ステントグラフト実施基準管理員会 腹部・胸部ステントグラフト実施施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会　浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本手外科学会研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度研修プログラム研修施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本形成外科学会認定施設
日本眼科学会専門医制度認定研修施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR・核医学）
日本インターベンショナルラジオロギー学会専門医修練認定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
日本病理学会研修認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練認定教育施設
日本医療薬学会教育研修施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設

機関特定

保険医療機関
救急告示病院
結核指定医療機関
被爆者一般疾病医療機関
母体保護法指定医療機関
生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
公害医療機関
指定自立支援医療機関
（更正医療、育保医療、精神通院医療）
身体障害者福祉法指定医（肢体不自由、視覚障害、じん臓機能障害、肝臓機能障害、心臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害）
音声・言語機能障害、そしゃく機能障害
大阪府肝炎専門医療機関
大阪府がん診療拠点病院

高度医療機器設備

MRI（磁気共鳴画像装置）
64列CT
320列CT
DSA（デジタルサブトラクション血管撮影装置）
CAG（心血管撮影装置）
RI（核医学診断装置）
ESWL（体外衝撃波結石破砕装置）
各種内視鏡機器装置
マイクロサージャリー（顕微鏡下手術）
放射線治療装置（リニアック）
医療用ナビゲーションシステム
光干渉式眼軸長測定装置
光干渉断層計（OCT）
ハイブリッド手術室対応多軸透視・撮影装置

許可施設基準

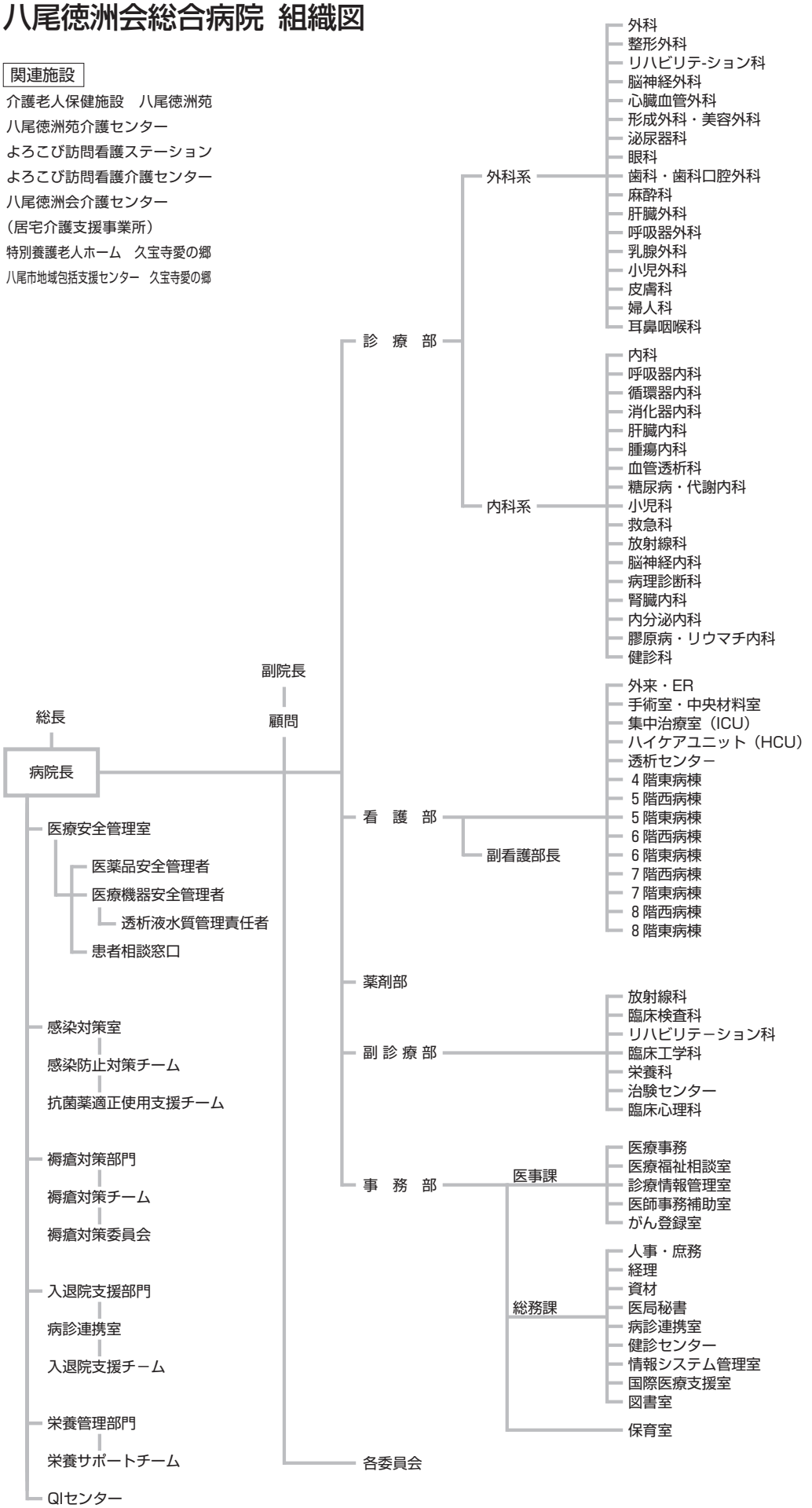
入院時食事療養/生活療養(I)
地域歯科診療支援病院歯科初診料
歯科外来診療環境体制加算
歯科診療特別対応連携加算
一般病棟入院基本料(7対1)
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算
診療録管理体制加算1
医師事務作業補助体制加算(15対1)
急性期看護補助体制加算
療養環境加算
重傷者等療養環境特別加算
栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1
感染防止対策加算1
感染防止対策地域連携加算
入退院支援加算
救急搬送患者地域連携紹介加算
救急搬送患者地域連携受入加算
呼吸ケアチーム加算
病棟薬剤業務実施加算
データ提出加算2
特定集中治療室管理料3
ハイケアユニット入院医療管理料1
糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ
糖尿病透析予防指導管理料
院内トリアージ実施料
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送看護体制加算1
ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料
地域連携診療計画管理料
がん治療連携計画策定料
肝炎インターフェロン治療計画料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料1
歯科治療総合医療管理料
在宅患者訪問看護・指導料3
同一建物居住者訪問看護・指導料3
検体検査管理加算(Ⅳ)
植込型心電図検査
時間内歩行試験
ヘッドアップティルト試験
神経学的検査
コンタクトレンズ検査料1
小児食物アレルギー負荷検査
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)
画像診断管理加算1
CT撮影及びMRI撮影
冠動脈CT撮影加算
心臓MRI撮影加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算
悪性腫瘍病理組織標本加算
外来化学療法加算1
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料(I)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)
呼吸器リハビリテーション料(I)
がん患者リハビリテーション料
認知療法・認知行動療法
歯科口腔リハビリテーション料2
処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
透析液水質確保加算2
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術、
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
経皮的冠動脈ステント留置術
心臓ペースメーカー指導管理科及び遠隔モニタリング加算
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
経皮的大動脈遮断術
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
ダメージコントロール手術
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術
手術の休日加算1及び深夜加算1
輸血管理料I
輸血適正使用加算
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
麻酔管理料(I)
放射線治療専任加算
高エネルギー放射線治療
1回線量増加加算
クラウン・ブリッジ維持管理料
後発医薬品使用体制加算
精神疾患診療体制加算
認知症ケア加算2
地域医療体制確保加算
せん妄ハイリスク患者ケア加算
病理診断管理加算/口腔病理診断管理加算
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
在宅療養後方支援病院
在宅経肛門的自己洗腸指導管理科
後縦靱帯骨化症手術 (前方進入によるもの)
人工腎臓/導入期加算1
在宅腫瘍治療電場療法指導管理科
連携充実加算

2021年1月1日 現在

八尾徳洲会総合病院 組織図

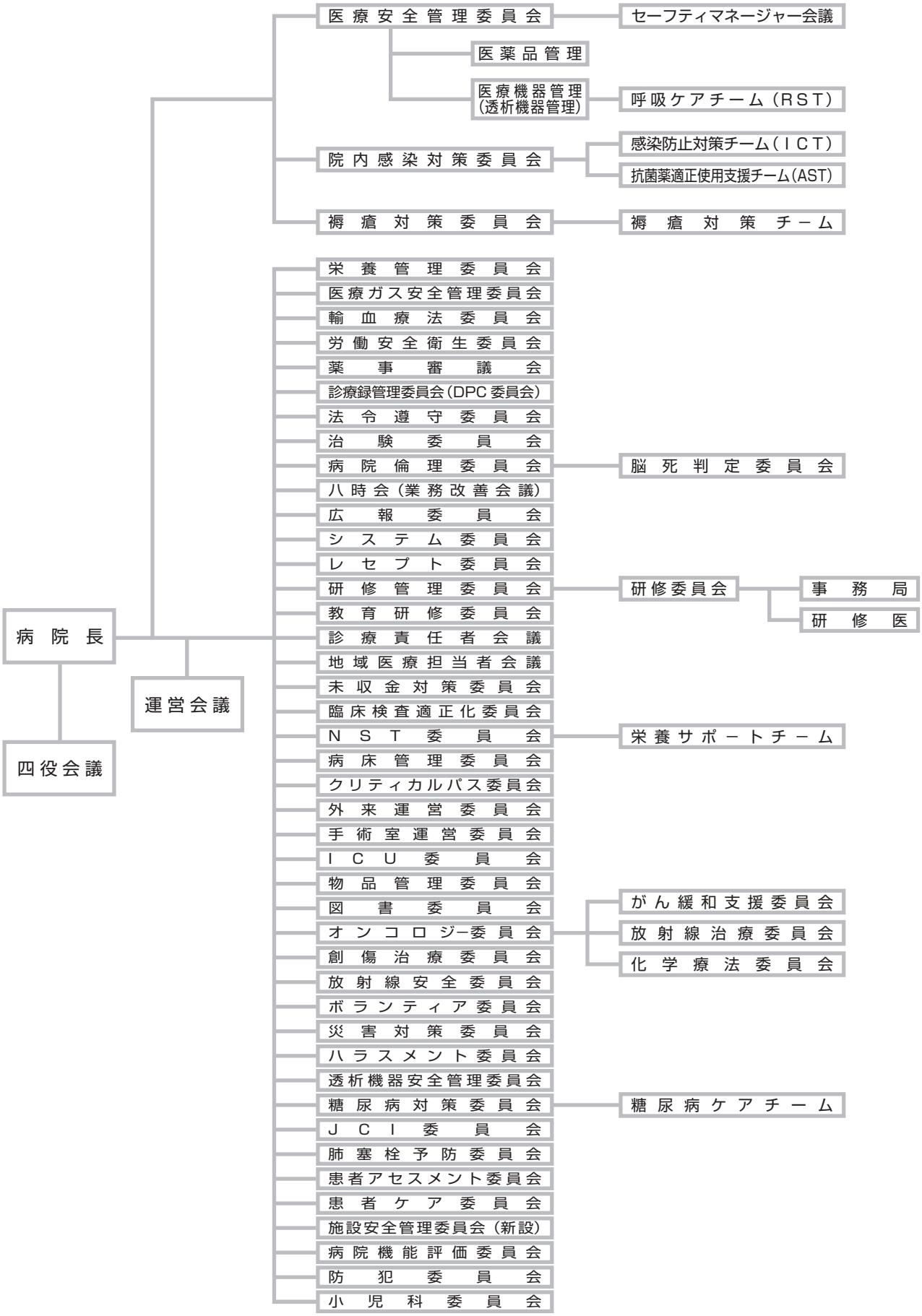
関連施設

介護老人保健施設　八尾徳洲苑
八尾徳洲苑介護センター
よろこび訪問看護ステーション
よろこび訪問看護介護センター
八尾徳洲会介護センター
（居宅介護支援事業所）
特別養護老人ホーム　久宝寺愛の郷
八尾市地域包括支援センター　久宝寺愛の郷



八尾徳洲会総合病院 委員会組織図

2021年1月1日 現在



患　者　統　計

―― 2020年 ――

1．外　来

1）外来患者統計　10
2）科別・月別外来患者数　10
3）1 日平均外来患者数　11
4）1 日平均外来新患者数　11

2．入　院

1）入院患者統計　12
2）科別・月別 1 日平均入院患者数　12
3）病棟別・月別 1 日平均入院患者数　12

3．救　急

1）月別救急搬送件数　13
2）救急搬送人数　年齢別・性別分布　14
3）救急搬送件数分布　15

1.外 来

1）外来患者統計

①1日平均患者数 ②1ヶ月総患者数 ③1日平均新患者数

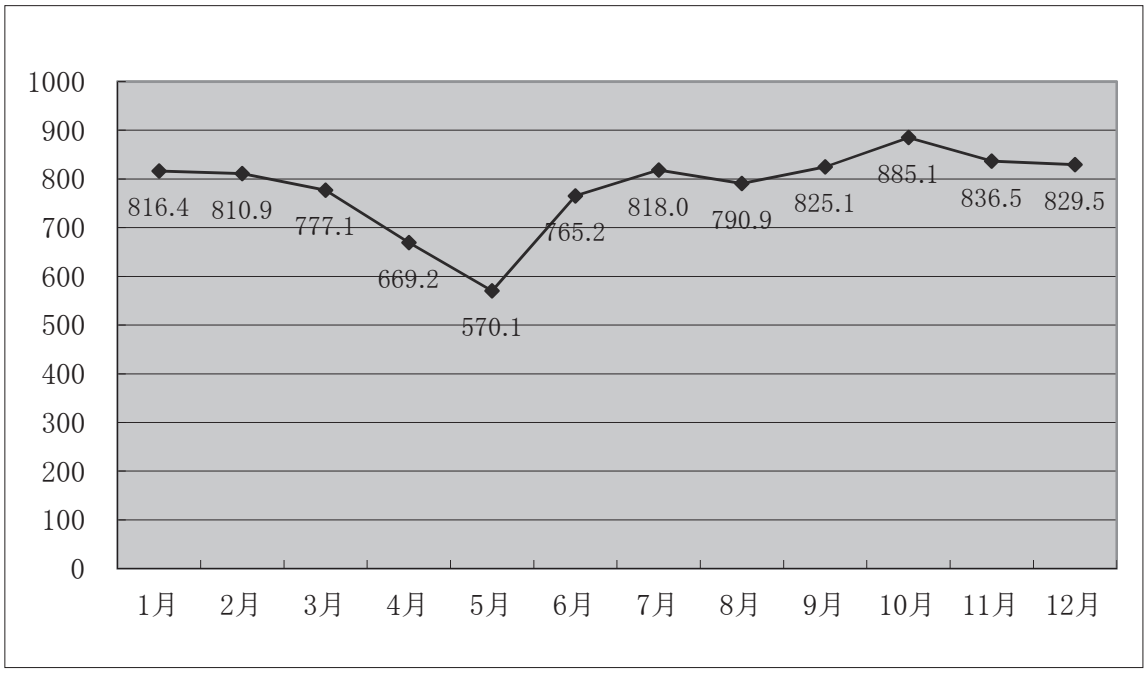
外来	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
①	816.4	810.9	777.1	669.2	570.1	765.2	818.0	790.9	825.1	885.1	836.5	829.5	9394.0	782.8
②	25,458	23,625	24,199	20,183	17,775	23,074	25,480	24,629	24,876	27,577	25,217	25,832	287,925	23,994
③	28.9	27.5	26.3	21.9	20.9	27.1	31.5	40.4	32.5	36.7	35.8	33.4	362.9	30.2

2）科別・月別外来患者数

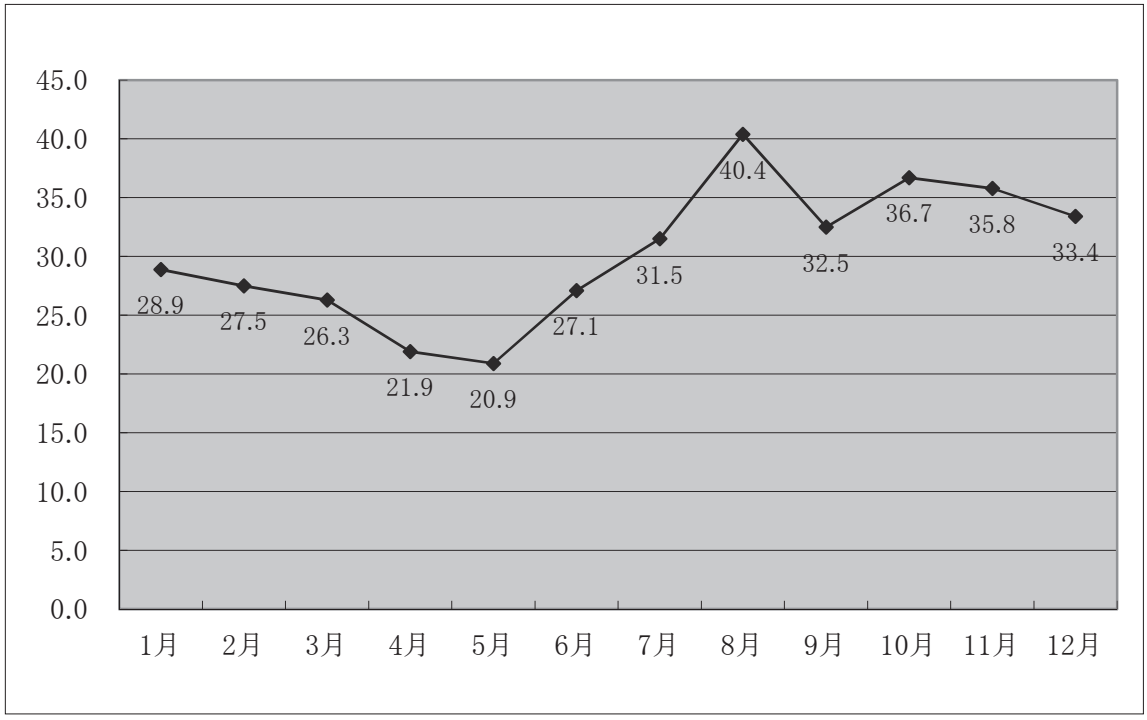
	内科	循環器科	外科	呼吸器外科	乳腺外科	小児外科	肝臓外科	肝臓内科	整形外科	心臓外科	眼科	脳神経外科	泌尿器科	形成外科	美容外科	放射線治療部
1月	8,423	1,262	1,397	116	73	76	585	277	2,649	257	1,058	1,003	1,229	592	1	197
2月	6,989	1,305	1,195	73	50	69	544	274	2,285	215	1,068	954	1,124	524	2	227
3月	7,425	1,447	1,301	107	84	120	576	301	2,452	246	1,058	877	1,245	552	2	269
4月	6,905	1,142	1,129	98	51	78	490	284	2,095	294	819	867	1,054	378	0	244
5月	6,213	869	1,086	83	43	57	419	241	2,048	218	626	822	1,064	402	0	155
6月	7,038	1,326	1,271	147	87	74	519	305	2,374	302	941	914	1,195	576	0	180
7月	8,092	1,373	1,293	157	52	102	531	261	2,609	349	1,004	1,073	1,208	612	0	238
8月	7,632	1,340	1,237	167	53	127	542	264	2,512	303	997	953	1,198	569	0	259
9月	7,802	1,399	1,346	151	59	102	607	309	2,346	320	1,053	986	1,249	526	0	334
10月	8,743	1,372	1,451	185	77	96	657	270	2,802	361	1,256	1,129	1,312	601	0	374
11月	8,182	1,262	1,318	157	73	75	575	301	2,367	310	1,072	983	1,142	499	0	259
12月	8,262	1,384	1,359	180	73	102	612	331	2,634	324	1,163	1,072	1,232	565	0	301
合計	91,706	15,481	15,383	1,621	775	1,078	6,657	3,418	2,9173	3,499	12,115	11,633	14,252	6,396	5	30,37
平均	7,642.2	1,290.1	1,281.9	135.1	64.6	89.8	554.8	284.8	2,431.1	291.6	1,009.6	969.4	1187.7	533.0	0.4	253.1

	人工透析	歯科口腔外科	皮膚科	小児科	婦人科	耳鼻咽喉科	リウマチ科	検診	人間ドック	膠原病	訪問看護	創傷治療センター	ストーマ外来	腫瘍内科	心療内科	リハビリ外来	合計
1月	1,017	1,226	471	902	336	391	0	605	574	252	163	86	6	164	0	70	25,458
2月	933	1,297	394	810	325	381	0	1292	606	253	116	102	5	146	0	67	23,625
3月	952	1,372	419	673	336	367	0	735	561	244	118	112	4	182	0	62	24,199
4月	982	878	357	441	204	281	0	221	163	263	116	109	8	183	0	49	20,183
5月	948	690	396	352	177	223	0	17	0	220	101	81	5	164	0	55	17,775
6月	976	1,105	524	514	324	318	0	554	780	198	119	160	9	171	1	72	23,074
7月	1,011	1,170	503	589	328	357	0	549	1232	245	126	130	5	195	0	86	25,480
8月	1,001	1,082	408	577	309	336	0	1,396	643	199	114	137	7	191	0	76	24,629
9月	995	1,221	502	551	401	357	0	760	671	242	125	143	9	229	0	81	24,876
10月	1,071	1,241	457	912	415	405	0	810	758	197	140	119	9	239	0	118	27,577
11月	991	1,119	383	861	340	359	0	1,230	616	192	134	114	10	194	0	99	25,217
12月	1,059	1,131	418	627	329	333	1	891	650	206	119	152	12	211	1	98	25,832
合計	11,936	13,532	5,232	7,809	3,824	4,108	1	9,060	7,254	2,711	1,491	1,445	89	2269	2	933	287,925
平均	994.7	1,127.7	436.0	650.8	318.7	342.3	0.1	755.0	604.5	225.9	124.3	120.4	7.4	189.1	0.2	77.8	23,993.8

3）1日平均外来患者数



4）1日平均外来新患者数



2. 入　院

1）入院患者統計

①1日平均患者数　②1カ月総患者数　③平均在院日数　④病床稼動率

入院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
①	401.6	392.0	387.3	379.7	356.9	393.5	391.8	364.9	350.5	358.3	375.9	323.5	4,475.9	373.0
②	12,450	11,369	12,006	11,392	11,065	11,805	12,146	11,311	10,516	11,107	11,276	10,027	136,470	11,372.5
③	13.19	13.19	12.12	12.90	13.66	15.03	13.35	12.52	12.20	11.58	11.61	13.55	154.90	12.91
④	103.8	102.5	100.3	98.4	91.8	101.7	102.0	95.2	91.8	93.8	97.2	84.3	1,162.8	96.9

2）科別・月別1日平均入院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
内科	164.74	160.17	145.68	149.60	149.16	148.10	151.84	145.90	132.63	132.55	151.47	125.19	1,757.03	146.42
循環器内科	57.48	47.86	51.84	41.07	38.06	30.45	26.74	29.13	25.80	21.81	21.27	20.48	411.99	34.33
外科	44.55	46.03	37.74	40.60	25.45	31.90	40.90	36.58	45.97	46.97	43.10	35.26	475.05	39.59
肝臓センター	17.97	18.14	17.29	19.87	16.84	19.45	20.39	18.29	18.30	20.61	18.67	15.97	221.79	18.48
整形外科	38.06	42.66	41.84	40.40	39.90	47.94	42.35	44.97	26.73	38.84	39.67	40.13	483.49	40.29
脳神経外科	31.61	28.93	38.03	31.60	30.68	32.65	40.39	32.39	34.90	37.35	37.47	42.26	418.26	34.86
泌尿器科	7.16	6.17	7.42	8.60	9.00	12.81	7.29	7.32	10.97	9.55	9.07	6.52	101.88	8.49
婦人科	1.89	1.69	2.13	1.80	1.74	2.30	1.45	2.00	2.33	1.74	2.17	1.68	22.92	1.91
小児科	1.65	0.72	0.77	0.00	0.35	0.58	0.52	0.32	0.07	0.55	0.33	0.06	5.92	0.49
眼科	3.26	2.59	3.29	1.43	0.29	1.35	2.16	1.03	2.00	2.55	2.23	1.84	24.02	2.00
形成外科	14.39	18.72	17.61	18.90	19.42	22.26	22.39	14.35	19.23	17.48	23.20	8.52	216.47	18.04
心臓外科	5.55	7.62	10.87	14.77	16.03	15.97	19.71	22.26	18.60	16.00	18.10	15.58	181.06	15.09
耳鼻咽喉科	0.32	0.48	0.00	0.03	0.58	0.19	0.58	0.52	0.77	0.16	0.43	0.61	4.67	0.39
皮膚科	0.00	0.00	0.00	0.00	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.00	0.00	0.78	0.07
口腔外科	4.45	4.38	3.19	2.73	2.06	3.68	4.39	4.29	3.73	5.10	3.60	3.48	45.08	3.76
腎臓内科	8.55	5.86	9.58	8.33	6.81	11.45	10.71	5.52	8.50	6.81	5.10	5.87	93.09	7.76
合計	401.6	392.0	387.3	379.7	356.9	393.5	391.8	364.9	350.5	358.3	375.9	323.5	4,475.9	373.0

3）病棟別・月別1日平均入院患者数

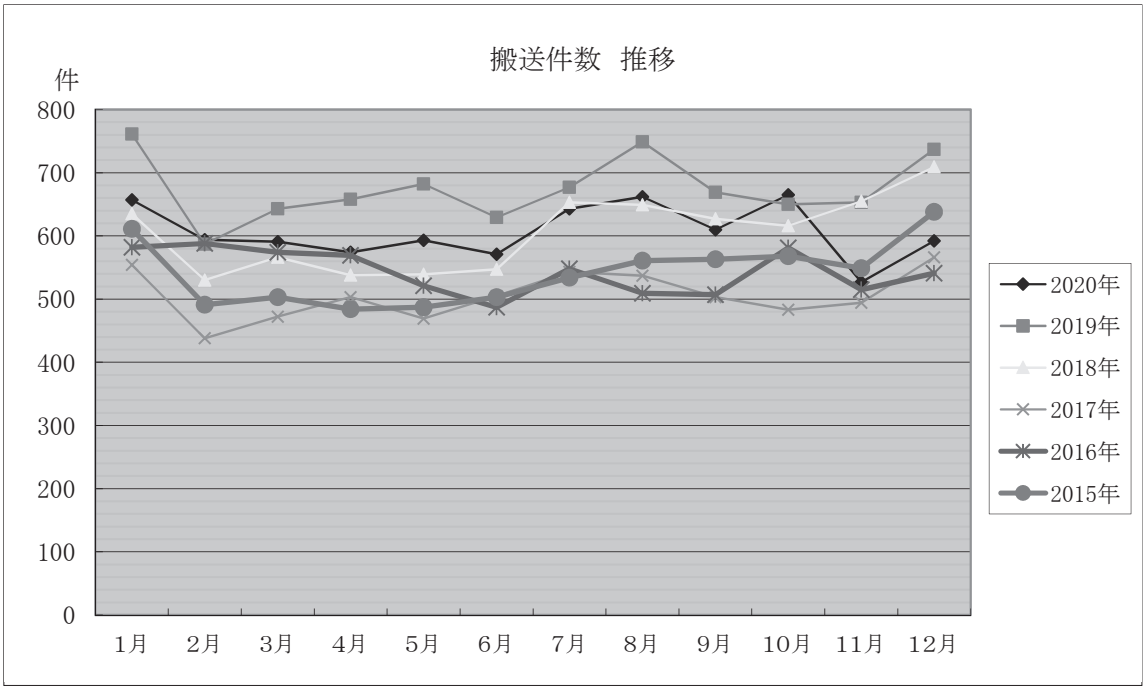
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
ICU	6.45	5.66	6.77	5.47	5.39	6.63	5.81	7.00	6.37	6.06	6.43	5.94	73.98	6.17
HCU	17.90	15.59	13.97	13.47	13.32	13.10	14.23	15.13	14.80	15.23	16.80	14.65	178.19	14.85
4東	43.16	41.83	43.19	42.73	41.61	43.50	43.97	41.61	41.20	39.71	39.33	30.94	492.78	41.07
5東	44.71	43.48	42.03	42.77	41.71	41.07	42.81	42.55	40.83	38.52	42.73	40.97	504.18	42.02
5西	38.65	38.28	37.16	37.60	37.65	38.70	39.00	38.29	36.43	36.52	38.80	29.48	446.56	37.21
6東	40.97	39.24	40.84	41.93	41.03	42.90	41.68	39.35	39.73	33.61	41.73	31.35	474.36	39.53
6西	43.19	43.07	42.10	43.17	42.61	44.70	42.74	41.58	37.13	41.74	43.37	41.39	506.79	42.23
7東	42.45	41.86	40.94	42.90	38.29	42.07	42.84	41.48	41.57	41.77	43.27	35.58	495.02	41.25
7西	41.87	42.34	42.00	42.30	41.94	43.07	43.68	42.58	42.90	41.32	43.47	38.03	505.50	42.13
8東	38.26	38.10	37.87	38.27	37.35	38.40	38.32	38.23	37.83	36.55	38.30	36.26	453.74	37.81
8西	44.00	42.59	40.42	29.13	16.03	39.37	36.74	17.06	11.73	27.26	21.63	18.87	344.83	28.74
総計	401.6	392.0	387.3	379.7	356.9	393.5	391.8	364.9	350.5	358.3	375.9	323.5	4,475.9	373.0

3. 救　急

1）月別救急搬送件数

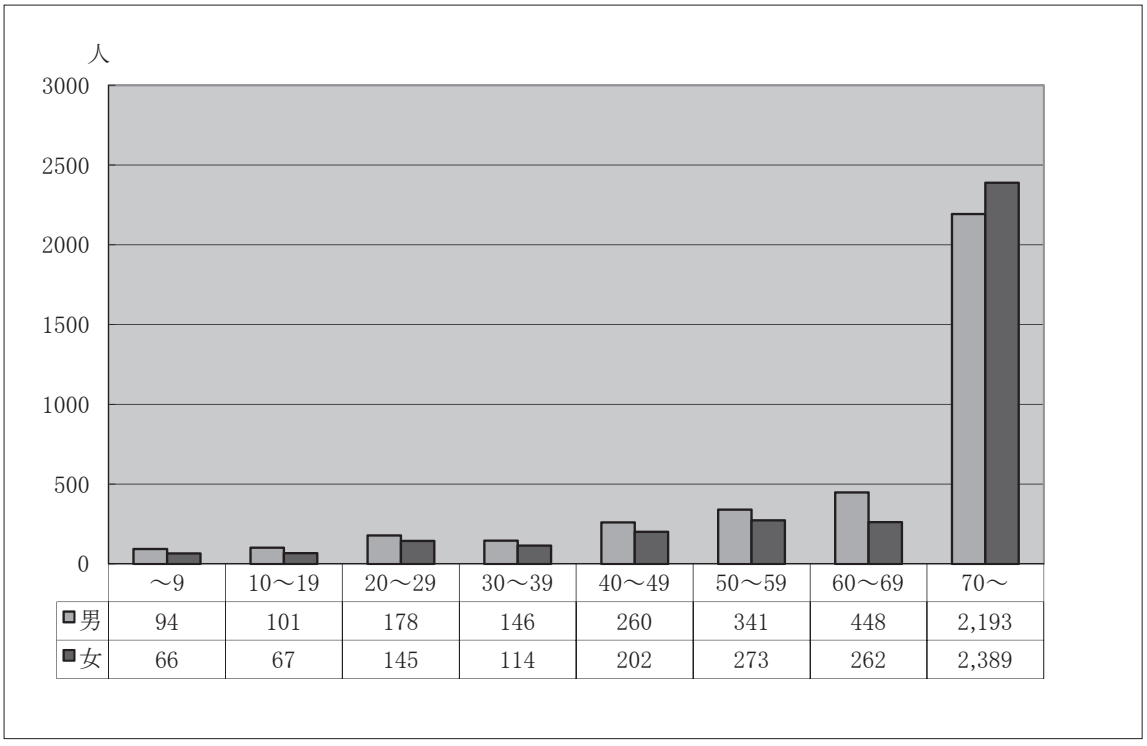
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
2020年	657	594	591	574	593	571	643	662	610	665	527	592	7,279	606.6
2019年	761	587	643	658	682	629	677	749	669	650	653	737	8,095	674.6
2018年	635	530	566	538	539	547	653	649	627	616	655	709	7,264	605.3
2017年	554	438	472	503	469	505	543	537	503	483	494	566	6,067	505.6
2016年	582	588	574	569	521	487	548	509	507	581	515	541	6,522	543.5
2015年	611	491	503	484	487	503	534	561	563	568	549	638	6,492	541.0

《救急搬送件数》



2）救急搬送人数　年齢別・性別分布

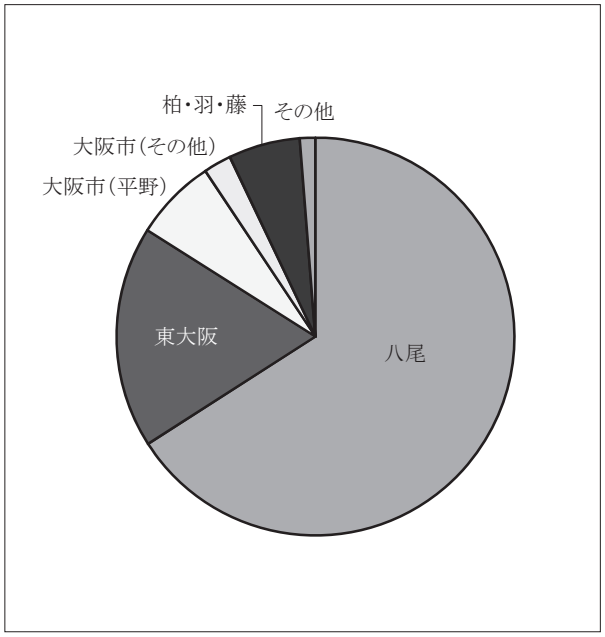
年齢	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	総合計
0～9歳	男	7	9	5	9	8	5	6	6	8	13	10	8	94	160
	女	6	6	7	7	5	7	4	5	6	3	7	3	66	
10～19歳	男	9	6	7	9	11	9	8	10	6	8	8	10	101	168
	女	6	5	2	6	2	6	5	10	10	7	4	4	67	
20～29歳	男	14	13	12	9	13	16	24	13	15	18	16	15	178	323
	女	14	18	12	11	4	9	13	10	16	11	9	18	145	
30～39歳	男	17	7	10	13	11	15	17	19	15	9	6	7	146	260
	女	12	11	8	7	9	16	11	6	10	9	6	9	114	
40～49歳	男	20	19	21	25	20	24	18	22	25	18	16	32	260	462
	女	20	20	14	15	13	21	21	16	19	20	11	12	202	
50～59歳	男	26	22	25	23	34	29	29	36	36	26	31	24	341	614
	女	20	26	24	17	16	23	26	21	26	28	27	19	273	
60～69歳	男	44	46	28	36	45	29	41	40	35	38	29	37	448	710
	女	30	24	24	19	12	21	16	26	13	28	20	29	262	
70歳以上	男	196	168	187	172	181	169	186	206	193	205	162	168	2,193	4,582
	女	216	194	205	196	209	172	218	216	177	224	165	197	2,389	
合計	男	333	290	295	296	323	296	329	352	333	335	278	301	3,761	7,279
	女	324	304	296	278	270	275	314	310	277	330	249	291	3,518	



	～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～
男	94	101	178	146	260	341	448	2,193
女	66	67	145	114	202	273	262	2,389

3）救急搬送件数分布

	八尾市	東大阪市	大阪市		柏原･羽曳野･藤井寺	その他	合計
			平野	その他			
1月	449	112	38	15	33	10	657
2月	400	116	29	13	32	4	594
3月	392	109	39	7	37	7	591
4月	354	119	46	14	35	6	574
5月	367	121	46	14	34	11	593
6月	385	94	40	11	29	12	571
7月	431	104	51	11	37	9	643
8月	437	121	44	21	27	12	662
9月	405	89	54	13	43	6	610
10月	447	120	38	13	44	3	665
11月	359	73	30	18	40	7	527
12月	373	136	31	15	32	5	592
合計	4,799	1,314	486	165	423	92	7,279



	件数	%
八尾	4,799	65.9%
東大阪	1,314	18.1%
大阪市（平野）	486	6.7%
大阪市（その他）	165	2.3%
柏原･羽曳野･藤井寺	423	5.8%
その他	92	1.3%
合計	7,279	100.0%

単位：件

病　歴　統　計

―― 2020年 ――

1．科別退院患者数　18

2．死亡退院患者統計　19

3．疾病分類＜大分類＞科別　20

4．疾病分類＜中分類＞　21

1. 科別退院患者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
内　科	259	269	235	233	225	244	249	254	228	222	211	197	2,826	235.5
男	126	151	119	132	117	141	140	137	122	138	99	113	1,535	127.9
女	133	118	116	101	108	103	109	117	106	84	112	84	1,291	107.6
循環器科	131	157	142	119	104	115	115	137	129	122	93	94	1,458	121.5
男	89	116	98	90	75	85	77	100	92	81	67	75	1,045	87.1
女	42	41	44	29	29	30	38	37	37	41	26	19	413	34.4
外　科	97	109	90	95	83	84	103	83	101	103	83	83	1,114	92.8
男	54	66	53	60	60	53	62	46	66	67	59	46	692	57.7
女	43	43	37	35	23	31	41	37	35	36	24	37	422	35.2
心臓外科	9	9	12	25	27	21	28	31	33	25	24	22	266	22.2
男	7	7	7	18	18	11	15	14	23	18	19	14	171	14.3
女	2	2	5	7	9	10	13	17	10	7	5	8	95	7.9
脳外科	61	56	52	54	52	65	66	57	73	83	71	57	747	62.3
男	35	32	28	24	26	34	41	32	51	44	39	24	410	34.2
女	26	24	24	30	26	31	25	25	22	39	32	33	337	28.1
整形外科	55	63	82	74	59	65	83	94	58	63	78	68	842	70.2
男	17	20	34	27	31	31	29	38	29	26	32	34	348	29.0
女	38	43	48	47	28	34	54	56	29	37	46	34	494	41.2
泌尿器科	37	38	35	32	30	47	46	29	44	40	27	33	438	36.5
男	30	31	24	27	17	39	33	23	31	28	16	27	326	27.2
女	7	7	11	5	13	8	13	6	13	12	11	6	112	9.3
形成外科	8	31	11	25	11	20	36	22	23	24	23	29	263	21.9
男	5	20	7	14	7	13	23	11	13	12	16	19	160	13.3
女	3	11	4	11	4	7	13	11	10	12	7	10	103	8.6
小児科	12	4	10	1	3	4	5	2	2	2	1	1	47	3.9
男	5	3	6	0	1	3	1	0	0	2	1	1	23	1.9
女	7	1	4	1	2	1	4	2	2	0	0	0	24	2.0
眼　科	49	36	44	24	2	20	39	20	33	50	33	35	385	32.1
男	21	10	10	5	0	8	19	10	12	20	11	13	139	11.6
女	28	26	34	19	2	12	20	10	21	30	22	22	246	20.5
耳鼻咽喉科	6	3	0	3	3	4	5	8	11	4	3	5	55	4.6
男	4	0	0	3	1	4	2	1	8	2	1	3	29	2.4
女	2	3	0	0	2	0	3	7	3	2	2	2	26	2.2
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0.2
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
腎臓内科	12	9	9	11	8	11	18	13	14	10	8	10	133	11.1
男	7	5	6	6	6	7	12	8	8	8	6	5	84	7.0
女	5	4	3	5	2	4	6	5	6	2	2	5	49	4.1
口腔外科	41	46	37	29	19	43	41	51	35	43	43	31	459	38.3
男	27	27	12	17	9	23	23	16	21	17	15	13	220	18.3
女	14	19	25	12	10	20	18	35	14	26	28	18	239	19.9
肝臓外科	40	50	43	50	45	49	49	44	41	74	53	59	597	49.8
男	21	30	29	25	32	28	27	28	24	38	31	33	346	28.8
女	19	20	14	25	13	21	22	16	17	36	22	26	251	20.9
肝臓内科	5	7	8	6	5	8	13	8	12	9	4	8	93	7.8
男	3	6	5	3	3	5	8	2	6	5	3	2	51	4.3
女	2	1	3	3	2	3	5	6	6	4	1	6	42	3.5
小児外科	6	6	17	6	2	7	7	12	9	9	2	7	90	7.5
男	5	4	14	3	1	6	6	10	6	6	2	5	68	5.7
女	1	2	3	3	1	1	1	2	3	3	0	2	22	1.8
呼吸器外科	4	4	6	5	2	14	27	18	17	21	15	27	160	13.3
男	3	3	4	5	1	10	22	14	13	17	9	16	117	9.8
女	1	1	2	0	1	4	5	4	4	4	6	11	43	3.6
呼吸器内科	58	50	50	45	48	22	33	37	33	34	36	32	478	39.8
男	35	28	31	29	32	14	19	29	20	20	17	24	298	24.8
女	23	22	19	16	16	8	14	8	13	14	19	8	180	15.0
腫瘍内科	4	6	4	4	5	3	5	5	1	6	4	8	55	4.6
男	4	5	3	3	3	2	5	0	0	3	2	4	34	2.8
女	0	1	1	1	2	1	0	5	1	3	2	4	21	1.8
婦人科	12	8	12	15	12	10	11	12	14	15	15	17	153	12.8
合　計	906	961	899	856	746	856	979	937	911	960	827	823	10,661	888.4
男	498	564	490	491	440	517	564	519	545	553	445	471	6,097	508.1
女	408	397	409	365	306	339	415	418	366	407	382	352	4,564	380.3

2. 死亡退院患者統計

《科別》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
内　科	36	41	35	30	37	39	33	36	32	34	39	32	424	35.3
男	16	24	17	13	19	26	18	25	18	21	18	19	234	19.5
女	20	17	18	17	18	13	15	11	14	13	21	13	190	15.8
呼吸器内科	7	6	4	3	4	1	4	5	3	5	5	3	50	4.2
男	3	3	3	1	2	1	3	5	0	4	3	3	31	2.6
女	4	3	1	2	2	0	1	0	3	1	2	0	19	1.6
外　科	1	6	7	4	6	1	5	6	2	9	5	3	55	4.6
男	0	2	4	4	4	1	3	3	2	6	1	3	33	2.8
女	1	4	3	0	2	0	2	3	0	3	4	0	22	1.8
心臓外科	1	0	0	0	1	2	3	3	0	1	1	1	13	1.1
男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4	0.3
女	0	0	0	0	1	1	3	3	0	0	1	0	9	0.8
脳外科	4	12	1	5	2	6	2	3	1	5	3	3	47	3.9
男	2	7	0	3	0	3	1	1	1	3	0	1	22	1.8
女	2	5	1	2	2	3	1	2	0	2	3	2	25	2.1
整形外科	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	7	0.6
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0.3
女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4	0.3
泌尿器科	1	1	0	3	0	2	0	0	0	0	2	1	10	0.8
男	1	1	0	3	0	2	0	0	0	0	2	1	10	0.8
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
形成外科	0	0	0	1	1	3	1	1	0	1	1	0	9	0.8
男	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	0	5	0.4
女	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4	0.3
肝臓外科	3	0	4	1	3	3	4	1	3	2	1	2	27	2.3
男	2	0	3	0	2	3	2	1	2	2	0	2	19	1.6
女	1	0	1	1	1	0	2	0	1	0	1	0	8	0.7
肝臓内科	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	0	6	0.5
男	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4	0.3
女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.2
合　計	54	66	52	47	54	58	54	56	42	60	59	46	648	54.0
男	25	37	28	24	27	39	30	37	23	39	26	30	365	30.4
女	29	29	24	23	27	19	24	19	19	21	33	16	283	23.6

《疾病別》

悪性腫瘍	肺	43	前立腺	6	直腸	3		
	膵臓	20	大腸	5	乳房	3		
	胃	12	胆管	5	原発不明癌	2		
	肝臓	8	悪性リンパ腫	4	子宮	2		
	食道	6	転移癌	4	その他	10	合　計	133
呼吸器系	誤嚥性肺炎	53	COVID-19	12	肺気腫	3		
	肺炎	40	細菌性肺炎	8	肺炎球菌肺炎	2		
	間質性肺炎	18	慢性閉塞性肺疾患	6	急性呼吸窮迫症候群	2		
	呼吸不全	16	気管支肺炎	3	その他	6	合　計	169
循環器系	心不全	72	脳梗塞	11	腹部大動脈瘤破裂	3		
	脳出血	20	心肺停止	6	たこつぼ型心筋症	2		
	急性心筋梗塞	14	急性大動脈解離	4	不整脈	1		
	くも膜下出血	13	心室細動	3	その他	7	合　計	156
消化器系	肝不全	7	絞扼性イレウス	2	腸穿孔	2		
	肝硬変	6	消化管出血	2	肝腎症候群	1		
	急性膵炎	3	腸壊死	2	その他	4	合　計	29
その他の疾患	敗血症	50	出血性ショック	6	筋萎縮性側索硬化症	2		
	低酸素脳症	15	窒息	6	脱水症	2		
	慢性腎臓病	15	尿路感染症	6	播種性血管内凝固	2		
	老衰	14	急性硬膜下血腫	4	真菌症	1		
	多臓器不全	10	急性腎不全	2	その他	26	合　計	161

3. 疾病分類＜大分類＞科別

科別 / 疾病分類	内科	循環器科	外科	心臓外科	脳神経外科	整形外科	泌尿器科	形成外科	小児科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	腎臓内科	口腔外科	肝臓外科	肝臓内科	小児外科	呼吸器外科	呼吸器内科	腫瘍内科	婦人科	合計
感染症及び寄生虫（A00～B99）	159	4	24	1	0	0	0	0	5	0	1	1	1	0	11	14	2	0	25	1	0	249
新生物（C00～D48）	382	0	361	1	19	6	204	27	0	0	0	0	0	63	218	15	2	72	8	48	128	1,554
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（D50～D89）	41	1	9	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	2	2	2	0	64
内分泌・栄養及び代謝疾患（E00～E90）	191	2	12	0	0	1	0	10	8	0	0	0	4	0	3	4	0	0	3	0	0	238
精神及び行動の障害（F00～F99）	19	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	24
神経系の疾患（G00～G99）	110	0	3	0	78	8	0	5	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	209
眼及び付属器の疾患（H00～H59）	1	0	0	0	0	0	0	9	0	384	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	394
耳及び乳様突起の疾患（H60～H95）	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	55
循環器系の疾患（I00～I99）	307	1,411	6	252	490	1	0	36	0	0	0	0	1	0	6	4	0	0	16	0	0	2,530
呼吸器系の疾患（J00～J99）	651	16	9	0	1	1	1	1	22	0	17	0	1	1	3	3	1	67	318	2	0	1,115
消化器系の疾患（K00～K93）	372	3	621	4	0	1	1	0	1	0	0	0	0	354	318	47	56	0	4	1	0	1,783
皮膚及び皮下組織の疾患（L00～L99）	61	2	5	1	0	6	0	73	1	0	0	1	0	10	1	0	0	0	0	0	0	161
筋骨格系及び結合組織の疾患（M00～M99）	46	0	3	1	40	176	0	45	3	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3	0	0	321
腎尿路生殖器系の疾患（N00～N99）	316	7	10	0	1	1	225	8	2	0	0	0	120	0	5	0	8	0	15	1	24	743
先天性奇形・変形及び染色体異常（Q00～Q99）	0	0	0	1	6	1	0	1	0	0	0	0	2	1	2	0	20	0	0	0	0	34
症状・徴候及び異常臨床所見・異常臨床所見で他に分類されないもの（R00～R99）	36	2	10	1	10	0	4	11	0	0	6	0	1	0	17	2	0	1	5	0	1	107
損傷・中毒及びその他の外因の影響（S00～T98）	75	10	38	4	101	640	2	36	1	1	1	0	1	30	6	0	1	17	3	0	0	967
特殊目的用コード（U00～U99）	34	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	76	0	0	113
合　　計	2,826	1,458	1,114	266	747	842	438	263	47	385	55	2	133	459	597	93	90	160	478	55	153	10,661

4. 疾病分類〈中分類〉

第1章 感染症および寄生虫症	249
A00-09 腸管感染症	90
A15-19 結核	16
A20-28 人蓄共通細菌性疾患	0
A30-49 その他の細菌性疾患	101
A50-64 主として性的伝播様式をとる感染症	0
A65-69 その他のスピロヘータ疾患	0
A70-74 クラミジアによるその他の疾患	0
A75-79 リッチケア症	0
A80-89 中枢神経系のウイルス感染症	4
A90-99 節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス出血熱	0
B00-09 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	9
B15-19 ウイルス肝炎	14
B20-24 ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	1
B25-34 その他のウイルス疾患	11
B35-49 真菌症	3
B50-64 原虫疾患	0
B65-83 ぜん＜蠕＞虫症	0
B85-89 シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生症	0
B90-94 感染症および寄生虫症の続発・後遺症	0
B95-97 細菌、ウイルスおよびその他の病原体	0
B99 その他の感染症	0
第2章 新生物＜腫瘍＞	1,554
C00-14 口唇、口腔および咽頭	0
C15-26 消化器	631
C30-39 呼吸器および胸腔内臓器	221
C40-41 骨および関節軟骨	1
C43-44 皮膚	3
C45-49 中皮および軟部組織	4
C50 乳房	27
C51-58 女性生殖器	99
C60-63 男性生殖器	73
C64-68 尿路	122
C69-72 眼、脳および中枢神経系のその他の部位	5
C73-75 甲状腺およびその他の内分泌腺	2
C76-80 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	98
C81-96 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	37
C97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0
D00-09 上皮内新生物	5
D10-36 良性新生物	73
D37-48 性状不詳または不明の新生物	153
第3章 血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害	64
D50-53 栄養性貧血	13
D55-59 溶血性貧血	2
D60-64 無形成性貧血およびその他の貧血	24
D65-69 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	13
D70-77 血液および造血器のその他の疾患	8
D80-89 免疫機構の障害	4
第4章 内分泌、栄養および代謝疾患	238
E00-07 甲状腺障害	1
E10-14 糖尿病	88
E15-16 その他のグルコース調節および膵内分泌障害	10
E20-35 その他の内分泌腺障害	11
E40-46 栄養失調(症)	5
E50-64 その他の栄養欠乏症	13
E65-68 肥満(症)およびその他の過栄養＜過剰摂食＞	1
E70-90 代謝障害	109

第5章 精神および行動の障害	24
F00-09 症状性を含む器質性精神障害	9
F10-19 精神作用物質使用による精神および行動の障害	8
F20-29 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	1
F30-39 気分〔感情〕障害	1
F40-48 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	2
F50-59 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	3
F60-69 成人の人格および行動の障害	0
F70-79 知的障害＜精神遅滞＞	0
F80-89 心理的発達の障害	0
F90-98 小児＜児童＞期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	0
F99 詳細不明の精神障害	0
第6章 神経系の疾患	208
G00-09 中枢神経系の炎症性疾患	11
G10-13 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	5
G20-26 錐体外路障害および異常運動	19
G30-32 神経系のその他の変性疾患	4
G35-37 中枢神経系の脱髄疾患	1
G40-47 挿間性および発作性障害	113
G50-59 神経、神経根および神経そう＜叢＞の障害	13
G60-64 多発(性)ニューロパチ＜シ＞ーおよびその他の末梢神経系の障害	2
G70-73 神経筋接合部および筋の疾患	3
G80-83 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	1
G90-99 神経系のその他の障害	36
第7章 眼および付属器の疾患	394
H00-06 眼瞼、涙器および眼窩の障害	9
H10-13 結膜の障害	0
H15-22 強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害	0
H25-28 水晶体の障害	358
H30-36 脈絡膜および網膜の障害	14
H40-42 緑内障	0
H43-45 硝子体および眼球の障害	12
H46-48 視神経および視(覚)路の障害	0
H49-52 眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害	1
H53-54 視機能障害および盲＜失明＞	0
H55-59 眼および付属器のその他の障害	0
第8章 耳および乳様突起の疾患	55
H60-62 外耳疾患	0
H65-75 中耳および乳様突起の疾患	0
H80-83 内耳疾患	55
H90-95 耳のその他の障害	0
第9章 循環器系の疾患	2,530
I00-02 急性リウマチ熱	0
I05-09 慢性リウマチ性心疾患	3
I10-15 高血圧性疾患	3
I20-25 虚血性心疾患	980
I26-28 肺性心疾患および肺循環疾患	10
I30-52 その他の型の心疾患	550
I60-69 脳血管疾患	500
I70-79 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	450
I80-89 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	30
I95-99 循環器系のその他および詳細不明の障害	4

4. 疾病分類〈中分類〉

第10章	呼吸器系の疾患	1,115	第15章	妊娠、分娩および産じょく＜褥＞	0
J00-06	急性上気道感染症	16	O00-08	流産に終わった妊娠	0
J10-18	インフルエンザおよび肺炎	385	O10-16	妊娠、分娩および産じょく＜褥＞における浮腫、たんぱく＜蛋白＞尿および高血圧性障害	0
J20-22	その他の急性下気道感染症	6			
J30-39	上気道のその他の疾患	8	O20-29	主として妊娠に関連するその他の母体障害	0
J40-47	慢性下気道疾患	110	O30-48	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	0
J60-70	外的因子による肺疾患	344			
J80-84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	95	O60-75	分娩の合併症	0
J85-86	下気道の化膿性およびえ＜壊＞死性病態	31	O80-84	分娩	0
J90-94	胸膜のその他の疾患	88	O85-92	主として産じょく＜褥＞に関連する合併症	0
J95-99	呼吸器系のその他の疾患	32	O95-99	その他の産科的病態、他に分類されないもの	0
第11章	消化器系の疾患	1,783	第16章	周産期に発生した病態	0
K00-14	口腔、唾液腺および顎の疾患	358	P00-04	母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	0
K20-31	食道、胃および十二指腸の疾患	116			
K35-38	虫垂の疾患	120	P05-08	妊娠期間および胎児発育に関連する障害	0
K40-46	ヘルニア	190	P10-15	出産外傷	0
K50-52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	21	P20-29	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	0
K55-64	腸のその他の疾患	340	P35-39	周産期に特異的な感染症	0
K65-67	腹膜の疾患	15	P50-61	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	0
K70-77	肝疾患	107	P70-74	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	0
K80-87	胆のう＜嚢＞、胆管および膵の障害	489			
K90-93	消化管系のその他の疾患	27	P75-78	胎児および新生児の消化器系障害	0
第12章	皮膚および皮下組織の疾患	161	P80-83	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	0
L00-08	皮膚および皮下組織の感染症	82			
L10-14	水疱症	2	P90-96	周産期に発生したその他の障害	0
L20-30	皮膚炎および湿疹	5	第17章	先天奇形、変形および染色体異常	34
L40-45	丘疹落せつ＜屑＞＜りんせつ＜鱗屑＞＞性障害	3	Q00-07	神経系の先天性奇形	0
L50-54	じんま＜蕁麻＞疹および紅斑	3	Q10-18	眼、耳、顔面および頚部の先天性奇形	1
L55-59	皮膚および皮下組織の放射線(非電離および電離)に関する障害	0	Q20-28	循環器系の先天性奇形	7
			Q30-34	呼吸器系の先天性奇形	0
L60-75	皮膚付属器の障害	3	Q35-37	唇裂および口蓋裂	0
L80-99	皮膚および皮下組織のその他の障害	63	Q38-45	消化器系のその他の先天奇形	5
第13章	筋骨格系および結合組織の疾患	321	Q50-56	性器の先天奇形	17
M00-03	感染性関節障害	4	Q60-64	尿路系の先天奇形	2
M05-14	炎症性多発性関節障害	24	Q65-79	筋骨格系の先天奇形および変形	2
M15-19	関節症	40	Q80-89	その他の先天奇形	0
M20-25	その他の関節障害	5	Q90-99	染色体異常、他に分類されないもの	0
M30-36	全身性結合組織障害	15	第18章	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	107
M40-43	変形性脊柱障害	16			
M45-49	脊椎障害	89	R00-09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	28
M50-54	その他の脊柱障害	35	R10-19	消化器系および腹部に関する症状および徴候	22
M60-63	筋障害	20	R20-23	皮膚および皮下組織に関する症状および徴候	1
M65-68	滑膜および腱の障害	2	R25-29	神経系および筋骨格系に関する症状および徴候	0
M70-79	その他の軟部組織障害	30	R30-39	腎尿路系に関する症状および徴候	3
M80-85	骨の密度および構造の障害	6	R40-46	認識、知覚、情緒状態および行動に関する症状および徴候	12
M86-90	その他の骨障害	29			
M91-94	軟骨障害	1	R47-49	言語および音声に関する症状および徴候	0
M95-99	筋骨格系および結合組織のその他の障害	5	R50-69	全身症状および徴候	41
第14章	腎尿路生殖器系の疾患	743	R70-79	血液検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0
N00-08	糸球体疾患	7	R80-82	尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0
N10-16	腎尿細管間質性疾患	145	R83-89	その他の体液、検体＜材料＞および組織の検査の異常所見、診断名の記載がないもの	0
N17-19	腎不全	187			
N20-23	尿路結石症	148	R90-94	画像診断および機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの	0
N25-29	腎および尿管のその他の障害	8			
N30-39	尿路系のその他の疾患	181	R95-99	診断名不明確および原因不明の死亡	0
N40-51	男性生殖器の疾患	37			
N60-64	乳房の障害	1			
N70-77	女性骨盤臓器の炎症性疾患	3			
N80-98	女性性器の非炎症性障害	26			
N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	0			

4. 疾病分類〈中分類〉

第19章	損傷、中毒およびその他の外因の影響	**967**
S00-09	頭部損傷	149
S10-19	頚部損傷	15
S20-29	胸部＜郭＞損傷	56
S30-39	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	95
S40-49	肩および上腕の損傷	76
S50-59	肘および前腕の損傷	112
S60-69	手首および手の損傷	27
S70-79	股関節部および大腿の損傷	206
S80-89	膝および下腿の損傷	88
S90-99	足首および足の損傷	20
T00-07	多部位の損傷	7
T08-14	部位不明の体幹もしくは(四)肢の損傷または部位不明の損傷	9
T15-19	自然開口部からの異物侵入の作用	12
T20-32	熱傷および腐食	6
T33-35	凍傷	0
T36-50	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	5
T51-65	薬用を主としない物質の毒作用	1
T66-78	外因のその他および詳細不明の作用	35
T79	外傷の早期合併症	1
T80-88	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	46
T90-98	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	1
第20章	傷病および死亡の外因	**0**
V01-99	交通事故	0
W00-X59	不慮の損傷のその他の外因	0
X60-84	故意の自傷および自殺	0
X85-Y09	加害にもとづく傷害および死亡	0
Y10-34	不慮か故意か決定されない事件	0
Y35-36	法的介入および戦争行為	0
Y40-84	内科的および外科的ケアの合併症	0
Y85-89	傷病および死亡の外因の続発・後遺症	0
Y90-98	他に分類される傷病および死亡の原因に関係する補助的因子	0
第21章	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	**0**
Z00-13	検査および診査のための保健サービスの利用者	0
Z20-29	伝染病に関連する健康傷害をきたす恐れのある者	0
Z30-39	生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	0
Z40-54	特定の処置および保健ケアのための保健サービスの利用者	0
Z55-65	社会経済的環境および社会心理的環境に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
Z70-76	その他の環境下での保健サービスの利用者	0
Z80-99	家族歴、既往歴および健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	0
第22章	特殊目的用コード	**113**
U07	COVID-19	113

診　療　部

―― 2020年 ――

1 ）内　　科　26
2 ）循環器内科（カテーテル部門）　33
3 ）消化器内科　34
4 ）呼吸器内科　35
5 ）腫 瘍 内 科　36
6 ）血管透析科　38
7 ）腎 臓 内 科　41
8 ）糖尿病・代謝内科　42
9 ）脳神経内科　44
10）内分泌内科　45
11）膠原病リウマチ内科　47
12）小　児　科　49
13）放 射 線 科（診療部）　51
14）救　急　科　52
15）外　　科　54
16）整 形 外 科　56
17）脳神経外科　59
18）心臓血管外科・大動脈センター　61
19）形成外科・美容外科　63
20）呼吸器外科　65
21）小 児 外 科　66
22）歯科・歯科口腔外科　69
23）泌 尿 器 科　71
24）眼　　科　73
25）麻　酔　科　75
26）肝臓センター　76
27）皮　膚　科　80
28）婦　人　科　81
29）耳鼻咽喉科　82
30）リハビリテーション科（診療部）　83
31）病理診断科　84

1）内　科

病院長　原田　博雅

1. 概要

2020 年は新型コロナウイルス感染がすべての内科診療に影響を与えた年でした。

非常につらい 1 年が、2 月 4 日の病院横のテント設置とともに始まりました。3 月 11 日から、新型コロナウイルス感染症の患者様の入院診療がはじまりました。以後終わることのない戦いが継続されています。幸いにも、緒方先生が広島大学での研修を終え、4 月より当院に復帰されました。以後、集中治療専門医であるとともに、ECMO の specialist として、当院の重症コロナ感染症の治療を担っていただいています。石原副院長、北田先生、濱口先生を含めて 4 人でコロナ感染患者様の管理を行っていただきました。

初期研修医の内科研修は 2 年目研修医として、糸井・松岡・本吉・百田先生、1 年目研修医として、一瀬・白崎・富永・西森先生が修了しています。

2. メンバー構成

循環器	福田貢（総長）、松尾浩志（部長）、綾田健士（医長）
呼吸器	原田博雅（院長）、石原英樹（副院長）、北田清悟（部長）、濱口眞成（医長）
消化器	浅野耕吉（部長）、杉田博二（医長）中島ひろみ（医長）
内分泌	山本智英（顧問）
糖尿病・代謝	石橋里江子（部長）、植田秀樹
腫瘍	瓜生恭章（部長）
脳神経内科	辰己新水（部長）
腎臓	森ちさこ（医長）
総合内科	髙原良典（医長）

3. 実績

《退院患者数》

◎内　科

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
464	491	440	412	390	395	420	446	405	394	352	341	4,950

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1.感染症および寄生虫症（A00-B99）

疾　　病	件	疾　　病	件
敗血症	58	髄膜炎	7
（グラム陰性菌）	(7)	（ウイルス性）	(4)
（MRSA）	(3)	（結核性）	(2)
（グラム陽性菌）	(2)	ウイルス感染症	6
腸炎	45	ヘルペス	3
（感染性）	(18)	帯状疱疹	3
（細菌性）	(16)	伝染性単核症	2
（ウイルス性）	(2)	ガス壊疽	1
細菌感染症	19	レジオネラ肺炎	1
胃腸炎	18	後天性免疫不全症候群	1
（感染性）	(5)	食道カンジタ症	1
（細菌性）	(2)	真菌症	1
肺結核	12	成人水痘	1
（胸膜炎）	(3)	その他	3
非結核性抗酸菌症	8	合　計	190

2.新生物（C00-C97）※術後・再発・化学療法を含む

疾　　病	件	疾　　病	件
肺	169	胸腺腫	5
胃	52	前立腺	5
転移癌	28	多発性骨髄腫	4
（骨）	(7)	直腸	4
（胸膜）	(5)	盲腸	4
（肝臓）	(4)	悪性中皮腫	3
（肺）	(4)	子宮	3
悪性リンパ腫	23	胆のう	3
結腸	20	腎	2
膵臓	15	尿管	2
食道	14	急性骨髄性白血病	1
乳房	8	原発不明	1
肝臓	6	その他	6
胆管	6	合　計	384

◎上皮内・良性・性状不詳または不明の新生物（D00-D48）

〈良性腫瘍〉　　〈性状不詳・不明〉

疾　　病	件	疾　　病	件
胃腺腫	10	骨髄異形成症候群	16
結腸腺腫	10	肺腫瘍	5
直腸腺腫	3	結腸腫瘍	4
		縦隔腫瘍	3
		甲状腺腫瘍	1
		その他	2
合　計	23	合　計	31

3.血液および造血器の疾患、免疫障害（D50-D89）

疾　　病	件	疾　　病	件
貧血症	24	播種性血管内凝固	5
（鉄欠乏性）	(9)	化学療法に伴う好中球減少症	2
（急性失血性）	(5)	神経サルコイドーシス	2
（溶血性）	(2)	血小板減少症	1
汎血球減少症	7	大球性貧血	1
特発性血小板減少性紫斑病	5	合　計	47

4.内分泌、栄養および代謝疾患（E00-E90）

疾　　病	件	疾　　病	件
Ⅰ型糖尿病	7	低血糖発作	10
（ケトアシドーシス）	(4)	栄養障害	7
（その他の合併症）	(1)	高カリウム血症	4
（末梢循環合併症）	(1)	低アルブミン血症	4
Ⅱ型糖尿病	70	低蛋白血症	3
（その他の合併症）	(24)	アルコール性アシドーシス	2
（多発合併症）	(15)	栄養失調	2
（ケトアシドーシス）	(12)	続発性副腎皮質機能低下症	2
（高血糖高浸透圧症候群）	(4)	電解質異常	2
（神経学的合併症）	(3)	副腎クリーゼ	2
（眼合併症）	(1)	クッシング症候群	1
（腎合併症）	(1)	原発性アルドステロン症	1
脱水症	37	甲状腺クリーゼ	1
低ナトリウム血症	23	その他	6
低カリウム血症	16	合　計	200

5.精神および行動の障害（F00-F99）

疾　　病	件	疾　　病	件
認知症	7	うつ病	1
摂食障害	3	過換気症候群	1
せん妄	3	その他	2
急性アルコール中毒	2	合　計	19

6.神経系の疾患（G00-G99）

疾　　病	件	疾　　病	件
睡眠時無呼吸症候群	31	周期性四肢麻痺	2
（検査入院）	(20)	進行性核上性麻痺	2
てんかん	22	脳炎	2
低酸素性脳症	14	一過性脳虚血発作	1
パーキンソン病	9	頚椎頚髄症	1
筋萎縮性側索硬化症	5	三叉神経痛	1
神経核内封入体病	4	多発性硬化症	1
パーキンソン症候群	3	代謝性脳症	1
アルツハイマー型認知症	2	脳表ヘモジデリン沈着症	1
ギラン・バレー症候群	2	その他	4
細菌性髄膜炎	2	合　計	110

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

7.耳および乳様突起の疾患(H60-H95)

疾　　病	件	疾　　病	件
めまい症	19	メニエール病	4
(末梢性)	(10)	前庭神経炎	2
(回転性)	(4)	動眼神経麻痺	1
(良性発作性頭位)	(3)		
(頭位変換性)	(2)	合　計	26

8.循環器系の疾患(I00-I99)※検査入院を含む

◎心血管

疾　　病	件	疾　　病	件
狭心症	639	洞不全症候群	9
(不安定)	(178)	心房細動	8
(労作性)	(24)	蘇生に成功した心停止	8
(冠攣縮性)	(3)	肺塞栓症	8
心不全	399	陳旧性心筋梗塞	7
(うっ血性)	(378)	大動脈弁狭窄症	5
(慢性)	(13)	感染性心内膜炎	4
(急性)	(7)	心室頻拍	4
冠状動脈硬化症	207	起立性低血圧症	3
急性心筋梗塞	87	心室細動・粗動	3
(前壁)	(36)	二次性肺高血圧症	3
(下壁)	(26)	アダムス・ストークス症候群	2
(側壁)	(16)	虚血性心疾患	2
房室ブロック	22	上室頻拍	2
無症候性心筋虚血	10	心室期外収縮	2
心筋症	10	心膜炎	2
(たこつぼ型)	(8)	その他	9
(肥大型)	(2)	合　計	1,455

◎脳血管

疾　　病	件	疾　　病	件
脳梗塞	12	くも膜下出血	1
(後遺症)	(1)	ワレンベルグ症候群	1
脳出血	4	高血圧性脳症	1
慢性硬膜下血腫	2	合　計	21

◎その他の血管

疾　　病	件	疾　　病	件
下肢閉塞性動脈硬化症	212	バージャー病	2
食道静脈瘤	10	下肢うっ滞性皮膚炎	1
(破裂)	(4)	リンパ節炎	1
重症虚血肢	9	胃静脈瘤出血	1
深部静脈血栓症	7	下肢血栓性静脈炎	1
毛細血管拡張症	6	その他	6
急性大動脈解離	3	合　計	259

9.呼吸器系の疾患(J00-J99)

疾　　病	件	疾　　病	件
誤嚥性肺炎	317	自然気胸	24
肺炎・病原体不明	222	肺炎連鎖球菌による肺炎	20
(気管支)	(52)	胸水貯留	18
(大葉性)	(7)	膿胸	13
(閉塞性)	(4)	過敏性肺炎	9
細菌性肺炎	96	好酸球性肺炎	9
(マイコプラズマ)	(6)	肺気腫	9
(MRSA)	(4)	気管支拡張症	8
(緑膿菌)	(2)	急性気管支炎	4
間質性肺炎	82	肺水腫	4
(薬剤性)	(3)	放射線肺炎	4
慢性閉塞性肺疾患	53	急性呼吸窮迫症候群	2
気管支喘息	29	急性扁桃炎	2
(発作)	(12)	肺膿瘍	2
呼吸不全	27	石綿肺	1
インフルエンザ	24	その他	9
(肺炎を伴う)	(7)	合　計	988

10.消化器系の疾患(K00-K93)

◎食道、胃、十二指腸

疾　　病	件	疾　　病	件
逆流性食道炎	5	胃潰瘍	29
食道裂孔ヘルニア	3	(出血性)	(23)
マロリ・ワイス症候群	2	(急性)	(2)
食道潰瘍	2	胃炎	3
食道出血	1	胃前庭部毛細血管拡張症	3
十二指腸潰瘍	21	胃軸捻症	1
(出血性)	(19)	胃痙攣	1
(急性)	(1)	その他	6
十二指腸炎	1	合　計	78

◎その他の腸疾患

疾　　病	件	疾　　病	件
腸憩室疾患	46	直腸潰瘍	3
虚血性腸炎	24	S状結腸軸捻転	2
大腸ポリープ	20	放射線性腸炎	2
イレウス	16	直腸ポリープ	1
消化管出血	14	慢性下痢症	1
潰瘍性大腸炎	9	その他	4
急性腹膜炎	7	合　計	149

◎肝疾患

疾　　病	件	疾　　病	件
アルコール性肝疾患	26	肝性脳症	1
(肝硬変)	(21)	急性肝不全	1
(肝炎)	(5)	自己免疫性肝炎	1
肝硬変症	11	その他	2
肝膿瘍	2	合　計	44

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

◎胆嚢、胆管、膵

疾　　病	件	疾　　病	件
総胆管結石	37	急性膵炎	21
（胆管炎を伴う）	(4)	（胆石を伴う）	(2)
（胆のう炎を伴う）	(1)	（アルコール性）	(2)
急性胆管炎	34	慢性膵炎	7
胆のう炎（急性・慢性）	5	膵頭部腫瘤	2
胆石症	3		
（胆のう炎を伴う）	(1)	合　計	109

11.皮膚および皮下組織の疾患（L00-L99）

疾　　病	件	疾　　病	件
蜂窩織炎	41	スイート病	1
褥瘡感染	6	スティーブンス・ジョンソン症候群	1
皮膚潰瘍	3	尋常性乾癬	1
水疱性類天疱瘡	2	特発性後天性全身性無汗症	1
背部膿瘍	2	その他	3
薬疹	2	合　計	63

12.筋骨格系および結合祖組織の疾患（M00-M99）

疾　　病	件	疾　　病	件
横紋筋融解症	14	コンパートメント症候群	1
偽痛風	8	シェーグレン症候群	1
ANCA関連血管炎	4	化膿性関節炎	1
痛風	3	線維筋痛症	1
リウマチ性多発筋痛症	2	膠原病	1
壊死性筋膜炎	2	その他	9
成人スチル病	2	合　計	49

13.腎尿路生殖器系の疾患（N00-N99）

疾　　病	件	疾　　病	件
尿路感染症	166	腎機能低下	3
末期腎不全	91	結石性腎盂腎炎	2
急性腎盂腎炎	90	子宮留膿症	2
慢性腎臓病	43	腎梗塞	2
急性腎不全	23	腎性貧血	2
慢性腎不全	16	前立腺肥大症	1
前立腺炎	4	その他	11
ネフローゼ症候群	3	合　計	459

14.先天性奇形、変形および染色体異常（Q00-Q99）

疾　　病	件
多発性のう胞腎	2
合　計	2

15.症状、徴候および以上臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）

疾　　病	件	疾　　病	件
老衰	7	喀血	2
意識障害	6	悪寒	1
胸膜炎	5	胸痛発作	1
発熱	5	周期性嘔吐症	1
誤嚥性窒息	4	出血性ショック	1
失神	2	食欲不振	1
肺胞出血	2	その他	4
浮腫	2	合　計	44

16.損傷、中毒およびその他の外因の影響（S00-T98）

疾　　病	件	疾　　病	件
アナフィラキシー（ショック）	18（5）	透析シャント閉塞	5
		カテーテル感染症	2
熱中症	10	大腿骨骨折	2
ペースメーカー電池消耗	9	肋骨骨折	2
腰椎・骨盤骨折	7	外傷性気胸	1
低体温	6	薬物性ショック	1
急性薬物中毒	5	その他	16
窒息	5	合　計	89

17.特殊目的用コード（U00-U99）

疾　　病	件
新型コロナウイルス感染症	111
合　計	111

4. 今後の目標

まずは新型コロナウイルス感染症の診療を引き続き継続することが最大の課題です。また、引き続き内科医の増員についても取り組んでまいります。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

2）循環器内科（カテーテル部門）

循環器内科部長　松尾　浩志

1. 概要

循環器内科は常に救急医療においても重要な役割を担っています。24 時間 365 日救急対応可能にするためオンコール体制を整えております。

当院の特徴としては、昨今若手のみで治療が増えてきていますが当院は常に上級医による治療の体制となっており治療の質を高く維持しております。治療時間も短時間となっております。

また、昨今増加している下肢閉塞性動脈硬化症に対しても積極的に診療治療を施行しております。下肢壊疽や潰瘍といった重症虚血肢に対しては当院には形成外科による創傷治療センターがあり協力しながら診療にあたっております。

現在、当院は冠動脈に対する治療だけでなく下肢動脈に対する治療に関しても大阪有数の施設になっております。そして高度石灰化症例に対する特殊な治療器具を用いた治療に関しては全国でも有数の施設となっております。

松尾部長に関しては海外での治療、指導の依頼も多数あり国際交流も活発に行っております。

2. メンバー構成

福田貢（総長）・松尾浩志（循環器内科部長）・綾田健士（非常勤）

迫田慎一郎（非常勤）

3. 実績

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
総合カテ件数	978	943	1,199	1,728	1,626
PCI	362	313	458	662	704
末梢血管 EVT	150	164	192	307	279
ペースメーカー	38	32	117	187	289
ロータブレーター	25	23	88	171	119

4. 今後の目標

若手を集め、より地域医療に貢献出来るようにしていきたいと考えております。常に質の高い医療を提供できるように努めて参ります。全国有数の施設へと成長出来る様、努めて参ります。

3）消化器内科

消化器内科部長　浅野　耕吉

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1. 概要

当院内視鏡室では、消化管内視鏡検査・治療を施行しております。内視鏡適応症例に関しましては、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）をはじめとして食道拡張術、食道・胃静脈瘤に対する硬化療法など様々な治療を積極的に行っています。

又、消化管出血などの緊急性を有する処置に関しても止血術、異物除去をはじめとして、様々な治療を行っております。

下部消化器内視鏡検査では、ポリペクトミーや内視鏡的粘膜切除術（EMR）を日帰りで行っています。一括切除できない病変もしくは、出血リスクがあるポリープに対しては、入院治療を行っています。

胆膵領域では、閉塞性黄疸や化膿性胆管炎、癌の胆管狭窄・閉塞に対し内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）を行っております。

超音波内視鏡（EUS）、FNA 関連手技（EUS － FNA）を行っています。

日本消化器内視鏡学会の推奨する日本消化器内視鏡データベースプロジェクト（JED：他施設共同研究事業）にも参加しています。

その他内視鏡室では、安全な検査・治療を行うためにスコープ・処置具の洗浄消毒への取り組みに力を入れています。

2. メンバー構成

学会認定

部長　浅野　耕吉

医長　杉田　博二　　日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医
　　日本消化器内視鏡学会専門医

　　中島　ひろみ　日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医
　　日本消化器内視鏡学会専門医、日本超音波医学会専門医
　　日本ヘリコバクター学会感染症認定医

3. 実績（検査・治療実績）

上部消化管内視鏡検査	5,084 件
下部消化管内視鏡検査	2,498 件
ESD（上・下部含む）	84 件
ポリペク・EMR	619 件
硬化療法（EVL/EIS）	30 件
ERCP	323 件
止血術	121 件
超音波内視鏡 /EUS-FNA	130 件 /30 件

4. 今後の目標

患者様に対しより苦痛の少ない検査、質の高い検査・治療を目指していきたいと考えております。

4）呼吸器内科

副院長　石原　英樹

1. 概要

当院にはこれまでも呼吸器内科常勤医は常に在籍状態にあったのですが、呼吸器内科として正式に標榜するようになったのは 2016 年 4 月からとなります。肺癌に関しては腫瘍内科が診療の中心になるので、当科では主に肺癌以外の呼吸器疾患（COPD、間質性肺炎など）を診療しています。それに加えて、呼吸リハビリテーションチームとして、院内の呼吸管理のコンサルト業務もおこなっています。2018 年 4 月からは濱口眞成医師、2019 年 4 月から北田清吾医師が加わり , マンパワー的にも充実しつつあります。北田医師の加入に伴い、抗酸菌症の診療も充実しつつあります。

また、呼吸器内科・人工呼吸領域での学会活動も積極的におこなっています。

2020 年の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、当科と集中治療部を中心に中等症・重症患者の診療をになっています。特に ICU では、人工呼吸管理だけではなく ECMO 管理も含めた集学的治療を行っています。

2. メンバー構成

院長	原田博雅	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会指導医・専門医
副院長	石原英樹	日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
部長	北田清悟	日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医
医員	濵口眞成	日本内科学会総合内科認定内科医

3. 実績

《外来診療患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
665	509	633	569	565	568	655	600	661	698	591	528	7,242

4. 今後の目標

現在中河内地区で呼吸器内科を標榜している病院がほとんどないのが現状です。今後これらの地域を含めた呼吸器診療の一助になれるよう努力していく所存です。

5）腫瘍内科

腫瘍内科部長　瓜生恭章

1. 概要

血液腫瘍の診療が少ないため、腫瘍内科本来の臓器横断的な薬物療法ができていない現状が継続しております。消化器・呼吸器外科、肝臓センター、泌尿器科などの先生方に協力を得ながら加療を行っております。

当院には抗がん剤に精通したがん専門薬剤師が３名、及びがん薬物療法認定看護師１名が在籍しており質の高い治療を行っております。また看護部の協力もあり、化学療法がより安全確実に行えるようになりました。

2. メンバー構成

部長

瓜生　恭章　資格／日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医
日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医
専門分野／各種固形がん（肺がん、乳がん、胃がん、膵臓がんなど）

非常勤医師

洪　鉉寿　資格／日本臨床腫瘍学会　がん薬物療法専門医
日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医
日本血液学会専門医
専門分野／各種固形がん（肺がん、大腸がん、胃がん、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）

副部長（薬剤部兼任、臨床腫瘍センター専任副部長）

南野　智志　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副薬局長（薬剤部兼任）

草薙　みか　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副主任（薬剤部兼任）

山本　倫数　資格／日本医療薬学会がん専門薬剤師
専門分野／臨床薬理学

副主任（看護部兼任）

苗代　啓子　資格／がん薬物療法認定看護師
専門分野／がん看護

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

3. 実績

《がん化学療法施行件数（2020 年：外来診療患者数）》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
182	164	190	178	154	196	209	225	240	248	232	204	2,422

4. 今後の目標

市中病院でも標準治療を行えるように今後も努力していきます。

がん薬物療法を受ける患者様が安心して加療をできる環境を維持していきます。

6）血管透析科

透析センター長　申　勝

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管大動脈セ　61
形成外科美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1. 概要

2020 年は､常勤医師 2 名･非常勤医師 5 名 の診療体制となっています。また､看護師(11 名)、薬剤師 (兼任 3 名)、臨床工学技士 (兼任 4 名)、管理栄養士 (兼任 3 名)、医事課の透析スタッフが、入院と通院を合わせて約 110 名の透析患者様の対応をさせて頂いています。

センター関連の総入院患者数は継続して増加の方向にあり、昨年のべ 965 例の内訳は 男：女＝ 2.2：1, 平均年齢：72.7 歳 , 糖尿病有病率：55.6% , 年間救急搬送率：33.6%（324 件）でした。特に 75 歳以上の後期高齢者は、総入院患者数の 51.5%と半数以上を占め、救急搬送率：41.1%と高値を示しました。内科系：外科系＝ 2.5：1 と、内科系入院が全体の 71% を占めています。2020 年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に流行し、当施設でも感染防護の面で対応に追われました。

2012 年 4 月より当院においても CAPD 外来が開設され、2020 年 12 月末までに 55 名の方が腹膜透析を開始されました。12 月末時点で PD 終了者と他施設の通院患者を除く 10 名が、当院を通院し腹膜透析を継続されています。

経年的集計より透析センター関連での入院患者数と緊急透析数の増加を認めており、重症度に適合した対応をしています。2016 年より風水害対策としての地域防災連携協議会を当院でも開き、臨床工学技士を中心に多職種チームとして活動しています。万一の災害時には、迅速に広域的に展開していく方針です。

2. メンバー構成

透析センター診療担当医師

循環器診療担当：福田貢（循環器内科）　　集中治療室担当：石原英樹（呼吸器内科）
糖尿病診療担当：植田秀樹（糖尿病内科）　　透析室支援担当：寺川知良（泌尿器科非常勤）
血液透析主担当：申勝（血管･透析内科）　　透析室支援担当：三浦秀信（泌尿器科非常勤）
腹膜透析主担当：森ちさこ（腎臓･免疫内科）　　腎移植外来担当：未 登 録 （2021年3月 時点）

3. 実績

《透析センター月別患者数》（2020 年）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
透析患者数（月平均）	100.5	99.8	102.3	111.1	110.2	110.7	102.8	94.3	98.2	96.1	96.7	93.4	1216.1	101.3
新入院数	83	88	88	79	86	80	61	87	85	85	67	76	965	80.4
新規導入数	3	1	4	3	6	3	2	1	3	6	5	4	41	3.4
CAPD開始数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
シャント手術数	5	6	5	4	7	4	3	2	6	8	5	6	61	5.1
PDカテ留置数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
死亡者数	4	0	3	7	5	8	5	4	0	1	1	3	41	3.4

注 1：透析患者数には、当院への通院患者を含みます。新規導入数には、PD 患者も含みます。
注 2：新入院数は透析センターに紹介された患者の総数であり、腎不全患者なども含みます。
注 3：死亡者数は、腎代替療法を行い透析患者登録されたことのある患者の総死亡数です。

《診療科別入院透析患者数（のべ人数)》(2020 年)

内科系	総合内科	呼吸器	循環器	消化器	肝臓	腎臓(CAPD)	膠原病リウマチ	糖尿病代謝	血管(その他)	合計
科別人数	86	86	357	22	4	124	0	6	1	686

外科系	脳神経	呼吸器	心臓血管	消化器	肝臓	泌尿器	整形(リウマチ)	眼・耳・歯	形成(末梢)	合計
科別人数	33	6	57	39	16	14	35	14	65	279

注 4：複数科にまたがる場合は、入院時の主診療科にて登録しました。

《年齢別入院分類表》

	20 歳～65 歳未満の入院患者様（～20歳の入院なし） 208名(21.6%)	65 歳～75 歳未満の入院患者様（前期高齢者） 260名(26.9%)	75 歳以上の入院患者様（後期高齢者） 497名(51.5%)	透析センターに紹介された全ての入院患者様を対象（外来 or 紹介） 965名(100.0%)
男女比(男:女)	3.3：1	2.4：1	1.7：1	2.2：1
平均年齢	53.8歳	70.0歳	82.1歳	72.7歳
救急搬送率	24.0%	26.9%	41.1%	33.6%
糖尿病の有病率	60.6%	61.9%	50.1%	55.6%
ICU の入室率	15.9%	17.7%	17.3%	17.1%
緊急透析の有無	7.7%	5.8%	5.1%	5.8%
入院中 手術あり	32.7%	31.2%	25.8%	28.7%
入院中 カテあり	39.4%	37.7%	29.4%	33.8%
死亡率 入院時から一週間(168時間)	2.9%	4.2%	4.0%	3.8%

《年齢血液浄化表》

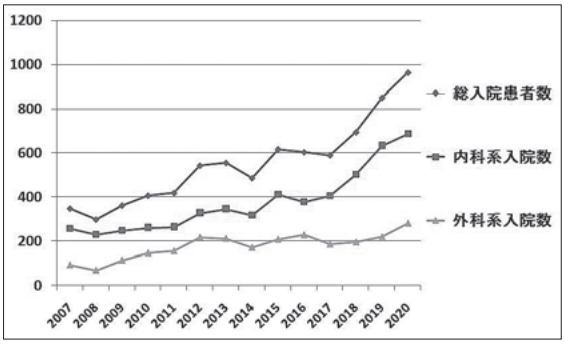
	20 歳～65 歳未満の入院患者様（～20歳の入院なし） 208名	65 歳～75 歳未満の入院患者様（前期高齢者） 260名	75 歳以上の入院患者様（後期高齢者） 497名	透析センターに紹介された入院患者様(全体)を対象(外来 or 紹介) 合計965名
緊急HD(初回時)	6	11	7	計24件
緊急CHDF(初回時)	10	4	18	計32件
CHDFの年間全件数(緊急/ICU/術後etc.)	19	18	50	計87件(のべ532回)
エンドトキシン吸着療法(PMX-DHP)	0	2	4	計6件(のべ7回)
血漿交換(PE)	0	1	1	計2件(のべ5回)
ビリルビン吸着療法	0	0	0	計0件(のべ0回)
LDLアフェレーシス	0	1	0	計1件(のべ6回)
血球吸着療法(LCAP、GCAP)	1	0	0	計1件(のべ1回)

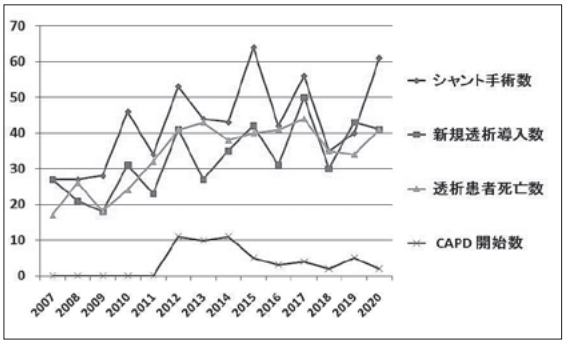
《病院全体での比較》

	病院全体での 年間入院患者様 （医事課の集計より） 10,645名（100%）	病院全体の年間 救急搬送後入院 （病院全体の31.9%） 3,391名（100%）	透析センター関連の 年間入院患者様 （病院全体の9.1%） 965名（100%）	透析センター関連の 年間救急搬送後入院 （病院全体の3.1%） 325名（100%）
男女比（男：女）	1.34：1	1.07：1	2.14：1	1.91：1
平均年齢（歳）	70.2歳	75.4歳	72.7歳	75.3歳
内科系入院数	6,430名（60.4%）	2,126名（62.7%）	686名（71.1%）	233名（71.7%）
外科系入院数	4,215名（39.6%）	1,265名（37.3%）	279名（28.9%）	92名（28.3%）

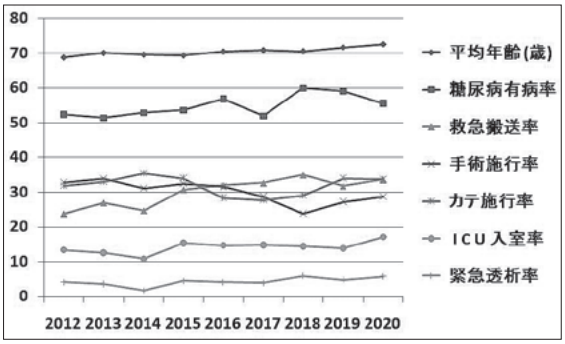
【病院救急搬送数】　年間 7,279 件（月平均 607 件）

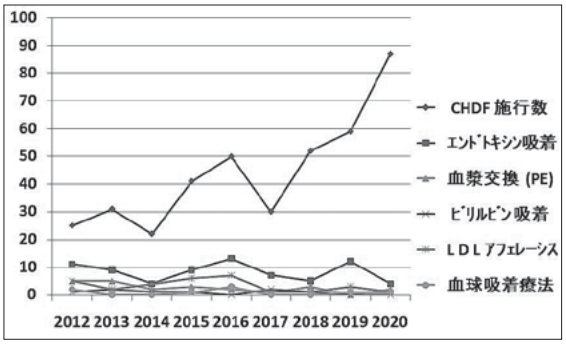
《透析年報グラフ》





《入院 - 浄化 - グラフ》





《週間当番表》

透析室 待機表	月	火	水	木	金	土
午前	申	森	申	寺川	申	寺川
午後	申	申	申	森	申	三浦
休日	申 （福田）	申 （石原）	申 （福田）	寺川 （石原）	申 （福田）	申 （三浦）

4. 今後の目標

近隣の先生方の御指導のもと、他施設および他診療科と協力して、より高度な集学的治療および看護を提供できるように更に整備して参ります。また、地域の腎不全患者様の 新規透析導入・入院加療・災害対策 の総合施設としての役割を担えるよう、スタッフ一同協力し引き続き努力していく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

7）腎臓内科

腎臓内科医長　森 ちさこ

1. 概要

2017 年 4 月から常勤医として働いています。2017 年 11 月より、前任の今田聰雄先生の患者様も引き継ぎ診させていただいています。腎炎、糖尿病性腎症などの腎不全を診ています。ご紹介をいただければ、予約なしでも可能なかぎり当日に診療させていただきます。当院の最大の特色は腹膜透析の導入・施行をしていることです。透析に至らないことが目標ですが、残念ながら腎不全に至った場合でも療法選択をすることができます。

2. メンバー構成

森ちさこ　日本内科学会認定医・日本透析学会専門医

外来診察日　火曜（午前）・木曜（午後）・金曜（午前）

3. 実績

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
151	153	126	144	118	153	154	175	154	203	157	185	1,873

単位：人

4. 今後の目標

近年の傾向として、糖尿病性腎症を主とした腎不全の患者、高齢、独居の患者さんが増えています。透析にならないことが最大の目標ですが、腎不全に至った場合でも、腹膜透析・血液透析・移植と 3 つの治療法を提案していきたいと思います。慢性疾患であるため、患者様の希望・意志を最優先に考えて診察させていただきたいと思っています。

腎機能は、障害が固定すると改善させるｚことはできません。早めの受診をよろしくお願いします。

8）糖尿病・代謝内科

糖尿病・代謝内科部長　石橋　里江子

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1. 概要

2020 年は新型コロナウイルス感染症による制約の中、地域の糖尿病診療を守るため試行錯誤の 1 年でした。糖尿病をもっていることがリスクであるとの報道を通じて不安が増幅され、受診を自粛しようという動きもごく一部にありましたが、概ね血糖管理の必要性をよく理解され外来診療に大きな混乱はありませんでした。チーム全体がより一層きめ細やかに患者様のケアにあたるよう意識を共有できたことも功を奏したと思われます。

当科は周術期血糖管理の依頼を数多く頂戴しますが、それまで未治療であったという患者様が後を絶たず、依然として大きな社会的課題です。

糖尿病教室は 3 月から 6 月にかけてコロナの影響で休止しました。7 月に再開し、8 月以降はオンライン講座に移行しました。画面越しでは伝わりにくい内容、空気感といったようなものを、これからも工夫を凝らしてカバーできるようにいたします。

例年 11 月 14 日に開催する世界糖尿病デーの院内イベント「世界糖尿病デー in YAOTOKU」も中止を余儀なくされましたが、啓蒙ポケットティッシュ 500 部を来院された皆様にお配りすることができました。

2021 年はインスリン発見から 100 年の節目を迎えます。イベントが再び開催できるよう期待したいところです。

2. 糖尿病ケアチーム構成メンバー　　＊＊日本糖尿病学会専門医　＊糖尿病療養指導士

【常勤医師】　石橋里江子＊＊（部長）　高原良典（総合内科医長）　植田秀樹＊＊
【保健師】　酒井菜穂子＊　藤井安希子　由留木千恵　大谷康仁
【管理栄養士】　佐藤友亮　藤田春菜　岸本真悠　古澤千波
【理学療法士】　服部玄徳＊　中田智里　雪井美穂
【薬剤師】　坂野千賀＊　森田亜記＊　栗野大輔＊　堀村光佐＊　草野早紀　角北美幸
【臨床検査技師】　高津美乃里＊　大前裕也　小林正弥
【臨床心理士】　八島麻美子
【看護師】　西田愛希　田中聖佳
【クラーク】　中井彩貴
【医事課】　近岡理加

3. 実績

・糖尿病外来延べ件数　8,189件/年
・糖尿病入院担当件数　343件/年　（教育入院70件含む）
・糖尿病教室　（公開医療講座）

月	テーマ	担当	講師	参加人数
1	糖尿病と歯周病	歯科医師	占部一彦	40
	血糖値　測ってみよう、考えてみよう	薬剤師	坂野千賀	40
2	糖尿病の急性合併症	内科医師	髙原良典	33
	糖尿病とこころ	臨床心理士	八島麻美子	33
7	糖尿病の食事療法～基礎編～	管理栄養士	佐藤友亮	13
	お家でできる！フットケア	保健師	藤井安希子	13
8	運動療法　実践編 ～有酸素運動について～	理学療法士	服部玄徳	21
	糖尿病の薬について	薬剤師	栗野大輔	18
9	糖尿病の合併症～細小血管症について～	糖尿病内科医師	植田秀樹	22
	糖尿病に関する検査データの見方	臨床検査技師	小林正弥	22
10	糖尿病性腎症の食事療法について	管理栄養士	岸本真悠	24
	秋の旬？？「えのき」にご注意！！	保健師	大谷康仁	21
12	糖尿病の医療費	医事課	川上祐理	22
	運動療法　実践編 ～自宅でできる！簡単レジスタンス運動～	理学療法士	小阪葵	22

4. 今後の目標

・チーム内で情報や新しい知見を十分に共有し、患者様が最適な治療を受けられるよう支援する

・地域からの紹介、地域への逆紹介、講演会を通じて病診連携を推進する

・チームメンバーがやりがいを持って活動できる環境をつくる

9）脳神経内科

脳神経内科部長　辰己　新水

1. 概要

脳神経内科疾患全般を扱っております。

2. メンバー構成

常　勤：辰己　新水　日本内科学会総合内科専門医
　　日本神経学会神経内科専門医

非常勤：武田　景敏
　　渡辺　徹也

3. 実績

主要な疾患は、下記の通りです。（辰己医師、2020 年 1 月～ 2020 年 12 月の期間の新規登録患者）

疾患カテゴリー	症例数	疾患カテゴリー	症例数
神経変性疾患	46	筋疾患	11
感染性神経疾患	13	神経筋接合部疾患	4
代謝・中毒性神経障害	28	末梢神経障害（脳神経障害を含む）	20
てんかん・けいれん	50		

4. 今後の目標

常勤医一人の体制でご迷惑をおかけするかもしれません。今後ともよろしくお願いいたします。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

10）内分泌内科

内分泌内科　顧問　山本智英

1. 概要

内分泌が取り扱う疾患の多くは、内分泌器官に発生した癌を除き罹患内分泌臓器に直接関係する症状に乏しい。例えば副腎不全例で、副腎が腫れている、副腎が痛むなどの訴えは皆無であり、その臓器が分泌するホルモンによる他の臓器系に対する影響により診断されることが多く、診断に至る key word を掴むことが難しい。一昨年、昨年に引き続き、新患として診断、治療を開始した例の多くは甲状腺、副腎、下垂体疾患であり、その他種々の内分泌、代謝異常症であった。

相談を受けた問題の種類が多く、診断と処置の裏付けのため内外のガイドライン等を調べることが多く、大変勉強になった。

2. メンバー構成

山本　智英　日本内分泌学会会員

3. 実績

a) 新患　209 例

疾患	例数
甲状腺結節（嚢胞を含む）	39
バセドウ病	23
甲状腺腫大疑い→否定	9
単純性甲状腺腫または腺腫様甲状腺腫	7
甲状腺のう胞、多発	6
原発性アルドステロン症（疑いを含む）	5
副甲状腺機能亢進症	5
不顕性副腎不全	5
血圧異常（起立性低血圧、易変動性、下肢高血圧）	5
多結節性甲状腺腫	5
無痛性甲状腺炎	3
橋本病（euthyroid）	2
偶発性副腎腫瘍	2

その他、クッシング病、プランマー病、亜急性甲状腺炎、Parkinson 病、眼瞼下垂、突眼、多汗症、骨粗鬆症、ベーチェット病、失神発作（Bezold-Jarisch 反射による）、しんどいは、各 1 例づつ。

b） 紹介元、院外（紹介状あり）119 例、院内 9 例

c） 内分泌負荷試験

低用量コートロシン試験	7 件
Head-up tilt test および Schellong 試験（能動的起立試験）	3 件
宵越しデキサメサゾン抑制試験	2 件
CRH 試験	1 件

4. 今後の目標

2019 年～ 2020 年も中河内地区の先生方より診断、治療に難渋する多数の症例を紹介していただき有難うございました。今後も引き続き内分泌、代謝異常疾患、更に全く捉えどころがなく、診断、治療に難渋されている疾患のお手伝いにお役に立ちたいと思います。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

11）膠原病リウマチ内科

膠原病リウマチ内科　吉崎　和幸

1. 概要

当診療科は2008年5月に発足した診療科で、13年が経過しました。内科疾患の中でも特に関節リウマチと全身性エリテマトーデスの様な膠原病・リウマチ疾患を中心に診療しています。その他、血管炎症症候群やベーチェット病、免疫不全症、キャッスルマン病、更に不明熱も診療しています。診断が困難な患者様もご紹介下さい。

2. メンバー構成

当診療科は医師のみならず、薬剤師や看護師、CRC、理学療法士、そして医師事務作業補助者とのチーム連携によって緻密な治療を包括的に行っています。患者様に「安心して生命をまかせられる医療」を提供できるよう日々精進しています。このため患者様は当診療科を安心、信頼して頂いた上でご受診下さっていると考えております。

診療担当医と外来診療日

吉崎和幸（非常勤）　: 水曜日（午前 9：00 － 12：00）

八木田正人（非常勤）: 金曜日（午前 9：00 － 12：00）

3. 実績

年月を経るごとに患者数が増加し、周辺医療機関にもその存在が定着しています（表1）。当診療科は、生物学的製剤治療を含めた先端医療を行っております。その結果、より高度で有効な治療を推進し、著しい治療効果が認められています。患者数の満足度は高く、安全性にも十分配慮しているので、患者様のほぼ全員が安心して本院での治療を継続しています。

現在、膠原病・リウマチ診療においては、東大阪、八尾、柏原地域の中心的診療病院として活動しております。このため、大阪市内の病院あるいは大学病院に通院していた患者様が当院に受診するようになっております。

4. 今後の目標

「免疫介入治療センター（仮称）」は原田病院長の援助のもと八尾徳洲会総合病院をはじめ、神戸、吹田徳洲会病院にも分室を設立し、徳洲会病院組織の共通治療センターとして展開できるよう努めております。また、八尾・神戸・吹田徳洲会病院合同の勉強会を開き、共通医療が出来る体制の構築を予定しており、より患者様にとって安全安心の医療をご提供できるよう努めていきます。

《表１　外来診療患者数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
2010年	133	124	137	163	120	153	188	151	182	164	171	156	1,842	153.5
2011年	176	161	209	170	173	194	182	186	194	171	183	179	2,178	181.5
2012年	194	194	182	196	198	181	203	213	161	193	195	169	2,279	189.9
2013年	213	228	250	248	263	256	291	216	266	252	271	252	3,006	250.5
2014年	192	167	200	186	204	175	191	209	173	240	186	210	2,333	194.4
2015年	204	200	186	196	202	208	238	204	237	214	203	175	2,467	205.6
2016年	210	212	240	227	221	223	230	206	217	192	206	235	2,619	218.3
2017年	205	210	229	235	228	225	215	229	263	244	249	281	2,813	234.4
2018年	275	245	287	244	279	264	258	272	268	285	278	252	3,207	267.3
2019年	259	243	257	250	258	241	295	284	260	318	252	286	3,203	266.9
2020年	252	253	243	263	220	198	245	199	242	197	192	206	2,710	225.8

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管大動脈セ　61
形成外科美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

12）小児科

小児科部長　石垣　早知子

1. 概要

今年も常勤医１人体制で継続診療中です。小児科としては多職種連携と情報交換の為に月１回院内小児科委員会を開催し、種々の問題に対応し、最新の小児科情報を共有しています。アレルギー学会準教育施設登録施設としてもアレルギーの勉強のできる対応を心がけております。

2. メンバー構成

一般外来の他、発達とアレルギー、心身症については月曜から土曜まで外来を行い併存疾患への対応も心がけています。アレルギー学会専門医や子どもの心の相談医、ICD（感染対策）等の資格を取得し、多岐にわたる患者様の診療を続け、入院患者様も受けいれています。また大阪医科大学より診療の援助を頂いています。月曜は松村先生（一般小児と小児腎外来と午後予防接種も担当）、木曜は新田先生、金曜は清水先生（毎週午前一般小児と小児循環器を主に第１、３金曜午後）、土曜は小武内先生（女性医師）、小児神経も土曜ほぼ毎週七里先生が担当しています。神原先生は火水の午後、木曜の夕診に主に心身症と発達心理等の予約診療を行い、東先生は月１回木曜の心身症の予約診療をしています。予防接種は月曜日午後と木曜夕診に行っています。金曜午後に乳児健診も行っています。

3. 実績

小児関連では他科との交流も盛んで、特に虫垂炎疑いなどの小児外科疾患については互いに連携しています。成人アレルギー疾患についても舌下免疫療法やアレルギー相談を中心として診療を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策が必要とされる現状に対しては、外来レイアウトの他、感染対策に留意し、通常外来運営を維持できるよう努力しています。

入院の受け入れは肺炎など一般疾患が中心ですが、時には心身症などの疾患も入院して加療を行っています。また引き続き医療だけでなく各種ケアも行っています。小児の言語発達遅滞など発達障害に対して言語聴覚士（ST）が評価および訓練を行っており、また小児心療内科として、臨床心理士３名（八島先生、朴先生、宮坂先生）がカウンセリングや心理治療を行っています。大阪府発達障がい支援施設の登録施設になったためもあり以前より成人の発達に対応しているリハビリ科とも連携しています。

小児科外来横には八尾市の委託事業でもある、もこもこ病児保育室があり、保育師とともに外来看護師が、看病できない保護者にかわって子どもたち（病児）のケアを例年年間 1000 人以上受け入れて行っています。今年は、新型コロナウイルス対策に留意し感染対策と受け入れ体制に工夫をしながら、できるだけ安全安心の病児保育受け入れをできるよう努力されています。院内の看護師、医師、コメディカルの就業支援にも役立っていますが、広く開放し育児支援の役割も担っています。参加している全国病児保育協議会は広く病児のために啓蒙活動しています。

そのほかリハビリテーション専門学校に小児科関連の講義に求めに応じて出張したりなど地

域の小児科関連での活動援助を行っています。

大阪健康安全基盤研究所（旧大阪公衆衛生研究所）と府、国の感染対策の連携も取り、感染症の定点報告機関としての役割を果たしています。中河内地区として、八尾市のみならず東大阪市や柏原市とも連携しています。環境感染学会など感染症関連学会にも所属し、ICD としても感染対策室とで新型インフルエンザ訓練などの院内外の感染対策に寄与しています。他に院内外の講習会で講演を行っています。徳洲会病院としても小児科部会として全国で交流し症例報告や外部からの講演会も行われています。

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
902	810	673	441	352	514	589	577	551	912	861	627	7,809

4. 今後の目標

今後も小児の心身の健康と成長に必要な小児診療を発展させ、新しい情報を保護者の為にも役立てたいと考えています。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

13）放射線科（診療部）

放射線科部長　津島　寿一

1. 概要

放射線科では、CT、MRI、RI、消化管造影、マンモグラフィーと一部の単純 X 線写真の読影、一部の消化管造影の施行、腹部四肢の血管造影と IVR、放射線治療を、主として担当しています。各診療科や、近隣の病院、診療所と連携して、各種画像診断、IVR や、放射線治療を、迅速かつ適切・正確に実施することに努めています。

スタッフの教育は、専門医会主催のミッドウィンターセミナー、ミッドサマーセミナーや、各種学会、研究会に積極的に参加し、最新の知識、技術を習得するように努めています。

2. メンバー構成

画像診断・IVR 部門：常勤医 3 名（岩崎聖、津島寿一、兵藤公一）、非常勤医 10 名。
放射線治療部門：常勤医 1 名（梶谷千香枝）、非常勤医 2 名。
上記のうち、診断専門医 10 名、IVR 専門医 2 名、治療専門医 3 名、検診マンモグラフィー読影認定医 4 名（従事 2 名）

3. 実績

① CT, MR, RI, GI の読影件数 約 35,000 件 / 年
年度・月により大きく変動がありますが、全体では毎年次増加傾向です。
② IVR 件数　90 件 / 年
③放射線治療（新患人数）150 人 / 年

4. 今後の目標

画像診断・IVR 部門では、常勤医のみならず、非常勤医や遠隔画像診断の協力体制もさらに強化しつつ、迅速な検査実施と、正確な読影に努めていく所存です。2 年前は頭腹部血管造影装置（DSA）が更新され、徳洲会グループで初となるバイプレーン・コーンビーム（CBCT）＋ IVR-CT が導入されました。

2021 年 1 月には 16 列 CT がキャノン 320 列に更新され、CAG は 2 台の新品に更新されています。

放射線治療部門では、2014 年 1 月から常勤の放射線治療専門医 1 名体制で行っていますが、引き続き大学からの応援と遠隔システムを利用し、安全で有効な放射線治療を各診療科と協力して遂行していきます。放射線技師や看護師などスタッフのさらなる充実と研修を行い、より高度な放射線治療も実施できるよう、体制を整えていきたいと考えています。

日本医学放射線学会専門医修練機関に認定されており、研修医の教育にも力を入れていきたいと考えています。

14）救急科

救急総合診療部医長　阿部　祐子

1. 概要

当院は、415 床の急性期病院として、年間 7,000 ～ 8,000 件の主に中河内地区を中心とした救急搬送を受け入れており、年々件数は増加している。

救急総合診療部は、当院方針である「断らない医療の実践」のため、24 時間を通して対応できる体制をとっている。

また、近隣施設より病診連携室経由で急性期疾患を紹介いただき救急搬送される場合は当科を窓口に受け入れ、積極的に初期対応を行っている。

2. メンバー構成

阿部　祐子　救急総合診療部医長

ICLS インストラクター、ABLS インストラクター

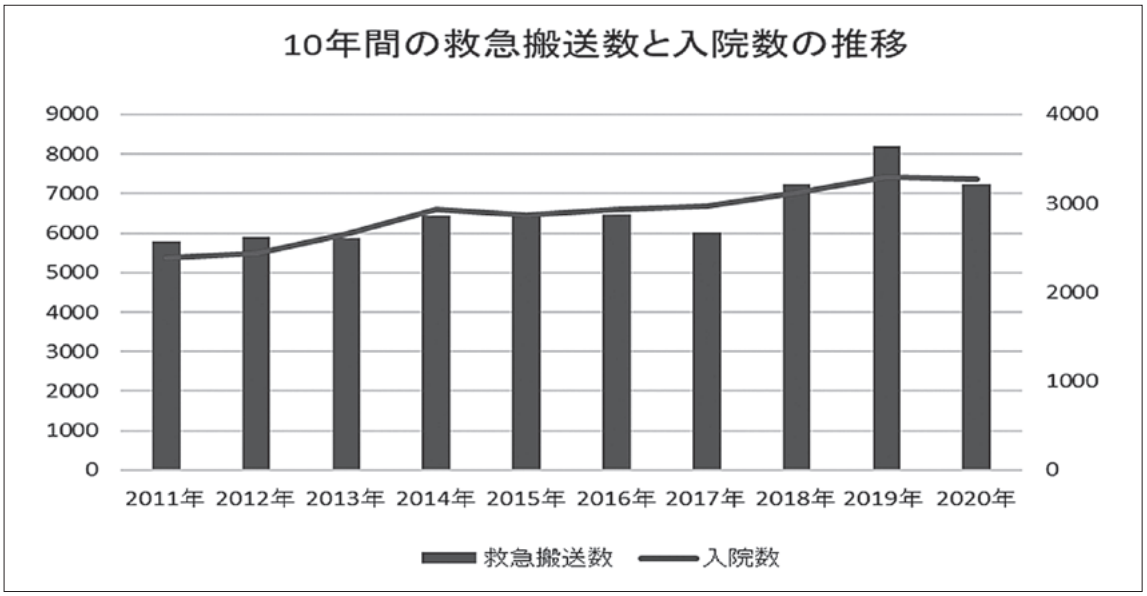
日本 DMAT 登録隊員、日本医師会認定産業医

3. 実績

救急搬送数は年々増加傾向にあるが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年より搬送数減少となった。

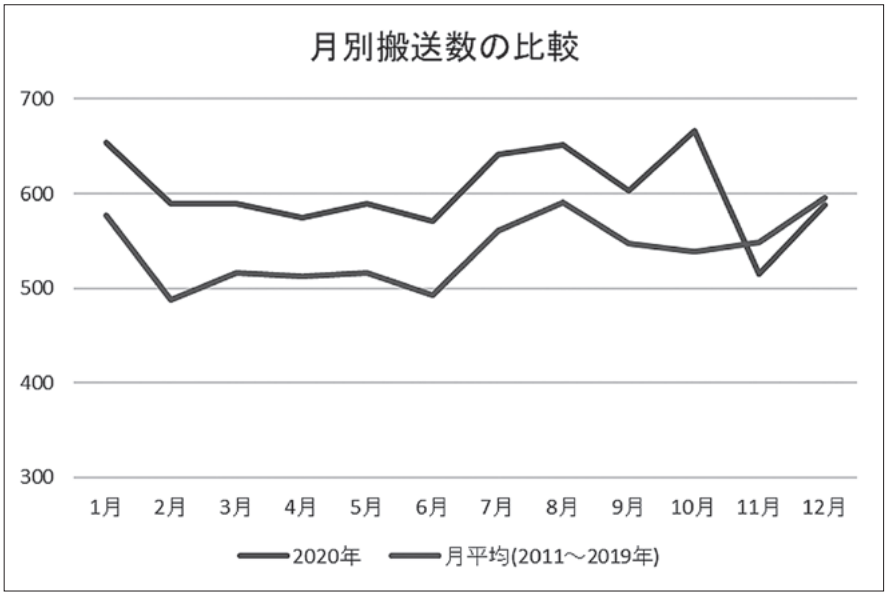
搬送数は減少したが入院率は上昇しており、中等症～重症患者の患者数が増えていると考えられる。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
救急搬送数	5,799	5,899	5,879	6,431	6,423	6,468	6,025	7,223	8,199	7,234
入院数	2,395	2,434	2,649	2,936	2,874	2,927	2,974	3,125	3,302	3,279
入院数 %	41.3	41.3	45.1	45.7	44.7	45.3	49.3	43.3	40.3	45.3



内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

また月別搬送数において、2011 年～ 2019 年の平均と比較しても増加傾向にあるが、11 月は当院内での新型コロナウイルス感染症の発生により救急受け入れを制限した結果と考える。



なお、ここでいう救急搬送数は、当院 2 階救急外来で受け入れし診察した件数である。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
搬送数	654	590	590	575	589	571	642	651	603	666	515	588
外傷搬送	139	126	115	109	113	147	31	127	45	200	138	163
紹介搬送	64	61	72	71	56	43	69	58	51	65	52	49
CPA搬送数	16	1	13	11	17	12	15	21	9	4	14	17

上記のように毎月約 10%、病診連携を通して他病院から各科への紹介救急搬送の初期対応を救急外来で行っている。

心肺停止症例は毎月約 10 例ほど搬送されており、年間で 3 例に人工心肺装置を装着している。

また心肺停止後からの蘇生後低酸素脳症に対し、積極的に脳低温療法を取り入れるようにしている。

4. 今後の目標

本年も昨年同様、「断らない医療の実践」を目標に、医療ガイドラインに沿った安全、安心の医療を提供するとともに、臨床研修指定病院として研修医の育成に励みたい。

また年々救急搬送件数が増加傾向にあり、救急医募集中である。

15）外　科

外科部長　村上　修

1. 概要

コロナ禍の中で消化管を中心に甲状腺乳腺ヘルニア、緊急手術などが多く低侵襲手術を積極的に行ってきました。高齢化社会の中で基礎疾患のあるリスクの高い悪性腫瘍の患者様が増加してきている印象でした。低侵襲治療として経肛門内視鏡手術の導入、手術合併症対策、緩和ケア、化学療法等含めた個別化医療をすすめてきました。地域中核病院として社会貢献し、手術件数はやや増加傾向となっております。女性医師が２人加わり、厚みのある外科診療ができるようになってきました。常勤医が不在であった徳之島徳洲会病院外科の応援を、一昨年夏から当病院で継続しております。他科とも連携して、教育にも力を入れ個人とチームの更なるレベルアップを進めていきたいと思います。

2. メンバー構成

村上　修　（部長）／日本外科学会専門医
遠藤　幸丈（部長）／日本外科学会専門医
豊田　亮　（医長）／日本外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医
垣本　佳士（医長）／日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、
日本がん治療認定医療機構認定医
大田　修平（医長）／日本外科学会専門医、日本がん治療認定医療機構認定医、
ACLS・BLS プロバイダー、Diploma in Tropical Medicine
松岡　信子（医長）／日本外科学会専門医、日本救急医学会専門医、
JATEC インストラクター、JPTEC プロバイダー、
ITLS プロバイダー、MCLS プロバイダー
堤　綾乃　／日本外科学会専門医、日本がん治療認定医療機構認定医
服部　彬　／日本外科学会専門医
友池　力　（専攻医）
八田　康佑（専攻医）

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

3. 実績

《外科手術件数》

	2018年	2019年	2020年
食道	6	6	6
胃切除・胃全摘（腹腔鏡下）	28	31	21
胃切除・胃全摘（開腹）	18	20	22
腹腔鏡下胆摘（四孔式）	193	214	196
腹腔鏡下胆摘（単孔式）	1	1	0
膵頭十二指腸切除	18	12	10
膵体尾部切除	6	6	8
肝切除	45	34	33
虫垂切除（腹腔鏡下）	82	69	83
虫垂切除（開腹）	9	3	4
結腸切除（腹腔鏡下）	59	70	85
結腸切除（開腹）	16	27	25
直腸切除・切断（腹腔鏡下）	50	46	25
直腸切除・切断（開腹）	18	14	1
ソケイ部ヘルニア修復（腹腔鏡）	128	105	85
ソケイ部ヘルニア修復（鼠径部切開）	22	17	41
肛門疾患（内痔核硬化療法等）	56	49	29
乳房腫瘤，乳癌	12	23	21
その他	365	408	389
呼吸器外科	109	100	89
手術件数	1,241	1,255	1,173

4. 今後の目標

患者様の利益の為、QOL 向上の為に正しい手術、周術期管理を丁寧に行っていきます。そして、救急疾患をはじめ癌の包括的な治療まで、地域医療の充実のために外科医としての責務を果たしていきます。

また、個々に成長することも目標とし、学会活動も積極的に行っていきます。

16）整形外科

整形外科部長　當麻　俊彦

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管大動脈セ　61
形成外科美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1. 概要

スタッフ 4 名で日々の整形外科診療にあたっております。外来は午前診が毎日、夕診は週 2 日（火・木）の 2 診体制で行っております。整形外科当直を行い、救急診療科と連携して 365 日 24 時間体制で整形外科救急疾患の受け入れを、また、麻酔科の協力を得て緊急手術の受け入れ態勢を整えております。入院されました患者様は 44 床の整形外科病棟（6 階西）で治療にあたっております。

スタッフ人員減にともないパワーダウンは否めませんが、手術件数は 2020 年は年間 970 件でした。骨折・外傷疾患の手術が多く、中でも高齢者の骨折手術が多くみられ、合併症を持つ患者様もできるだけ受傷前の状態に回復できるように院内他科、および近隣の回復期リハビリ病院様の協力も得て手術治療を行っております。また、人工関節手術は年間 47 例（股関節 22 例、膝関節 25 例）、脊椎外科手術は 151 例の手術をこなし、手外科症例は 279 例と安定した成績をあげております。

また､患者様のニーズに応えるべく専門外来も開設しております。長谷川が骨粗鬆症外来(毎週木曜日 10:00 ～ 12:00）を、當麻は脊椎外来（毎週木曜日 10:00 ～ 12:00、予約制）を、土肥は手の外科・四肢外傷外来（毎週月曜日 14:00 ～ 16:00、予約制）を担当しております。

2. メンバー構成

顧問	長谷川　潔	専門：人工関節外科、骨粗鬆症
診療部長	當麻　俊彦	専門：脊椎外科、災害医療
医長	土肥　義浩	専門：手外科
医長	三木　秀賢	専門：人工関節外科

3. 実績

《手術件数》

分野	各手術	コメント	件数
脊椎 1	1 頚椎後方	形成術、除圧術、ヘルニア摘出術	12
		固定	6
	2 頚椎前方	除圧	0
		固定	2
	3 胸腰椎後方	形成術、除圧術、ヘルニア摘出術	64
		固定（椎体間固定、後側方固定）	50
	4 胸腰椎前方	除圧	0
		固定	2
	5 胸腰椎（前方+後方）	前方+後方同時手術	0
	6 脊椎腫瘍手術		0
	7 脊椎外傷手術		0
	8 抜鋼術		7
	9 その他の手術	BKP、感染など	8
合計			151

分野	各手術	コメント	件数
骨盤 2	1 骨盤骨折観血的整復固定術		0
	2 抜鋼術		1
	3 その他の手術		1
合計			2
股関節 , 大腿骨 3	1 大腿骨頸部骨折 観血的整復固定術	内側骨折・転子間骨折など	45
	2 大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術	人工骨頭	55
	3 大腿骨骨幹部骨折観血的整復固定術		96
	4 人工股関節置換術（初回 THA）	初回例です	22
	5 人工関節・骨接合材料の抜去病巣郭清術	病巣郭清	1
	6 人工股関節置換術（再置換術）	再置換例です	0
	7 臼蓋形成術（Shelf, Chiari, RAO など）		0
	8 小児股関節脱臼手術		0
	9 抜鋼術		2
	10 その他の手術		5
合計			226
膝関節 , 下腿骨 4	1 膝関節周辺骨折（膝蓋骨も含む）	膝蓋骨骨折	19
	2 下腿骨骨折観血的手術		14
	3 人工膝関節置換術（初回 TKA）	初回例です	25
	4 人工膝関節置換術（再置換術）	再置換例です	1
	5 人工関節・骨接合材料の抜去病巣郭清術	病巣郭清	1
	6 関節鏡（簡単なもの）	検査を主体とするもの	0
	7 関節鏡（複雑なもの）	半月板・滑膜切除など	6
	8 靭帯再建術（鏡下も含む）	陳旧例に対する再建術	0
	9 高位脛骨骨切り術		0
	10 抜鋼術		21
	11 その他の手術		2
合計			89
足関節 , 足部 5	1 足関節周辺骨折観血的整復固定術	踵骨骨折も含む	31
	2 足趾骨折観血的整復固定術		6
	3 人工足関節置換術		0
	4 足関節固定術		0
	5 足関節滑膜切除術		0
	6 アキレス腱縫合術		2
	7 足関節周辺靱帯縫合 , 再建術		0
	8 外反母趾手術		0
	9 足趾関節形成術	（外反母趾を除く）	0
	10 先天奇形手術		0
	11 内反足手術		0
	12 抜鋼術		20
	13 その他の手術		1
合計			60
鎖骨 , 肩関節 6	1 鎖骨・肩鎖関節周辺外傷に関する手術	骨折と靱帯損傷の修復手術	21
上腕	2 上腕骨頚部骨折観血的整復固定術	骨接合術	8
	3 上腕骨骨折観血的整復固定術	頚部骨折以外の症例	22
	4 人工肩関節置換術		0
	5 肩板断裂手術		0
	6 反復性脱臼手術		0
	7 抜鋼術		31
	8 その他の手術		3
合計			85
肘関節 , 前腕 7	1 肘関節周辺骨折観血的整復固定術	Montegia 骨折を含む	24
	2 前腕骨骨折観血的整復固定術		6

分野	各手術	コメント	件数
	3 肘関節滑膜切除術 , 関節形成術		2
	4 人工肘関節置換術		0
	5 抜鋼術		11
	6 その他の手術		14
合計			57
手関節 , 手 8	1 手関節周辺の観血的整復固定術	コーレス骨折，手根骨骨折を含む	71
	2 手指の骨折・靱帯損傷手術	骨折・靱帯手術	46
	3 手関節滑膜切除術 , 関節受動・形成術	手根骨部分固定も含む	12
	4 指関節滑膜切除術 , 関節受動・形成術		6
	5 腱鞘切開術	バネ指，デケルバンなど	29
	6 腱縫合術・移植・移行・腱剥離術	腱の手術	17
	7 重度外傷手術	再接着含む	1
	8 抜鋼術		51
	9 その他の手術		11
合計			244
神経の手術 9	1 尺骨神経剥離術（前方移行 ,King 等）		4
	2 手根管解放術（正中神経剥離術）		26
	3 梨状筋症候群手術		0
	4 その他 剥離 , 縫合 , 移植（上肢）		5
	5 その他 剥離 , 縫合 , 移植（下肢）		0
合計			35
腫瘍の手術 10	1 骨腫瘍 良性　四肢		0
	2 骨腫瘍 悪性　四肢		0
	3 骨腫瘍 良性　脊椎・骨盤・躯幹		1
	4 骨腫瘍 悪性　脊椎・骨盤・躯幹		1
	5 骨腫瘍生検術		0
	6 軟部腫瘍 良性　四肢		5
	7 軟部腫瘍 悪性　四肢		0
	8 軟部腫瘍 良性　脊髄		4
	9 軟部腫瘍 悪性　脊髄		0
	10 軟部腫瘍生検術		0
合計			11
筋性斜頸 11	1 腱切り術		0
植皮 , 移植 12	1 複合組織移植 , 遊離皮弁		0
	2 有茎皮弁		7
	3 遊離植皮		2
合計			9
四肢切断術 13	1 上肢	手指を除く	0
	2 手指		0
	3 下肢	足趾を除く	0
	4 足趾		0
	5 その他の部位		0
合計			0
その他の手術 14	1 上記に分類されない手術		1
total　手術件数			970

4. 今後の目標

地域の基幹病院として外傷のほかに変性疾患等への対応に力を入れるだけでなく、研修会開催等にて近隣整形外科病院・クリニックの先生方との交流を深める機会を設けて病診連携機能の強化を図っております。また、公開医療講座、健康祭等にて整形外科疾患の治療・予防に関する情報を地域の方々に発信していきます。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

17）脳神経外科

脳神経外科部長　吉村　政樹

1. 概要

われわれ脳神経外科は脳および脊髄を守ることを目的としています。突然の麻痺や呂律障害で発症する脳卒中の方の救急対応をはじめ、顔や手足の痛み・しびれ感や、ふらつきなどの症状がある方に対して、脳から脊椎脊髄疾患を想定した診断と治療を提供します。

脳卒中では、ホットライン対応により、急性期脳卒中の受け入れを 24 時間体勢で行なっています。一次脳卒中センターとして、超急性期血行再開通療法（t-PA 静注療法および血栓回収療法）を積極的に行なっています。脳動脈瘤や血管狭窄症に対しては、外科治療と血管内治療の適応を適切に判断し治療に当っています。

脊椎疾患においては、顕微鏡手術による神経への愛護的手技を行なうと共に、筋組織へのダメージが少ない低侵襲手術により、神経機能回復と筋運動機能温存の両立を目指しています。2018 年からは最小侵襲手技である内視鏡下腰椎椎間板手術を開始し、痛みの少ない治療を提供しています。

高難度な頭蓋底腫瘍手術や下垂体腺腫など、当院としては希少な疾患の手術では、大阪市立大学脳神経外科と連携し、共同で対応できるよう体制を整えています。

2. メンバー構成

副 院 長：鶴野　卓史　日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、
　　日本脳卒中の外科学会技術指導医
部　　長：吉村　政樹　日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、
　　日本脳卒中の外科技術認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医、
　　日本脊髄外科学会認定医
医　　員：中西　勇太　日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医
医　　員：宇田　裕史　日本脳神経外科学会専門医（2020 年 4 月～）
医　　員：神崎　智行　日本脳神経外科学会専修医（2020 年 4 月～ 12 月）
医　　員：下本地　航　日本脳神経外科学会専修医（2021 年 1 月～）

3. 実績

《入院患者数》 805 例（2020 年）

《手術件数》 2020 年

術　式	件数	術式	件数
頭部疾患関連外科手術（合計）	133	脊椎疾患手術（合計）	47
動脈瘤開頭手術	3	頸椎前方除圧術	9
開頭脳内血腫除去術	16	頸椎後方除圧・固定術	16
頸動脈血栓内膜剥離術（CEA）	8	胸椎・腰椎後方除圧術	12
脳血管バイパス手術	1	内視鏡下腰椎手術	10
開頭腫瘍摘出術	14		
内視鏡下腫瘍生検術	1	血管内手術（合計）	92
頭部外傷　開頭術	14	急性期再開通療法	50
慢性硬膜下血腫穿頭ドレナージ術	49	コイル塞栓術	26
水頭症手術	16	頭頸部血管形成術	14
頭蓋形成術	2	動脈塞栓術	2
気管切開術	6		
埋込型心電図移植術	1		
その他	2		
		合計	272

4. 今後の目標

適切な診断と、適切な治療適応の判断を徹底し、それぞれの患者様に最も適したやさしい治療をモットーに診療します。顕微鏡手術は外視鏡手術への移行を検討中です。内視鏡手術、血管内手術も充実させて参ります。超急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法および血栓回収療法については、ER や放射線科、ME スタッフのご協力の下、安定した治療サービスの提供が行えるようになっております。DSA 室に麻酔機も設置して頂き、コイル塞栓術などでより安全な治療を提供できるようになりました。脳卒中ホットライン、院内脳外科ホットライン（PHS3150）を設置して 24 時間 365 日脳卒中対応させて頂きます。今後は Stroke Care Unit（SCU）開設へ向けて取り組んで参ります。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

18）心臓血管外科・大動脈センター

心臓血管外科　診療主任部長・大動脈センター長　内田　直里

1. 概要

新体制3年目を迎えました。2020年4月から岸和田徳洲会病院、心臓血管外科の薦岡部長が当院に赴任し、また徳島日赤病院から平田医長を迎え、3人体制での診療が再スタートしました。

緊急の心臓血管手術が可能となり、特に大動脈解離・破裂、急性冠動脈症候群などの一刻を争う緊急手術も行うことができるようになりました。また薦岡部長が中心となり、大動脈ステントグラフト治療が飛躍的に伸び、僧帽弁手術の右小開胸手術も導入し、心臓血管外科領域における低侵襲治療を発展させることができました。その結果、手術症例数は全体で300例を越えることができ、八尾・中河内地区の心臓血管外科の拠点施設としてなんとか確立できたのではないかと自負しています。

本年は、ハイブリッド手術室が稼動します。より高度で低侵襲な循環器治療を行うべく、循環器内科と共同し発展させて行く所存でございます。

2. メンバー構成

顧　　問：酒井　敬

主任部長：内田直里　1963年広島大学卒業
外科専門医・指導医、心臓血管外科学会専門医・修練指導医、
ステントグラフト指導医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医
European Association Cardiothoracic Surgery; Assistant Editor

部　　長：薦岡成年　2003年防衛医科大学卒業
外科専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医、脈管専門医、
ステントグラフト指導医、TAVI指導医

医　　長：平田昌敬　2005年京都大学卒業
外科専門医、心臓血管外科専門医、循環器専門医、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

3. 実績

手術件数

	症例数			2020 年 手術死亡	2020 年 病院死亡	2020 年　備考
	2018 年	2019 年	2020 年			
心臓血管外科手術						
1. 先天性心疾患		2	1			
2. 弁膜症手術	9	43	56	2		大動脈弁　39 例 僧帽弁　　18 例 不整脈手術 5 例併設
3. 冠動脈疾患	5	21	36			全例心拍動手術
4. 胸部大動脈	6	17	53	1	1	ステントグラフト 31 例
5. 腹部大動脈	18	41	59		1	ステントグラフト 40 例
6. 末梢血管手術	42	70	132			動脈 59 例、静脈 73 例
7. 不整脈手術	2	2	5			僧帽弁手術に併設
8. その他	3	2	4			
計	85	198	322	3	2	

心臓胸部大動脈手術						
1. 先天性心疾患		2	1			
2. 弁膜症手術	9	43	56	2		
3. 冠動脈疾患	5	21	36			
4. 胸部大動脈	6	17	53	1	1	
5. 不整脈手術	2	2	5			
6. その他			4			
Total	22	85	131	3	1	

4. 今後の目標

八尾･中河内地区で初めての弁膜症に対するカテーテル治療の稼動を第一目標としています。ついで循環器ドクターカーの再稼働が第二の目標です。2 つの目標を達成すべく、大動脈センターを心臓血管センターに改名して、循環器内科と心臓血管外科が一体となって、他診療科とコメディカルとの連携を強化し、八尾・中河内地区の循環器系での地域医療に貢献したいと考えています。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

19）形成外科・美容外科

形成外科・美容外科部長　綾部　忍

1. 概要

当科は、常勤 4 名で診療しています。2008 年より日本形成外科学会認定施設、現在は大阪市立大学形成外科の専門研修連携施設となっています。

当科の特徴としては「創傷治療」が挙げられます。

2009 年から米国足病医と連携し「創傷ケアセンター」を開設しました。特に閉塞性動脈硬化症に伴う下肢創傷の治療に力を入れています。潰瘍・壊疽などの創傷治療だけでなく、distal bypass 術（自家静脈を使用した足首付近までのバイパス術）を含めた血行再建も形成外科で積極的に行っています。血管内治療（カテーテル治療）は循環器内科で行っており、最近では足首より末梢まで血管を拡張できるようになりました。術後の潰瘍や創傷治療には積極的に陰圧閉鎖療法（NPWT）を取り入れることで、より早期の離床・退院を可能にしています。

当科では装具療法にも力を入れています。他院で数回にわたる手術を受けたにもかかわらず治癒しない潰瘍でも適切なフットウェアを装着することで治癒に至る場合もあります。糖尿病や透析をされている患者様では複数の施設で連携して治療を行うのが一般的ですが、当院では関連他科の協力の結果すべての治療を行うことができ、このような施設は全国的にもほとんど見られません。

2015 年から、日本であまり行われていない「糖尿病足変形（シャルコー足など）に対する Surgical Offloading」を開始しました。足の変形に対して装具療法を行いますが、それにもかかわらず潰瘍形成を繰り返してしまう患者様に変形を矯正する手術を行うことで良好な結果を得ています。

読売新聞社より発売された「病院の実力 2014」では、血流の回復と組み合わせて傷の治療を行った患者数が全国 3 位となっており、最近では大阪府外（滋賀・三重・奈良・兵庫・和歌山）からもご紹介いただけるようになりました。糖尿病・透析患者様も多数受診され、他院で足を切断するように言われた方も歩いて帰っていただけるようチーム一丸となり治療しています。

顔面の皮膚癌、特に基底細胞癌の治療では「modified dermis graft 法」で皮膚欠損部の再建を行っています。2014 年に当院が初めて報告した方法で、周囲に新たな瘢痕を残さないことが特徴で整容的に優れており、自身で論文を検索し関東からも来院されるようになりました。

眼窩底骨折の手術では皮膚に傷を残さない「経結膜切開法」を採用しています。

2011 年より「美容外科」も開設しました。しみ・しわ・たるみ・脱毛のレーザー治療、ハイドロキノンやトレチノイン外用剤を用いた美白治療なども行っています（自費診療）。

手術件数は大学病院などと比較すると多くはありませんが、患者様一人一人に対し丁寧で質の高い治療を行うよう心掛けています。

また当院は、大阪市立大学附属病院の関連病院として運営しているため、大学病院及び大学関連病院と連携をはかり、患者様にとって最良の医療を提供することが可能となっています。

2. メンバー構成

綾部忍・谷畑充梓・入潮実季・福村崇の 4 名で診療を行っています。

3. 実績

2020 年度　形成外科　年間の疾患大分類別手術手技数

集計期間　2020 年 1 月 1 日～ 2020 年 12 月 31 日

形成外科　新患者数　　891 名

形成外科　入院患者数　278 名

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	31	0	9	2	5	75	122
先天異常	1	0	0	0	0	1	2
腫瘍	18	0	16	0	2	359	395
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	0	0	0	0	0	10	10
難治性潰瘍	50	75	71	0	0	7	203
炎症・変性疾患	12	0	11	0	8	48	79
美容（手術）	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	0	61	0	0	49	113
Extra レーザー治療	0	0	0	0	0	0	0
計	115	75	168	2	15	549	924

4. 今後の目標

一般形成外科治療に加え、当科の特徴である創傷治療の分野でより高い専門性を目指し、地域貢献できればと考えています。引き続き学会発表や誌上発表も積極的に行っていきます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管大動脈セ　61
形成外科美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

20）呼吸器外科

呼吸器外科部長　市橋　良夫

1. 概要

当科は、原発性肺癌、転移性肺癌、気胸、膿胸などの外科的治療を基本として治療を行っている。胸腔鏡を用いて安全で低侵襲な手術を行い、患者様に寄り添う治療を心がけている。

2. メンバー構成

市橋　良夫（常勤）　日本外科学会専門医
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医

花岡　伸治（非常勤）　大阪医科大学附属病院　特任教授　呼吸器外科科長
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医・指導医・代議員
日本肺癌学会評議員

佐藤　澄（非常勤）　大阪医科大学附属病院　講師
日本外科学会専門医・指導医
呼吸器外科専門医合同委員会　呼吸器外科専門医

武田　翔（非常勤）　大阪医科大学附属病院　レジデント

豊原　功侍（非常勤）　大阪医科大学附属病院　レジデント

3. 実績

2020 年の呼吸器外科全身麻酔手術症例は 86 例

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
116	73	107	98	83	147	157	167	151	185	157	180	1,621

4. 今後の目標

外科的治療の限界を拡大させ、安全で低侵襲な治療を目指す。

21）小児外科

小児外科部長　木村　拓也

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

1. 概要

2020 年は、当院で小児外科開設後、節目となる 10 年目となりました。しかしながら世界中見渡しても、新型コロナで受診控えが進み、日常の医療が変化した 1 年だったと思います。たくさんの病院で、救急患者の受け入れが困難となり、内視鏡などの健康診断が止まりました。当院では早期より、新型コロナ患者を受け入れ、院内のあらゆるところで、日常の診療に対する影響を考慮した対策を施してきました。その結果、小児領域も可能な限り救急対応が必要な患児の受け入れを積極的に行ってきました。それでも、受診控えの影響か、本年の手術症例は例年と比較し、激減しております。

当院は 4 年前より日本小児外科学会の教育関連施設（大阪大学小児成育外科学教室が母体）として認定され、若手の外科医が専門医取得を目指せる環境となりました。当院外科は新たな専門医制度のもと、基幹施設として認定されています。それに伴い、若い人材も増えて、指導体制を整えております。また当科では、昨年より 3 人体制となり、小児外科領域の救急症例も引き続き積極的に受け入れていきたいと考えております。

新型コロナの影響で､残念ながら年間の全身麻酔手術症例数が 100 例を大幅に切りましたが､決して受け入れを断っているわけではありません。2020 年 4 － 5 月は不要不急な手術は可能な限り伸ばすように指導を受け、その後は各病院、クリニックで小児の受診控えが進み、紹介患児はかなり減少しました。今後は新型コロナと共存していく社会を見据え､地域の「こども」たちに傷が目立たない鏡視下手術を導入し、最新で低侵襲な治療を安全に提供できているため頑張りたいと思います。

小児医療を担う次世代が育つように、またそれに伴い病棟には子供たちの笑顔があふれるように、安全に標準医療が提供できるように頑張っていきたいと思います。

2. メンバー構成

部長：木村拓也（平成 7 年）

資格：日本外科学会認定医、専門医、指導医、日本小児外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、指導医、日本総合診療医学会認定医、日本臨床栄養代謝学会認定医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、指導医、日本移植学会認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、日本臨床栄養代謝学会評議員、近畿外科学会評議員、近畿小児外科学会評議員、ICT ドクター、外科系プログラム責任者、NST 委員長、JCI 委員長、臨床研修指導者、臨床研修プログラム責任者

医長：山中宏晃（平成 14 年）

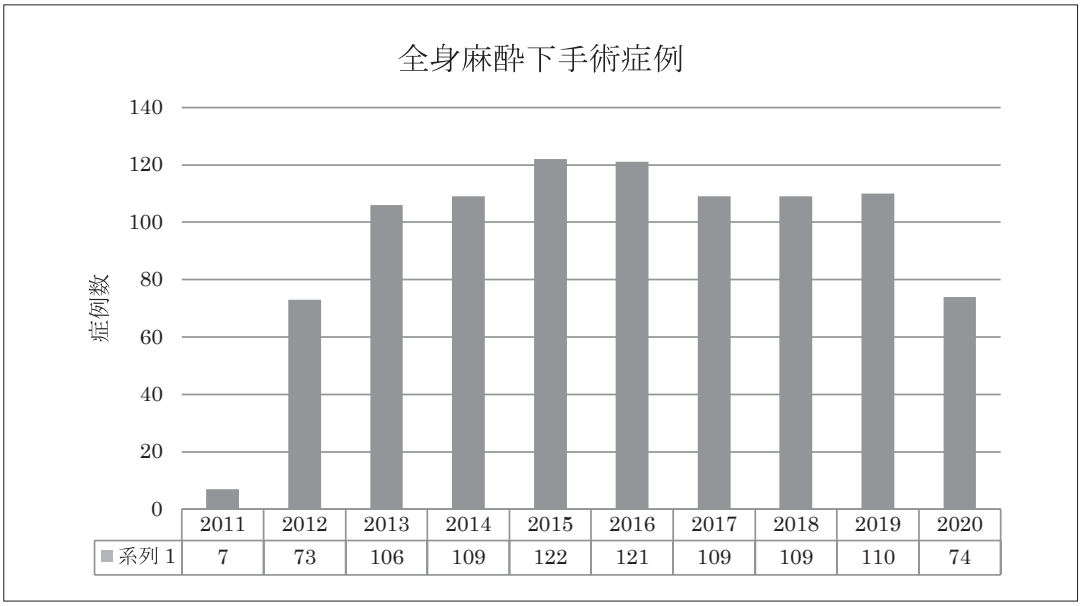
資格：外科専門医

医員：河島茉澄（平成 20 年）

資格：外科専門医、日本小児外科学会専門医

3. 実績

手術数の推移（2020 年度：110 例）



2020 年の手術に関する主な内容：合計 74 例

・体表疾患

舌小帯：1 例

・胸部疾患（3 例）

気胸のブラ切除：2 例

Nuss バー抜去（漏斗胸）：1 例

・腹部疾患

鼠径ヘルニア

高位結紮：13 例

単孔式腹腔鏡手術（LPEC）：15 例

急性虫垂炎：13 例（全例単孔式腹腔鏡手術）

臍ヘルニア：4 例

Nissen 噴門形成術：0 例

肛門ポリープ：1 例（経肛門的摘出術）

消失精巣：2 例

ヒルシュスプリング病：1 例

・生殖器、泌尿器科疾患

停留精巣：15 例

外尿道腫瘍：1 例

卵巣捻転：1 例

4. 今後の目標

2021 年も 3 人体制を維持し、地域に根ざし、地域の子供たちを守るだけではなく、広域で子供たちの治療を安全に継続可能な体制を作ります。新型コロナと共存していく社会で、新たな様式を模索しながら、小児外科特有の救急疾患に関しても可能な限り対応していきます。こどもの治療で悩んだら、何でもご相談ください。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

22）歯科・歯科口腔外科

歯科・歯科口腔外科部長　占部　一彦

1. 概要

歯科口腔外科は、部長:占部一彦（2006 年 4 月赴任)、医員:中川記世子（2019 年 7 月赴任)、藤多健（2020 年 6 月赴任）の 3 名体制で診療にあたっています。八尾市・東大阪市・大阪市平野区・柏原市内の医院・歯科医院との病診連携をおこなっており、紹介率 30％以上を維持しています。

2008 年度より地域歯科支援病院の認定をうけ地域医療に貢献できますように体制づくりをすすめています。

診療内容としては、親知らずの抜歯・腫瘍・粘膜疾患・顎変形症・顎顔面外傷などの手術を中心に、顎関節症などの治療や近歯科医院より依頼をうけた全身疾患をもつ患者様の一般歯科治療などもおこなっています。

当院は、大阪大学歯学部第一口腔外科の関連病院として運営していますので、当科で加療が困難な疾患に関しては、大阪大学および他の大学関連病院と連携をはかり対応しています。また日本口腔外科学会の準関連研修施設認定もうけています。診療特徴としては、下記の内容が挙げられます。

1）抗凝固剤服用中の患者様への対応

抜歯などの小手術は、基本的にワーファリン等の抗凝固薬・抗血小板薬の服用は休薬なしでおこなっています。

抗凝固薬　：基本的に休薬なし（場合によって減量）で 1（～ 2）泊の入院下で処置・止血管理をおこないます。

抗血小板薬：基本的に休薬なしで外来処置室にて小手術をおこないます。

2）入院下での埋伏智歯抜歯

埋伏智歯抜歯術は、歯肉切開や骨削除をおこなって抜歯するのですがかなり腫脹をともなう処置になります。それが数本ある患者様の場合には､腫脹がその都度ともなうことになります。そこで入院管理下で全身麻酔下にて抜歯をおこなうことで 1 本抜歯に対する時間が短くすみ数本まとめて抜歯することができます。また術後点滴をおこなうことで疼痛コントロール・感染予防をおこなうことで 1 回の腫脹ですませることができます。当院では木曜午後入院、金曜手術し日曜日午前退院の予定でおこなっています。

3）コロナウイルス感染症の拡大がとまらない状況下ではありますが、感染予防策を講じて日々診療にあたっております。現時点で、スタッフの感染・クラスターの発生はありません。

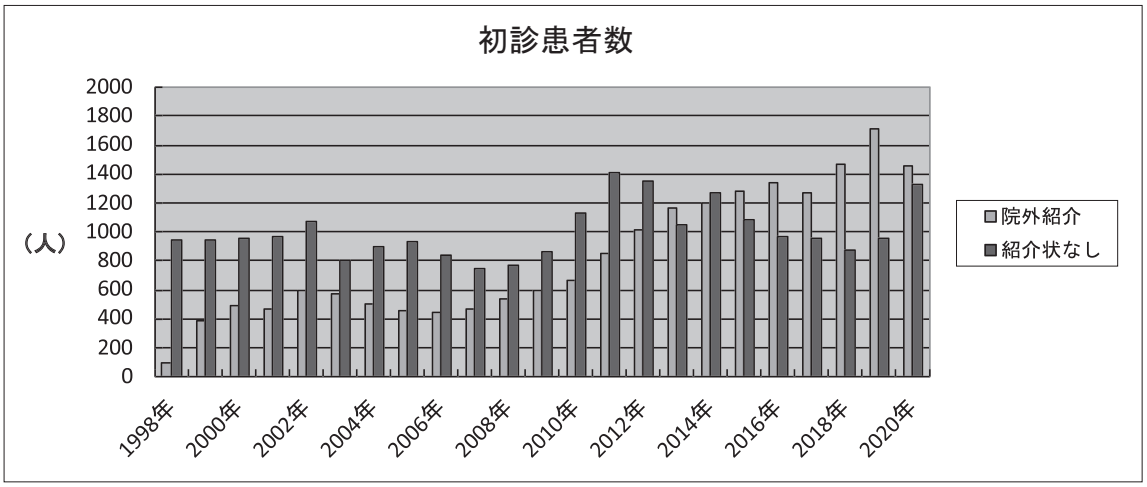
2. メンバー構成

部長：占部一彦（歯学博士）　　日本口腔外科学会専門医
医長：中川記世子（歯学博士）　日本口腔外科学会認定医
医員：藤多　健（歯学博士）

3. 実績

《初診患者数推移》

	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
院外紹介	95	386	493	472	590	576	506	453	443	467	538	590	662	846	1,017	1,160	1,205	1,276	1,341	1,266	1,468	1,716	1,456
紹介状なし	945	945	961	970	1,070	809	900	932	834	752	775	866	1,134	1,406	1,355	1,051	1,264	1,088	973	959	871	955	1,333



《外来手術例》

手術名	件数
骨性埋伏智歯抜歯	421
難抜歯	293
単純抜歯	913
歯根端切除 / 歯根嚢胞摘出術	142
口腔内・外消炎処置	44
腐骨除去術	8
口腔内外創傷処置	13
舌腫瘍摘出術	9
顎関節脱臼非観血的整復術	13
唾石除去術	4
歯肉腫瘍摘出術	13
粘液嚢胞摘出術	15
上顎洞口腔瘻閉鎖術	22
その他	264
合計	2,174

《入院手術例》

手術名	件数
埋伏歯抜歯	183
抜歯（止血異常）	89
歯根端切除 / 歯根嚢胞摘出術	38
顎骨腫瘍摘出術	45
口腔内・外消炎手術	9
上･下顎骨･頬骨骨折観血的整復術	14
腐骨除去術	22
抜釘術	9
舌腫瘍摘出	9
顎変形症手術	1
骨隆起形成術	9
その他	5
合計	433

4. 今後の目標

救急病院の特徴として、炎症性疾患や外傷性疾患の救急対応が多いため、より迅速に対応できるように体制を構築し、地域医療に貢献できるよう力をいれていきたいと思っています。

また医科歯科連携にて周術期口腔機能管理もおこなっていますが、より対象疾患の拡大をおこなって患者様の入院期間の短縮に貢献していきたいと思います。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

23）泌尿器科

泌尿器科部長　金丸　知寛

1. 概要

2020 年はスタッフの異動はなく、飯盛前部長が当院の副院長に就任したのを機に、私が本年 11 月、泌尿器科部長に新たに就任いたしました。

2020 年も、昨年までと同様、泌尿器科領域の幅広い手術を行っておりました。

部長である私は腹腔鏡手術が専門で、腎臓、副腎、尿管、膀胱の悪性腫瘍手術は、ほぼ全て腹腔鏡手術で行っております。当科の特徴として、腎盂尿管癌における腹腔鏡下腎尿管全摘除術の下部尿管の処理・膀胱部分切除を、従来であれば下腹部切開で行うところを、積極的に完全腹腔鏡下で行うよう努めております。また、腹腔鏡下膀胱全摘除術における回腸導管造設術も、従来であれば開腹術で行うところ、積極的に完全腹腔鏡下の腔内回腸導管造設術を行っております。このような取り組みが、患者様の術後の早期回復や早期退院、合併症の軽減に寄与していると思われます。

2. メンバー構成

副院長　飯盛宏記　日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医
部長　　金丸知寛　日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会・技術認定医
　　日本透析医学会専門医
医員　　香山侑弘　日本泌尿器科学会専門医・指導医

3. 実績

昨年手術総数　343 件

主な手術件数（腹腔鏡、内視鏡手術を中心に）

《手術内容》

開腹手術 腹腔鏡手術	腹腔鏡下腎摘除術	5
	腹腔鏡下腎尿管全摘除術	9
	腹腔鏡下腎部分切除術	6
	腹腔鏡下膀胱全摘除術腔内回腸導管造設術	7
	腹腔鏡下副腎摘除術	2
	腹腔鏡下尿管切石術	1
	腹腔鏡下後腹膜リンパ節摘除術	2
経尿道的手術	経尿道的尿管砕石術	89
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	58
	経尿道的前立腺切除術	12
ESWL	体外衝撃波結石破砕術	30

《外来患者数》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1,229	1,124	1,245	1,054	1,064	1,195	1,208	1,198	1,249	1,312	1,142	1,232	14,252

4. 今後の目標

2021 年度、当院ではロボット手術を導入する計画が進められております。泌尿器科はロボット手術が最も進んでいる科であり、もし導入された場合は、今までは関連の大学病院に紹介していた前立腺癌のロボット手術なども、当院で行っていく予定です。八尾市には現段階でロボット手術を導入している病院がなく、当科がますます、当地域の医療の発展により貢献できるよう、誠心誠意取り組んでいきたいと思っております。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

24）眼科

眼科　在田　稔章

1. 概要

現在３名の常勤医師、非常勤医師数名により外来診療および手術を行っております。午前診察は初診および予約診療を行っております。午後はレーザー等の処置や時間のかかる検査が必要な患者様の予約診療を主として行っております。

当院で行っている手術は、網膜硝子体手術、白内障手術、外眼部手術が中心です。網膜硝子体手術は、硝子体手術用機械（コンステレーション アルコン社製）、硝子体手術用広角観察システム（リサイト カールツァイス社製）および眼科手術用顕微鏡（Lumera700　カールツァイス社製）を使用しており、小切開硝子体手術を行っております。本年度、疾患としては、硝子体出血、黄斑円孔、黄斑上膜、水晶体・眼内レンズ脱臼などを行いました。

白内障手術は、日帰りもしくは入院で行っております。当院での白内障手術の特徴は褐色白内障、過熟白内障といった進行した白内障手術が多い点です。眼内レンズ強膜内固定術や眼内レンズ縫着術等の眼内レンズ関連手術も積極的に行っております。また、角膜乱視の矯正の為に、トーリック眼内レンズを使用した白内障手術も行っております。

外眼部手術に関しては、眼瞼下垂症、内反症などに対する眼形成手術や、翼状片手術、脂肪ヘルニアに対する手術、眼瞼皮膚腫瘍切除術などを行っております。

加齢黄斑変性症や網膜静脈閉塞症に合併した黄斑浮腫に対しては、抗 VEGF 薬の硝子体内注射を通院にて行っております。また、糖尿病網膜症に対する汎網膜光凝固術や急性緑内障発作に対するレーザー虹彩切開術、後発白内障に対する YAG レーザーなど、各種レーザー治療も行っております。

八尾市、柏原市、東大阪市、松原市、大阪市平野区の先生方に於かれましては、いつも貴重な患者様をご紹介頂きまして誠にありがとうございます。今後とも病診連携を通じて地域医療に貢献させていただければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

2. メンバー構成

（常勤医師）

在田稔章　（医員）　日本眼科学会専門医

茶木俊光　（医員）

宮木俊哉　（医員）

（非常勤医師）

森下　清太

石崎　典彦

大学応援医師

3. 実績

手術件数（集計期間：2020 年 1 月～ 2020 年 12 月）

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
98	95	101	66	23	82	77	88	95	141	112	113	1,091

（単位：件）

≪手術件数≫　2020 年 1 月 1 日～ 2020 年 12 月 31 日
計 1,097 件　（うち白内障手術 840 件　硝子体手術 28 件　硝子体注射 229 件）

4. 今後の目標

地域の患者様からより一層頼りにされるような病院を目指し、地域医療に貢献して参ります。
引き続きご支援を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

25）麻 酔 科

麻酔科部長　谷　仁介

1. 概要

当院は日本麻酔科学会の認定病院に指定され、3 名の麻酔科常勤医師と複数名の非常勤麻酔科医師で運営しています。常勤麻酔科医師は、全員が厚生労働省認定の麻酔科標榜医資格を有し、2 名の部長は日本麻酔科学会認定の麻酔科指導医・専門医資格を取得し、日々の麻酔業務に取り組んでいます。また、手術を受ける患者様の安全を第一に考え、本邦における標準的な全身麻酔を実践することを当科の方針としています。そして、現在大きな問題となっている新型コロナウイルス感染症に対しても十分な対策を取り、安心して手術、麻酔を受けていただけるようにしていますので麻酔に関しては我々にお任せ下さい。

2. メンバー構成

部長　谷　仁介　　（日本麻酔科学会指導医・専門医）
部長　池下　和敏　（日本麻酔科学会指導医・専門医、医学博士）
医員　桑田　繁宗　（日本麻酔科学会認定医）

3. 実績

2020 年の麻酔科管理手術件数は 2,708 件でした。

《年齢別》

0 － 5 歳	6 － 18 歳	19 － 65 歳	66 － 85 歳	86 歳以上
9 件	44 件	990 件	1,371 件	205 件

《手術部位別》

開頭・頸動脈	開胸	心臓・大血管	開胸＋開腹	胸腹壁
74 件	85 件	223 件	3 件	232 件

上腹部	下腹部	頭頸部	脊椎	股関節・四肢
416 件	510 件	379 件	160 件	632 件

4. 今後の目標

24 時間 365 日、感染症に対して十分な対策を取り、いつでも患者様を受け入れ、常に安全な手術麻酔を提供させていただきます。また、最先端の手術に柔軟に対応し、患者様がいつでも安心して手術を受けられる病院を目指します。

26）肝臓センター

肝臓センター長　松田　康雄
肝臓外科部長　木村　拓也

1. 概要

2020年は新型コロナで始まり、新型コロナで苦しんだ1年でした。世界中見渡しても、新型コロナで受診控えが進み、日常の医療が変化した1年だったと思います。たくさんの病院で、救急患者の受け入れが困難となり、内視鏡などの健康診断が止まりました。当院では早期より、新型コロナ患者を受け入れ、院内のあらゆるところで、日常の診療に対する影響を考慮した対策を施してきました。その結果、肝胆膵領域の検査、治療、手術の受け入れも比較的スムーズにできたと思います。手術症例も例年と同等の症例で推移できました。

肝臓センターでは肝胆膵領域の悪性疾患を中心に、その他急性肝炎、慢性肝炎、ウィルス性肝炎、アルコール性肝炎、膵炎などを中心に治療を行っており、中河内地区に根差し、10年目の節目を迎えました。主には、近隣施設より閉塞性黄疸、急性肝炎、慢性肝炎、肝胆膵領域の悪性疾患を紹介され、積極的に治療を行っています。

診断には、積極的に最新技術を導入し、EUS、ERCP、造影エコーなど多数行っています。また治療は血管合併切除などの超拡大手術から腹腔鏡手術などの低侵襲治療を行っており、ガイドラインを参考に患者様に優しい、患者様の目線に立った治療を常に考慮しています。

現在5人体制で診療に従事しており、センターとして診断、治療内容に広がりを持たせることが可能となっています。また外科系診療科で一致団結し、昨年度より、新専門医制度に対応し、当院は外科の基幹施設として認定され、後期研修医の研修が開始となっています。

以下、肝臓センターとしての活動内容を中心に記載する。

肝臓センターの肝胆膵外科部門は、感染対策部門とリンクし、外科（肝胆膵外科、消化器外科、小児外科など）の感染対策、特に創部感染に対する対策を推進し、手術部位感染（SSI）は減少しています。また栄養状態不良患者は、手術に対するリスクとなるため、NSTとリンクし、栄養管理を推進しながら外科治療を導入し、成績向上に寄与しています。

本年は、JCI（アメリカの病院評価機能）を取得するため、外科系すべての手術に関する同意書、説明書、術前術後管理の統一（クリニカルパスの導入率向上）を新たに一新し、導入できたので、多くの項目で標準化できました。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

2. メンバー構成

・松田康雄：肝臓センター顧問

資　　格：日本外科学会専門医・指導医、消化器外科学会専門医・指導医、超音波学会専門医・指導医、医療安全委員長

・木村拓也（平成7年）：肝胆膵外科部長

資　　格：日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本小児外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医･指導医､日本総合診療医学会認定医､日本臨床栄養代謝学会認定医、肝臓学会認定肝臓専門医・指導医、日本移植学会認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本病態栄養学会評議員、日本臨床栄養代謝学会評議員､近畿外科学会評議員､近畿小児外科学会評議員､感染制御医師（ICT）、外科系プログラム責任者、NST 委員長、TNT 講習、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、臨床研修医指導者講習、臨床研修プログラム責任者講習

・鯉田五月（平成7年）：肝臓内科部長

資　　格：日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医、TNT 講習、PEACE プロジェクト緩和ケア講習

・井上雅文（平成11年）：医長

資　　格：日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、近畿外科学会評議員、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、臨床研修医指導者講習

・松岡伸英（平成15年）：医長

資　　格：日本外科学会専門医、PEACE プロジェクト緩和ケア講習、近畿外科学会評議員

3. 実績

1）肝臓外科

肝臓外科にて 2020 年に実施した手術は計 348 件で、引き続き増加傾向にある。2012 年より導入した腹腔鏡下肝臓手術も安定し、在院期間も短く安全に施行できている。2018 年より、肝臓の葉切除、すなわち右葉切除や左葉切除に対しても、日本肝胆膵外科学会、日本内視鏡外科学会の前向き症例登録に参加し、倫理委員会を介して開始した。2020 年は腹腔鏡下葉切除を 4 例に導入し、早期に退院となり、問題なく安全に導入しえた。肝臓手術全体では 31 例とほぼ例年と同様だが、C 型肝炎の内科治療普及により、今後肝細胞癌は減少していくと予想される。

肝細胞癌に対する焼灼療法は 40 例と大幅に増加した。そのうちラジオ波治療は 12 例で、マイクロ波治療は 28 例とマイクロ波による焼灼療法が増加してきた。マイクロ波による焼灼療法は少し広めの焼灼が可能で､また短時間で終了するため､患者様の負担も軽減可能である。

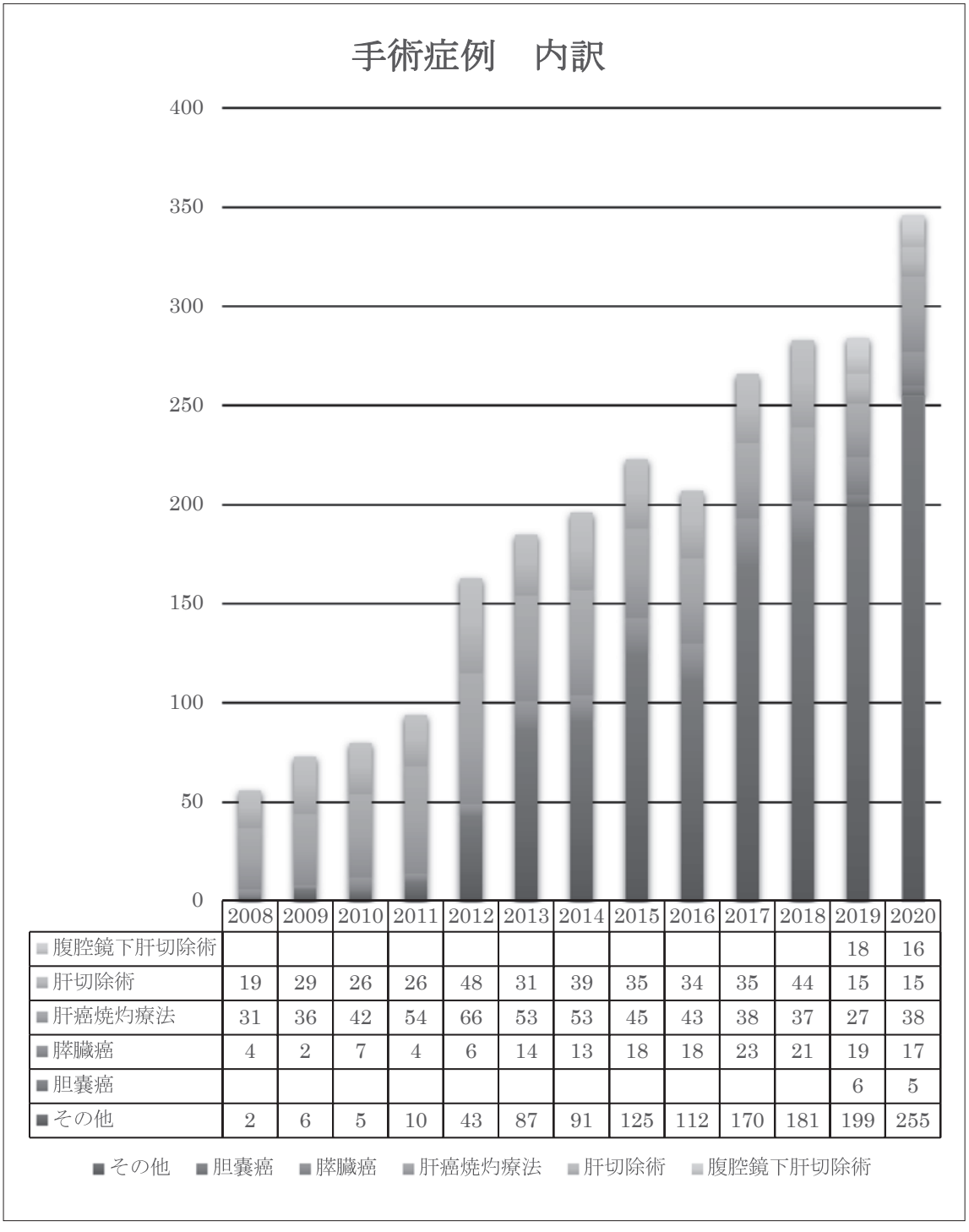
また胆道拡張症に対し、腹腔鏡下手術を導入しているが、本年も 1 例に施行し得た。

膵癌、中下部胆管癌に対する膵頭十二指腸切除例や膵体尾部切除は 17 件で、横ばいである。今年も血行再建を多数行っているが、血管系の合併症はなく安全に施行できている。また昨年より、術前化学療法を導入し、中長期成績の改善が望まれる。

2013年より腹腔鏡下膵体尾部切除を導入した。今年も1例に施行し､脾臓温存術式を導入し､

安全に完遂できた。

図に過去の肝臓外科（肝胆道外科）手術実績の推移を示した。年々手術件数は増加しているが、2020 年も多数の手術を行った。



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
■腹腔鏡下肝切除術												18	16
■肝切除術	19	29	26	26	48	31	39	35	34	35	44	15	15
■肝癌焼灼療法	31	36	42	54	66	53	53	45	43	38	37	27	38
■膵臓癌	4	2	7	4	6	14	13	18	18	23	21	19	17
■胆嚢癌												6	5
■その他	2	6	5	10	43	87	91	125	112	170	181	199	255

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管大動脈セ　61
形成外科美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

2）肝臓内科

・慢性肝炎

慢性B型肝炎

抗ウイルス薬である核酸アナログ製剤（エンテカビル、テノホビル）による治療を行っている。その他、院内で抗がん剤投与前には、De novo 肝炎のモニタリングも行っている。

慢性 C 型肝炎、代償性肝硬変　非代償性肝硬変

ゲノタイプ 1 型 2 型に対する IFN フリー内服治療（DAA：Direct Acting Antivirals）をパンジェノタイプの DAA 治療を 15 例に投与し重篤な合併症もなく、全例ウイルス陰性化率を達成した。また徳洲会グループとして、C 型肝炎サーベイランスを開始し、C 型肝炎患者の拾い上げを行っている。

・肝細胞癌

本年も放射線医との連携し肝細胞癌に対してカテーテル治療を行い、肝動脈化学塞栓療法（TACE）19 例施行、また肝細胞癌破裂に対する緊急止血術（3 例）を施行した。

切除不能肝細胞癌に対して分子標的薬であるレンバチニブを 5 例に導入し、安全に治療を施行した。副作用の発現頻度が高いため、そのマネジメントが重要である。また抗 PD―L1 抗体であるアテゾリマブと分子標的薬であるババシズマブが適応となり 3 例導入したが、まだ重篤な副作用は経験していない。その特性より、自己免疫疾患や、間質性肺炎など、副作用のモニタリングに中止しながら、今後も症例を増やす予定である。

・肝硬変

肝硬変の難治性腹水に対して新規利尿薬であるサムスカ使用を積極的に行い、腹水減少による症状改善症例を認めている。また耐用性がある症例では､外科とタイアップし､デンバーシャントも積極的に導入している。

肝性脳症の治療は合成二糖類、BCAA 製剤、カルニチンなどなどあるが難治性の脳症も散見される。腸内でのアンモニア産生菌に作用しアンモニア産生抑制する難吸収性リファマイシン系抗菌薬の治療を使用し肝性脳症発症は減少している。脾腎シャントによる難治性肝性脳症に対して BRTO による治療を導入し、良好な結果を得た。

4. 今後の目標

本年も昨年同様、手術症例を確保し、安全、安心の医療を提供していきます。

肝胆膵領域に腹腔鏡手術による低侵襲治療を導入し、安全にできている。今後は適応を広げたくさんの患者様が安心して当院で治療を受けられる体制を維持し、医療ガイドラインに沿った治療を実践しながら、術後成績の向上ならびに、手術症例の増加を維持します。

また新専門医制度導入に伴う施設認定の維持に努め､後期研修医の確保を目指していきます。

27）皮膚科

皮膚科医長　梶本　敦子

1. 概要

当科では、薬疹、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、その他の湿疹、尋常性乾癬、水疱症、掌蹠膿疱症、円形脱毛症などの各疾患、白癬症、ヘルペス感染症、尋常性疣贅、尋常性ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、感染性粉瘤、尖圭コンジローマ・梅毒（STD）などの皮膚感染症、および皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、熱傷（保存的治療可能な 、主に SDB まで）、男性型脱毛症（自費診療）などを診療しております。

検査としましては、金属パッチテスト、皮膚生検による病理検査、RAST 測定によるアレルギー検査等を行っております。

日光角化症、基底細胞癌、表皮内有棘細胞癌に関しましては、ダーモスコピーによる視診のうえ疑わしいものは部分生検を行い、確定診断のついた場合は当院形成外科に手術をお願いしております。

一方で、浸潤癌および悪性黒色腫（メラノーマ）、乳房外パジェット病や、尋常性乾癬に対する生物学的製剤による治療を必要あるいはご希望される症例や患者様に対しましては大阪市立大学へ紹介しております。

※尋常性白斑、尋常性乾癬、いずれの疾患にも紫外線療法は施行しておりません。

※第 3 木曜日を除く平日は梶本、毎週土曜日は大阪市大医局員（非常勤医師）が診察をしております。

2. メンバー構成

常　勤　梶本敦子

非常勤　大阪市立大学からの派遣医師

3. 実績

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
471	394	419	357	396	524	503	408	502	457	383	418	5,232

4. 今後の目標

症例として、皮膚疾患は慢性的に経過するものが多い傾向にあります。また、良性疾患であっても完治には副作用のつよい治療しか無いケースもあるので、一方的に治療を勧めるのでは無く、各々の患者様のライフスタイルに合わせた治療をモットーにしております。その為、初診には時間をかけてお話をお伺いし、満足のいくコミュニケーションを取った上での診察を心掛けております。又、病院の特性として、多様な診療科がありますので、連携して治療にあたることが可能です。今年も何卒よろしくお願いいたします。

内　科 26
循環器内 33
消化器内 34
呼吸器内 35
腫瘍内科 36
血管透析 38
腎臓内科 41
糖尿病 代謝内科 42
脳神経内 44
内分泌内 45
膠原リウ 47
小児科 49
放射診科 51
救急科 52
外　科 54
整形外科 56
脳神経外 59
心臓血管 大動脈セ 61
形成外科 美容外科 63
呼吸器外 65
小児外科 66
歯　科 歯科口腔 69
泌尿器科 71
眼　科 73
麻酔科 75
肝臓セン 76
皮膚科 80
婦人科 81
耳鼻咽喉 82
リハビリ 83
病理診断 84

28）婦人科

婦人科部長　田村　明彦

1. 概要

当科では、一般的な産婦人科診療や悪性腫瘍に対して集学的治療を実施しています。

＜主な診療対象疾患＞

①婦人科悪性腫瘍、婦人科良性腫瘍

②不妊・内分泌疾患

③女性の加齢に伴う疾患、性器の位置・形態異常、炎症性疾患

④妊娠初期健診、妊婦健診および羊水染色体検査

等、婦人科全領域および一部の産科領域について診療を実施しています。

＊当院では分娩についての取扱いは行っておりませんが、妊娠初期検査から妊娠中（分娩前）の妊婦健診等の一部の周産期管理、ならびに流産・妊娠中絶手術を実施しています。

診療方針

特に、婦人科悪性腫瘍に対しては、手術を中心とした集学的治療を実施しています。

＊集学的治療とは手術療法・化学療法・放射線療法を併用して根治を目指す治療の事です。

また、婦人科良性腫瘍に対しては、QOL を十分に配慮し、主に症候性適応や病理組織学的な精査が必要な場合に手術療法（開腹術・腹腔鏡下手術）を実施し、精査や治療を実施しています。

2. メンバー構成

田村明彦（常勤）　日本産科婦人科専門医

松岡達也（非常勤）日本産科婦人科専門医

3. 手術実績（2020 年 01 月～ 12 月）

開腹術）　47 症例

悪性腫瘍）　子宮：11 症例

卵巣：11 症例

良性腫瘍）　子宮・卵巣・その他：25 症例

経膣的）　63 症例

子宮頸部円錐切除：16 症例

子宮内膜部位別掻爬術：25 症例

子宮脱・膀胱下垂等：7 症例

その他の経膣手術：10 例

腹腔鏡下手術）　5 例

4. 今後の目標

診療対象疾患は上記記載どおりです。

＊不妊に対しては準備が整い次第、体外受精・胚移植法等の生殖補助技術を実施する予定です。

患者さんにとって高度で、安心・安全な産婦人科医療の実践を心掛けております。

29）耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科医長　森　彰之

1. 概要

2020 年は新型コロナウイルス感染症もあり、院内感染を起こさぬよう、安全な一般診療を行う事を念頭に日々診察を行ってまいりました。緊急事態宣言下では歯科と共に感染リスクの高い診療科として、一時的に予約外診療をお断りする事となり患者様に大変ご迷惑をおかけいたしました。幸いにも皆様にご協力いただき、外来での院内感染を起こさずに診療を継続する事ができております。今年も同様に新型コロナウイルス感染症との戦いは続きますが、昨年の経験を生かし、安心して安全に診察にお越しいただけるよう対応・対策をしております。入院や手術も適応・重症度を検討し治療にあたっています。

一般診療では以下の疾患を主に診察しております。

・鼻：鼻腔異物、アレルギー性鼻炎、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、鼻出血など
・耳：耳垢栓塞、外耳炎、外耳道異物、急性中耳炎、慢性中耳炎、突発性難聴、老人性難聴、顔面神経麻痺、ハント症候群、メニエール病・前庭神経炎等の内耳性めまいなど
・のど：咽頭異物、急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、急性咽頭炎、急性喉頭蓋炎、声帯ポリープなど。

耳鳴りおよび補聴器についての特殊外来で対応しています。
成人のスギ、ダニに対する舌下免疫療法も開始いたしました。
外来、入院患者様の嚥下機能検査およびリハビリテーションも対応しております。
甲状腺疾患は当科では診察を行っておらず、専門機関に紹介しております。

入院は急性炎症や突発性難聴・顔面神経麻痺などのステロイド治療、めまい症など。
手術は就学児童以上を対象としております。
副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻内手術、鼻閉改善手術、扁桃摘出術、アデノイド切除術、声帯ポリープ切除術、鼓膜チュービング術などを症例の重症度を検討し行っております。
中耳、内耳手術や唾液腺手術、悪性腫瘍に関しては高次施設に紹介いたします。

2. メンバー構成

森　彰之（常勤）

3. 実績

《外来患者数》

1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
391	381	367	281	223	318	357	336	357	405	359	333	4,108

4. 今後の目標

耳鼻咽喉科医が常勤している施設は八尾市では八尾市立病院だけでしたが、今後は当院も入院・手術での対応を行っていき地域医療に貢献していきたいと思います。

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

30）リハビリテーション科（診療部）

リハビリテーション科部長　田中　尚

1. 概要

当科は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士とともに、機能や能力を評価し、リスク管理をしながら、リハビリ計画を立てて訓練を行っています。各診療科、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士らとも回診やカンファレンスを行い、チーム医療を実践しています。

対象となる分野は広く、脳血管等（小児の発達障害を含む）、運動器、心大血管、呼吸、がん、廃用症候群といった領域のリハビリを行っています。当院は、急性期病院ですので急性期に特化したリハビリを行っていることが特徴で、早期の自宅退院を目指します。

当科では、脳神経領域のリハビリを得意としています。具体的には、脳卒中、頭部外傷、認知症といった患者様の神経心理学的検査やリハビリを行っています。専門外来として「痙縮外来」を開設し、麻痺に伴う痙縮（つっぱり）に対してボツリヌス治療を行っています。この際、必要に応じて超音波検査、筋電図検査を用い、安全かつ的確に、ボツリヌスを筋肉内に注射しています。「心理外来」では、発達障害や不登校の患者様の心理検査、心理療法を行なっています。

また、2018 年から、精神科非常勤医師の協力により、精神科リエゾンチーム活動を行っており、うつ、不安、せん妄といったリハビリに関連した心のケアにも取り組んでいます。

2. メンバー構成

田中　尚（常勤）　日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、臨床心理士 / 公認心理師

片上　徹也（非常勤）　精神保健指定医

河田　清美（非常勤）　精神保健指定医

田中　有子（非常勤）

3. 実績

リハビリ実施数

リハビリテーション科（副診療部）の実績に準ずる。

4. 今後の目標

社会的援助や心理的援助についても、リハビリの立場から指導していきます。リハビリ、痙縮外来、精神科リエゾン回診の診療を通じて、地域医療に貢献していきたいと考えています。

リハビリを行う 4 階のリハビリテーションセンターは広いスペースを確保しており、換気も十分行っています。感染対策を十分行いながら、安全にリハビリを行っていきます。

31）病理診断科

病理診断科医長　久保　勇記

1. 概要

当科は 2017 年 7 月に一般検査部門より独立して診療科（病理診断科）となりました。当院には以前より病理医が非常勤として勤務していましたが、病理診断科発足と同時に久保が非常勤から常勤となりました。2020 年 12 月現在、医師 8 名（常勤 2 名、非常勤 6 名）、臨床検査技師 6 名が業務に携わっています。

当院の症例に加えて、生駒市立病院の病理組織診断および細胞診を 2015 年から、松原徳洲会病院の病理組織診断を 2017 年 10 月から受託しています。これに伴い、2018 年 5 月に徳洲会大阪病理診断研究センター（Tokushukai Osaka Pathology Center: TOP）を立ち上げました。さらに神戸徳洲会病院の病理組織診断および細胞診を 2019 年 11 月から、全南病院の病理組織診断を 2019 年 12 月から、高砂西部病院の病理組織診断を 2020 年 1 月から受託しています。また当院周辺の小規模医療施設の病理組織診断を 2020 年 12 月から受託しています。

病理組織診断については原則として 2 名以上の病理医が担当する相互チェック体制（ダブルチェック）をとっています。また診断困難な症例については外部の専門家に相談する、いわゆるコンサルテーションを実施しています。

細胞診については細胞検査士が最初にスクリーニングし、うち疑陽性・陽性症例に対しては細胞診専門医がチェックしています。細胞診標本の作製においては 2017 年 12 月より液状化検体細胞診（LBC）標本作製装置を用いて実施しており、診断精度の向上が図られています。

剖検業務については大阪国際がんセンター（旧・大阪府立成人病センター）、ならびに大阪市立大学医学部附属病院の協力のもとに実施しています。興味深い症例については初期臨床研修の一環として臨床病理検討会（CPC）を開催しています。

2. メンバー構成

医師

久保勇記（常勤）　日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
青笹克之（常勤）　日本病理学会専門医、徳洲会病理部門最高顧問
山下憲一（非常勤）　日本病理学会専門医
寺田信行（非常勤）　日本病理学会専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医
関川進（非常勤）　日本病理学会専門医
北村昌紀（非常勤）　日本病理学会専門医（大阪国際がんセンター副部長）、日本臨床細胞学会細胞診専門医
皆見勇人（非常勤）
佐々木香織（非常勤）

臨床検査技師

岩﨑由恵（細胞検査士）、岡﨑健（細胞検査士）、西川裕子（細胞検査士）、室木魁人（細胞検査士）、松尾優希（細胞検査士）、吉川つかさ

内　科　26
循環器内　33
消化器内　34
呼吸器内　35
腫瘍内科　36
血管透析　38
腎臓内科　41
糖尿病 代謝内科　42
脳神経内　44
内分泌内　45
膠原リウ　47
小児科　49
放射診科　51
救急科　52
外　科　54
整形外科　56
脳神経外　59
心臓血管 大動脈セ　61
形成外科 美容外科　63
呼吸器外　65
小児外科　66
歯　科 歯科口腔　69
泌尿器科　71
眼　科　73
麻酔科　75
肝臓セン　76
皮膚科　80
婦人科　81
耳鼻咽喉　82
リハビリ　83
病理診断　84

3. 実績

《組織診、細胞診、剖検の件数》

	組織診断	術中迅速診断	細胞診
当院	4,079	117	9,088
松原徳洲会病院	1,692	35	0
生駒市立病院	1,261	0	1,231
神戸徳洲会病院	412	0	872
高砂西部病院	479	0	0
全南病院	24	0	0
一般医療施設	2	0	0
合計	7,949	152	11,191

《剖検一覧》

剖検番号	剖検日	出所	年齢	性別	臨床診断
696	2020.02.19	内科	78	男	肺炎､自己免疫性溶血性貧血
697	2020.03.04	内科	86	男	悪性中皮腫
698	2020.03.08	肝臓外科	53	男	膵癌
699	2020.03.23	内科	61	男	間質性肺炎
700	2020.04.09	内科	68	男	肺癌
701	2020.04.10	内科	76	女	原発不明癌
702	2020.05.08	内科	70	男	肺癌
703	2020.06.18	心臓外科	79	男	大動脈弁置換術後
704	2020.08.19	循環器内科	65	女	心臓突然死

計 9 例

消化器カンファレンス（水曜午前、毎週）

乳腺カンファレンス（水曜午後、月に約 2 回）

呼吸器カンファレンス（木曜午後、月に約 2 回）

4. 今後の目標

正確･迅速な診断に努めます。また他科との連携をより緊密にしていきたいと考えています。

病理診断研究センターのさらなる充実にはマンパワーの確保が不可欠なため、常勤、非常勤病理医の確保に努めます。病院当局の協力のもと、今後は病理診断センターを大阪地区の徳洲会のみならず一般医療施設の病理診断中核的組織として育成していく方針であり、これをさらに拡大する予定です。

副　診　療　部

―― 2020年 ――

32）薬　剤　科　88
33）放 射 線 科　91
34）臨床検査科　93
35）リハビリテーション科　95
（理学療法・作業療法・言語聴覚療法・心臓リハビリテーション）
36）臨床心理科　101
37）臨床工学科　103
38）栄　養　科　110
39）治験センター　113
40）医療福祉相談室　115
（MSW　医療ソーシャルワーカー）
41）病診連携室　118
42）健診センター　125
43）情報システム管理室　127
44）保　育　室　129
45）がん相談支援センター　131
46）医療安全管理部　134
47）臨床腫瘍センター　139

32）薬剤部

薬剤部部長　大里　恭章

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

1. 概要

2020 年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する業務の見直しとその対応、そして昨年より準備を進めてきました JCI 取得への対応にスタッフ一同が一致団結した一年になりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、まず消毒薬など衛生上不可欠な医薬品、また海外で生産されている医薬品又その原料が国内への輸入されない事態となり欠品や品薄状態になりました。このため診療に制限をかけなければならないことになり、この感染症の広がりが世界中に波及していることを大いに感じさせられました。さらに新型コロナ感染症患者の受入に伴い、特に感染症患者を受け入れた 8 階西病棟、ICU 病棟の病棟担当者は、医師をはじめとする他の医療職と協力のもと持参薬の鑑別から服薬指導の実施まで普段と変わりない業務を細心の注意を払いながら遂行してくれました。

JCI 取得に対する活動は、多くの資料を各々の担当で限られた時間で作成し、また地下 1 階の無菌室のパスバックス、不潔倉庫（ダンボール置き場）を新たに設置したことから、レイアウトを変更し、それに伴う多くの医薬品棚の移動を行い、指摘される事項の無いように智恵と工夫を凝らし対応しました。以上の取り組みの結果、JCI 審査における薬剤部内の指摘事項は特にありませんでした。

また、このような状況ではありましたが新たに入退院の支援の一環として、手術を控える患者様に対する服薬指導を実施し、内服薬の状況、入院情報を共有するため保険薬局との連携を始めました。このことはさらに退院時の保険薬局への情報提供に繋がり、地域連携発展への一助となりました。

このような 1 年であったことから以前より積極的に行ってきました学会での発表、論文の投稿などがほとんどできなかったことが、反省点であると考えます。

2021年は新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種事業などが始まります。これまでに経験の無い大きな事業であり、そのワクチンの保管管理体制などの対応は薬剤部として大きな仕事になることと思います。さらには接種業務に対しても薬剤師として現場で何ができるのかを考え、責務を果たせるようにしたいと考えます。

2. メンバー構成

・薬剤師32名（非常勤1名）

助手　3 名（非常勤 1 名）

・有資格者

日本医療薬学会	医療薬学指導薬剤師	大里恭章
	医療薬学専門薬剤師	大里恭章、草薙みか
	がん専門薬剤師	草薙みか、南野智志、山本倫数、
	薬物療法専門薬剤師	草薙みか
日本病院薬剤師会	感染制御認定薬剤師	横山法靖、里岡達哉
	認定指導薬剤師	大里恭章、草薙みか
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師	横山法靖、里岡達哉
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	里岡達哉
日本臨床栄養代謝学会	NST 専門療法	大里恭章、草薙みか、南野智志、森田亜記、岩政かおり、山本倫数
日本糖尿病療法指導士認定機構	糖尿病指導療法士	坂野千賀、森田亜記、栗野大輔、畑田光佐
日本アンチドピング機構	スポーツファーマシスト	山本倫数
日本薬剤師研修センター	漢方薬・生薬認定薬剤師	草薙みか、山本倫数、門間智恵
	小児薬物療法認定薬剤師	坂野千賀
	認定実務実習指導薬剤師	大里恭章、草薙みか、坂野千賀、横山法靖、前田晃佑、青山瑛里子
日本麻酔科学会	手術期管理チーム薬剤師	大里恭章、前田晃佑
日本臨床救急医学会	救急認定薬剤師	山本浩二郎

2020 年に新たに資格を取得（合格）

日本臨床腫瘍薬学会　外来がん化学療法認定薬剤師　濱田達志

3. 実績

学生実習受け入れ（2020年7月～2021年3月：11名）

・2期　4名（近畿大学　4名）

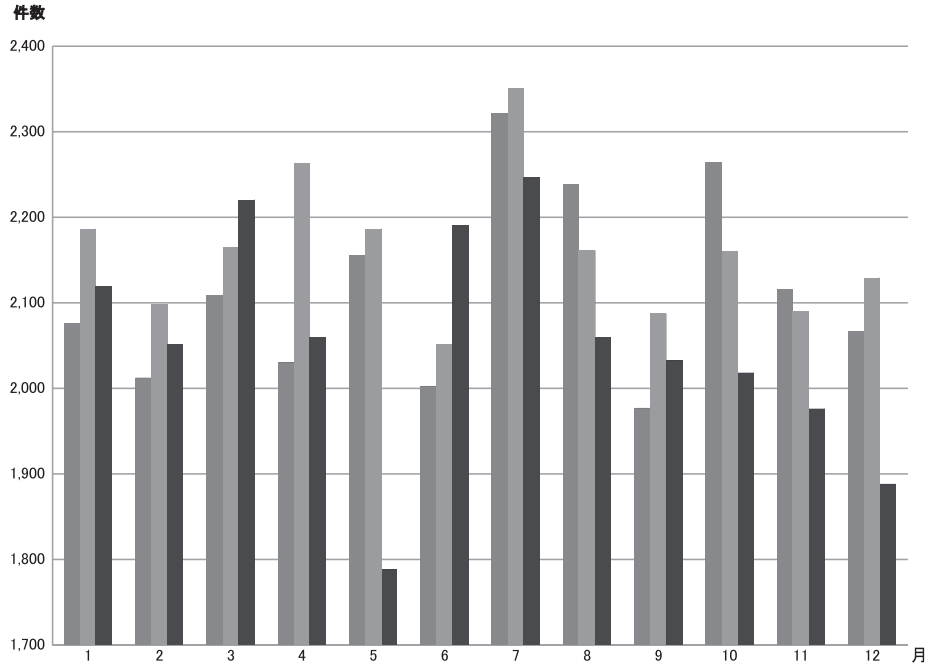
・3期　3名（近畿大学　2名、大阪薬科大学　1名、大阪大谷大学　1名）

・4期　4名（近畿大学　1名、大阪薬科大学　1名、摂南大学　1名、大阪大谷大学 1名）

《業務量》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
処方箋枚数(外来)	2,157	1,785	1,750	1,539	1,407	1,511	1,534	1,567	1,607	1,660	1,540	1,676	19,733	1,644.4
調剤数(外来)	4,715	4,175	4,011	3,687	3,019	3,332	3,299	3,596	3,517	3,786	3,584	3,893	44,614	3,717.8
処方箋枚数(入院)	7,174	6,919	7,445	7,074	6,896	7,643	7,939	7,207	6,798	7,407	7,139	6,919	86,560	7,213.3
調剤数(入院)	15,036	15,036	15,036	15,376	14,736	16,529	17,022	15,022	14,366	15,280	14,638	14,293	182,370	15,197.5
注射本数	31,940	27,460	28,862	29,227	28,074	30,695	32,104	31,784	30,074	32,823	32,473	29,572	365,088	30,424.0
無菌製剤処理2件数(入院)	114	86	113	59	145	218	147	132	136	172	173	85	1,580	131.7
無菌製剤処理1件数(悪性腫瘍)	219	206	231	206	192	237	239	259	274	265	262	237	2,827	235.6
化学療法加算1　加算A	176	163	194	179	152	196	205	215	226	240	221	197	2,364	197.0
化学療法加算1　加算B	46	51	46	57	56	45	58	51	53	41	51	44	599	49.9
薬剤情報提供件数	1,930	1,583	1,475	1,373	1,234	1,340	1,310	1,408	1,441	1,482	1,359	1,429	17,364	1,447.0
退院時薬剤情報指導件数	395	432	454	439	354	429	520	457	472	460	431	466	5,309	442.4
薬剤管理指導件数(Ⅰ)	1,310	1,224	1,370	1,266	1,145	1,386	1,313	1,237	1,257	1,119	1,184	1,152	14,963	1,246.9
薬剤管理指導件数(Ⅱ)	809	827	850	793	643	804	934	822	775	899	792	736	9,684	807.0
薬剤管理指導件数(合計)	2,119	2,051	2,220	2,059	1,788	2,190	2,247	2,059	2,032	2,018	1,976	1,888	24,647	2,053.9

《薬剤管理指導件数の推移》



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2018年	2,076	2,012	2,109	2,030	2,156	2,002	2,321	2,238	1,977	2,264	2,115	2,067
2019年	2,186	2,098	2,165	2,263	2,186	2,052	2,351	2,161	2,087	2,160	2,090	2,129
2020年	2,119	2,051	2,220	2,059	1,788	2,190	2,247	2,059	2,032	2,018	1,976	1,888

4. 今後の目標

①臨床業務活動のさらなる充実をめざす

②学会発表、論文発表を積極的に行い、リサーチマインドを追求する

③スタッフの育成と共に資格取得ができる環境を構築する

④医療制度改革に対応できるように組織の変革を常に継続する

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

33）放射線科

放射線科技師長　平野　泰弘

1. 概要

2020 年は診療放射線技師 3 名の新入職があり、現在は診療放射線技師 29 名、事務員 1 名の体制となっております。

今年も、東大阪徳洲会病院・出雲徳洲会病院への応援派遣を行いました。今後も放射線部会と緊密に連携し、徳洲会グループの超規模病院としての責務を全うして参ります。

2020 年 1 月に 2 階の TV 装置を最新に切り替え､5 月にポータブル機器を 2 台購入しました。2021 年 1 月には、CAG 装置、CT（320 列）装置を更新し、手術室には、ステントグラフト等の治療に有用なハイブリッド血管撮影装置も導入しました。

他の既存の装置をフル活用する事で検査待ち日数を短縮し、緊急検査にもスムーズに対応できるよう努めました。また、脳卒中の患者様に対しての緊急 CT・MRI 検査、緊急の血栓除去術や血栓塞栓術、緊急カテーテルへの対応等、緊急の面に加えて、さらに集中治療部では、ECMO（体外式膜型人工肺）の装着時にポータブル装置でコニカミノルタの新しい可搬型 DR”AeroDR fine”を用いた治療にも貢献できたと考えております。

今年は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令の影響が大きく、近隣のクリニックや診療所からの検査依頼が 4 月・5 月と大幅に減少しました。学術面でも感染拡大防止のため各学会が中止となりましたが、個人能力向上と放射線科全体のレベルアップを目指し、今後はオンライン勉強会への積極的な参加を推奨していきます。

治療、検査体制の充実を図り、安全に配慮しながら迅速に対応できるよう、また、地域に信頼される病院になれるように努力して参ります。

2. メンバー構成

診療放射線技師 29 名、事務員 1 名

有資格取得者

第 1 種放射線取扱主任者	伊吹剛、井上竜太、齋藤里沙、久保省太
マンモグラフィ検診認定技師	村尾信義、近藤浩司、川野友也、疋田直子、齋藤里沙、安川莉愛、田中佑実子、比嘉愛美、金岡愛実、宮本夏実
胃がん検診認定技師	琉秀光、近藤浩司、上甲実
肺がん CT 認定技師	近藤浩司、伊吹剛
救急撮影認定技師	平野泰弘、小川宏明、有吉真志
Ai 認定技師	橋詰智
医療情報技師	村尾信義
X 線 CT 認定技師	伊吹剛、瀬川裕一

3. 実績

《月別放射線科統計》

2020年	単純透視	ＣＴ	ＭＲ	ＲＩ	ＣＡＧ	ＤＳＡ	放射線治療	紹介件数	総件数
1月	7,438	2,713	823	63	126	54	249	259	11,725
2月	7,483	2,561	805	56	118	52	389	223	11,687
3月	7,148	2,691	861	81	114	66	479	241	11,681
4月	5,676	2,464	601	67	96	51	263	126	9,344
5月	4,951	2,453	616	48	101	54	141	146	8,510
6月	7,499	2,811	902	75	97	69	385	251	12,089
7月	7,922	3,001	922	67	106	63	244	259	12,584
8月	7,920	2,884	867	59	130	57	393	228	12,538
9月	8,159	2,869	911	67	111	55	407	262	12,841
10月	8,060	3,033	940	46	117	51	386	309	12,942
11月	6,661	2,712	824	50	84	48	362	214	10,955
12月	7,138	2,757	850	74	83	57	394	201	11,554
合計	86,055	32,949	9,922	753	1,283	677	4,092	2,719	131,639
平均	7,171	2,746	827	63	107	56	341	227	10,970

実習生受け入れ

清恵会第二医療専門学院　　２名　（２ヶ月）　新型コロナウイルス感染症により後期実習中止

4. 今後の目標

320 列 CT の導入に伴い、検査件数の増加と冠動脈 CT や特殊造影 CT 検査にも力を入れ、検査の質の向上を目指します。

手術室には、アンギオ装置を導入し、先進医療を取り入れハイブリッド OPE 室の運用に貢献します。

診断部においては、精度及び治療成績の向上に努め、引き続き予防医療や地域貢献を目指します。

また、個人能力の向上のため、勉強会への積極的な参加や資格の取得に努めて参ります。

装置に関しましては、CR 装置が導入して 11 年、マンモ装置が 13 年経過し更新を目標と考えています。

薬剤科　88
放射線科　91
臨床検査　93
リハビリ　95
臨床心理　101
臨床工学　103
栄養科　110
治験セン　113
医療福祉　115
病診連携　118
健診セン　125
情報シス　127
保育室　129
がん相談　131
医療安全　134
臨床腫瘍　139

34）臨床検査科

技師長　松田　治恵子

1. 概要

昨年から取組み始めたJCI取得と、コロナに関する対応に終始した一年であった。コロナに関する検査として、試行錯誤のなか3月には迅速検査を開始した。4月に入ってからPCR検査に関しては外注と保健所提出で対応し、4月21日から院内でLAMP法にて検査出来る体制を整えた。現在はLAMP法に加え、リアルタイムPCR法、抗原定量検査が院内検査として可能となっており、状況に応じた検査法を用いて迅速に臨床へ結果を返している。夏の職員健診において、希望者に対して迅速コロナ抗体（IgG/IgM）の測定を行なった。需要がまだ多くはないが、8月から健診オプション項目として新型コロナ抗体の測定を開始した。また、コロナ対応に関連する病院の方針として睡眠時無呼吸症候群の精密検査を4月から延期とした。6月には検査を再開できたが、8月から状況が悪化したため再度延期が決定された。

検査各部門として、患者様の通院自粛があるなかでも、年間を通して検体検査は過去最高の件数・点数であった。病理診断科も、徳洲会グループのセンター化により検査件数を伸ばし続けている。生理検査の超音波部門は、診療科の医師の異動や2020年の特殊な状況のためか心臓・腹部超音波件数は減少し､その反面その他の超音波件数は過去最高となった。学術発表においては、全国学会に2演題の発表を行なうことができた。離島応援に関しては、徳洲会グループ全体がサポートしており、当院からは宮古島への応援を行なった。近隣では吹田や近江草津への応援を行なった。学生実習に関しては、大学2校（3名）専門学校2校（3名）の受け入れを実施した。

2. メンバー構成

・臨床検査技師　39名（＊他、採血コーナー常勤看護師1名）
・視能訓練士　　3名　　合計：43名

3. 実績

1）資格試験合格者

・細胞検査士：西川技師

2）実習生受け入れ

・日本医療学院専門学校　1名（4ヶ月）
・大阪医療技術学園専門学校　2名（4ヵ月）
・関西医療大学　2名（3ヶ月）
・倉敷芸術科学大学　1名（コロナ陽性患者に関する学校の規定により約1ヵ月で中断）

3）機器更新

・心電図サーバー（フクダ電子）
・血液ガス分析装置2台　ABL800（ラジオメーター）
・遺伝子検査装置LAMP法　Loopamp EXIA（栄研）
・遺伝子検査装置リアルタイムPCR法　　GeneXpert（ベックマン）
・抗原定量検査装置　ルミパルスG1200Plus（富士レビオ）
・新規機器保守契約締結

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

ADVIA2120i（シーメンス） 2台

CS5100（シスメックス）

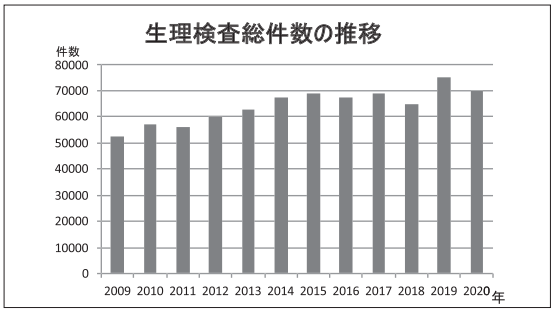
4）2020年　月別検査統計

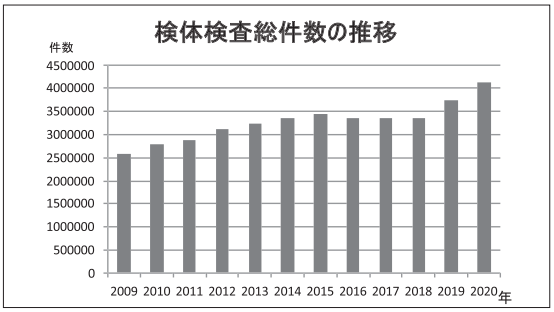
（件数）

項目／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般	43,236	39,860	41,667	34,113	34,246	43,070	46,277	45,213	44,831	45,396	40,571	42,231	500,711	41,725.9
血液	77,290	71,165	75,039	66,942	61,810	77,771	82,385	83,171	82,082	82,897	76,700	74,977	912,229	76,019.1
微生物	6,152	5,599	6,119	6,242	6,304	6,523	8,086	8,946	8,608	8,888	9,433	10,924	91,824	7,652.0
免疫	21,456	19,085	20,282	17,244	16,671	21,083	21,254	20,782	19,677	21,652	20,129	19,928	239,243	19,936.9
生化学	162,525	148,063	159,553	139,480	129,967	165,451	173,941	171,971	172,568	175,279	160,101	157,597	1,916,496	159,708.0
病理	652	590	656	568	487	702	911	751	752	768	702	737	8,276	689.7
細胞診	1,760	1,515	1,593	1,524	1,333	1,881	1,920	1,959	2,026	2,091	1,750	1,851	21,203	1,766.9
外注合計	4,473	4,727	4,867	5,265	3,888	4,915	5,221	4,782	4,773	5,151	4,821	4,238	57,121	4,760.1
検体合計	349,709	319,603	340,283	298,982	280,439	352,061	372,039	369,249	367,769	376,076	344,833	344,491	4,115,534	342,961.2
外注比率	1.3	1.5	1.4	1.8	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.4	1.2	17	1.4
腹部エコー	803	767	742	542	505	868	873	835	884	949	780	822	9,370	780.8
心エコー	811	702	767	597	574	739	751	691	663	650	588	657	8,190	682.5
他エコー	749	674	762	675	712	894	779	749	730	836	776	815	9,151	762.6
生理合計	6,449	6,034	6,078	4,504	4,058	6,017	6,623	6,366	6,064	6,305	5,488	5,791	69,777	5,814.8
月間検査合計	356,158	325,637	346,361	303,486	284,497	358,078	378,662	375,615	373,833	382,381	350,321	350,282	4,185,311	348,775.9

（点数）

項目／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般	276,362	274,742	269,744	188,636	175,880	292,567	318,268	312,829	319,471	320,663	274,808	286,651	3,310,621	275,885.1
血液	1,032,300	963,778	1,000,169	885,289	838,992	1,029,176	1,087,650	1,121,804	1,055,806	1,117,130	1,046,694	1,048,765	12,227,553	1,018,962.8
微生物	898,985	813,760	891,097	944,863	1,083,010	1,052,444	1,957,244	2,781,927	2,430,150	2,692,604	3,278,756	4,836,959	23,661,799	1,971,816.6
免疫	1,161,706	1,023,725	1,085,532	879,800	823,426	1,044,331	1,056,430	1,026,058	977,134	1,105,399	1,049,101	1,093,255	12,325,897	1,027,158.1
生化学	2,145,568	1,907,284	2,109,819	1,823,067	1,759,680	2,194,478	2,295,386	2,277,521	2,244,430	2,296,142	2,117,033	2,101,507	25,271,915	2,105,992.9
病理	579,100	514,600	591,000	503,630	427,210	626,420	811,520	681,080	663,210	676,050	621,440	646,680	7,341,940	611,828.3
細胞診	221,885	185,567	192,661	178,892	174,889	234,673	239,631	243,687	253,883	258,045	219,475	230,445	2,633,733	219,477.8
外注合計	975,682	921,639	912,416	1,414,826	811,195	949,377	1,017,920	1,024,068	921,184	1,010,020	1,026,857	889,770	11,874,954	989,579.5
検体合計	8,382,698	7,605,785	8,068,358	7,774,933	7,008,652	8,436,736	9,853,459	10,562,864	9,955,188	10,568,743	10,645,984	12,161,782	111,025,182	9,252,098.5
外注比率	11.6	12.1	11.3	18.2	11.6	11.3	10.3	9.7	9.3	9.6	9.6	7.3	132	11.0
腹部エコー	433,060	416,040	402,470	299,340	277,220	472,690	478,470	459,270	479,880	520,530	421,790	444,250	5,105,010	425,417.5
心エコー	718,020	621,480	683,020	534,040	511,940	663,340	667,080	616,760	589,640	578,200	525,500	584,980	7,294,000	607,833.3
他エコー	421,250	377,000	433,800	387,050	395,800	500,200	436,450	418,350	409,900	476,000	436,200	462,750	5,154,750	429,562.5
生理合計	2,239,870	2,064,855	1,996,751	1,682,910	1,574,050	2,261,580	2,301,970	2,131,130	2,089,515	2,188,985	1,906,425	2,061,300	24,499,341	2,041,611.8
院内検査合計	10,622,568	9,670,640	10,065,109	9,457,843	8,582,702	10,698,316	12,155,429	12,693,994	12,044,703	12,757,728	12,552,409	14,223,082	135,524,523	11,293,710.3





4. 今後の目標

1）検査技師の質の向上

①各専門技士育成

細胞検査士、輸血専従技師、微生物検査技師、生理検査技師（超音波・各種機能検査）

②各種資格試験の受験

細胞検査士、認定臨床微生物検査技師、感染制御認定臨床微生物検査技師、

認定輸血検査技師、認定血液検査技師

③各種学会発表・論文執筆の推進

2）業務改善・改革

① RPA 導入による業務の効率化

②生化学・免疫複合機の更新

③各部門人員配置の見直し・増員

35）リハビリテーション科（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）

理学療法室室長　野村　日呂美

1. 概要

2020 年は前年同様、老人保健施設八尾徳洲苑の人員不足に対し 4 月末まで 1 名応援を実施。同じく全南病院の応援を 5 月の連休明け以降開始。よろこび訪問看護ステーションの応援継続をしていたが 11 月より、よろこび訪問看護ステーションに 1 名転勤異動として配置。

コロナ感染症により実習中止となる学校も多い状況の中、急性期病院の臨床現場を伝えていく事と、新人職員獲得を目的に実習生を 21 名（理学 10 名、作業 5 名　言語 6 名）受け入れた。

チーム・委員会に関しては、心肺・DM・整形・脳外・訪問・リウマチ・手の外科、NST、緩和ケア、創傷外来、JCI など、チーム内で療法士の専門性を活かし活動している。その中で患者治療の成績分析を行い、各チーム・委員会内での発表を行った。近隣の病院との連携強化として理学療法士協会中河内ブロックへの活動を通して会議・交流会・勉強会等、地域の中核病院としての役割を果たす努力も継続して行っている。

2. メンバー構成（次項参照）

3. 実績（次項参照）

4. 今後の目標

2021 年もスタッフの募集と教育に力を注いでいきたいと考える。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

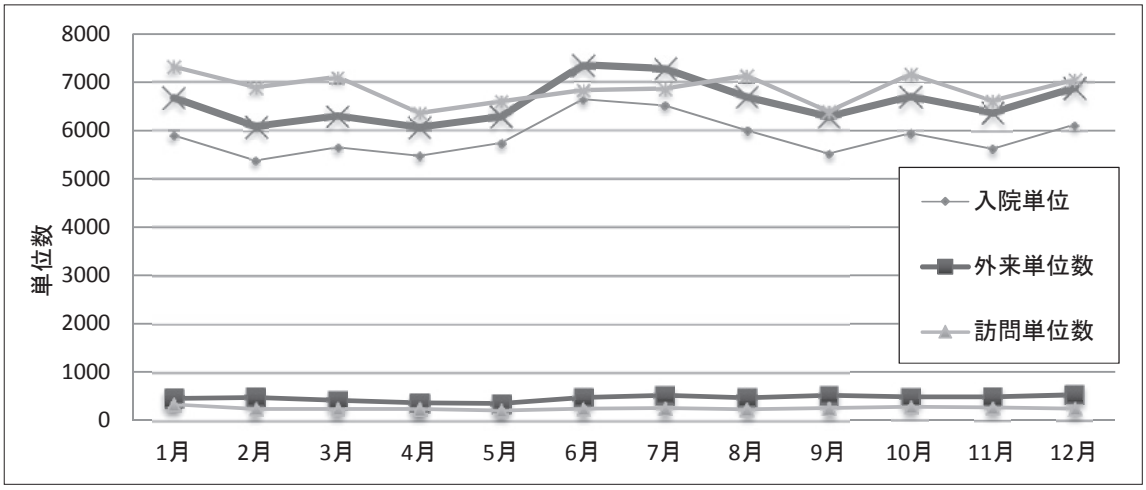
【理学療法】

① 人事

甲斐　真世	2/17	退職
小西　正修	2/31	退職
中村　竜	3/31	退職
難波　智矢	4/30	退職
小林　翔太	8/31	退職
松井沙也加	8/31	退職
小林　隼季	9/2	退職
越智　悠斗	4/1	入職
小林　隼季	4/1	入職
船津　和幸	4/1	入職
久松　寛	4/1	入職
松田　圭吾	4/1	入職
長谷川　静	1/12 ～ 3/2	病欠 （骨折）
上西　希	1/1 ～ 4/30	老人保健施設八尾徳洲苑応援
全スタッフ	5/16 ～ 11 月	全南病院週 1 応援
山本　友里	3/17 ～ 1 年間	産休～育休
松本　龍也	11 月よりよろこび訪問看護ステーション転勤	

② 実績

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 単位数	平均
入院単位	5,902	5,380	5,654	5,477	5,744	6,650	6,520	6,004	5,526	5,949	5,622	6,120	70,548	5,879.0
外来単位数	453	474	415	361	349	475	516	468	518	484	489	527	5,529	460.8
訪問単位数	327	234	235	232	202	239	249	227	249	279	266	237	2,976	248.0
単位数合計	6,682	6,088	6,304	6,070	6,295	7,364	7,285	6,699	6,293	6,712	6,377	6,884	79,053	6,587.8
入院患者数	3,744	3,457	3,634	3,916	3,575	4,107	4,167	3,895	3,598	3,842	3,625	3,738	45,298	3,774.8
外来患者数	349	387	353	320	299	397	424	392	411	384	375	425	4,516	376.3
訪問患者数	165	118	118	116	101	120	126	114	125	140	134	119	1,496	124.7
2020ｽﾀｯﾌ数	20.5 (1有給)	19.5 (1有)	18.5 (1.5)	22 (有1新5)	22	22	22	22 (有2)	19	19	19	19		20.4
2019ｽﾀｯﾌ数	22	22	22 (2不在)	22 (内新3)	21	21	21	21	21	21	21	21		21.3
前年単位数合計	7,324	6,897	7,112	6,364	6,607	6,838	6,869	7,138	6,395	7,174	6,620	7,051	71,060	5,921.7



③　実習生受け入れ　　期間　　学年

＜見学実習＞

大阪医専	2/3 ～ 2/7	1 年	1 名
大阪府立大学	9/7 ～ 9/11	2 年	2 名

＜検査測定実習＞

関西福祉科学大学	1/20 ～ 2/15	3 年	1 名
行岡医療大学	2/3 ～ 2/29	3 年	1 名

＜臨床実習＞

奈良リハビリテーション専門学校	8/24 ～ 9/18	3 年	1 名
四條畷学園大学	8/11 ～ 9/30	4 年	1 名
藍野大学	11/9 ～ 12/3	4 年	1 名
大阪府立大学	9/7 ～ 10/28	4 年	1 名
大阪府立大学	11/9 ～ 12/3	4 年	1 名 9/7 ～ 9/11

②　地域連携

服部　玄徳	大阪府理学療法士協会　中河内ブロック　学術部部員
黒田　涼平	八尾リハビリテーション関連職連絡協議会
小阪　葵	大阪府理学療法士協会　ブロック　学術部部員

④　学術発表・論文投稿

・著者：文　聖現

・雑誌名：理学療法科学（第35巻　第5号）　p 667-672

・テーマ：大腿骨近位部骨折手術後患者の方向性早期決定に関与する因子の検討

－術後1日目における理学療法介入時の因子に着目して－

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

【作業療法】

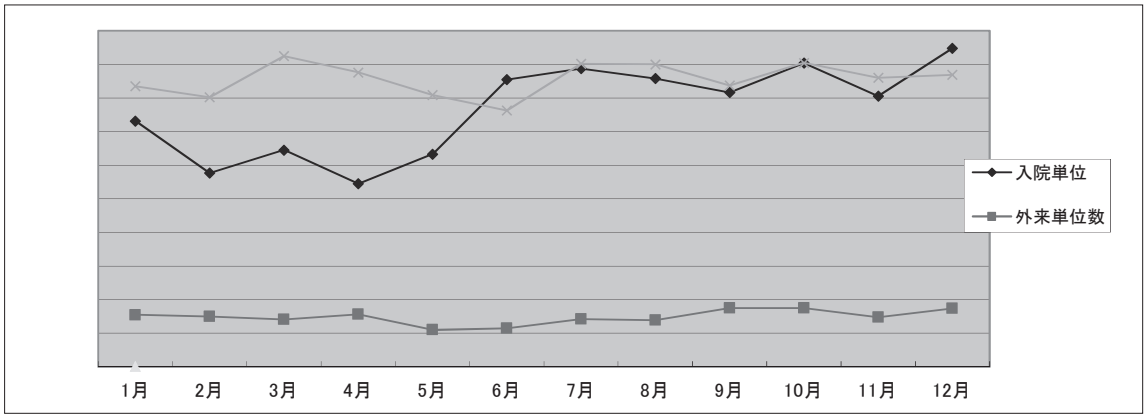
① 人事

村田　修悟　1/31 ～ 5/31　　病欠

清水　孝彦　4/1　　入職

② 実績

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計単位数	平均
入院単位	1,463	1,154	1,290	1,089	1,266	1,709	1,775	1,715	1,633	1,808	1,611	1,896	18,409	1,534.1
外来単位数	309	299	282	312	220	229	284	278	350	349	295	348	3,555	296.3
単位数合計	1,772	1,453	1,572	1,401	1,486	1,938	2,059	1,993	1,983	2,157	1,906	2,244	21,964	1,830.3
入院患者数	812	634	715	605	692	907	924	872	829	940	852	975	9,757	813.1
外来患者数	201	203	210	232	187	177	194	195	245	249	213	239	2,545	212.1
前年度単位合計	1,669	1,604	1,849	1,752	1,617	1,525	1,804	1,800	1,675	1,809	1,720	1,737	20,561	1,713.4
2020 ｽﾀｯﾌ人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		



③ 実習生受け入れ　　期間　　学年

＜見学実習＞

四條畷学園大学　　1/30 ～ 1/31　　1 年　　1 名

大阪医専　　8/24 ～ 8/31　　2 年　　1 名

＜検査測定実習＞

四條畷学園大学　　8/24 ～ 9/4　　3 年　　1 名

大和大学　　11/30 ～ 12/3　　3 年　　1 名

＜臨床実習＞

大阪医専　　9/14 ～ 11/21　　4 年　　1 名

【言語療法】

① 人事

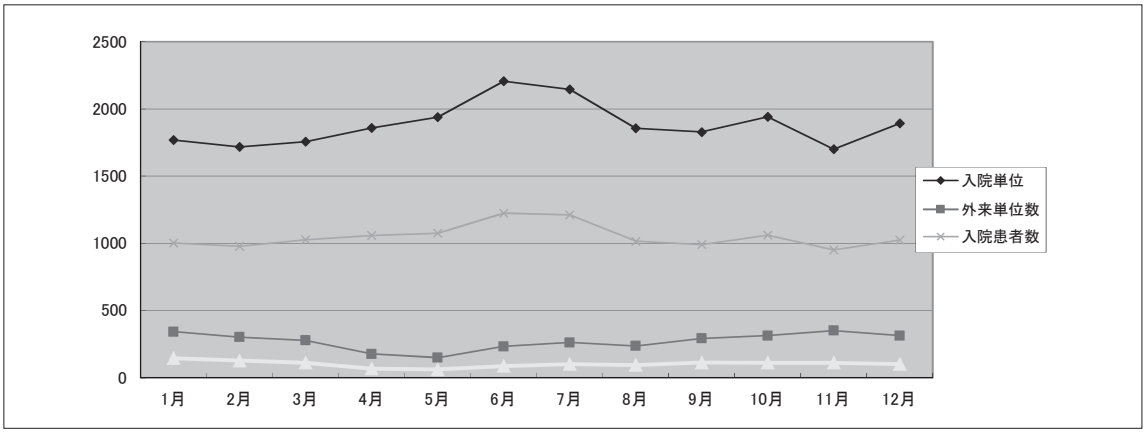
3/31　1名退職（米岡）

4/1　2名入職（伊藤早希、米安）

7/31　1名退職（向藪）

② 実績

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 単位数	平均
入院単位	1,769	1,718	1,756	1,859	1,938	2,207	2,145	1,856	1,828	1,942	1,700	1,893	22,611	1,884
外来単位数	342	302	277	177	150	233	262	236	293	313	351	313	3,249	271
入院患者数	1,003	979	1,026	1,059	1,076	1,225	1,211	1,016	990	1,060	952	1,024	12,621	1,052
外来患者数	146	128	112	68	62	89	103	95	114	113	113	103	1,246	104
スタッフ数	6	6	6 （有1）	6 （新1既1）	6.4	6.7	6.9 （有1）	6	6	6	6	6		6.2



③ 実習生受け入れ

	期間	学年
大阪河﨑リハビリテーション大学	3/2 ～ 3/7	見学実習1名
大阪医療技術学園専門学校	3/2、4、9、11	見学実習各1名ずつ（計4名）
大阪医療技術学園専門学校	7/6 ～ 8/4	臨床実習1名
神戸医療福祉専門学校三田校	8/31 ～ 9/4	見学実習1名
神戸医療福祉専門学校三田校	9/7 ～ 9/11	見学実習1名
大阪医療技術学園専門学校	10/5 ～ 12/1	臨床実習1名

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

【心臓リハビリテーション】

① 概要

心臓血管外科の手術件数が増えたことにより、昨年度より業務量が大幅に増加。循環器内科からも緊急カテーテル術後や心不全コントロールの患者様が多く、全体的に件数が多かった。外来に関しては、新型コロナウィルスの影響により積極的な受け入れを実施できず件数は伸び悩んだ。今後は体制を見直し、特に術後の患者様の外来リハビリテーションを充実させていきたい。

② メンバー構成

医師： 福田貢、内田直里、薦岡成年、平田昌敬、松尾浩志
理学療法士： 片田理恵、中村智里、阪口千尋
臨床検査技師：森文子、戸野川始、西岡徹

③ 実績

入院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
患者数	636	575	664	671	683	645	678	777	684	594	549	687	653.6
単位数	989	891	1,029	973	1,089	956	1,039	1,197	1,010	878	837	1,072	996.7

外来	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
患者数	18	9	13	6	0	1	0	5	10	9	7	9	7.25
単位数	21	9	14	7	0	1	0	10	26	16	12	14	10.8

入外合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均	合計
患者数	654	584	677	677	683	646	678	782	694	603	556	696	660.8	7,930
単位数	1,010	900	1,043	980	1,089	957	1,039	1,207	1,036	894	849	1,086	1,008	12,090
新患数	88	89	111	100	104	96	100	106	92	101	86	83	96.3	1,156

④ 今後の目標

・術後リハビリテーションの充実、外来運動療法の積極的な実施
・他院からの外来心臓リハビリ患者様の積極的な受け入れ

36）臨床心理科

臨床心理科部長　田中　尚

1. 概要

当院は総合病院のため、多くの患者様は身体の病気やけがの治療で来院されます。しかし病気やけがと同時に心にも不安や悲しみ、痛みを抱える場合があり、それらが治療の妨げになることも少なくありません。私たち心理士はそのような患者様の心に寄り添い、心身ともに穏やかに過ごせるようなサポートを提供することを目指しています。また治療に来られる患者様だけでなく、そのご家族様や病院で働く職員のメンタルヘルスを支えることも重要な役割と考えています。

2020 年は新型コロナウィルスの流行に伴い、精神的に不安定になる方も多かったように思います。未知の感染症に対する強い不安やさまざまな制限による負担感、従来の生活パターンからの変化によるストレスを抱えた方が増えました。また入院患者様においては、面会制限などにより普段ならば得られる家族からのサポートが得られず、不安な入院生活を送られた方も多かったのではないでしょうか。このような先行きの見えにくい状況において、心理士の関わりが少しでもみなさんの心の支えになれればと思っています。

また当科においては４月より１名増員となり、今まで以上に幅広く、質の高いサポートを提供できるようになりました。相談に来られる方１人１人と丁寧に向き合い、一緒に悩みながら前に進む関わりを今後も続けていきたいと考えています。

2. メンバー構成

田中尚　　（医師・臨床心理士・公認心理師）
八島麻美子（臨床心理士・公認心理師）
朴祐希　　（臨床心理士・公認心理師）
宮坂なつ花（臨床心理士・公認心理師）

3. 実績

【外来業務】

(1) 小児科

おもに心身症や発達障害などの患者様を対象に、専門医の指示のもと心理検査やカウンセリング、プレイセラピーなどの心理治療を行っています

(2) 心理外来

身体疾患に伴う心理的な不調に対し、リハビリ科医師とともに認知行動療法などの心理治療を行っています

(3) 糖尿病外来

糖尿病ケアチームのスタッフとともに患者様の療養生活を支えるための精神的なサポートを行っています

(4) その他の診療科

主治医からの依頼により、心理的なサポートの必要な患者様に対応しています

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

【入院業務】

(1) 入院患者様やその家族に対してベッドサイドでカウンセリングなどの心理的ケアを実施しています

(2) 緩和ケアチーム・糖尿病ケアチーム・精神科リエゾンチームに属し、医師や看護師をはじめとする他職種と連携・協力しながら、患者様をサポートするチーム医療を実践しています

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外来	小児科	95	90	90	70	80	101	106	116	109	134	120	117	1,228
	心理外来	6	5	5	4	2	1	6	10	7	9	5	11	71
	糖尿病外来	27	21	21	37	53	53	25	40	60	54	36	56	483
	その他	2	2	2	3	1	4	1	4	2	3	2	3	29
	合計	130	118	118	114	136	159	138	170	178	200	163	187	1,811
入院	内科系	17	19	15	17	9	17	33	39	16	13	10	9	214
	外科系	9	5	5	9	24	24	5	15	17	14	36	36	199
	小児科	2	0	0	0	0	5	0	0	0	3	0	0	10
	糖尿病	11	6	7	9	2	16	12	12	7	11	6	2	101
	緩和ケア	6	7	12	12	2	5	3	2	5	13	8	7	82
	リエゾンフォロー	25	26	35	35	13	26	29	43	34	26	27	19	338
	合計	70	63	74	82	50	93	82	111	79	80	87	73	944

4. 今後の目標

個別の関わりにおいても、チーム医療においても心理士独自の視点とアプローチによって患者様やそのご家族様を支えられるよう努力していきたいと思います。2020 年は病院を利用される方々だけでなく、医療従事者にも強いストレスがかかっていたことから、今後はメンタルヘルスに関する啓発活動などにも力を入れつつ、自分たちに何ができるかを考えながら職務に臨みたいと考えています。心理士それぞれがスキルを伸ばし、幅広いケースに対応できるよう取り組んでいきたいと思います。

37）臨床工学科

臨床工学科技士長　藤田　和睦

1. 概要

〈人工透析〉

A）2019 年との件数比較

昨年と比較して総透析件数は、13,989 件と 454 件増加した。特殊血液浄化は、持続血液透析（CRRT）が 483 件（昨年と同等）、エンドトキシン吸着が 7 件（10 件減少）であった。

腹水濃縮濾過が 22 件（1 件増加）となった。顆粒球吸着は 3 件（1 件減少）、LDL 吸着は 12 件（5 件減少）であった。総透析件数が増加した事、CRRT の件数から分かるように ICU 領域での急性血液浄化の必要性が高い患者数が多いことが分かる。

B）2020 年の取り組み

取り組みとして、透析装置の保守点検、透析室での配置を 4 ～ 5 名体制を維持し他カテゴリー（新型コロナウイルス感染症対応含む）への業務支援を行い、他業務の教育・指導、業務効率の充実を図った。又、新たに多人数用透析監視装置（NCV-3）を 15 台購入し IHDF・オンライン HDF の導入をしていく。透析液の水質管理（水道水を含む）を継続的に安定して行うことができた。

C）課題、目標について

HDF が始まり、更なる継続的な透析液（超純粋透析液）水質管理を行う事。課題としては、DIACOM（透析支援システム）の導入、超純粋透析液使用のため、ET 測定頻度が増加し、ET 測定器の購入が必要。又、JCI を取得し継続的な環境整備を行う。

〈人工心肺〉

A）2019 年との件数比較

人工心肺使用症例（開胸）	93 件（前年比 +32 件）
人工心肺不使用症例（開胸）	8 件（前年比 +5 件）
人工血管置換術（開腹）	20 件（前年比 -4 件）
自己血回収	153 件（前年比 +49 件）
TEVAR	33 件（前年比 +24 件）
EVAR	38 件（前年比 +27 件）
TAVI	0 件（前年比 0 件）

B）2020 年の取り組み

2020 年人工心肺症例は 93 件と増加し、業務体制は常時 3 名が就き安全と教育に努めた。人工心肺業務に従事する臨床工学技士を 1 名増員し 5 名に拡充させた。更なる体制強化および緊急手術にも対応した。なお、緊急人工心肺症例は 9 件であった。

本年度より MICS 下での人工心肺操作を始め、小切開かつ低侵襲な重症心臓外科手術に対応している。

C）課題、目標について

2021 年は更なる心臓外科手術症例数の増加、緊急手術、重症症例の増加や低侵襲手術の導入など予想される。また、ハイブリッド手術室も稼働となり、ステントグラフト件数

の増加、TAVI 手術の導入が予想される。安全で安定した医療を提供できるよう強化を図りたい。

〈手術室〉

A）2019 年との件数比較

鏡視下手術	804 件（前年比 -136 件）
MEP	79 件（前年比 +37 件）
ナビゲーション	17 件（前年比 +10 件）
ダビンチ	0 件（前年比 0 件）
RFA	38 件（前年比 +9 件）
その他	210 件（前年比 +81 件）

B）2020 年の取り組み

2020 年も継続して、手術室および救急外来に設置している麻酔器の日常点検を実施することによりトラブル早期発見に務めた。また、11 月にはメーカー点検を計画し実施できた。

フットポンプは継続して年 2 回の定期点検も実施することができた。本年度よりフットポンプの手術室貸出が廃止となり病棟配備とした。安定した機器貸出を図るため増数させた。

MEP 術中モニタリングにおいては整形外科領域だけでなく脳神経外科領域においても取り組んでおり、症例数増加にも対応している。新たな業務として、整形外科におけるナビゲーションにも取り組み始めた。

C）課題、目標について

2021 年も更に件数増加や新しい医療機器が導入されることが予想される。医療機器の安全使用や装置異常やトラブルに対し、臨床工学技士として迅速な対応を図りたい。

〈心臓カテーテル〉

A）2019 年との件数比較

総カテ件数 1,594 件（昨年 1678 件）

PCI 件数 713 件（昨年 682 件）

EVT 件数 277 件（昨年 307 件）

ペースメーカー植え込み件数 32 件（昨年 46 件）

緊急カテ件数は 113 件（昨年 131 件）と 18 件減。新型コロナウイルス感染症の影響もあり全ての検査が減少傾向ではあるが、昨年に引き続き高度な手技を要される Rotablator 件数が 119 件、Diamond Back が 60 件と昨年に引き続き増加傾向となった。

B）2020 年の取り組み

10 月に綾田医師が非常勤に移行。

ペースメーカー外来は継続しており一昨年から開始となったペースメーカー外来も順調。

昨年度ペースメーカー外来 193 件、入院中の患者様へは 38 件の、ペースメーカーチェックを実施。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

また、コロナ下での外来通院困難に対応すべく遠隔モニタリングを積極的に導入。

237 件の実施となり、引き続き導入を進めていく方針。

心臓外科との共同での治療が増え、更に ECMO 導入件数が増加。

緊急対応が増え、救急外来での ECMO 挿入も数回あり、スタッフの経験値も上がってきている。

C）課題、目標について

12 月に新しい放射線装置導入を行い、2021 年 1 月より使用を開始。

それにより下肢動脈に対する治療がより高度になる見込み。

ハイブリッド手術室の運用が開始となり、TAVI 導入業務への介入も見込まれる。

今年度より補助循環デバイスのインペラが導入、新しい取り組みになるため他職種と連携をとり試みる。

〈呼吸器・機器管理〉

A）2019 年との件数比較

NPPV の件数は 2,384 件で、2019 年（2,691 件）より減少。（1 日 1 件としてカウント）ただ、例年どおり NPPV をレンタルすることが多かった。

ベンチレータの件数は 3,649 件で 2019 年（2,471 件）より増加。

ネーザルハイフローの件数は 2,008 件で 2019 年（1,425 件）より大幅に増加。

Para PAC（搬送用人工呼吸器）件数 183 件で 2019 年（87 件）より大幅に増加。

B）2020 年の取り組み

ICU での新型コロナウイルス感染症患者様に対し Servo-U2 台使用

呼吸ケアチーム（RST）への安定した業務参加（月～金）。

2020 年も継続して人工呼吸器に使用前点検ならび定期的な回路交換・人工呼吸器のオーバーホールを実施。

Servo-Air 新規購入し 2 台から 6 台に増加　HCU　ER で運用

ネーザルハイフローの AIRVO2 が 10 台に増加。

C）課題、目標について

新型コロナウイルス感染症対応において人工呼吸器の役割は重要であり、新規の呼吸器の導入も始まったので各自呼吸器に対して研鑽を積み理解を深めていく。

2021 年も新しい医療機器が導入されることに対して、それらの異常の早期発見およびトラブルに臨床工学科として取り組んでいきたい。

〈内視鏡〉

A）2019 年との件数比較

上部消化管検査は、5,084 件と昨年と比較し、724 件減少した。下部消化管検査は、2,498 件と 208 件減少した。ERCP は、323 件と 5 件減少した。治療件数は、ポリペクトミー、EMR が 619 と 33 件増加、ESD も 84 件と 1 件の増加であった。

EUS の件数（消化器・呼吸器含）が 173 件となり 53 件の増加、FNA は、73 件と 33 件の増加となった。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

気管支鏡分野では、143 件と 90 件減少した。

新型コロナ発生による 4 月、5 月の件数の減少があった為、検査件数は減少したが、治療に関してはおおむね現状維持か増加となった。

気管支鏡分野では、143 件と 90 件減少であったが、ディスポ気管支鏡の使用が増えた為であると考えられる。

要因として、スタッフが感染対策をしっかり行った結果、必要最小限の縮小で済んだ事が非常に大きいかと思われる。

B）2020 年の取り組み

a）内視鏡介助者の育成。

b）内視鏡機器の修理金額の削減。

c）他施設からの内視鏡研修受け入れ

d）他施設への業務指導

e）JCI 審査受審による内視鏡対策

f）臨床工学部会内視鏡 WG 活動、以上の 6 点を行った。

結果、

a）介助者の育成は一定の成果が得られたが、手技の難易度が上がっているため育成が難しい局面が多々あった。

b）先端保護チューブの導入により故障程度の軽減、修理金額の減少が出来た。顕著な質の向上が見られた。

c）近江草津病院 CE（業務経験年数 6 年）1 名を 3 週間、吹田徳洲会病院新人 2 名を 3 ヶ月受け入れた。結果、臨床工学部会の関西大阪ブロック内の内視鏡業務の向上と交流推進に貢献することが出来た。

d）宇治徳洲会病院、吹田徳洲会病院、近江草津徳洲会病院の業務指導を計 4 回行った。指導先施設からは業務の質の改善が見られたとの回答であった。

e）JCI 審査に合格するために、フロア内の導線や各種のプロセスを合理的に改善した。工事終了が本審査 3 週間前であったが、サーベイヤーより良好な評価が得られた。

f）臨床工学部会内視鏡 WG 長に中西副技士長が就任（2020 年 4 月～）し、臨床工学部会内視鏡部門のコスト削減案件や業務標準化を提案・推進を行っている。

C）課題、目標について

継続的な目標として新型コロナ対応含め、検査・治療件数の確保を行っていく。クラスター発生による閉鎖や縮小をいかに防ぐかは、非常に重要な目標となる。

多種多様な手技に対応する技術の習得が引き続き必要不可欠となる。

現在、臨床工学部会の方針により八尾徳洲会 CE に求められる事が自施設の内視鏡業務のみでは無く、関西大阪ブロックやグループ全体に対して求められる事が非常に増えた年であった。更なる飛躍した 1 年になることを望みたい。

〈DSA〉

2020 年より新たに、脳アンギオ、シャント PTA 中心に業務が開始された。

〈救急車〉

救急車の使用件数は、昨年と同様に3件にとどまったが患者様の搬送や受け入れ時にトラブル無く対応を行った。

2. メンバー構成

藤田技士長をはじめとして22名で構成。

入職者　西村技士、本間技士、皮技士、藤本技士、東内技士

3. 実績

2020年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
心臓カテーテル	CAG	51	53	34	39	49	49	38	63	40	48	25	35	524
	PCI	73	61	74	53	48	44	64	61	66	64	53	43	704
	ロータプレーダー	10	15	3	6	5	4	10	12	21	13	14	6	119
	PTA	23	21	31	25	20	31	24	21	23	19	20	21	279
	T-PM	2	1	4	0	1	2	4	3	7	2	1	0	27
	P-PM	2	4	2	4	4	2	2	3	2	4	1	1	31
	血栓吸引	13	10	8	8	15	8	16	13	12	11	8	7	129
	PMチェック	17	10	14	23	16	29	26	13	31	3	17	32	231
	遠隔モニタリング	12	13	12	15	17	18	20	24	36	25	47	38	277
心臓血管外科	人工心肺使用症例(開胸)	5	6	9	8	8	10	7	11	7	5	9	8	93
	人工心肺不使用症例(開胸)	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	1	8
	人工血管置換手術(開腹等)	0	2	1	2	1	3	1	4	0	3	2	1	20
	自己血回収装置	6	10	15	13	14	15	12	19	9	13	14	13	153
	TEVER	0	0	0	3	4	4	4	1	5	4	4	4	33
	EVAR	2	0	1	2	3	3	5	8	5	5	3	1	38
手術室	MEP・SEP	2	6	10	8	3	9	6	8	3	8	6	10	79
	鏡視下手術	59	72	71	67	48	77	68	68	70	73	57	74	804
	ラジオ波焼却術	1	2	6	6	4	4	1	3	2	5	2	74	110
DSA	脳アンギオ	2	0	3	1	0	0	4	2	5	4	2	8	31
	シャントPTA	0	0	0	0	0	1	2	2	3	3	5	4	20
人工透析	HD(外来)	864	767	824	867	847	798	843	848	831	862	821	840	10,012
	HD(入院)	323	310	350	373	388	434	375	289	301	280	233	261	3,917
	CRRT	30	13	35	33	40	67	21	59	35	66	30	54	483
	PMX	0	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7
	腹水濃縮	2	2	0	3	0	1	2	3	4	3	1	1	22
	血漿交換・吸着	0	0	0	0	0	6	0	0	0	3	0	0	9
	LDL	3	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	9
内視鏡	GS	459	429	412	269	193	504	505	431	452	549	438	443	5,084
	CS	234	223	202	172	133	204	211	198	190	254	228	249	2,498
	内視鏡的止血術	14	15	5	14	7	11	7	12	10	14	7	5	121
	拡張術	1	0	1	0	2	0	2	0	0	1	0	1	8
	ポリペクトミー・EMR	63	54	60	51	31	44	54	42	41	59	54	66	619
	ESD	8	9	10	10	4	5	8	8	3	10	3	6	84
	上部・下部ステント、イレウス管挿入	8	11	3	1	5	6	5	8	7	15	4	2	75
	食道・胃静脈瘤硬化療法	5	5	4	2	1	0	0	1	1	3	6	2	30
	EUS(消化器・気管支鏡含)	15	9	11	19	6	12	10	16	17	18	17	15	165
	EUS－FNA(消化器・気管支鏡含)				5	4	6	1	4	5	7	4	4	40
	PEG	6	3	3	8	1	6	4	5	1	2	2	2	43
	ERCP	22	23	21	23	24	28	27	29	35	41	23	27	323
	EST	3	2	3	3	3	9	13	5	9	11	4	5	70
	胆膵ステント挿入	15	15	12	15	18	22	22	25	28	37	21	22	252
	BF(吸痰含)	13	15	8	7	15	15	14	11	14	12	11	8	143
呼吸管理	人工呼吸器	253	212	322	214	285	323	344	411	311	365	299	322	3,661
	NPPV	396	303	128	211	187	144	167	139	176	180	189	171	2,391
	NHF	164	202	259	144	134	152	174	171	109	187	169	150	2,015
	搬送用呼吸器(パラパック)	7	8	10	6	21	21	30	19	17	14	12	18	183
	RST	166	137	168	134	151	191	192	177	166	202	148	146	1,978
補助循環	ECMO(PCPS)	11	0	5	14	10	8	8	14	7	0	15	33	125
	IABP	19	2	13	0	20	19	17	13	2	12	13	4	134
メンテナンス	輸液ポンプ	456	402	438	393	484	456	462	457	499	500	487	477	5,511
	シリンジポンプ	213	191	258	191	200	242	226	207	268	210	289	270	2,765
	除細動器	590	548	567	541	574	576	572	531	579	692	720	744	7,234
	持続吸引器	48	62	53	45	59	52	86	84	59	69	60	69	746
	人工呼吸器	591	533	404	389	491	450	533	564	465	540	482	456	5,898
	血液浄化装置	1,501	1,347	1,415	1,518	1,494	1,532	1,508	1,439	1,428	1,495	1,340	1,443	17,460
	生態情報モニター	5,339	4,777	4,804	4,961	4,876	4,785	4,930	4,560	4,426	5,019	4,864	1,427	54,768
	その他	926	1,222	1,294	1,225	1,243	1,323	1,307	1,275	1,277	1,369	1,163	1,252	14,876
その他	救急車搬送同乗	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

活動状況

認定士取得状況

・体外循環認定士　藤田技士長　杉本主任　長谷川技士
・呼吸療法認定士　藤田技士長　藤村主任　杉山副主任　長谷川技士
・血液浄化技術認定士　藤田技士長　杉山副主任　長谷川技士　玉城技士
・消化器内視鏡技師　中西副技士長　杉山副主任

委員会活動

・医療安全委員会　藤田技士長　院内感染対策委員会　藤村主任
・医療安全カンファレンス　森本技士　透析機器管理委員会　藤村主任
・治験委員会　藤田技士長　医療ガス安全管理委員会　藤田技士長
・災害対策委員会　中西副技士長　院内感染対策チーム　藤村主任
・システム委員会　杉山副主任　SM会議　杉本主任

部会活動関連出席

・全国責任者会議　9/12、13　TIS　中西副技士長
・ブロック長・WG長会議　5/18、6/8、7/13、8/10、10/7、11/2、12/7（WEB）中西副技士長
9/11（TIS）中西副技士長
・JCI施設WG会議　12/18（WEB）藤田技士長
・全国内視鏡WG会議　9/3,12/22（WEB）中西副技士長
・関西大阪ブロック責任者会議　2/15（TIS）藤田技士長
5/13,6/10,7/8,8/12,9/9,10/14,11/18（WEB）中西副技士長
12/19（野崎徳洲会病院）中西副技士長
・関西大阪ブロックCEセミナー　10/25（WEB）
中西副技士長、野間技士、岡本技士、西村技士、東内技士、皮技士、藤本技士、本間技士
・関西大阪ブロックCEセミナー会議
8/19、9/16、9/30（WEB）　野間技士
・関西大阪ブロック機器管理WG会議
1/7　藤田技士長、杉本主任
2/14 藤田技士長
3/23 藤田技士長、杉本主任
・臨床工学部会システム会議　6/26（WEB）藤田技士長、野間技士
8/28（WEB）藤田技士長、野間技士
10/23（TIS）野間技士
12/18（WEB）野間技士
・関西大阪ブロック電波管理WG会議　12/17（WEB）中西副技士長、杉本主任
・関西大阪ブロック内視鏡WG会議　8/27、12/4（WEB）中西副技士長

研修・講習会・関連会議

・大阪大学心臓血管外科関連施設会議　藤田技士長（1/11）
・医療機器安全管理講習会　藤田技士長（2/8）
・新型コロナウイルス感染症ECMOnet研修会　藤田技士長、藤村主任（6/13）
・院内医療機器講習会　藤村主任　（6/30）、（11/25）

施設応援

・内視鏡業務指導

宇治徳洲会病院	藤田技士長、中西副技士長　(2/13)
近江草津徳洲会病院	中西副技士長　(3/14)、(8/20)
吹田徳洲会病院	中西副技士長　(7/31)

・グループ内研修受入

吹田徳洲会病院	赤津技士（4/2 ～ 7/5）
	吉中技士（7/6 ～ 9/16）
	青木技士（1/6 ～ 4/10）
	帖地技士（4/13 ～ 5/29）
	学生実習・施設見学会

学生実習・施設見学会

・学生実習

大阪ハイテクノロジー専門学校	(1/9～2/21)	2名
	(11/2～11/30)	3名
	(11/5～11/24)	1名
日本メディカル福祉専門学校	(10/12～11/20)	1名
藍野大学	(6/16～7/24、10/2～10/9)	2名

・学生見学

日本メディカル福祉専門学校	(1/16)	10名

4. 今後の目標

・スタッフの教育推進
・安全かつ質の高い医療機器の提供
・グループ内活動の積極的参加
・学会発表の積極的参加

38）栄養科

栄養科室長　小山　洋史

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

1. 概要

2020 年に入り新型コロナウイルスが日本をはじめ全世界に蔓延し私たちの生活、業務も大きく変貌しました。また 2020 年 4 月の診療報酬の改定では今までにない管理栄養士へ課せられるものが大きくなっています。患者様の早期離床、在宅復帰を推進する観点から、ICU において早期に管理栄養士が介入し 48 時間に経腸栄養を開始する「早期栄養介入加算」の新設、外来化学療法の体制の整備として外来がん化学療法患者様に対しての栄養指導の要件の変更等がありました。いずれも管理栄養士の実務経験、必要な研修等の制約があり質の高い栄養管理が求められています。その他、地域の医療機関、介護施設と連携し自施設の栄養管理の患者情報を共有し地域でのシームレスな栄養管理を目的とする「栄養情報提供加算」も新設されたり、11 月に受診した JCI で求められる細やかな栄養管理も加わり、栄養管理にパワーバランスを傾けた 1 年になりました。

院内では、新型コロナウイルスの感染予防対策として入院患者様の面会制限もあり最上階にある患者レストラン「エイティル」の長期営業自粛を行いました。職員食堂では椅子を間引きし、対面で喫食しないように食堂のレイアウトを変更しました。

2. メンバー構成

2020 年 1 月 1 日～ 2020 年 12 月 31 日
管理栄養士　10 名（栄養サポートチーム専従内 1 名）
調理師　　14 名
調理補助　21 名

3. 実績

≪実習生受け入れ≫

・武庫川女子大学　　2020年10月12日～10月30日　　2名

≪食数≫　　2020 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日

食数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
一般食	13,772	13,011	13,756	12,882	11,261	12,018	12,880	12,163	11,333	12,998	12,514	10,009	148,597	12,383
経管栄養	1,487	1,550	1,673	1,742	1,330	1,998	2,283	2,281	1,806	2,123	2,014	1,716	22,003	1,834
特別食	14,194	12,300	13,412	12,811	13,652	14,159	14,316	13,231	11,914	11,325	11,062	10,680	153,056	12,755
特別食非加算	2,073	1,977	2,236	1,581	1,768	1,928	1,615	1,564	1,069	1,118	2,175	1,955	21,059	1,755
職員食	6,245	6,449	7,282	6,359	5,682	6,793	6,867	6,685	6,607	6,879	6,532	6,908	79,288	6,607
保育所	617	638	914	618	604	569	476	599	491	514	531	630	7,201	600
病児後保育	115	90	53	27	17	11	20	26	28	55	44	21	507	42
付き添い食	0	0	0	0	10	0	2	4	0	0	0	23	39	3
合計	38,503	36,015	39,326	36,020	34,324	37,476	38,459	36,553	33,248	35,012	34,872	31,942	431,750	35,979

≪病院食内訳≫　　2020年1月1日～12月31日

病院食内訳	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
常食	5,336	5,028	5,665	4,984	4,572	5,068	4,805	5,475	4,557	4,980	5,633	3,570	59,673	4,973
軟菜食	3,609	2,988	2,953	3,028	2,597	2,928	3,701	3,114	3,358	3,655	2,747	2,344	37,022	3,085
極軟菜食	1,209	1,692	1,747	1,389	1,036	1,219	1,510	1,239	1,233	1,217	1,306	1,567	16,364	1,364
ペースト食	1,145	893	1,130	1,350	1,292	895	1,522	1,130	800	566	554	660	11,937	995
流動食	361	246	263	280	266	300	305	201	235	315	210	265	3,247	271
学童食	115	63	88	47	41	112	107	70	56	33	0	91	823	69
幼児食	109	11	36	4	20	12	20	26	13	6	10	16	283	24
離乳食	0	3	2	0	0	0	2	0	44	30	31	0	112	9
糖尿食	3,686	3,340	3,805	2,976	3,001	4,126	4,052	4,024	3,410	2,600	3,129	2,523	40,672	3,389
心臓食	3,449	3,249	3,323	3,399	3,845	3,157	2,766	2,787	2,537	2,294	2,313	3,282	36,401	3,034
高血圧食	2,058	1,925	2,117	1,410	1,642	1,837	1,507	1,516	992	1,107	2,096	1,919	20,126	1,678
腎臓食	1,647	1,041	1,287	1,515	1,577	1,490	1,482	1,369	1,280	989	1,039	975	15,691	1,308
透析食	1,221	1,314	1,397	1,591	1,499	1,367	1,048	751	691	891	780	588	13,138	1,095
糖尿透析食	758	583	696	810	1,013	899	1,044	768	827	650	497	494	9,039	753
高脂血症食	73	3	49	39	125	77	119	124	223	164	182	224	1,402	117
低脂肪食	659	537	520	373	559	468	551	512	538	953	574	444	6,688	557
肝臓食	470	338	402	438	381	533	560	410	537	608	555	353	5,585	465
肝不全食	41	185	215	196	104	84	130	228	73	214	202	167	1,839	153
貧血食	0	24	1	0	0	54	27	22	55	4	0	0	187	16
低残渣食	823	995	1,091	949	741	790	1,054	1,038	939	1,186	1,004	732	11,342	945
クローン食	0	0	0	0	2	54	7	0	63	0	17	6	149	12
潰瘍食	773	313	268	274	146	237	370	394	221	437	324	402	4,159	347
胃切後食	168	136	156	56	128	265	336	155	149	100	199	161	2,009	168
カテ食	2	4	6	0	0	0	0	0	1	2	1	12	28	2
ケモ食	192	260	132	243	146	82	63	186	380	255	140	40	2,119	177
COPD食	189	233	255	244	50	52	0	0	9	93	78	7	1,210	101
注腸検査食	4	9	3	0	4	0	0	2	0	0	0	0	22	2
顎間固定食	24	7	20	0	0	0	0	3	34	43	0	1	132	11
訓練食	184	162	145	144	187	186	170	123	158	176	125	179	1,939	162
濃厚流動食	1,490	1,574	1,684	1,758	1,348	2,016	2,349	2,281	1,773	2,136	2,014	1,741	22,164	1,847
その他(単品食等)	1,481	1,441	1,347	1,402	1,514	1,366	1,371	1,125	938	1,647	1,925	1,516	17,073	1,423
合計	31,276	28,597	30,803	28,899	27,836	29,674	30,978	29,073	26,124	27,351	27,685	24,279	342,575	28,549

≪栄養指導件数≫　　2020年1月1日～12月31日

栄養指導件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
入院初回	183件	164件	232件	215件	242件	260件	280件	276件	248件	244件	206件	184件	2,734件	228件
入院2回目以降	58件	54件	83件	98件	87件	99件	85件	88件	78件	51件	77件	61件	919件	77件
外来初回	18件	18件	19件	42件	24件	47件	39件	26件	39件	25件	33件	31件	361件	30件
外来2回目以降	141件	169件	174件	180件	185件	192件	188件	231件	208件	173件	171件	262件	2,274件	190件
外来化学療法栄養指導	0件	0件	0件	7件	23件	41件	23件	37件	29件	16件	19件	4件	199件	18件
集団	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	2件	0件	0件	5件	0件
合計	400件	405件	508件	542件	561件	639件	615件	658件	605件	511件	506件	542件	6,492件	541件

≪栄養関係加算件数≫　　2020年1月1日～12月31日

栄養指導件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
早期栄養介入加算				128件	137件	128件	134件	156件	90件	108件	159件	126件	1,166件	130件
栄養情報提供加算				8件	137件	77件	35件	94件	60件	44件	53件	42件	550件	61件
栄養管理計画書作成枚数	1,875枚	1,877枚	1,840枚	1,667枚	1,489枚	1,742枚	1,943枚	1,854枚	1,823枚	1,900枚	1,638枚	1,585枚	21,233枚	1,769枚

4. 今後の目標

・国、地域の求める栄養管理の実践・人材育成

医療機関の運営は地域医療構想に沿って運営しています。地域別に栄養管理が必要な疾患の罹患率、食生活、文化の違いによる各栄養素の摂取量の違いがあり中河内の医療圏に沿った栄養管理が必要と考えます。これを当院で実践するには国、地域の求める診療報酬の改定に求められる栄養管理ができる人材の育成が急務と考えます。

・病態に応じた食事の提供と献立、調理方法の検討

現在塩分を控えなければならない病態の患者様に対しては1日6g未満（日本人の平均の約12gの約半量）で調理提供しており、近い将来WHOの推奨する5g未満になることが予想されます。当院も新病院移転後から様々な「だし」を使用し、うま味を活かした献立での提供をしていましたが、患者様の食事満足度を下げないための献立改定や調理技術の向上を行っていく必要があります。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験センター 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診センター 125
情報システム 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

39）治験センター

治験センター　大里　恭章

1. 概要

2020 年を振り返り､4 月より宇治徳洲会病院より副センター長として元田君（臨床検査技師）が赴任し、CRC の構成は臨床検査技師 CRC 3 名、看護師 CRC 2 名となり、多くの案件に対応できる状況になりましたが、国内外の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、参加していた治験が一旦中断（約 2 ヶ月間）となり、また多くの製薬会社で医薬品開発自体の進展が難しくなるなどして、新規案件の件数も激減しました。

そのような状況の中で、治験センターとして新型コロナウイルス感染症の治療薬として特例承認を受けた『アビガン錠（ファビピラビル)』、『ベクルリー注射用 100mg（レムデシビル)』の院内処方を可能にするため同意書作成から薬剤の管理（G-mis）に至るまで外部機関（レジストリー研究）との調整対応、また医師からの新型コロナウイルスに関する臨床研究への参加等の申し出に対し、様々な後方支援を行ってきました。

また職員の学会発表・論文投稿の状況を院内として一括に管理するため、JCI 承認に向けた QI 活動として、発表する職員全員に研究計画書の提出を義務づけ、それらのサポートも開始しました。

さらに、臨床検査技師、看護師の資格を活かし、発熱外来での検体採取業務にも参加し、院内の新型コロナウイルス感染症へのサポートに従事しました。

これらの経験を前向きに生かし、新型コロナウイルス感染症が収まり次第、受託案件数を増やし、スタッフ個々の能力を十分に発揮でき、かつ、施設スタッフとの連携もより強化し、質の高い治験業務を進めていきます。

2. メンバー構成

治験　センター長（兼任）1 名（薬剤師）
治験　副センター 1 名（臨床検査技師）
　　専任 CRC 3 名（臨床検査技師 1 名、看護師 2 名）
　　治験事務局補助業務担当者 1 名（臨床検査技師 1 名）

3. 実績

【治験】

①高カリウム血症（ゼリア）

② TKKT01 治験（PRP 療法）（ロート）

③経口摂取が困難又は不可能なうっ血性心不全（大塚製薬）

④心房細動を対象にアキサバンと比較した FXIa 阻害薬 BAY2433334 の安全性を検討（バイエル）

【コロナウイルス関連臨床研究等】

①ファビピラビル等の抗ウイルス等が投与された新型コロナウイルス感染症患者の背景因子と治療効果の検討（観察研究）：51 例

②新型コロナウイルス感染症に関するレジストリ研究（新型コロナウイルス感染症　Registry）112 名登録

③ベクルリー製販後調査　　12/31 時点 30 例登録

【研修会・学会・参加】

① CRC 全国 web 会議（元田副センター長）

②西日本ブロック　責任者会議（元田副センター長）

4. 今後の目標

臨床試験部会から推奨されている各種手順書の修正や作成をすすめ、全てのスタッフが CRC 業務に取り組みやすい体制を引き続き構築していきます。

また、CRC は、受託治験の早期組み入れ、契約数達成率アップ、契約数追加などが出来るように、積極的な活動を心掛けるとともに、GCP に基づいた品質の高い実施内容が実践できるよう努力を重ねていきます。

薬剤科　88
放射線科　91
臨床検査　93
リハビリ　95
臨床心理　101
臨床工学　103
栄養科　110
治験セン　113
医療福祉　115
病診連携　118
健診セン　125
情報シス　127
保育室　129
がん相談　131
医療安全　134
臨床腫瘍　139

40）医療福祉相談室（MSW 医療ソーシャルワーカー）

認定医療社会福祉士　三谷　勇一

1. 概要

医療ソーシャルワーカーとは、予測不能な社会（VUCA 社会）の中で、目先の利益に注目するのではなく、「地域共生社会」、「地域生活課題」をキーワードに、社会的孤立を防ぐことを一役割とします。そして、持続可能な社会開発（SDGs）の実現のために、院内のみならず地域で活躍する専門家です。

2020 年は、JCI 認証の過程において、退院支援計画書の算定件数を可視化し、算定件数の増加を試みました。また、個々の力量の向上を目指す過程で、介入力評価表を作成し、テクニカルスキルに絞って評価しました。一方、WI（Wide Indicator）においては、平均在院日数の短縮を試み、重回帰分析を用いて、介入日数が長い患者様の特性を明らかにし、組織としての課題を明確化しました。それらの取り組みは、学会発表等 7 演題、論文等 3 本の成果となりました。

2. メンバー構成

病棟専任社会福祉士 10 名、（算定加算：入退院支援加算 1）
三谷勇一（8 西･8 東）、岩尾涼（8 西･8 東）、影山雄紀（7 西･7 東）、五十嵐健太（7 西･7 東）、蔵元裕恵（6 西･6 東）、井本裕美（6 西･6 東）、伊藤貴代（5 西･5 東）、木村千恵（5 西･5 東）、中納浩子（4 東・HCU）、門田翔太（ICU・HCU）。

退院支援専従看護師　　：加藤和代
退院支援専任社会福祉士　：伊藤貴代
入院時支援専任看護師　　：上田あゆみ、辻井千穂（算定加算：入院時支援加算 1）
救急認定ソーシャルワーカー：三谷勇一

外来担当:門田（月曜）、中納（火曜）、蔵元（水曜）、三谷（木曜）、影山（金曜）、三谷（土曜）。

人事
4 月 1 日　2 名　入職　木村、井本

委員会活動等

病床管理委員会	三谷	オンコロジー委員会	三谷	がん緩和支援委員会	三谷
放射線治療委員会	三谷	患者アセスメント委員会	三谷	患者ケア委員会	三谷
未収金委員会	門田	地域医療担当者会議	門田	運営会議･広報委員会	門田
業務改善委員会	門田	QI（Quality Improvement）会議	三谷	病床管理委員会	（三谷）

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

認定資格等

認定医療社会福祉士　三谷、救急認定ソーシャルワーカー　三谷、認定がん専門相談員　三谷
認定スーパーバイザー　三谷、職場適応援助者　三谷、障害者職業生活相談員　三谷
精神保健福祉士　蔵元・伊藤、介護福祉士　井本、保育士　岩尾、幼稚園教諭２種　岩尾
相談援助実習指導者　三谷・門田、公認心理師　三谷、認知症サポーター　三谷・門田
ストレスチェック実施者　三谷、地域緩和ケア連携調整員　三谷・門田
初任者研修（ホームヘルパー２級）　木村・井本、福祉住環境コーディネーター３級　井本
ゲノム医療対応多職種養成インテンシブコース　三谷・門田
がん免疫医療対応多職種養成インテンシブコース　三谷・門田

3. 実績

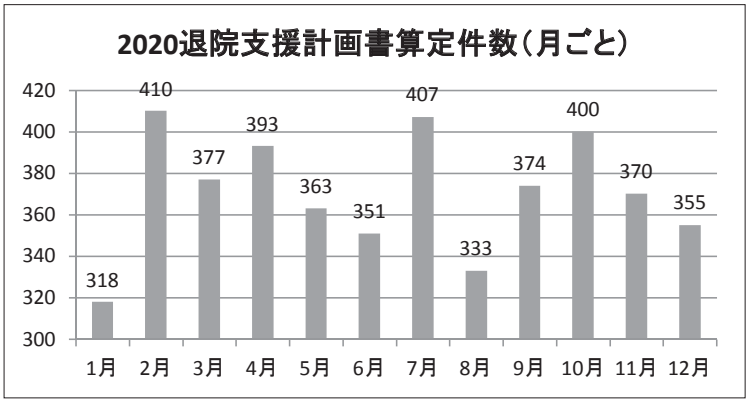
1）退院支援実績

2020 年		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
1. 他施設へ		156	145	142	184	152	167	184	169	162	157	138	140	1,896
内、グループ内施設へ		11	15	5	24	9	14	18	22	10	6	8	9	151
内訳	① 医療機関	76	69	84	106	86	102	116	106	105	103	89	95	1,137
	内、グループ内施設へ	4	5	2	10	4	10	15	13	6	2	3	6	80
	② 老健施設	18	15	10	14	7	11	8	15	12	6	8	6	130
	内、グループ内施設へ	7	9	3	8	4	3	1	9	4	4	5	2	59
	③ 老人ホーム等	61	59	47	62	55	52	58	48	45	47	38	38	610
	内、グループ内施設へ	0	1	0	6	1	1	2	0	0	0	0	1	12
	④ その他	1	2	1	2	4	2	2	0	0	1	3	1	19
	内、グループ内施設へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 在宅診療へ		33	37	30	34	26	35	36	40	43	41	50	35	440
内訳	グループ内事業所	5	4	3	7	8	9	12	6	7	8	5	11	85
	（再掲）内、新規登録	1	2	3	2	6	7	4	7	6	5	3	9	55
	グループ外事業所	28	33	27	27	18	26	24	34	36	33	45	24	355
3. 死亡		53	60	50	46	54	59	53	54	41	58	58	44	630
4. その他（軽快退院を含む）		664	719	677	592	514	595	706	674	665	704	581	604	7,695
1、2、3、4 の合計		906	961	899	856	746	856	979	937	911	960	827	823	10,661

2）入退院支援加算１（退院支援計画書）算定実績

昨年の 3828 件を大幅に更新し、4443 件となりました。入院時支援加算は、年間 187 件でした。

図 1

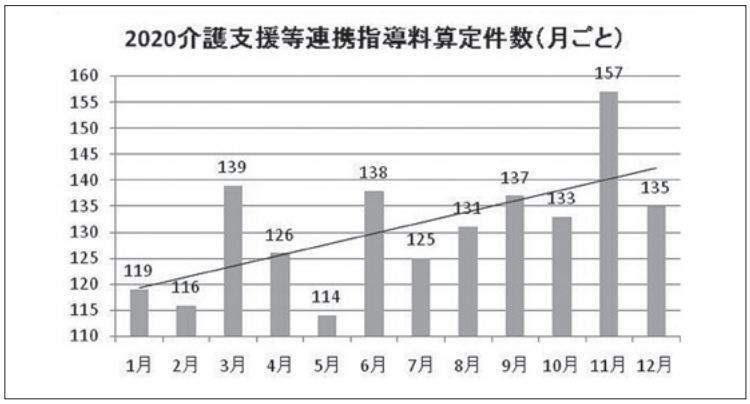


3）介護指導連携指導料

施設基準として年間 63 件以上の算定が必要となります。

2020 年は 1570 件で有意に条件を満たしました。2019 年の 991 件を上回っています。

図 2



4）相談援助実習（指導者：三谷、門田）

大阪国際福祉専門学校（2 名）

期間：2020 年 6 月 1 日～ 7 月 2 日

期間：2020 年 10 月 5 日～ 11 月 21 日

関西福祉科学大学（2 名）

期間：2020 年 8 月 11 日～ 9 月 17 日

5）退院時共同指導料

1/21 ～ 22　　障害者職業生活相談員研修

2/18 ～ 10/2　職場適応援助者研修

6/5 ～ 7　　日本医療社会福祉協会、日本医療社会事業学会（愛知）次年度延期

6/27 ～ 28　　日本医療ソーシャルワーク学会（広島）次年度延期

4. 今後の目標

新入職を多数採用した理由もあり、平均経験年数が実質 2 年と若い部署となりました。そのため、介入力の質向上に取り組む必要があります。単なる事務的ではなく、科学的根拠に基づく介入が求められます。まずは、個々に自分の能力を見極め、ワンステップ成長することが期待されます。そのためには、部署として円滑な介入ができるシステムの構築が求められます。特に、訪問看護との関わりや入院時支援での取り組みには多くの課題を残しました。

今後、自律的な活動ができる力（コンセプチュアルスキル）に焦点をあて、効果測定を検討します。

41） 病診連携室

病診連携室課長補佐　山中　隆史

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

1. 概要

患者様が安心して安全に医療を受けられるよう中河内地区の急性期医療の中核施設として、また大阪府のがん拠点病院として、その役割を果たすべく、地域の医療機関と紹介・逆紹介の連携を活発且つ密接におこなっております。

本年は、新型コロナウイルス肺炎感染症の流行を鑑み、発熱外来の開設、新型コロナウイルス感染症専用病棟を設置し、同症例の紹介を積極的に受入してきました。

また当院へ積極的に紹介いただけるよう常に迅速且つ正確に対応させていただくことを心がけております。

地域の皆様にも幅広く医療をご理解していただき、積極的に予防医療へも関心を持っていただけるよう定期的にオンライン医療講座を開講し、またがん教育の一環として、八尾市および中河内医療圏の中学校で生徒さん向けの医療講演もおこない、予防医療の啓蒙活動にも努めております。

2. メンバー構成

病診連携室長：木村拓也　部長・肝臓センター長（肝臓外科・小児外科）

事務：山中隆史・中道睦代・石井陽子・大西直哉・上間やよい

3. 実績

・「中河内医療連携の会」（病診連携の会）

地域の連携医、連携施設との勉強会・情報交換会を定期的に開催催

2020年5月16日（土）「 中河内医療連携の会 」の予定でしたが、
新型コロナ肺炎感染症の流行を鑑み、中止と致しました。

《主な公開医療講座》

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
医師	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	こどもと新型コロナウイルス	9月25日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	こどもと新型コロナウイルス	10月23日	オンライン講座
	腎臓内科　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	11月24日	オンライン講座
	医学博士　小児科部長　石垣　早知子	来年のスギ花粉を考えよう	11月30日	オンライン講座
	腎臓内科　森　ちさこ	腎機能が悪いと言われたら・・・	12月29日	オンライン講座
保健師	保健師　由留木　千恵	気を付けよう、糖尿病と歯周病	1月29日	山本コミュニティセンター3階学習室
	保健師　大谷　康仁	心不全を予防しよう ～心筋梗塞・弁膜症の治療後の日常生活～	2月14日	柏原市民文化会館 リビエールホール地下1階
	保健師　由留木　千恵	動脈硬化を知ろう	11月19日	オンライン講座
	保健師　藤井　安希子	「脂肪肝」ってなに？	12月28日	オンライン講座
看護師	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	実践してみよう！認知症予防	1月10日	八尾プリズムホール4階研修室
	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	どうなる！？新型コロナウイルス ～対策と今後の展開について～	2月12日	八尾プリズムホール4階第2会議室
	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	新型コロナウイルス ～日常での対策の要点～	7月14日	オンライン講座
	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	新型コロナウイルス ～日常での対策の要点～	8月15日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか？ ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	10月8日	オンライン講座
	化学療法認定看護師　苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	10月26日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	人生の最終段階を迎える人との コミュニケーション	10月27日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	低栄養になるとどうなるの？ フレイルとサルコペニアのお話し	11月16日	オンライン講座
	化学療法認定看護師　苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	11月17日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	いのちの授業パート① ～大人でも子どもでも聞ける命の大切さを考える～	12月9日	オンライン講座
	化学療法認定看護師　苗代 啓子	がんと免疫は関係あるの？	12月17日	オンライン講座
	摂食・嚥下障害看護認定看護師 川原　毅得	最近よくむせているって言われませんか? ～誤嚥性肺炎の前兆かもしれません～	12月21日	オンライン講座
	がん性疼痛看護認定看護師 師長　松本　静香	いのちの授業パート② ～大人でも子どもでも聞ける命の大切さを考える～	12月22日	オンライン講座
薬剤師	クローバー薬局 薬局長　勝山　千男	脱水症について	1月25日	イースタンビル3階 共催：池田クリニック
管理栄養士	栄養科　副室長　小山　洋史	骨と筋肉を強くする！ 健康寿命を延ばす食事のポイント	1月29日	山本コミュニティセンター3階 学習室

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
臨床検査技師	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	1月10日	八尾プリズムホール４階研修室
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	1月17日	柏原市民文化会館リビエールホール 地下１階
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り鼻すすりは耳に悪いって 知っていますか？	2月14日	柏原市民文化会館リビエールホール 地下１階
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	2月19日	美園地区久宝園集会所
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	6月19日	八尾徳洲会総合病院３階第１・２会議室
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	8月28日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	良い睡眠、悪い睡眠 ～睡眠障害にならないために～	9月24日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	睡眠時無呼吸症候群	10月22日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	耳鳴り ～鼻すすりは耳に悪いって知っていますか?～	10月30日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	11月19日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	睡眠障害 ～お薬は最終手段～	11月26日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	いびきと隠れ脳梗塞 ～前触れサインを見逃すな～	12月10日	オンライン講座
	検査科副主任　臨床検査技師 睡眠健康指導士　戸野川　始	夜間頻尿	12月25日	オンライン講座
理学療法士	ひじ施術整骨院 院長　理学療法士　飛地　八省	腰痛のお話 ～腰痛の理学療法～	2月12日	八尾プリズムホール４階第２会議室
	理学療法士　服部　玄徳	今日から実践！！腰痛予防体操	9月16日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	自分で出来る‼今日から始める簡単体操 ～介護予防のために～	10月21日	オンライン講座
	理学療法士　服部　玄徳	骨折予防 ～家で転倒しないコツ！～	11月18日	オンライン講座
臨床心理士	臨床心理士　朴　祐希	心と体のつながり ～シンシンソウカン～	2月18日	グレース大聖堂（東山本新町1−15） 主催:グレース宣教会＊近鉄山本駅より徒歩10分。 公共交通機関、自転車等でご来場下さい。
	臨床心理士　八島　麻美子	心のメンテナンス ～感染流行期編～	10月19日	オンライン講座
	臨床心理士　朴　祐希	こころと体のつながり ～心の免疫力を高めよう～	11月25日	オンライン講座

薬剤科　88
放射線科　91
臨床検査　93
リハビリ　95
臨床心理　101
臨床工学　103
栄養科　110
治験センター　113
医療福祉　115
病診連携　118
健診センター　125
情報システム　127
保育室　129
がん相談　131
医療安全　134
臨床腫瘍　139

《糖尿病教室にて医療講座》

職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
医師	歯科口腔外科　部長　占部　一彦	糖尿病と歯周病	1月14日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
	内科　髙原　良典	糖尿病の急性合併症	2月21日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
	糖尿病内科　植田　秀樹	糖尿病の合併症 ～細小血管症について～	9月18日	オンライン講座
保健師	保健師　藤井　安希子	お家でできる！フットケア	7月17日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
	保健師　大谷　康仁	秋の旬？？「えのき」にご注意！！	10月16日	オンライン講座
薬剤師	薬剤部　坂野　千賀	血糖値　測ってみよう、考えてみよう	1月14日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
	薬剤師　栗野　大輔	糖尿病の薬について	8月21日	オンライン講座
管理栄養士	管理栄養士　佐藤　友亮	糖尿病の食事療法～基礎編～	7月17日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
	管理栄養士　岸本　真悠	糖尿病性腎症の食事療法について	10月16日	オンライン講座
臨床検査技師	臨床検査技師　小林　正弥	糖尿病に関する検査データの見方	9月18日	オンライン講座
理学療法士	理学療法士　服部　玄徳	運動療法　実践編 ～有酸素運動について～	8月21日	オンライン講座
	理学療法士　小阪　葵	運動療法　実践編 ～自宅でできる!簡単レジスタンス運動～	12月18日	オンライン講演
臨床心理士	臨床心理士　八島　麻美子	糖尿病とこころ	2月21日	八尾徳洲会総合病院 3階第1・2会議室
事務	医事課　川上　祐理	糖尿病の医療費	12月18日	オンライン講演

《各種団体からの依頼による医療講座》

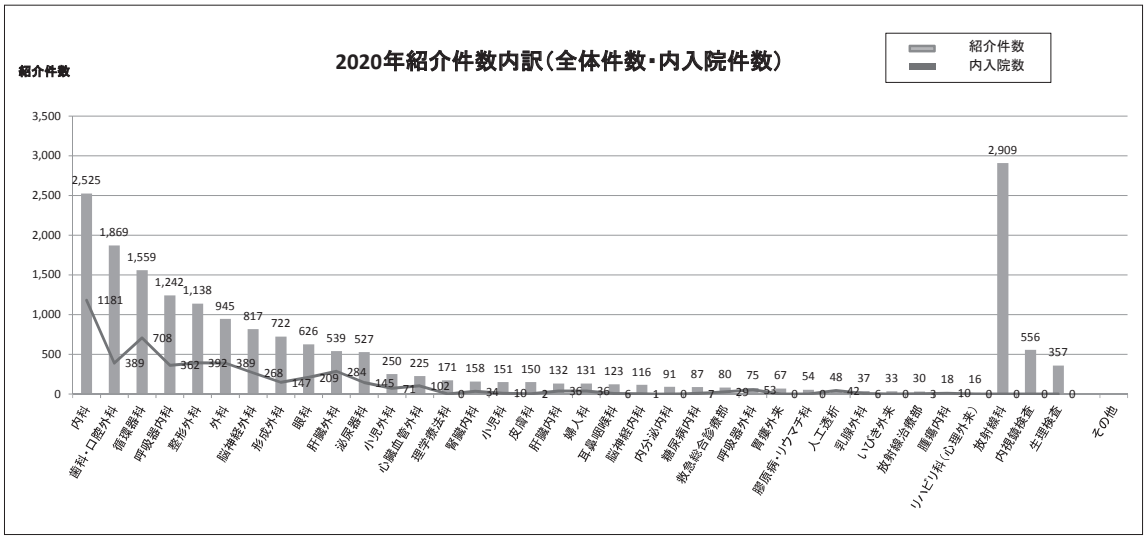
職種	講　師	演　題	開催日	開催場所
医師	内科　小原　僚一	脱水の対策と治療法	2月18日	森河内公民分館 東大阪市社会福祉協議会
	内科　井原　拾得	人工呼吸、AEDの使い方	2月23日	八尾市立社会福祉会館1階会議室 八尾市障害者団体連合会
	肝臓外科　医長　松岡　伸英	がん教育	11月11日	高美中学校
	肝臓外科・小児外科　木村　拓也	がん教育	12月2日	上之島中学校
保健師	保健師　酒井　菜穂子	血圧を上げる↑、下げる↓	1月21日	柏原市社会福祉協議会
	保健師　藤井安希子	骨折を防ごう！ （脳トレと簡単な運動も）	2月21日	柏原市社会福祉協議会 上市会館
看護師	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	実践してみよう！ 認知症予防	1月14日	グレース大聖堂
	救急看護認定看護師 副主任　鴨木　沙織	脳卒中のサインと対処	1月26日	高砂　太閤苑自治会
	副看護部長　感染対策室 室長　渋谷　豊克	新型コロナウイルス感染防止について （健常者・障碍者）	10月18日	上之島小学校集会所
	がん性疼痛看護認定看護師／ 特定看護師	がん教育	11月11日	高美中学校
臨床検査技師	臨床検査技師　睡眠健康指導士 戸野川　始	睡眠障害	9月8日	東大阪永和分室 東大阪社会福祉協議会
理学療法士	理学療法士　服部　玄徳	介護予防 ～自分で出来る!!今日から始める簡単体操～	2月17日	柏原市社会福祉協議会
臨床心理士	臨床心理士　朴　祐希	心と体のつながり ～シンシンソウカン～	2月18日	グレース大聖堂

《各科紹介件数（内入院数）》

紹介件数(上段) 内入院数(下段)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	249	202	200	178	176	197	235	215	176	244	220	233	2,525
	129	100	118	96	100	111	117	98	67	101	78	66	1,181
歯科・口腔外科	174	180	154	105	77	161	179	145	174	198	173	149	1,869
	40	32	32	28	14	32	38	35	34	41	35	28	389
循環器科	167	164	126	102	101	133	138	122	136	148	104	118	1,559
	86	81	62	59	49	52	46	62	52	63	45	51	708
外科	120	110	118	79	39	66	63	42	83	84	70	71	945
	28	32	41	22	23	31	32	26	41	37	44	32	389
呼吸器内科	65	92	78	125	112	80	112	129	115	119	142	73	1,242
	24	37	38	39	35	24	32	32	29	27	23	22	362
整形外科	65	81	69	44	74	128	102	128	102	131	113	101	1,138
	40	54	41	39	27	28	21	35	28	23	32	24	392
眼科	79	59	65	36	21	37	61	38	45	75	69	41	626
	34	17	31	17	1	8	25	7	13	24	18	14	209
脳神経外科	58	63	61	53	57	66	81	62	80	89	69	78	817
	15	18	27	14	21	30	21	25	25	28	18	26	268
形成外科	81	64	64	38	46	63	62	54	61	60	64	60	717
	13	8	13	9	13	11	15	13	19	14	10	9	147
創傷治療センター	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	5
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	47	47	54	23	32	62	41	38	52	53	42	36	527
	14	10	18	6	7	18	12	8	15	11	11	15	145
肝臓外科	48	35	47	40	35	37	44	47	44	55	53	54	539
	25	22	21	22	24	20	21	25	19	35	26	24	284
小児外科	21	16	38	10	10	15	22	27	27	26	15	23	250
	5	6	14	5	1	6	4	8	6	5	2	9	71
小児科	12	9	9	10	9	10	12	19	17	16	12	16	151
	2	3	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	10
皮膚科	15	12	11	8	12	16	14	10	18	15	11	8	150
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
心臓血管外科	12	14	11	15	16	13	36	18	27	30	15	18	225
	8	4	7	9	8	4	17	10	9	11	6	9	102
耳鼻咽喉科	12	10	8	9	7	11	10	10	8	14	11	13	123
	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	6
婦人科	14	9	11	6	5	12	8	12	17	14	15	8	131
	3	2	1	5	3	3	1	3	5	5	4	1	36
肝臓内科	13	9	8	9	6	8	12	13	14	16	13	11	132
	3	3	2	5	0	3	8	4	4	1	1	2	36
糖尿病内科	3	6	10	16	6	9	7	2	9	7	5	7	87
	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	1	0	7
腎臓内科	15	9	5	8	18	10	14	21	18	18	12	10	158
	5	2	1	0	6	2	4	5	2	3	3	1	34
脳神経内科	12	6	10	7	10	10	10	9	12	12	9	9	116
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
理学診療科	5	5	6	3	2	12	25	24	22	26	27	14	171
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌内科	6	7	7	6	7	4	4	4	13	12	10	11	91
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	1	2	3	1	1	11	9	7	10	7	9	14	75
	1	1	3	0	0	8	8	5	10	3	5	9	53
膠原病リウマチ外来	7	8	9	6	4	3	7	1	5	1	2	1	54
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺外科	2	5	3	2	2	2	1	4	4	4	4	4	37
	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	6
いびき外来	8	4	4	5	2	4	5	1	0	0	0	0	33
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工透析	2	4	5	2	3	10	3	6	7	2	4	0	48
	2	3	3	2	3	9	2	6	6	2	4	0	42
腫瘍内科	1	1	0	1	2	0	2	0	4	1	3	3	18
	0	0	0	0	1	0	1	0	2	1	3	2	10
放射線治療部	1	2	1	9	3	2	2	2	3	3	1	1	30
	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
胃瘻外来	2	2	7	5	3	9	10	6	9	4	2	8	67
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリ科(心理外来)	5	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	16
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急総合診療部	4	11	3	9	5	3	3	6	5	2	16	13	80
	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	14	9	29
鼠径ヘルニア外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	278	240	254	134	154	260	280	255	284	329	219	222	2,909
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内視鏡検査	64	50	50	12	17	40	74	32	45	61	60	51	556
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生理検査	31	24	13	13	16	19	38	19	29	35	36	84	357
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
紹介件数合計	1,699	1,567	1,524	1,130	1,090	1,525	1,728	1,528	1,675	1,911	1,630	1,567	18,574
内入院数合計	478	438	475	380	342	405	427	411	388	439	384	355	4,922

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験センター 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診センター 125
情報システム 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

《各診療科紹介件数内訳（全体件数・内入院数）》



科 / 項目	内科	歯科・口腔外科	循環器科	呼吸器内科	整形外科	外科	脳神経外科	形成外科	眼科	肝臓外科	泌尿器科	小児外科	心臓血管外科	理学療法科	腎臓内科	小児科	皮膚科	肝臓内科	婦人科
紹介件数	2,525	1,869	1,559	1,242	1,138	945	817	722	626	539	527	250	225	171	158	151	150	132	131
内入院数	1,181	389	708	362	392	389	268	147	209	284	145	71	102	0	34	10	2	36	36

科 / 項目	耳鼻咽喉科	脳神経内科	内分泌内科	糖尿病内科	救急総合診療部	呼吸器外科	胃瘻外来	膠原病・リウマチ科	人工透析	乳腺外科	いびき外来	放射線治療部	腫瘍内科	心理療法	鼠径ヘルニア外来	放射線科	内視鏡検査	生理検査	その他	合計
紹介件数	123	116	91	87	80	75	67	54	48	37	33	30	18	16	0	2,909	556	357	0	18,574
内入院数	6	1	0	7	29	53	0	0	42	6	0	3	10	0	0	0	0	0	0	4,922

※創傷治療センターは形成外科に、いびき外来の検査入院は内科に含まれます。

《検査紹介件数》

	放射線科	内視鏡	生理検査	合計
1月	278	64	31	373
2月	240	50	24	314
3月	254	50	13	317
4月	134	12	13	159
5月	154	17	16	187
6月	260	40	19	319
7月	280	74	38	392
8月	255	32	19	306
9月	284	45	29	358
10月	329	61	35	425
11月	219	60	36	315
12月	222	51	84	357
合計	2,909	556	357	3,822

主な検査項目

・放射線科

MRI	CT	DSA
RI	インプラントCT	CT（冠動脈）
単純撮影	マンモグラフィー	骨密度

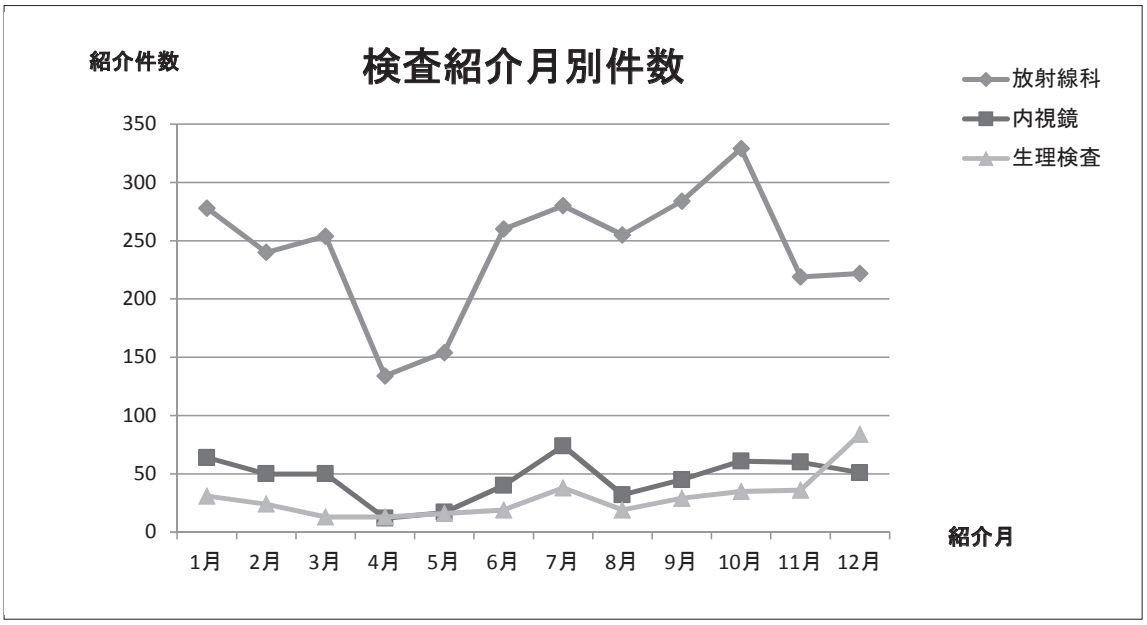
・内視鏡

GIF	CF

・生理検査

腹部エコー	心エコー	末梢血管エコー
甲状腺エコー	頚動脈エコー	乳腺エコー
トレッドミル	心電図	ホルター心電図
呼吸機能	脳波	肺機能
COVID-19 検査		

《検査紹介月別件数》



4. 今後の目標

中河内地区の医療を担うべく、地域の登録医の先生方をはじめ広域の医療機関まで広範囲にわたり、検査・外来・救急・入院に至るまで、あらゆる医療ニーズに迅速かつ円滑に対応し、患者様が安全かつ安心で継続性のある適切な医療を受けられるよう信頼される医療機関として努力してまいります。

新型コロナウィルス感染症についても、積極的に受入をおこない、終息に向け、職員一同努力をしてまいります。

また連携医の先生方の開放病床の積極的な共同利用の促進や定期的に医療連携の会を開催し、勉強会や情報交換会を通じて連携の強化をはかってまいります。

さらに地域の皆様へ様々な情報の発信をおこない、公開医療講座や地域の団体や自治会等からの依頼講演も積極的に開催し、幅広く医療を理解いただき、予防医療の啓蒙活動もすすめてまいります。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

42）健診センター

健診センター長　上野　靖

1. 概要

2020年4月9日から5月31日まで非常事態宣言発出により健診業務を停止しました。約2ヶ月間業務を行えず、この間に健診を予定されていた受診者様や、予約の変更等でご希望日に沿うことが出来なかった受診者様には、ご迷惑をおかけしました。健診再開時には、受診者様には来院時間を細かく設定させて頂き、出来るだけ密を避けるためのご協力だけでなく検温や問診にもご協力頂き感染防止に努めて参りました。しばらくは、このような状態が続きますがご協力をお願いしたいと思います。

当院健診センターは、八尾市では唯一、胸部X線と胃透視の住民健診を実施できる認定施設となり、大腸がん、子宮がん、乳がんと合わせて、八尾市が推奨している全てのがん検診を行えるようになっております。

健診センター内での腹部超音波検査や女性技師による乳腺超音波検査も行えるようになり、時間短縮と快適さを提供できる環境が少しずつ整備されてきました。

また、腹部超音波検査で要精密検査と判定された受診者様のための専門医師によるドック精査外来を設けるなど総合病院に併設されている健診センターの強みを活かした疾患の早期発見・早期治療のバックアップ体制にも力を入れて参ります。

予約業務に関しては、例年と同様に、毎年受診して頂いている企業様への事前予約を行い、個人受診者様にもスムーズにご予約頂けるように試みています。しかしながら、人間ドックコースで胃内視鏡検査を希望される受診者様の予約枠が、予約開始から数ヶ月後には埋まり、受診者様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。次年度は、受診者様のご希望に添えるように更なる業務改善をしていきたいと思います。

2. メンバー構成

常勤医師1名、常勤放射線技師1名、常勤看護師4名、常勤事務員7名、非常勤医師2名、非常勤看護師3名、非常勤検査技師1名

3. 実績

2019 年	ドック	企業	バス健診	産業医	合計
1 月	503	795		6	1,304
2 月	519	1,456		6	1,981
3 月	491	894		6	1,391
4 月	141	277		6	424
5 月	0	61		6	67
6 月	705	720		6	1,431
7 月	635	1,232	63	6	1,936
8 月	563	1,561		6	2,130
9 月	599	949	1,027	6	2,581
10 月	711	1,031		6	1,748
11 月	561	1,394	59	6	2,020
12 月	580	1,043		6	1,629
合計	6,008	11,413	1,149	72	18,642
平均	501	951	96	6	1,554

4. 今後の目標

コロナ禍でも引き続き受診者様の負担を減らし、健診センター内で多くの検査ができるように医療機器の整備やスタッフの教育、検査体制の構築を行い、出来るだけ迅速な検査結果の返却に努めて参ります。

次年度は受診者様のニーズに応えられるような検査枠の拡充やオプション、スマートフォンやタブレットから健診結果の閲覧ができるシステムの運用を目指します。

また、総合病院の利点を活かして呼吸器疾患や消化器疾患、婦人科疾患など、専門医師と連携し、速やかに精密検査できる体制を作り、早期治療に努めます。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

43）情報システム管理室

システム管理室　岸本　賢一

1. 概要

2020 年度は働き方改革とコロナ禍の影響において、IT全般、とりわけ業務システムの環境は劇的に、不可逆的に変化していった。特に大きく変ったのはテレワーク、ウェブ会議などの、物理的に「働く環境」である。病棟業務においては既存のノート PC から使用した携帯性のすぐれたスマートデバイスへの導入や、徳洲会グループ病院間でのインターネット（VPN 閉域網）を介して病院間での電子カルテ相互アクセスの環境を構築するなど病院関係者は感染拡大防止を含めた上での生産性を求められるようになり、それに沿った医療情報システムの構築を求められ、情報システム管理室として様々な取り組みを行って来ました。

2. メンバー構成

システム管理者 : 岸本　賢一、田中　義人、久保　準人

システム委員 : 20 名（医局、看護部、臨床工学科、栄養科、放射線科、薬剤部、理学療法室、検査室、総務部、医事課、医局秘書）

3. 実績

・案件数（システム作業依頼書提出件数）

1 月分	2 月分	3 月分	4 月分	5 月分	6 月分
86 件	69 件	66 件	48 件	69 件	61 件
7 月分	8 月分	9 月分	10 月分	11 月分	12 月分
92 件	57 件	70 件	71 件	24 件	88 件
年間合計					801 件

注：大型案件・電話直接問い合わせ案件等を除く

・病院業務体制について

1 月に 1 名入職となり 2 名体制。7 月中旬から 1 名入職となり 3 名体制となった。

・システム委員会（毎月第1木曜日実施）

1 月	電子カルテフリーズ（ 2020/1/14 10：40 ～ 10：50 ）不具合修正対応アプリ対応
2 月	特定管理物品棚卸
	部会系（看護部会、診療情報部会、健診部会）
3 月	徳洲会メールのプロバイダー変更に伴う変更
	医事マイティチェッカーを仮想化サーバーへ切り替え
	フクダ電子心電図サーバーリプレイス
	接触者外来診察室構築対応
4 月	USB メモリ運用マニュアル作成・配布 運用開始
	Web 大会議用マイク・カメラ設置および各種 Web 会議環境構築
5 月	電子カルテ PC（Windows10）検証、払い出し開始

6 月	Zoom によるオンライン公開医療講座開始
7 月	理事長交代による各種システム対応
	DGS 手術動画サーバー増設
	電子カルテ遠隔接続（八尾−神戸）構築完了 : 遠隔診療サポートシステム初稼働
8 月	ルミパルス検査機器接続対応
9 月	電子カルテ iPod（NewtonsMobile）稼働による看護業務負担軽減
10 月	シーメンス CiosSelect（放射線科イメージ）接続対応
11 月	第 8 手術室新設対応（電子カルテ環境、ネット整備設置）
	発熱外来診察室構築対応
	JCI オンライン審査（11/9 ～ 11/13）
12 月	シーメンスエコー SC2000（手術室エコー) 接続対応
	電子カルテ遠隔接続（ 八尾 - 全南 ・ 八尾 - 生駒 ・ 八尾 - 徳之島 ） 構築完了

・その他

・電子カルテクライアント機器メンテナンス対応（PC、プリンター、ネットワーク）

・電子カルテサーバー保守・運用　（メンテナンス対応）

・病院関連システムメンテナンス（データ更新、保守作業、修理対応）

・ベンダーコントロール業務（各部門システムベンダーとの折衝業務）

・PC関連　院内ヘルプデスク対応

・電子カルテ操作教育

・部門検査機器導入　関連システム接続対応

・ホームページ関連

・JCI対応

4. 今後の目標

各種法規制変更に対応しつつ、新規・入れ替え機器接続対応などを行い、システム委員会メンバーと共にシステムの運用・保守・構築を行う。また RPA（Robotic Process Automation）を取り入れることにより作業の効率化をはかり各部署の働き方改革を実施していきたいと思います。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

44）保育室

保育室係長　中村　朱美

1. 概要

2020 年は、新型コロナウイルス感染症の対応におわれた一年となりました。春の遠足から始まり・個人懇談そして園児のご家族皆様方が特に楽しみにされていたクリスマス会行事が中止となった。不安を抱きながらも収束を願い衣装・劇の台本・壁面飾り等早くから準備をしていた保育士、最後の年となる年長園児、保護者の方々からも落胆の声が上がった。

園児だけによるクリスマス会を画像に納め保護者の方々に観て頂く事はできないものか検討。感染対策室に申し出たところ許可を得ることができ、リハーサル・本番予定日だった 2 日に分け実施。結果として感染者も出ず園児や保育士から沢山の笑顔が見られた事は大きな成果であった。

QI の取り組みにおいても、「感染症を減らす」を目標として掲げた。保育士・園児・保護者が一丸となって取り組む事ができ最優秀賞を取得。成果とともに喜ばしい出来事であった。

今年は常勤保育士 2 名が退職、更に 1 名が 6 月より産休・育休に入り保育士不足は、昨年と同様続いている。3 クラス編成にて対応するも新乳児は増加傾向にあった。

しかし、幸いにも病児保育室（モコモコ）の利用者がコロナ禍の影響で減少し担当保育士がエンジェル保育室の補助要員として対応する事で無事に運用できました。

2. メンバー構成

エンジェル保育室	《キリン組》	河野	上原	中村
	《リス組》	長谷川	中西	大岩
	《ヒヨコ組》	曽我	竹田	田中
	フリー	木下		
モコモコ保育室		荻	永田	小林

3. 実績

《エンジェル保育室年齢別登室園児数》

		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
登室数	0歳児	190	219	267	56	67	79	86	100	119	148	163	203	1,697
	1･2歳児	328	325	380	295	279	294	328	308	302	327	288	310	3,764
	3歳児	69	65	69	160	146	134	171	171	170	163	167	192	1,677
	4歳児	87	81	82	69	62	60	74	82	63	62	72	71	865
	5歳児	148	116	144	73	74	81	94	87	83	96	88	104	1,188
	学童保育	13	39	23	22	11	8	22	27	27	21	26	22	261
	合計	835	845	965	675	639	656	775	775	764	817	804	902	9,452
	一時預かり保育	5	14	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	23
	半日預かり保育	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5

《病児・病後児保育室運営状況》

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
開室日数	19	19	20	20	19	20	22	18	19	21	20	20	237
利用者数	150	96	102	94	76	71	85	60	70	73	70	107	1,054
一日平均利用者	7.9	5.1	5.1	4.7	4	3.6	3.9	3.3	3.7	3.5	3.5	5.4	4.5
保育士数	57	55	59	61	55	50	63	49	55	59	58	65	686
一日平均保育士数	3	2.9	3	3.1	2.9	2.5	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	3.3	2.9
診察結果待ち数	52	13	16	18	9	3	4	5	7	8	4	11	150
意見書利用数	11	11	4	9	5	8	8	6	11	4	6	7	90

《研　修》

3ヵ月に1回　保育士研修（勉強会）をエンジェル保育室にて実施

《行　事》

2月 3日　節分（豆まき）
3月 3日　ひなまつり
14日　お別れ会
5月 1日　子どもの日
6月10日　時の記念日
25日　じゃが芋掘り（園庭横畑にて10月にはさつま芋掘りを実施）
7月 7日　七夕
12日　お楽しみ会･全体懇談会
9月 1日　八尾市在住2歳児　幼児教育・保育料の無償化導入
10月12日　秋の遠足　（中田第2公園）
27日　健康診断・インフルエンザワクチンの予防接種（11月17日も実施）
11月20日　QI大会
12月12･20日　クリスマス会録画撮り　（保育室にて）

☆毎月身体測定・避難訓練・誕生会・月2回幼児教育（英語ECC）を実施
毎月1回保育士による感染対策指導を実施

4. 今後の目標

感染対策の周知徹底により感染症の減少、集団感染を起さない
病児保育（モコモコ保育室）利用者の増加を目指す

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

45）がん相談支援センター

認定がん専門相談員　三谷　勇一

1. 概要

2020 年は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、がん患者サロンの多くは中止となりました。また、立ち上げたばかりの患者家族会の取り組みについても、多くを中止とせざる得ない状況となりました。2 次医療圏単位での合同サロンも中止しました。その中でも、2 次医療圏単位の取り組みとして、合同冊子を作成することで、できる範囲での寄り添いを試みました。2020 年は、あえて、外部からの活動費や研究費の助成は受けず、新型コロナウイルス感染症に備える取り組みに注力しました。

一昨年に学会等から頂戴した研究奨励賞ならびに研究資金の助成金の活用に付随する、大阪府に存在する 65 か所のがん診療（連携）拠点病院のがんサロン参加者を対象とした大規模調査について、多変量解析を用い、PDCA サイクルを構築するための分析を進めました。また、がん政策サミットの集大成として、多くの制度・政策の改正に尽力しました。

地域貢献としては、中河内圏域がん診療ネットワーク協議会シンポジウムにて、地域でがんと向き合うためのがん相談についての講演を行いました。また、徳洲新聞の取材をうけ、当院のがんサロンの取り組みについて、全国の徳洲会病院の仲間と情報を共有しました。

2. メンバー構成

委員長：医師　　村上　修（外科部長）
委員：　社会福祉士　三谷　勇一（両立支援コーディネーター）
（認定がん専門相談員：国立がん研究センター）

3. 実績

（1）研修参加・部会活動

2/9　がんゲノム医療の相談支援（Ⅲ群研修）
2/15　中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会シンポジウム（シンポジスト）
7/10　第 1 回中河内がん相談支援センター部会（WEB 開催）
10/12　第 2 回中河内がん相談支援センター部会（市立東大阪医療センター）
8/9-10　第 25 回日本緩和医療学会（WEB 開催）
9/19　関西がんチーム医療研究会（WEB 開催）
10/29-30　指導者等スキルアップ研修（WEB 開催）
11/7-8　がん政策サミット（WEB 開催）

（2）がん患者サロン（やお徳サロン）の開催

開催計画：6 回程度／年　時：第 2 火曜日 14:00-15:00.　場所：当院会議室にて
第 1 回令和 2 年 2 月 18 日（火）（化学療法認定看護師：苗代敬子）
知りたい！分子標的薬と抗がん剤の違い
※残り 5 回の開催計画については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とさせて頂きました。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

（3）患者家族会（Mon ami）の開催

開催計画：3回程度／年　時：第2火曜日 14:00-15:00.　場所：当院会議室にて

第1回令和2年1月14日（火）（外部講師）

絵手紙講座に参加しませんか？

※残り2回の開催計画については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とさせて頂きました。

（4）がん相談支援センター相談延べ件数の表

2020年相談内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数
がんの治療	2	1	1	0	0	1	2	3	3	4	0	5	22
手術	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	4
放射線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	4
薬物	0	0	0	0	0	0	1	2	1	3	0	2	9
免疫	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ゲノム	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
がんの検査	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	6
症状	7	5	3	0	0	1	1	1	2	5	0	2	27
妊生殖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アピアランス	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
晩期合併	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
長期フォロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
セカンドオピニオン（一般）	6	2	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	14
セカンドオピニオン（受入）	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
セカンドオピニオン（紹介）	5	3	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	12
治療実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨床試験	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
受診・入院	1	2	0	1	0	0	1	1	4	4	0	1	15
転院	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
医療機関紹介	0	0	0	1	0	0	2	2	1	1	2	2	11
予防・検診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅医療	1	1	0	2	4	0	2	6	2	3	3	5	29
緩和ケア・ホスピス	0	1	0	2	2	0	2	3	1	4	3	2	20
ADL・服薬	0	1	0	0	0	1	0	3	2	5	2	3	17
介護・看護・療育	3	2	2	2	2	3	2	3	4	4	3	7	37
介護	0	0	0	2	0	1	2	3	3	4	3	3	21
看護	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	7	13
養育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会生活	1	2	3	2	0	1	0	0	2	2	0	2	15
就労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
仕事と両立	0	0	0	2	0	1	0	0	2	2	0	2	9
就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
学業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費用	2	3	2	2	3	4	3	3	3	5	1	2	33
介護保険	0	0	0	1	0	1	1	2	2	4	1	1	13
傷病手当	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	5
その他	0	0	0	0	3	2	2	1	0	3	0	1	12
補完代替療法	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
生きがい	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
不安・精神的苦痛	2	1	0	0	0	1	2	0	1	1	1	0	9
告知	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
医療者とのコミュニケーション	2	0	1	0	1	3	1	3	3	4	1	1	20
患者・家族間のコミュニケーション	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
友人・知人・職場の人間関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
患者会・家族会	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
グリーフケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	6

4. 今後の目標

がんサロンならびに患者家族会の開催においては、新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、落ち着いたころを見計らって活動の再開を検討します。今後は、図書館とのコラボによるがん情報の提供の在り方を模索します。また、立ち上げたばかりの患者家族会の継続開催とともに、継続的ながんサロンの運営にも工夫を凝らします。そして、受賞ならびに助成金拝受に関連する報告書、論文等をまとめ、新サービスの開発に乗り出します。

46）医療安全管理部

医療安全管理者　糸永　美千代

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

1. 概要

セーフティーマネージャーがインシデント・アクシデントの再発防止が出来るよう、院内ラウンドや医療安全対策カンファレンスのあり方を変更してきました。更に患者影響度の高い事例に関してはRCA分析を行い、根本原因を見つけ出し具体的な対策が立案できるように取り組んでいます。

2. メンバー構成

医療安全管理部長　兼任医師	1名
医療安全管理者　専従看護師	1名
患者支援・相談窓口担当看護師	1名
相談役（主業務：警察事案対応）	1名
患者支援・相談窓口担当事務職員	1名
事務職員	1名

3. 実績

①医療安全管理活動

(1) インシデント・アクシデント報告システム

報告総数は例年増加しております。エラー発生率を事例別に見ると(表.1)例年同様薬剤、ドレーン・チューブ抜去、自己転倒が多くあげられていました。次に事例件数を月別に比較してみると（表2）7.2～9.5%であり有意差はありませんでした。最後に事故レベル別に見てみると（表3)、治療や処置を必要としなかったLv2以下が92.9%を占めていました。レベル0～2の報告が毎年少しずつですが増加しており、Lv3a以上は7.1%と前年の6.6%より増加していました。これは、医師からの報告が増えたためで、RCA分析を行ないながらシステムアプローチをしていきたいと思っております。

表1　事例内容 事例実件数：2,400　対象期間：2020.1.1～12.31

薬剤	ドレーン・チューブ	自己転倒	検査	療養上の世話	ベッド転落	治療・処置	医療機器等	輸血	その他	合計
650	378	384	227	112	116	151	75	28	279	2,400
27.1%	15.8%	16.0%	9.5%	4.7%	4.8%	6.3%	3.1%	1.2%	11.6%	

表 2　月別件数 事例実件数：2,400　対象期間：2020. 1.1 ～ 12.31

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
181	202	203	198	212	229	221	218	182	207	172	175	2,400
7.5%	8.4%	8.5%	8.3%	8.8%	9.5%	9.2%	9.1%	7.6%	8.6%	7.2%	7.3%	

表 3　事故レベル 事例実件数：2,400　対象期間：2020. 1.1 ～ 12.31

Lv0	Lv1	Lv2	Lv3a	Lv3b	Lv4a	Lv4b	Lv5	合計
435	1094	700	130	31	2	5	3	2,400
18.1%	45.6%	29.2%	5.4%	1.3%	0.1%	0.2%	0.1%	

(2) 医療安全管理委員会

毎月　第三月曜日に開催　(1 月～ 12 月、延 12 回)

各部署責任者出席のもと医療事故に対する原因分析を行い、再発防止策を講じることを目的として、開催しております。

(3) セーフティーマネージャー会議

医療安全管理委員会に先行して、毎月 1 回開催（1 月～ 12 月、延 12 回）

医療安全管理委員会の下部組織として患者の安全、安心に貢献することを目的とし、医療事故の防止、医療の質管理を組織横断的に行うため、院内ラウンドや医療安全対策カンファレンスを実施しております。

(4) 医療安全全体研修

1 月は集合研修を行い追加研修は E ラーニングとしました。

1 月 22 日（水）17：15 ～ 18：15

テーマ：リエゾンチームによる譫妄の対応

～リスクマネジメントの観点から～

講師：粥川　朋哉先生　(大阪市立総合医療センター　精神神経科)

参加人数　661 名（参加率　84.5%）

2 回目はコロナ禍で集合研修が行えず E ラーニングの形で研修を行ないました。

i. 第 1 回医療安全全体研修

6 月～ 7 月

テーマ：国際患者安全目標（IPSG）について

タイムアウトマーキングについて・口頭指示受けについて・申し送りについて・患者確認について・転倒転落予防について・パニック値について・ハイアラート薬の管理方法について・手指衛生について

内容：IPSG　担当者が作成した E ラーニング

参加人数　840 名（参加率　91.3%）

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

(5) 医療安全部会参加

医療安全管理部会

医療安全管理部会　全国担当者研修会

(6) 医療安全関連活動への参画

日本医療機能評価機構認定病院　(会員)

医療事故紛争対応研究会　(会員)

日本医療リスクマネジメント学会　(会員)

大阪府看護協会府東支部　医療安全管理者交流会

医療安全に関するシンポジウム　厚生労働省　近畿厚生局

(7) 医療・医事紛争

i. 院内安全パトロールの継続実施

院内の色々なリスク情報の早期発見と事実確認のために、1日2回院内パトロールを実施しております。また防犯カメラも活用し、地下駐車場に駐車している車両の盗難防止を図っています。事例として車両の周りを何度も見て、車を触っている状態を確認し、「声掛け」を行い、「自分の車両のキーを探して、今鞄の中に有りました。これです」と見せて、車両の開け閉めを行い、免許証と車検証の確認をすることが出来、本人である、という事案がありました。

ii. 医事紛争

前年度から継続中のものを含め､3件ありましたが公判に至らず､和解で終了しました。今後も組織内部のコミュニケーションスキルの向上を図り、丁寧な説明を心がけてゆきます。

②患者相談窓口活動と相談支援業務

(1) 患者相談窓口活動

患者相談窓口は医療に関する患者・家族などの苦情や心配に迅速に対応し、医療の情報提供、指導などを通して、患者さんとの信頼関係を築いて行く窓口として設置され、体制は担当看護師の他に事務職員が担当しています。

その業務内容は主に案内・相談・介助・その他に分類でき、詳細は下記に示す通りです。

2020年八尾パルス(相談等)業務実績(件数27216対象期間1／4～12／30)

案内												相談		介助			その他	総合計
予約診(再来機)	入院患者	再診	紹介受付	バス乗り場	駐車券	職員面会	文書受付	初回	健診センター	会計(返戻等)	その他の院内施設	医療相談	苦情相談	車椅子	視・聾・聴	その他		
7,821	2,236	2,873	1,987	1,522	1,504	633	496	408	312	358	2,878	1,962	184	1,467			771	27,216
84.6%												7.8%		5.4%			2.8%	100%

案内業務は全体の84.6%を占め、最も多かったのは予約診（再来受付機）の取り扱いです。再来受付機は画面上の手順や説明文がわかりにくい、車いすに座ったままでは画面が見えにくく、操作手順が複雑、また、高齢者にとっては操作自体になじめない方が多く、故障や不具合で長蛇の列が出来、受付時点で患者様をお待たせすることがありました。

相談業務は全体の7.8%であり、その内容は受診科に関すること、自身の疾患や検査方法、検査データーの説明、治療費に関すること、転院先の相談、セカンドオピニオンなど相談内容は多岐にわたっており、その都度関係部署と連絡を取りながら対応してきました。

介助業務は全体の5.4%ですが、車いす患者の窓口までの移送や、筆談援助、電話をかける、タクシー呼び出しなどの介助を行いました。

(2) 皆様の声

「皆様の声」は173枚で、それらに対するお返事を1ヶ月毎に掲示しています。施設等の要望が42%と最も多く、外来部門では再来機の故障が多すぎる、診察券の不具合のため、再来機で受付が出来ず人の窓口の長蛇の列に並ばなければならない、インフルエンザ予防注射の窓口を別に設けてほしいなど混雑緩和への要望や、新型コロナ感染対策の一環として導入された検温外来による動線変更への戸惑いによる要望が多く見られました。さらに1階受付周辺の時計の時刻がばらばらであり､時刻合わせをしてほしい。2階外科待合の椅子、長時間待つにはしんどすぎるので取り替えてほしいなどがあり、11月には椅子の全面取り替えを行い快適にご利用いただいています。

病棟部門では一部のトイレの汚れを指摘されることがあり、清掃回数を増やすなどの対応をしてきました。

次いで接遇に関する苦情が27%ですが昨年より4%減少しています。反面、感謝のお言葉が7%増えており、事例を職員間で共有するという流れが出来つつあると考えています。

これからも、皆様の声に真摯に耳を傾け、皆様方のご要望に応えるよう努力し、皆様に愛される病院を目指したいと思います。

皆様の声分類 2020 年 1 月～ 12 月

	①感謝	②接遇	③要望等	④内容不詳	合計
医局	6	1	1	3	11
看護部	31	32	29	1	93
医事課	0	4	14	0	18
薬剤部	0	0	1	0	1
栄養科	3	0	4	0	7
検査科	0	1	1	0	2
リハビリ	2	0	0	0	2
総務課	1	3	19	0	23
その他、ローソン	0	0	2	0	2
MSW	0	1	0	0	1
感染管理室	0	0	1	0	1
防災センター	0	0	1	0	1
眼科外来	0	1	0	0	1
宛先不明	4	5	0	3	12
合計	47	48	73	7	175
	27%	27%	42%	4%	100%

(3) 八尾パルスカンファレンス

毎月第 2 木曜日に行い、計 9 回実施しました。

八尾パルスカンファレンスは医事課職員も交えて患者目線での気付いたことの意見交換をはかり、問題解決に向けて取り組んでいます。

再来機の故障による混雑緩和策、正面玄関の車いす補充、エスカレーター使用中の転倒事故防止のための取り組みなどを行いました。

4. 今後の目標

今後も皆様からいただいたご意見・お言葉を病院に届ける橋渡しとして取り組んでいきたいと思います。

薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験セン 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診セン 125
情報シス 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

47）臨床腫瘍センター

副センター長　薬剤部　南野　智志

1. 概要

臨床腫瘍センターには、現在日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医、がん専門薬剤師が在籍しており、その専門性を活かしてチーム医療を展開するべく、がん化学療法に直接携わる各科臨床医、看護師、管理栄養士らと協力し、安全かつ質の高いがん化学療法を提供できるよう努めています。

院内で施行する治療レジメンについては、化学療法委員会で厳格に審査を行ったレジメンのみを採用とし、施行時には電子カルテ上や薬剤師・看護師による十分なチェック機能が働くシステムをとっています。

また、外来で化学療法を受ける患者様に対して、がん専門薬剤師による診察前面談を充実させ、副作用モニタリングや処方提案を行い、QOL 改善や医療安全の向上を目指しています。当センターでは院内全体のがん化学療法を安全・適切に行えるよう、各診療科・多職種のメンバー全員で積極的に取り組んでいきたいと考えています。

2. メンバー構成

センター長：瓜生　恭章（呼吸器内科・腫瘍内科：日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医）
副センター長：金丸　知寛（泌尿器科）、南野　智志（薬剤部：日本医療薬学会がん専門薬剤師）
外　　科：垣本　佳士
薬　剤　部：山本　倫数（日本医療薬学会がん専門薬剤師）
看　護　部：髙橋　章恵、苗代　啓子（がん化学療法看護認定看護師）、中嶋　美也子
栄　養　科：小山　洋史
医　事　課：山下　あすか、原田　高輔

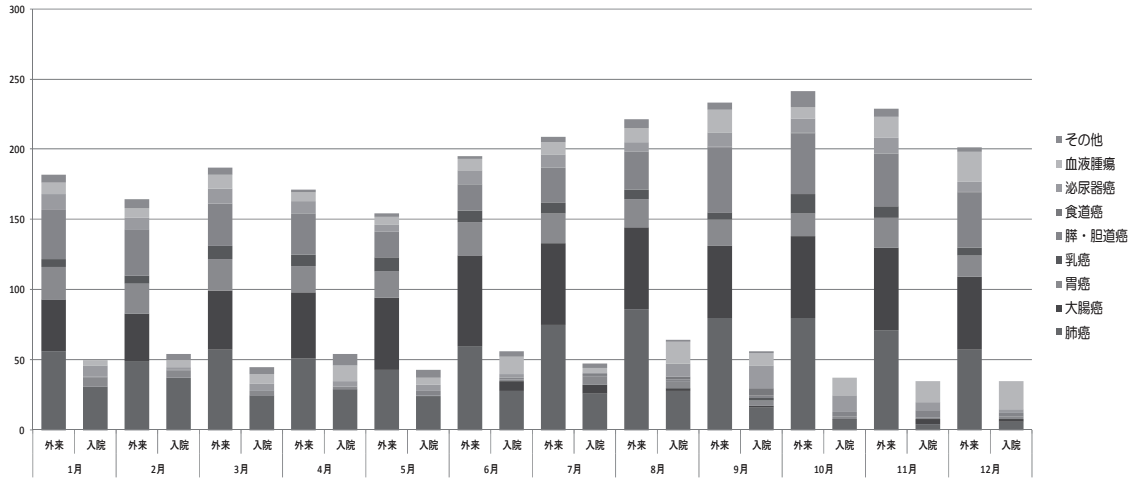
薬剤科 88
放射線科 91
臨床検査 93
リハビリ 95
臨床心理 101
臨床工学 103
栄養科 110
治験センター 113
医療福祉 115
病診連携 118
健診センター 125
情報システム 127
保育室 129
がん相談 131
医療安全 134
臨床腫瘍 139

3. 実績

2020 年のがん化学療法施行件数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言が発出された 4 月～ 5 月にかけてはその影響で件数が低下しましたが、その後は増加傾向となり、最終的には年間 3,073 件（外来：2,422 件、入院：651 件）で、始めて 3,000 件を超え前年度の 111.5% の実績でした。癌種別では肺癌の化学療法が 3 割強を占め、大腸癌・胃癌の消化器系の癌が続きます。また、肝・胆道系癌、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫の化学療法件数も増加傾向となっています。

《がん化学療法・生物学的製剤 施行件数（2020 年 1 月～ 12 月）》

	2020年	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		合 計	
		外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
がん化学療法施行件数（癌種別）	肺癌	56	31	49	37	57	25	51	29	43	24	60	28	75	26	86	28	80	16	80	7	71	4	57	6	765	261
	大腸癌	37	0	34	0	42	0	47	0	51	0	64	7	58	6	58	2	51	1	58	1	59	4	52	2	611	23
	胃癌	23	6	21	5	23	3	19	2	19	1	24	1	21	6	20	5	19	4	16	2	21	1	15	2	241	38
	乳癌	6	0	6	0	9	0	8	0	10	0	8	0	8	0	7	0	5	2	14	0	8	0	6	0	95	2
	膵・胆道癌	35	1	33	1	30	0	29	0	18	3	19	1	25	1	27	1	46	2	43	3	38	5	39	2	382	20
	食道癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	5	1	0	0	0	1	0	3	8
	泌尿器癌	11	8	8	2	11	5	9	4	5	4	10	3	9	1	7	9	10	16	10	12	11	6	7	3	108	73
	血液腫瘍	8	4	7	5	10	7	6	11	6	5	8	12	9	3	10	16	16	9	8	12	15	15	21	20	124	119
	婦人科癌	0	3	0	4	3	6	7	5	0	8	1	5	0	5	4	5	7	9	7	8	3	7	3	10	35	75
	その他	6	0	6	4	5	5	2	8	2	6	2	4	4	3	6	1	5	1	11	0	6	0	3	0	58	32
	合 計	182	53	164	58	190	51	178	59	154	51	196	61	209	52	225	69	240	65	248	45	232	42	204	45	2,422	651
	2019年 合計	195	54	182	69	173	58	212	52	178	54	185	28	175	40	165	40	154	49	188	52	171	42	195	45	2,173	583
（診療科別）	内科	2	1	2	4	9	2	4	0	3	0	5	2	5	3	6	4	10	6	11	1	8	4	6	0	71	27
	腫瘍内科	74	34	64	42	73	34	68	48	56	36	75	43	93	30	106	43	102	25	107	21	95	20	85	28	998	404
	外科	56	6	50	5	64	3	63	2	67	1	85	5	73	11	69	8	63	8	66	2	70	4	62	1	788	56
	乳腺外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝臓外科	34	1	35	1	29	0	31	0	22	3	21	3	29	3	33	1	48	1	45	1	44	1	40	3	411	18
	泌尿器科	11	8	8	2	11	5	9	4	5	4	10	3	9	0	7	8	10	16	10	12	10	6	6	3	106	71
	脳神経外科	3	0	3	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	3	0	17	3
	婦人科	0	3	0	4	2	6	2	5	0	7	0	5	0	5	4	5	7	9	7	6	3	7	2	10	27	72
	その他	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	合 計	182	53	164	58	190	51	178	59	154	51	196	61	209	52	225	69	240	65	248	45	232	42	204	45	2,422	651
生物学的製剤	膠原病・リウマチ	36	0	46	0	41	0	56	0	46	0	32	0	44	0	40	0	33	0	36	0	40	0	33	0	483	0
	炎症性腸疾患	6	0	5	0	5	0	1	0	10	0	12	0	15	0	12	0	10	0	5	0	8	0	11	0	100	0
	合計	42	0	51	0	46	0	57	0	56	0	44	0	59	0	52	0	43	0	41	0	48	0	44	0	583	0



4. 目標

診療科・職種の枠組みを超えて連携したチーム医療を実践し、患者様に確実・安全・効果的ながん化学療法を受けていただけるよう努めます。

看　護　部

―― 2020年 ――

48） 4階東　5階西　144

5階東　6階西　6階東　145

7階西　7階東　8階西　146

8階東　ＩＣＵ　147

ＨＣＵ　148

外来・ＥＲ　手術室　透析室　149

退院調整チーム　150

保健指導　151

48）看護部

看護部長　小原　真栄美

4階東 144
5階西 144
5階東 145
6階西 145
6階東 145
7階西 146
7階東 146
8階西 146
8階東 147
ICU 147
HCU 148
外来･ER 149
手術室 149
透析室 149
退院調整 150
保健指導 151

1. 概要

看護部では「心にとどく看護」をスローガンに、地域から信頼される病院を目指し、急性期病院としての役割を果たすべく安全・安心の看護サービスの提供、医療や看護に必要な知識と技術の向上に努めてきた。また、健全な看護体制を維持するために計画的な人員確保と離職防止に取り組んできた。

2020 年は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた 1 年だった。地域の医療機関の方々にご理解とご協力をいただき医療､看護を継続することができた。予測できない状況が続く中、未知なことへの挑戦と柔軟性のある組織力の強化が課題である。今後は、コロナ禍での地域連携とは何かを見直し、地域の基幹病院としての役割を果たしていきたい。

4 階東病棟　脳神経外科／脳神経内科／眼科

当病棟は 44 床で、脳神経外科、脳神経内科、眼科を主とした病棟となっている。脳神経外科は ICU･HCU を経て転床してくる患者様が半数を占め､リハビリや NST､褥瘡チーム､リエゾン､社会福祉士など他職種と協働しながら、患者様の ADL の回復、社会復帰を目指している。

2020 年はコロナ禍で、食事の介助、入浴の介助など、制限されることも多く、ディルームの使用禁止や面会禁止は、患者様に与えるストレスも大きかった。入院中は、看護ケアや、転院､退院調整など､スタッフや患者様の安全を守ることを第一と考えたが､11 月末にクラスターが発生することとなり、終息までに 3 週間を要する事態となった。

1 年間の入院患者数 564 名、転入 636 名、退院 962 名、平均在院日数 19 日、平均病床稼働率 94％であった。今年度は、当院での脳血管造影の検査は 193 件となり、病棟からの検査出しも多くあった。経験値の低いスタッフも多く、今後は、スムーズな検査出し、マニュアルの整備が課題である。

また、術後、病棟に転室してくる患者様の時期も早くなり、急性期の看護を継続する知識と経験を積み重ね、脳外科看護のスペシャリストを育成していくことが目標である。

5 階西病棟　一般内科／婦人科／眼科／小児領域全ての診療科

当病棟は、一般内科、眼科（女性のみ）、婦人科、15 歳以下の小児領域の全診療科の患児を受け入れる 40 床の混合病棟である。平均在院日数は 10 日前後を推移し、病床稼働率は 90％前半である。

対象疾患は、一般内科では誤嚥性肺炎や尿路感染症、慢性心不全などの高齢の患者様が半数以上を占める。内科疾患の患者様の平均年齢は 70 歳以上で入院中の ADL 低下などにより退院困難となるケースが多い。治療終了後の療養先の選択や人生最期の時間を過ごす場所の選択などを、患者様やそのご家族様に寄り添いながら退院支援を行っている。婦人科は、悪性腫瘍の外科的治療や化学療法の他に､良性腫瘍の外科的治療目的の患者様の受け入れを行っており、手術件数は増加傾向である。眼科は主に､白内障の手術目的の患者様の入院を受け入れている。15 歳以下の小児領域に相当する患児の受け入れは診療科問わず当病棟で行っている。急性肺炎や腸炎、喘息などの急性期疾患とインフルエンザや RS ウィルス、ノロウィルスやロタウィ

ルスなどの感染性疾患、外科領域の手術目的患児の受け入れを行い、小児領域の患児の安全な入院環境の確保に尽力している。

診療科区域での選別ではなく女性や小児という性別や年齢で受け入れを選別する、他病棟とは違う特徴を持っているため広い視野で看護を行うことが求められる。優しさと温かさを第一に、患者様と患者様を取り巻くご家族様や環境にも目が行き届く看護を目指している。

5 階東病棟　循環器／心臓血管外科

当病棟は、循環器科・心臓血管外科病棟である。心筋梗塞、狭心症、冠状動脈硬化症、心不全、下肢閉塞性動脈硬化症、重症虚血肢に対するカテーテル検査治療や心臓血管外科周術期の患者様を多く受け入れている急性期病棟である。今年は新型コロナウイルス感染症の影響があり、入院やカテーテル検査に制限が出てしまった月もあったが、月平均で 140.5 人の入院数と 156 人の退院数、平均在院日数は 8.6 日と昨年とほぼ変わらない数を維持できた。また心臓血管外科の診療体制が新しくなり、緊急手術が可能となったことで手術件数が飛躍的に増加した。

心臓リハビリテーションや呼吸リハビリテーションなど、他職種との連携をとり、早期離床・早期退院を目指している。また、心不全など慢性期疾患の患者様や高齢者の独居、認知症も増加してきており MSW と連携しながらその人らしい退院後の生活を送れるよう退院支援をすすめている。

循環器疾患は救急医療において重要な役割を担っており、生命に直結し一刻を争うことが多い。そのため看護師にも専門的な知識や技術が必要である。安全な療養環境と誰もが標準的なケアが提供できるよう努力し地域より信頼される病棟を目指していきたい。

6 階西病棟　整形外科／耳鼻咽喉科

当病棟は、整形外科、耳鼻咽喉科の入院患者様を主に受け入れている急性期病棟である。整形外科病棟では、疾患の特性から緊急入院が半数以上を占めており、骨折整復手術や人工関節手術を中心に平均 65 ～ 75 件 / 月の手術を行っている。安全・安心な周手術期医療の提供を目指し、多職種カンファレンスや勉強会などに取り組んでいる。

2020 年は入院患者数 907 人 / 年、退院患者数 912 人 / 年、平均在院日数 14.6 日、病床稼働率 96.4％であった。入退院支援の強化のため、昨年度より大腿部（股関節～膝関節）手術の患者様の術後平均在院日数の短縮に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症 による転院・在宅復帰へ向けた調整機会の制限などの影響もあり、今年度は平均在院日数が延長する結果となった。

今後も、職種それぞれが専門性を発揮して患者様の早期回復を図り、地域連携や入院前～入院直後からの支援介入により、患者様のご家族様の意向に寄り添った早期の在宅復帰を支援していきたいと考える。

6 階東病棟　形成外科／泌尿器科／歯科・口腔外科／眼科

当病棟は、形成外科、泌尿器科、口腔外科、眼科の混合外科病棟であり、手術、化学療法、陰圧療法など、それぞれの科ごとの様々な急性治療期の患者様が多い。形成外科では既往歴に糖尿病や腎不全など慢性疾患をもつ患者様も多く、幅広い知識が必要なため看護師の知識・技

術の向上を常に意識している。

手術件数は990件/年、入院は1511人/年、退院は1429人/年で、平均在院日数は約10.23日であった。新型コロナウイルス感染症の受け入れによる病棟編成や一時的な入院・手術患者様の制限、転院先の確保困難などの影響を受け、外科病棟でも他科の受け入れが多く在院日数は延長した。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが考えられ、より安全に周術期の患者様の支援を行っていくことが優先される。また、治療期における患者様の感染防止、生命の危機を回避する対策を実施していく。

4階東 144
5階西 144
5階東 145
6階西 145
6階東 145
7階西 146
7階東 146
8階西 146
8階東 147
ICU 147
HCU 148
外来・ER 149
手術室 149
透析室 149
退院調整 150
保健指導 151

7階西病棟　消化器内科

当病棟は、消化器内科を中心に受け入れている44床の内科病棟である。消化管出血・ポリープの内視鏡的治療をはじめ、胆嚢炎・総胆管結石のERCP、ステント留置を行う患者様、感染性胃腸炎など感染性疾患の患者様、胃癌・肝臓癌・膵臓癌・大腸癌などの早期癌治療であるESDやEMRなどの患者様を受け入れている。また癌末期でBSC患者様の緩和ケアも受け入れている。

2020年　平均在院日数13.9日　病床稼働率98.8%

内視鏡治療の進歩により、早期癌のESDなどで早期退院が可能となっている一方で、超高齢化が進み、治療経過が長引き、認知症やせん妄を発症し、在院日数の増加や転倒転落リスクが高い状況にある。そのためカンファレンスを多く持つことで、情報共有を行い、安心・安全な療養環境が提供できるように取り組んでいく。また他職種、特にMSWと連携を密にとり、患者様とご家族様が望む療養生活が提供できるように引き続き協働していく。

7階東病棟　外科／肝臓外科

当病棟は、外科・肝臓外科の周術期患者様を中心とした高度急性期病棟である。外科・肝臓外科での手術件数は、741件/年、入院件数1343件/年、退院件数1403件/年であった。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な入院や手術件数の制限もあったが大きな患者数の減少にはなっていない。人工肛門造設術後の看護パスの作成やKYTカンファレンスを導入し、より安全に周術期患者様の安全を考慮したケアの実践を行うよう心がけている。がん治療の進歩により、手術や抗がん剤、放射線治療の軒数も年々増加傾向である。大阪府がん拠点病院として、がんと診断されたときから終末期まで、より安全・安心に住み慣れた地域で過ごしながら治療が行えるよう支援を行っていきたい。

8階西病棟　呼吸器外科・内科

当病棟は、呼吸器内科・呼吸器外科病棟であり、呼吸器感染症、肺癌、気管支喘息、COPD、肺線維症（間質性肺炎）、SASを始めとするあらゆる呼吸器疾患の治療・看護に取り組んでいる。

また、人口の高齢化に伴い主疾患に加え呼吸器疾患を合併する患者様も多く、必要に応じ合併した呼吸器疾患のマネジメントも行なっている。2020年の2月より新型コロナウイルス感染症の患者様の受け入れを開始。地域における患者数の増加状況やニーズに応じ新型コロナウイルス感染症専用病棟として運用開始となった。2020年（4月から12月まで）では124名の陽性患者。160名の疑い患者様の受け入れを行った。新型コロナウイルス感染症は、新種のコ

ロナウィルスで指定感染症と言うこともあり、受け入れ当初は確立された治療方法がない事から、手探りでの治療・看護の提供と共に、医療資源が乏しい中での感染対策に邁進して来た。そのため、新型コロナウイルス感染症の患者様に関する学習と共に日々最新酸素デバイスなどに対応出来る様に、積極的に呼吸器関連の勉強会に参加し日々知識の向上に努めている。

そのような中でも患者様の意志決定を優先し、家族構成・年齢・生活の質等を考慮して、臨床工学科や呼吸リハビリチームと協力し、酸素療法や侵襲的・非侵襲的人工呼吸など、あらゆる機器を取りそろえ最適な呼吸サポートを心がけている。また、呼吸器疾患は慢性症状を持って帰る患者も多く、何らかの退院調整が必要になる事が多い。新型コロナウイルス感染症患者様に関しても同様で、特に高齢の患者様は自宅退院が難しくなる場合が多い。よって転院や施設退院になる事が多いも、新型コロナウイルス感染症の罹患にて受け入れ先を見つける事に難渋した。退院支援リンクナースを中心とした、退院支援チーム及びMSWと連携し、退院調整がスムーズに出来るように早期から介入を行い在院日数短縮と共に、新型コロナウイルス感染症の患者様については、メンタルヘルスの問題を抱える患者様も多いため、メンタルヘルスに関する看護の充実についても次年度への課題である。

8階東病棟　呼吸器疾患／腎臓内科／糖尿病教育／腫瘍内科

当病棟は、呼吸器疾患・腎臓内科・糖尿病教育などの慢性疾患の患者様の入院のほか、抗がん剤治療や放射線治療などがん治療を行う腫瘍内科を含めた39床の総合的内科疾患の受け入れを行っている。2020年度平均在院日数は18.9日であった。

入院患者様の高齢化にともない、環境変化や治療に対する心身的ストレスなどによりせん妄が出現しやすいため、毎日せん妄カンファレンスを実施し、予防的ケアや発症時の早期対応を実施している。

また終末期の患者様に対して、退院後2週間以内に医師と看護師でデスカンファレンスを実施し、意見交換、情報共有を行っている。デスカンファレンスを通し、患者様とそのご家族様の思いを振り返り、どう意思決定支援を行うべきか考える機会となり、看護の質を向上させるための動機づけとなっている。これからの看護実践に活かしていきたい。

抗がん剤治療の患者様は増加傾向にあり、治療の場は外来、入院とさまざまであるため、臨床腫瘍センターと連携をとり、入院中に関わった看護師が外来でも対応することで、患者様が安心して治療が行えるよう看護を実践している。

当院は急性期病院であるためスピーディーな退院支援が必要である。MSWとの連携強化を図り、退院支援チーム・プライマリー看護師を中心に、患者様とそのご家族様が安心して退院できるように退院支援を行いたい。

ICU

ICUは、重篤な急性臓器機能不全状態にある患者様を対象とし、多職種連携のもとに高度かつ専門的なチーム医療を提供する部署である。（定床：8床）　重症な内科救急患者様、侵襲度の高い術後の患者様を24時間体制で受け入れている。より質の高い集中治療の提供のため、特殊循環モニタリング装置EV1000や体温管理装置サーモガードなど、新規機器の導入を毎年積極的に行っている。また､1日1回多職種カンファレンスを継続しており､多職種協働を図っている。

4階東 144
5階西 144
5階東 145
6階西 145
6階東 145
7階西 146
7階東 146
8階西 146
8階東 147
ICU 147
HCU 148
外来・ER 149
手術室 149
透析室 149
退院調整 150
保健指導 151

これまでよりも病床稼働率は増加傾向にあり、病床稼働率は約 80%、看護必要度 90%前後を維持している。 心臓血管外科・脳神経外科の予定術後に加え、緊急手術の患者様も増加している。

また、周辺地域や大阪府の要請による重症新型コロナウイルス感染症の患者様の入院にも対応しており、40 名超の患者様を受け入れた。

今後は、より質の高い医療・看護の提供を行い、患者様の早期回復支援につなげられるようにしていきたいと考えている。まずは、集中治療を安全で効果的に提供するために必要な安全文化と診療ガイドライン等に基づいた医療提供体制の構築に向けた取り組みを行っていく。

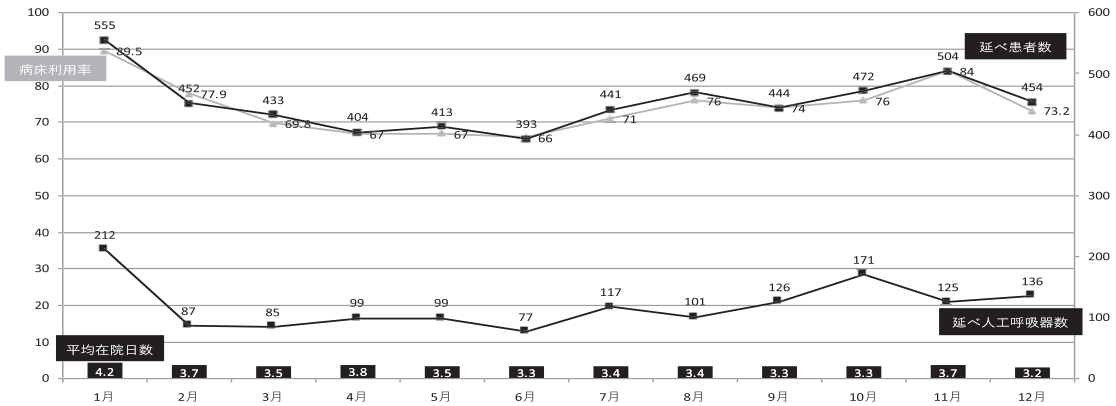
そして、患者様が安心して急性期治療を継続できるような支援を、関連スタッフ一丸となり実践していきたい。

HCU

HCU（High Care Unit; 高度治療室）は、患者様の重症度と看護師の配置基準が、ICU と一般病棟の間に位置づけられる治療室である。20 床を有する当ユニットの役割としては、①重症度が一般病棟より重い患者様や状態変化が予測される緊急の患者様の受け入れ、②全身麻酔手術後の患者様の受け入れ、③ ICU の後方ベッドである。

2020 年の緊急入院は 773 件、転入 440 件、1 年間の延べ患者数 5434 人、延べ人工呼吸器患者数は 1435 人であった。入室患者様の診療科は、内科、脳神経外科、循環器内科、肝臓外科、外科、呼吸器内科、救急総合診療科など多岐にわたる。2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ICU で受け入れていた患者層を当ユニットで急遽受け入れることになったが、各診療科医師の協力、スタッフの向上心と努力により、比較的スムーズに受け入れることができた。また、陰圧設備を 1 部屋設置している当ユニットにおいては、新型コロナウイルス感染症第 1 波の時期には挿管患者を含めた陽性の患者様の受け入れも行った。以後、新型コロナウイルス感染症の陽性患者様については HCU 入室の対象外となったが、他部署の新型コロナウイルス感染症専用病床の状況や患者状態に応じて疑似症患者様が入室することもあった。今後も新型コロナウイルス感染症の患者様に限らず、感染対策の徹底を行う。

次年は、スタッフそれぞれの特性や将来に向けたビジョンを見据えた学習支援システムを構築し、スタッフ 1 人ひとりのスキルアップと同時に HCU 看護の質向上を目指す。さらに目的別カンファレンスの導入を行い、看護ケア提供の向上に繋げる。また、専門知識・技術の向上だけではなく、新型コロナウイルス感染症による厳しい面会制限の中で、患者様とそのご家族様に安心を提供できる取り組みを模索し、患者様とそのご家族様の思いに寄り添った『心にとどく看護』を提供できるよう努力したい。



外来・ER

当院の外来は、『診療部門』『救急部門』『検査治療部門』『予防医療部門』の 4 つの部門に分かれている。

『診療部門』: 2018 年の患者満足度アンケート調査結果で非常に悪かった「待ち時間に対する配慮」に関して取り組みを行った。結果、満足度が 56.7%（目標値 50%）となった。今後も他部署との連携を図り、外来患者満足度があがるように努めていく。

『救急部門』:「断らない救急」をモットーに、地域の救急医療を担うためスムーズな受け入れ体制を構築している。2020 年は新型コロナウイルス感染症が流行し、感染対策を徹底しながら発熱患者様の受け入れも積極的に行っている。その中で緊急の心臓カテーテルや脳血管 DSA などの対応も行っており、感染拡大防止と急性期医療の充実に重点を置き取り組んでいる。今後も感染対策を徹底して行ない、院内での連携を図りながら救急患者様の受け入れが円滑に行えるよう体制を整えていく。

『検査治療部門』: 内視鏡件数は月平均 608/ 件で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり月件数の差がみられた。治療（止血術・ポリープ切除術、ESD・ERCP）に対して、病棟との連携が十分ではないため、治療中、治療後の申し送り内容を充実し、病棟での継続看護に繋げていく。また、外来患者様の不安を最小限にし、検査を受けて頂くことができるように、看護ケアの充実、接遇の強化に努めていく。

『予防医療部門』:「保健指導」として別に記載

新型コロナウイルス感染症の対応は引き続き必須となり、外来・ER の役割は重要となる。「断らない医療」の病院理念を基本に、地域に密着した外来・ER を目指していく。

手術室

手術室は 7 室あり、産科以外の手術に 24 時間対応している。来年より 1 室増え、8 室で稼働を行う。2020 年の手術件数は 5,265 件（内、緊急手術 906 件）、前年対比－ 15 件。コロナ禍で手術制限を一時的に行ったが、年間手術件数はほぼ同数であった。心臓血管外科の手術が約 150 件／年増加、緊急手術も昨年 0 件であったが今年は 66 件と増加した。それに伴い、心臓血管外科の手術に、迅速かつ的確に対応できる看護師育成に注力している。

2020 年 7 月より入院前支援外来を開始し、外来～手術後までの周術期を多職種（看護師・薬剤師・MSW・栄養士など）で関わり、総合的にサポートできる体制を構築した。現在は、一部の全身麻酔の患者様のみ外来を行っているが、今後は外来担当看護師を増員し、全手術患者様に対応できるようにしていくことが目標である。

今年は第 8 手術室が完成し、2021 年 1 月にはハイブリッド手術室が完成するため、予定・緊急手術件数の増加が見込まれる。患者様の安全・安心を常に考え対応できる看護師育成および、安全な手術環境を提供できるよう、今後も継続して取り組んでいく。

透析室

2020 年、登録患者数は 100 名前後と大きな変動はない。透析導入になった患者様は 39 名で前年より 7 名増加した。登録患者様の平均年齢は 68.9 歳で前年とほぼかわらないが、導入患者様の平均年齢は 70.7 歳で前年より 2 歳上がり、透析導入患者様の高齢化がすすんでいる。

4階東 144
5階西 144
5階東 145
6階西 145
6階東 145
7階西 146
7階東 146
8階西 146
8階東 147
ICU 147
HCU 148
外来・ER 149
手術室 149
透析室 149
退院調整 150
保健指導 151

入院患者様は合計 441 名で前年より 39 名増加した。形成外科に加え、カテーテル検査目的の循環器内科、心臓外科の患者様が増加した。

外来透析では、高齢の患者様が、導入約 1 年後、自己で透析中止の判断をされ、家族も同意された。高齢化がすすむ中で人生の終末期における透析のありかたについて考えさせられた。また、高齢により通院が困難との理由で他施設に転出をされた患者様が 2 名あった。本人様と家族様と話し合い、患者様が安全に安心して透析を受けられるために、早期に介護保険の申請を依頼し、MSW を紹介するなど社会的資源の利用について他部門と連携をとって介入をすすめている。

当院は腹膜透析が可能であり、現在 9 名の患者様が自宅で腹膜透析をされている。高齢の患者様もいるが、家族のサポートもあり、患者様が望むかたちの透析ができている。

2021 年は引き続き急性期病院の透析室としての役割を果たしていく。また、地域の方に腹膜透析という方法があるということも広く周知する活動も行なっていき、血液透析とともに腹膜透析の拡充に取り組んでいきたい。

《患者数の動き》　2020.1.1 ～ 2020.12.31

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
外来患者平均	32	32	32	33	32	32	32	32	32	33	34	32	388
入院患者平均	13	11	14	18	17	18	15	10	11	10	10	9	156
登録患者数平均	100	96	102	110	109	110	102	94	98	95	96	93	1,205
導入患者合計	3	1	4	3	5	3	2	1	3	6	4	4	39
死亡患者合計	5	0	2	2	3	11	5	2	1	3	1	3	38
転入患者合計	38	33	59	44	42	46	22	33	33	34	26	31	441
転出患者合計	34	40	41	38	36	22	29	22	34	27	29	28	380

退院調整チーム

退院支援チームは、入退院支援部門にあり社会福祉士 10 名と看護師 3 名で構成され、外来から支援の開始。入院時支援には看護師 2 名、退院支援には専従看護師 1 名、各病棟には退院支援専任社会福祉士を配置しています。

患者様のこれまでの暮らしを知り、退院後の生活を見据えた適切な退院支援を提供するために在宅担当者と協働してその人らしい暮らしを支える事を目的にすると同時に、急性期病院として患者様の病態増悪時には迅速に入院を受け入れ、必要な医療を集中して行うために、ベッドを確保する必要性があり、そのため速やかな退院支援を目的として業務を行っております。

2020 年は新型コロナウィルス感染症に始まり、退院支援においても面会禁止、制限により家族の退院に対する理解の説明に時間を要しました。コロナ肺炎の回復後、ADL 低下や介護保険未申請、独居により自宅困難ケースや介護サービスが直ぐに使えない。転院調整時には陰性確認をしても受け入れ先がないということがありましたが第 1 波、第 2 波後には受け入れ先が増え地域連携の協力もあり支援につなげることが出来た。

実績としては、入院時支援件数　636 件／年、退院支援カンファレンスを各病棟 1 週間に 2 ～ 3 回実施し 5113 回／年、一病棟当たり平均　47 回／月

退院後の生活を見据えたサービス調整、退院前カンファレンス　53 件／年

訪問看護利用（新規・継続）情報連携数 304 件／年

平均在院日数　12.86 日

新型コロナウィルス肺炎後退院

軽快退院 80.7%

転院　9.1%（転院の半数は地域包括ケア病床やリハビリテーション病院）

死亡　10%となっている。

今後の目標としては、他職種との情報共有を行い、退院支援を開始、在院日数の短縮に努める。

また、入院早期の関わり・他職種の連携強化を行い在宅支援に努めると共に、在宅チームとの連携強化にも力を入れて行きたい。

保健指導

外来診療においては慢性疾患の患者様の療養指導や禁煙指導、小児への予防接種指導を、健診センターにおいてはメタボリックシンドローム該当者に対する特定保健指導を、病棟においては心血管患者様に対する退院生活指導など、疾病の発症予防から合併症再発予防のために幅広い分野で患者様支援に携わっている。

糖尿病ケアチームにおいては、他職種と共に、外来患者様、教育入院患者様に対する療養指導やフットケア、病棟ラウンドへの参加、また、糖尿病教室、世界糖尿病デーイベントなどによる患者様への教育・啓蒙活動を行っている。

保健指導件数は 3651 件／年で、領域では糖尿病外来が 1979 件と最も多く全体の 54%、特定保健指導が 563 件（15.4%）と続く。（表 1）。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、健診業務や病棟ラウンドの一時停止や、電話診療、世界糖尿病デーイベントの中止、糖尿病教室のオンライン講座への切り替えなどが余儀なくされ、感染対策を取りながら支援のあり方を模索する 1 年となった。

今後の目標は、引き続き、感染対策を講じながら、スタッフやチーム間の協同と自立性を大切に、患者様や健診利用者が良好な健康行動や療養行動を継続できる様、支援を行っていく。

保健指導の領域・項目件数

《表 1. 保健指導の領域件数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
外来保健指導	9	14	8	19	8	12	13	7	8	10	21	15	144
外来禁煙指導	13	9	14	14	26	26	17	16	15	7	13	6	176
C 型肝炎サーベイランス	0	1	2	0	0	0	0	0	2	4	4	0	13
心臓リハビリ	11	5	6	2	7	3	4	4	3	6	7	6	64
小児科外来	9	4	11	9	10	17	13	14	16	23	8	16	150
糖尿病外来	172	165	167	176	141	177	165	151	152	173	161	179	1,979
病棟	10	3	11	21	13	12	13	8	2	16	3	10	122
院外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康相談	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
健診・人間ドック	17	0	39	49	30	40	39	33	44	50	59	37	437
特定保健指導	34	15	78	48	52	46	58	42	42	39	39	70	563
合計	275	218	336	338	288	333	322	275	284	328	315	339	3,651

4階東 144
5階西 144
5階東 145
6階西 145
6階東 145
7階西 146
7階東 146
8階西 146
8階東 147
ICU 147
HCU 148
外来･ER 149
手術室 149
透析室 149
退院調整 150
保健指導 151

2. メンバー構成

看護部副看護部長：髙橋章恵
5階西病棟看護師長：山本真紀
6階西病棟看護師長：中島麻由美
7階西病棟看護主任：井本ユミ
8階西病棟看護主任：小見山理恵
ICU 看護師長：村中烈子
外来・ER 看護師長：宮本千代美
透析室看護師長：栗田美貴
退院調整看護師長：加藤和代
4階東病棟看護師長：吉田暁美
5階東病棟看護師長：稲垣ひとみ
6階東病棟看護師長：松本静香
7階東病棟看護師長：松本静香
8階東病棟看護副主任：中嶋美也子
HCU 看護師長：竹内裕子
手術室看護師長：柴山智賀子
保健師主任：酒井菜穂子

3. 教育実績

《実習受入れ一覧》

学校名	科目	期間	学生数	実習場所
小阪病院看護専門学校	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6月22日～7月9日	6名	6西、8東
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	7月13日～7月30日	6名	6東、7西
	基礎看護学Ⅰ	8月31日～9月1日	6名	5東、7西
	小児看護学	9月28日～10月2日	3名	5西(外来)
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	9月28日～10月15日	6名	6東、8東
	小児看護学	10月5日～10月9日	3名	5西(外来)
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	10月19日～11月6日	5名	7東、8東
	小児看護学	10月19日～10月23日	3名	5西(外来)
	小児看護学	10月26日～10月30日	3名	5西(外来)
	統合	11月9日～11月19日	12名	7東、6東、6西、4東
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	11月24日～12月3日	3名	7東
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	1月12日～1月14日	6名	6西、6東
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2月1日～2月18日	9名	5西、6西、7東
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	2月22日～3月11日	6名	5西、7東
大阪府医師会看護専門学校	成人看護学Ⅰ、Ⅱ	6月22日～7月3日	6名	7西、7東
	老年看護学Ⅱ	6月22日～7月3日	3名	4東
	成人看護学Ⅰ、Ⅲ	7月6日～7月17日	6名	5東、7東
	小児看護学	7月6日～7月10日	3名	5西
	老年看護学Ⅱ	8月24日～9月4日	3名	6西

学校名	科目	期間	学生数	実習場所
大阪府医師会看護専門学校	小児看護学	9月7日～9月11日	3名	5西
	成人看護学Ⅱ、Ⅲ	9月7日～9月18日	6名	4東、8東
	成人看護学Ⅱ	9月28日～10月9日	3名	6西
	老年看護学Ⅱ	9月28日～10月9日	3名	4東
	小児看護学	9月28日～10月2日	3名	5西
	成人看護学Ⅰ、Ⅲ	10月26日～11月6日	6名	6東、8東
	看護の統合と実践	11月16日～11月27日	9名	5東、7西、8東
	老年看護学Ⅰ	2月15日～2月19日	6名	5東、7西
	老年看護学Ⅰ	2月22日～2月26日	6名	4東、8東
アナン学園高等学校	成人看護学Ⅰ	10月12日～10月16日	6名	5東、6西、7西
	基礎看護学Ⅱ	1月12日～1月22日	6名	5西、8東
	基礎看護学Ⅲ	1月26日～1月27日	6名	5西、8東
	基礎看護学Ⅲ	1月28日～1月29日	6名	5西、8東
	成人看護学　慢性期	2月8日～2月19日	5名	4東、6東
錦秀会看護専門学校	小児看護学	6月1日～6月5日	3名	5西
	小児看護学	6月8日～6月12日	3名	5西
	小児看護学	6月15日～6月19日	3名	5西
	小児看護学	6月22日～6月26日	3名	5西
	小児看護学	6月29日～7月3日	2名	5西
	小児看護学	8月3日～8月7日	2名	5西
	小児看護学	8月11日～8月14日	3名	5西
	小児看護学	8月17日～8月21日	3名	5西
	小児看護学	8月24日～8月28日	3名	5西
	小児看護学	9月14日～8月18日	3名	5西
	小児看護学	11月2日～11月6日	3名	5西
	小児看護学	11月9日～11月13日	3名	5西
	小児看護学	11月16日～11月20日	3名	5西
	小児看護学	11月24日～11月27日	3名	5西
	小児看護学	11月30日～12月4日	3名	5西

院内研修

《レベルⅠ》

研修日	研修名
6月	倫理
7月	皮膚･排泄ケア（新卒新人）
8月	医療安全KYT
9月	正しい記録の書き方･看護過程
	メンタルヘルスケア
10月	リフレクション

《レベルⅡ以上》

研修日	研修名
9月	災害看護①②

《レベルⅢ》

研修日	研修名
8月	リーダーシップ

《レベルⅡ・Ⅲ》

研修日	研修名
8月	入･退院支援の実際

《レベルⅢ・Ⅳ》

研修日	研修名
9月	入退院支援研修　地域との連携I

《レベルⅣ・Ⅴ》

研修日	研修名
10月	退院支援･地域との連携Ⅱ

《看護研究》

研修日	研修名
8月	論文指導

《新人》

研修日	研修名
5月	接遇
6月	一次救命処置（BLS)①

《新入職》

研修日	研修名
6月	皮膚･排泄ケア（既卒新人）
	接遇
9月	一次救命処置（BLS）（既卒新人）

《トピックス》

研修日	研修名
7月	認知症高齢者看護の基礎 ～転倒･転落対策について～
8月	認知症高齢者看護の基礎
10月	循環器のフィジカルアセスメント

《看護補助者》

研修日	研修名
7月	医療制度の概要、看護補助者業務の理解
	基礎的な知識･技術
	救急対応
	日常生活
	守秘義務、個人情報保護の理解、倫理
	医療安全の基礎知識
	災害･防災
	感染予防の基礎知識、労働安全衛生

《看護協会　短期研修》

研修日	研修コース名
5月	全研修中止
6月	全研修中止
7月	全研修延期または中止
8月	糖尿病重症化予防フットケア研修①
	認知症高齢者の理解と看護実践①
	地域でできる褥瘡ケア
	看護研究～学会発表を目指して～
	日々の健康は眠りから～睡眠負債の解消法～
	気象予報士が教える災害と医療の考え方
	中堅看護師の育成～私これでいいの?今考える私のキャリアデザイン～
9月	一般病棟における急変を防ぐ観察と看護のポイント②
	災害看護における初期医療支援活動①
	みんなで考える看護倫理①
	対象の全体把握のためのアセスメント～関連図から患者の全体像を理解しよう～
	アドバンス・ケア・プランニングにつなげるための意思決定支援 ～人生の最終段階における医療・看護のあり方を考える～
	実践に生かす小児救急①
	がん患者の症状緩和を図る看護①
	看護研究～量的デザインを学ぼう～
	看護職のための教育学～リフレクションを活用して～
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②-1
	経済学で読み解く看護サービス
	救急医療における救急救命士との協働～看護師の視点から～」
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②-2
10月	災害看護における初期医療支援活動②
	よりよい意思決定に向けたナッジの活用～看護現場をより良くする仕掛け～
	今日から実践できる褥瘡ケア②
	今すぐつかえるフレイル予防①
	高齢者の「食」を考える肺炎を予防する為の知識と実際
	がん患者の症状緩和を図る看護②
	危険予知トレーニング②
	現場で活かす医療メディエーション
	看護研究～質的研究のデザインを学ぼう～
	看護チームにおけるリーダーシップ①
	新人看護職員研修責任者研修
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①
	地域包括ケア時代の主任・副師長の役割
	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～
	新型コロナウイルス感染症患者（重症患者）対応の看護従事者人材育成研修

研修日	研修コース名
11月	一次救命処置を学ぼう
	災害看護における初期医療支援活動③
	みんなで考えよう、スピリチュアルケアの本質
	より良い看護を進めるためのファシリテーション
	摂食・嚥下障害のある患者の看護の基礎の実際を学ぶ②
	糖尿病療養指導の実践的知識
	今すぐつかえるフレイル予防②
	精神疾患の既往をもつ患者への対応
	医療安全の基本と医療事故防止行動
	チームで取り組む医療安全 ～チーム医療構築の中でのリーダーシップ・フォロアーシップ～
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識③
	新型コロナウイルス感染症患者（重症患者）対応の 看護従事者人材育成研修
12月	人工呼吸器装着患者の看護①②
	慢性心不全患者の療養支援
	認知症高齢者の理解と看護実践②
	実地指導者研修
	災害、その時あなたはどう動く!
	COVID19感染症対策の基礎を学び、看護実践に活かす
1月	オンライン研修「COVID19重症患者の看護」
2月	看護管理に大切な人材育成とチームマネジメント②
	JNA収録DVD研修　「認知高齢者の看護実践に必要な知識」
	レポート（小論文）の書き方
	第6のフィジカルアセスメント～エコーで広がる看護師の観察能力～
3月	地域で取り組む看取り
	退院支援強化研修②

《看護協会　長期研修》

研修日	研修コース名
8月	認定看護管理者教育課程　ファーストレベル
9月	第2回大阪府保健師看護師助産師実習指導者講習会

《徳洲会グループ》

研修月	開催主催	研修コース名
12月	徳洲会グループ	徳洲会グループ医療安全管理者養成研修

《その他》

研修月	開催主催	研修コース名
8月	AHA	PEARS プロバイダーコース
	ヴィクソンインターナショナル株式会社	20 重症度、医療・看護必要度評価者及び 院内指導者研修
9月	AHA	PEARS プロバイダーコース
10月	2020年度看護師特定行為指導者講習会	セコム医療システム
	第12回下部尿路症状の排泄ケア講習会	日本創傷・オストミー・失禁管理学会
11月	HIV/AIDS看護師研修	I初心者コース
	人間ドック健診情報管理指導士	人間ドック健診情報管理指導士　ブラッシュアップ研修会

2）研究発表業績

（1）院外発表

年月日	学会名	病棟名	発表者名	テ　ー　マ
10月16日～10月31日	第57回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催	外来	大谷康仁	糖尿病予備群･糖尿病患者さんへの療養指導に新しい知識､技術を身につける
10月17日	第57回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催	外来	由留木千恵	当院糖尿病外来におけるFreeStyleリブレ導入患者の使用状況とQOLの検討
11月26日	日本看護学会学術集会	HCU	鴨木沙織	A病院における災害対策本部訓練の結果と課題

（2）雑誌投稿・著書発刊

著者名	表題	雑誌名／出版社名	発行年月
柴山智賀子 村野尚久	「手術看護エキスパート２０２１」	日総研	

委　員　会

―― 2020年 ――

49）呼吸ケアチーム（RST）　160
50）院内感染対策委員会（ICT）　161
51）褥瘡対策委員会　164
52）研修管理委員会　165
53）栄養サポートチーム（NST）　168
54）緩和ケアチーム　170
55）がん緩和支援委員会　171

49）呼吸ケアチーム（RST）

リハビリテーション科　片田　理恵

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

1. 概要

ICU 専従 PT を配置した全症例への介入により入院 24 時間以内での早期介入と早期離床を継続。ICU では新型コロナウィルスの重症患者の入室が多く、急性期にはパラメディカルの介入が困難であったため、看護師に依頼しリハビリテーションを実施した。退院基準を満たした新型コロナウィルス患者にはリハビリテーションの介入を行い、退院支援を実施した。全体的に実施件数は多くなかったが、例年と同様に看護師や臨床工学技士と連携を図り安全面に配慮しながら早期離床を実践。慢性呼吸不全に対する HOT 調整・導入も昨年同様に実施しており急性期から在宅までの一貫した呼吸リハビリテーションを提供している。

2. メンバー構成

医師	原田博雅、石原英樹、緒方嘉隆　濱口成眞、北田清悟
看護師	村中烈子、鴨木沙織
臨床工学技士	藤田和睦、藤村篤志、杉山真一、向井砂帆、長谷川弘将、岡本誠人、野間康平、三原寿之、松村遙、玉城賞、吉村有梨奈、本間敦久、皮智炫、西村宥哉
理学療法士	片田理恵、中村智里、阪口千尋

3. 実績

呼吸リハチーム対象

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均
患者数	405	436	365	303	282	317	276	285	263	341	313	325	325.9167
単位数	531	568	447	431	352	390	342	335	319	390	413	370	407.3333

ICU 早期離床加算

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
患者数	144	153	165	88	92	111	108	87	62	89	88	59	1,246

4. 今後の目標

・術前呼吸リハの充実

・ICU での早期離床、365 日介入の充実

50）院内感染対策委員会（ICT）

感染対策室室長　渋谷　豊克

1. 概要

【八尾徳洲会総合病院　感染管理指針】

第１　医療従事者全員が、感染症に対する正しい認識を持ち、倫理的配慮に考慮した感染防止対策を実施します。感染対策を充実させることで、患者様が安心して医療を受けられる病院を目指します。

第２　病院長を中心に、積極的な感染対策を実施するとともに、技術的事項等を常に検討し、院内各部門への情報共有を図ります。全ての職員に対し、組織的対応の指示や、教育を行い、感染対策マニュアルに基づいて、手洗いの徹底など根拠のある感染防止対策に努めます。

第３　感染が疑われる事例が発生した場合には、速やかに対策を講じ、介入を図ります。また、重大な感染事例や集団発生の場合には、発生の原因を究明し改善策を立案します。これを実施するために、全職員への周知徹底を図ります。必要な場合には、行政などへ協力を依頼し、迅速な対応を図ります。

第４　近隣の医療・介護・福祉機関や行政と共に、地域完結型医療の一環として地域の感染制御を支援していきます。また感染における安全な在宅医療を提供していきます。

2. メンバー構成

・院内感染対策委員会

病院長、看護部長、事務部長、薬剤部長、検査技師長、その他

職種：医師、看護師、事務員、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士、理学療法士、放射線技師、保育士

・感染対策室

専従配置：看護師１名（感染管理認定看護師、第一種衛生管理士）

専任配置：医師２名（ICD）、薬剤師３名（感染制御認定薬剤師）、臨床検査技師２名、看護師３名

・ICT（感染対策推進チーム）

職種：医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士、放射線技師

・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

職種：医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

3. 実績

項目	内容
感染管理システム 地域連携	①河内地域感染管理ネットワークによる毎月の例会開催 ②中河内感染防止対策協議会への参画 感染防止対策 1－2 連携：東朋八尾病院　松原徳洲会病院・東大阪徳洲会病院 地域連携（1－1 連携）：八尾市立病院　医真会八尾総合病院 野崎徳洲会病院・吹田徳洲会病院 ③徳洲会グループ　感染管理部会　72 施設連携 ④帰国者・接触者外来の設置、運営 ⑤地域外来検査センターの設置、運営 ⑥発熱外来の設置、運営 ⑦入院時スクリーニング ⑧退院時スクリーニング
感染管理教育	①院内感染対策講習会開催：年 3 回 不参加者への伝達講習会、e-ラーニング ②新人研修開催 ③徳洲会グループ　関西・大阪ブロック感染管理セミナー開催：1 回 ④ ICT ニュース発刊：年 16 回
サーベイランス	①河内地域・徳洲会グループ：耐性菌サーベイランス ②厚生労働省サーベイランス（JANIS）：検査、手術部位、ICU、全入院 ③日本環境感染学会サーベイランス（JHAIS）：SSI 部門 ④日本看護協会　DiNQL 事業参加 ⑤プロセスサーベイランス：手指衛生、ケアバンドル ⑥デバイス（CABSI、CAUTI、VAP）サーベイランス
感染防止技術	①徳洲会グループ　手指衛生キャンペーン開催 ②防護具着脱訓練
職業感染対策	①入職時健診：HBV、HCV、麻疹、風しん、水痘、ムンプス、T-SPOT ②ワクチン接種：HBV、麻疹、風しん、水痘、ムンプス、インフルエンザ ③労働安全衛生委員会との連携
ファシィリティ・マネジメント	①栄養科職員のノロウイルス検査の実施 ②空調清掃、工事 ③ゾーニングの見直し、工事 ④陰圧室増設 ⑤院内洗濯機、委託選択の見直し

【リスクアセスメント】

項目	発生リスク	患者・訪問者・職員に対するリスク	組織的対策の必要性	準備状況	スコア
VAP	2	2	2	2	8
CAUTI	3	2	2	2	9
CABSI	3	2	2	2	9
ASP	2	2	3	2	9
SSI	3	3	2	2	10
MRSA	4	3	3	2	12
CD トキシン	4	2	3	2	11
B.cereus	4	4	4	2	14
インフルエンザ	4	2	4	1	11
COVID-19	4	4	4	3	15
手指衛生	4	4	4	2	14

点数表

発生リスク	患者・訪問者・職員に対するリスク	組織的対策の必要性	準備状況	スコア
1. なし 2. 低い 3. 中等度 4. 高い	1. なし 2. 一時的 3. 多大・永久的 4. 致命的	1. なし 2. 低い 3. 中等度 4. 高い	1. 良好 2. 中等度 3. 不十分	最大値　15 点 最小値　4 点

【成果指標】

・2020 年度に特定した課題と優先順位

順位	課題	指標	2019	目標値	2020
1	新型コロナウイルス感染症	院内発生数	職員　0 件 患者　0 件	職員　0 件 患者　0 件	職員　7 件 患者　6 件
2	手指衛生	実施率	平均値 76%	平均値 80%以上	平均値　76%
3	耐性菌（MRSA）	院内発生率	平均値 0.49%	平均値 0.4%未満	平均値　0.42%
4	セレウス菌	院内発生率	平均値 0.11%	平均値 0.1%未満	平均値　0.17%
5	中央材料部 手術室・陰圧個室	圧	等圧 定点測定	陰圧 随時測定	陰圧工事終了 常時差圧計設置予定

4. 今後の目標

上記概要記載の感染管理指針に準拠したうえで、行政機関などから発表される情報も含め、情報を収集し、状況に応じた対応を行ってまいります。新型コロナウイルス感染症における院内クラスター発生については、最小限に食い止められるよう努め、患者様が安心して医療を受けられるよう万全を期したいと考えております。

51）褥瘡対策委員会

形成外科部長　綾部　忍

呼吸ケア　160
院内感染　161
褥瘡対策　164
研修管理　165
栄養サポ　168
緩和ケア　170
がん暖和　171

1. 概要

当院は 2002 年 2 月より褥瘡対策委員会を発足しています。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・医事課で構成され、毎週 1 回の回診を行い、それぞれの専門的な知識や技術を出し合って効果的・効率的な褥瘡予防・治療を目指しています。

2. メンバー構成

医　　師：綾部忍、谷畑充梓、入潮実季、福村崇
看　護　師：柴山智賀子、乾恵美、河畑美香
管理栄養士：古澤千波、岸本真悠
薬　剤　師：山本倫数、森田幸男、山田直輝
理学療法士：山本友里
事　　務：柏山文成、川上祐理

3. 実績・今後の目標

さらにきめ細かいケアを行うため、看護部各部署にリンクナースを配備しています。

院内勉強会や高機能エアマットレスの整備を行い、褥瘡の予防に努めるとともにドレッシング材や NPWT（陰圧閉鎖療法）などを駆使した保存的治療や皮弁手術も行っています。

また学会発表も積極的に行っています。

52）研修管理委員会

研修管理委員長　原田　博雅（院長）
プログラム責任者　髙原　良典（内科医長）

1. 概要

当院は厚生労働省指定の基幹型臨床研修病院として初期臨床研修医の育成を行っています。また、大阪市立大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院でもあります。

プライマリ・ケアと救急医療を中心に、数多くの症例を経験することで総合的な臨床能力をもった医師の育成を目指しており、集中治療から在宅医療まで幅広く経験できる環境です。

2020 年は新型コロナウィルス感染症の影響により、医学実習生の受け入れに制限があった年でしたが、応募者数は前年と変わりなく、マッチングでは定員を上回る希望者数で 2021 年度の初期臨床研修医 4 名の入職予定者が決まりました。

また、臨床研修説明会においては 2 月以降は全てオンラインでの開催となりました。オンライン説明会を始めた当初は戸惑うこともありましたが、遠方の医学生にも気軽に参加してもらうことが出来ました。しかしながら直接会って話すことの大切さも実感しましたので、来年は通常の臨床研修説明会が開催される状況になることを願いながら、単独でのオンライン説明会を積極的に開催したいと考えています。

1 月からは Dr. ジョエル・ブランチによるケースカンファレンスを月 1 回開催、2021 年 1 月からは当院の臨床教育部長として迎え、研修医の基礎的な臨床スキルの向上を図ります。

専門研修プログラムは現在、基幹施設として内科、外科、総合診療科が認定を受けています。今年度は内科・外科プログラムで連携施設を追加し、専攻医がより幅広くカリキュラムを組めるようになりました。また、整形外科、脳神経外科、形成外科、麻酔科、救急科、泌尿器科、放射線科、眼科、病理診断科領域については、大学病院や各徳洲会グループの施設と連携を取りつつ当院の特色を生かし初期研修から専門研修へとシームレスな移行が出来るよう企画・運営を行っています。

2. メンバー構成

研修管理委員長：原田博雅（院長）　　プログラム責任者：髙原良典（内科医長）
事務責任者：竹原浩二（事務部長）
外部委員：2 名（菊池内科　菊池 博院長、医療法人幸晴会　常務理事　玉田 浩氏）
委員：52 名（内訳　院内医師 12 名、看護部・コメディカル 11 名、協力施設医師 29 名）

3. 実績

1）研修医数

《 初期臨床研修 》

1 年次：4 名　　2 年次：4 名

《 専攻医 》

・連携施設として受入れ

大阪市立大学脳神経外科専門研修プログラム（1 名）、大阪市立大学形成外科専門研修プログラム（3 名）、大阪医科大学眼科専門研修プログラム（2 名）、岸和田徳洲会病院外科専門研修プログラム（1 名）

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

2）勉強会・カンファレンス等

《 医局発表 》Grand Round

毎週金曜日 AM8:10 から学会形式の医局発表を行っています。

初期研修医の発表練習の場として開催しています。 （※は初期研修医による発表）

発 表 内 容	開 催 日
特発性末梢性顔面神経麻痺の診断と治療	1 月 10 日
大腸穿孔をきたした潰瘍性大腸炎の一例（※）	1 月 17 日
希な皮膚疾患の症例（※）	1 月 24 日
頭痛・嘔吐を主訴に再来した 76 才女性の一例（※）	2 月 7 日
突然の後頭部痛を主訴に来院した頚髄内硬膜外血腫の一例（※）	2 月 14 日
劇症型溶連菌感染症の 1 例（※）	2 月 21 日
パゾプレシンに遅発性に反応した尿崩症の一例（※）	2 月 28 日
食品添加物の人体への影響（※）	3 月 6 日
感染性心内膜炎を契機に多発性脳梗塞をきたした一例（※）	3 月 13 日
おじいさんと呼ばれた 10 才男児例について - 甲状腺機能亢進症と複数の疾患 -	4 月 3 日
消化管出血の初期対応 ～当番医が居なくても～	4 月 10 日
研修医紹介（※）	4 月 17 日
脳神経外科的救急疾患と初期治療について	4 月 24 日
手・指の骨折と変形	5 月 1 日
トンネル爆発事故の診療経験（2013 年)	5 月 8 日
今日から使える創傷治療の基本	5 月 22 日
肝細胞癌に対するマイクロ波凝固療法について	6 月 5 日
僕と Whipple 病	6 月 12 日
心不全に COVID-19 疑いの肺炎を合併した症例（※）	6 月 26 日
異物誤嚥で菌血症に至った一例（※）	7 月 3 日
薬歴管理システムの運用について	7 月 10 日
腸間膜脂肪織炎の一例（※）	7 月 17 日
Ludwig's angina の一例（※）	8 月 7 日
感染性心内膜炎の 1 例（※）	8 月 14 日
気をつけたい小児救急における外傷疾患の対応	8 月 28 日
腹腔鏡下膀胱全摘　腔内回腸導管造設について	9 月 4 日
壊死性筋膜炎を疑った蜂窩織炎の一例（※）	9 月 11 日
ER での再搬送症例の検討	9 月 18 日
八尾の脳卒中センターとしての取り組み	10 月 2 日
新庄徳洲会病院での地域医療研修について（※）	10 月 9 日
診断に苦慮した帯状疱疹ウィルス感染症の 4 例	10 月 16 日
成人にみつかった肺低形成の 1 例－上葉と中葉の区別はどうすんねん？－	10 月 23 日
副腎偶発腫のホルモンスクリーニングと新しい検査法	10 月 30 日
巨大脾嚢胞に対して腹腔鏡下脾部分切除を施行した一例（※）	11 月 20 日
FISH 法と全ゲノムシークエンスによる予後不良神経芽腫における TERT 再構成の解析	12 月 4 日

《臨床病理検討会》

（※は初期研修医による発表）

演　　題	開 催 日
急速進行性糸球体腎炎（MPO-ANCA 関連血管炎）のため、腎不全となり救命しえなかった一例（※）	1 月 24 日
頭部外傷を契機に発見された肺癌の一剖検例	2 月 14 日
化学療法抵抗性であった食道浸潤を伴った小細胞肺癌	4 月 24 日
発熱を契機に急速に進行した誤嚥性肺炎の一例（※）	5 月 22 日
自己免疫性溶血性貧血加療中に合併した難治性肺炎	6 月 12 日
救急搬送後 40 分で死亡された 75 歳男性	7 月 31 日
悪性胸膜中皮腫を背景に死亡された 86 歳男性（※）	8 月 28 日
超高齢者残胃癌の自然経過	9 月 25 日
来院時に高度気道狭窄を認めた 81 歳男性（※）	12 月 25 日

3）各種講習会への参加支援

ICLS、ACLS、BLS、緩和ケア研修会をはじめ、JATEC、PALS や TNT 研修会など、各種講習会への参加を奨励し費用の負担などを行っています。

4）研修医の主な卒業大学

大阪大学、奈良県立医科大学、福井大学、関西医科大学、徳島大学、高知大学、鳥取大学、香川大学、島根大学、兵庫医科大学、大阪市立大学、名古屋市立大学、琉球大学、金沢大学、金沢医科大学、大阪医科大学、近畿大学、秋田大学、富山大学、京都大学など、研修医の出身大学も多岐にわたっています。学閥にとらわれない開かれた医局が特徴です。

4. 今後の目標

・昨年に引き続き、初期臨床研修医の安定した受入れ、および専攻医採用に力を注ぐ
・研修医のインシデント・アクシデント報告意識を高める等の医療安全体制の確立
・研修医の学会発表を増やす
・研修医による地域住民に対する医療講演会
・日本医療教育プログラム推進機構（JAMEP）　基本的臨床能力評価試験の実施
・働き方改革について臨床研修医労働時間短縮計画の作成から実施

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

53）栄養サポートチーム（NST）

NST 委員長　木村　拓也

1. 概要

栄養サポートチーム（以下、NST）は特別な栄養管理を必要とする入院患者様を対象に、通常の食事だけでなく静脈栄養、経腸栄養を含む全ての栄養療法における適切な栄養管理・評価・提案を行い、一日でも早く良好な栄養状態に改善できるように活動している。

2020 年は、入院時のスクリーニング項目・基準を見直し、栄養評価ツールの一つである MUST を基本に、当院用にスコアや項目を決定し、“栄養 MUST スクリーニングスコアシート”を新たに考案。栄養管理が必要な患者様に早期に介入出来るよう活動してきた。

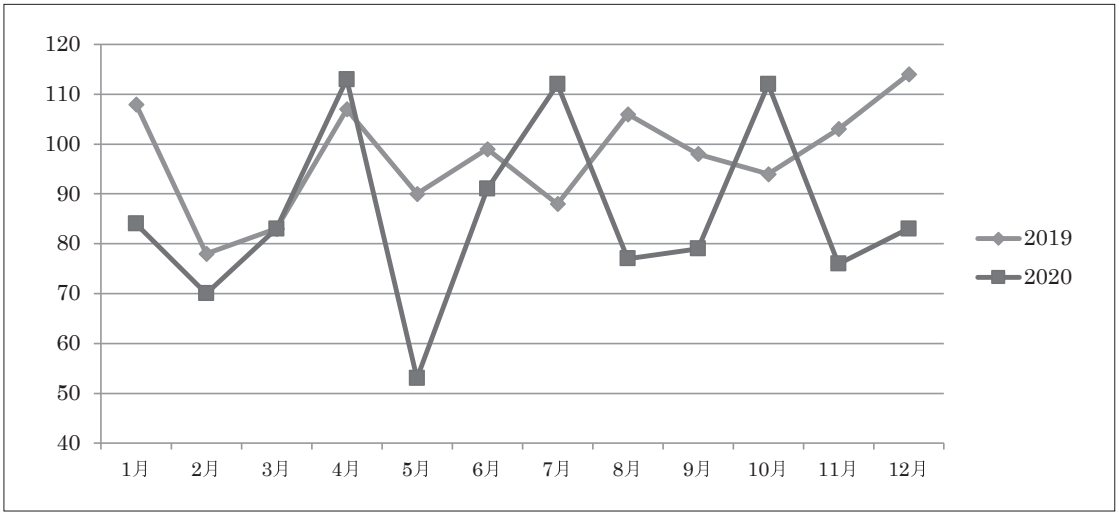
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、NST 教育認定施設としての研修生受け入れを行うことができず、また勉強会等の研修も開催できず、積極的活動を行うことが難しい 1 年となった。

2. メンバー構成

医師	4 名	臨床検査技師	2 名
看護師	14 名（リンクナース含む）	言語聴覚士	2 名
薬剤師	4 名		
管理栄養士	3 名		

3. 実績

≪ NST 加算件数≫



	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計	平均
2019	108	78	83	107	90	99	88	106	98	94	103	114	1,168	97.3
2020	84	70	83	113	53	91	112	77	79	112	76	83	1,033	86.1

昨年と比較し、総件数は－ 135 件、月平均－ 11.2 件の減少となっている。

新型コロナウイルスによる入院の制限等が、件数減少の要因と考えられる。

4. 今後の目標

・教育、研修

2020 年実施出来なかった勉強会を開催し、栄養療法に関する知識を習得できるようにする。

栄養補助食品や経腸栄養剤の種類や用途を理解し、患者様に適した選択ができるよう、NST ポケットブックの改定等も検討する。

感染対策を行なった上で、研修生の受け入れを積極的に行う。

・研究、発表

定期的な症例検討会の実施、日本臨床栄養代謝学会や日本病態栄養学会など地方・全国学術集会へ参加し、培った知識や技術を患者様に還元できるよう日々研鑽に努める。

54）緩和ケアチーム

看護師長 / がん性疼痛看護認定看護師　松本　静香

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

1. 概要

大阪府がん診療拠点病院に緩和ケアチームの設置が義務づけされています。当院の緩和ケアチームは、診療科医師（外科・内科・麻酔科・心療内科）、がん性疼痛看護認定看護師、薬剤師、作業療法士、公認心理士、管理栄養士の多職種で患者様の苦痛を少しでも緩和できるようサポートしています。主に、入院患者様が対象ですが、予後予測ツールを用いて、残された時間を大切に過ごして頂くために在宅への調整や退院後の緩和ケア外来でもサポートしています。

治療が困難になった終末期の患者様だけでなく、がんと診断された早期の段階から患者様とご家族の身体的、精神的苦痛を和らげる事ができるよう活動しています。

2. メンバー構成

医師：垣本佳士、髙原良典、池下和敏、杉本貴美子
看護師：松本静香（がん性疼痛看護認定看護師）
薬剤師：里岡達哉、山田直輝、青山瑛里子
公認心理士：朴祐希、宮坂なつ花
作業療法士：黒川湧哉、梅崎大貴
管理栄養士：小山洋史、藤田春菜、斉藤朝美

3. 実績

《緩和ケアチーム介入件数》

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数	平均
21	13	22	17	6	13	21	24	12	25	23	11	208	17.33

《がん種別件数》

肺	胃	大腸	膵	肝	胆管（胆嚢含）	乳	前立腺	その他
0	11	6	21	3	0	1	6	9

《院内暖和ケア研修会》　＊コロナにより制限あり

開催日	講演1	講演2	参加者
9月3日	緩和ケアチーム がん相談支援センターの紹介	緩和医療の基本 ～これだけは覚えておきたい～	27名

4. 今後の目標

コロナ禍でのがん患者様の支援を行い、できるだけ治療が途切れることなく継続できるよう支援していきます。

終末期の患者様の「good death」に向けた、より良い時間を過ごせるよう支援を行っていきます。

55）がん緩和支援委員会

看護師長 / がん性疼痛看護認定看護師　松本　静香

1. 概要

がん診療に関し診療密度の高い医療を提供し、大阪府がん診療拠点病院として指定要件を満たすことを目的とする。がん患者様とその家族様の QOL を向上させるために、がんの全ての病期、治療過程において出現する身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな問題に対し、積極的、継続的かつ総合的な緩和ケアを提供するための体制づくりを目的として、がん緩和支援委員会（以下「委員会」という）を設置している。

2. メンバー構成

委 員 長：	外科医師	垣本佳士（緩和ケア研修指導者）
事務局長：	看護部	松本静香（がん性疼痛看護認定看護師）
書　　記：	作業療法士	黒川湧哉、梅崎大貴
委　　員：	麻酔科医師	池下和敏（緩和ケア研修指導者）
	内科医師	高原良典（緩和ケア研修指導者）
	心療内科医師	杉本貴美子
	薬剤部	里岡達哉
	医事課	西田美帆
	公認心理士	朴祐希、宮坂なつ花
	管理栄養士	小山洋史
	MSW	三谷勇一

3. 実績

《がん指導管理料》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総数	平均
がん指導管理料イ	9	5	12	4	9	9	13	6	9	5	4	6	91	7.58
がん指導管理料ロ	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	2	2	10	0.83
がん指導管理料ハ	27	16	19	25	25	27	22	27	17	54	38	40	337	28.08

≪スクリーニング件数≫

	総数	Dr/Ns	MSW	サービス	なし
化学療法	82	14	14	5	69
外来	36	8	8	8	21
放射線治療	133	37	37	30	71
合計	251	59	59	43	161

呼吸ケア 160
院内感染 161
褥瘡対策 164
研修管理 165
栄養サポ 168
緩和ケア 170
がん暖和 171

≪がん地域連携パス件数≫

	胃がんF	胃がんケモ	大腸がんF	大腸がんケモ	乳がん	肺がん	緩和パス
適応件数	25	1	64	0	0	9	0
実施件数	20	0	40	0	0	7	0

4. 今後の目標

コロナ禍の影響により、がん治療が滞ることなく行われるよう各部署が連携して支援を行っていく必要がある。また、入院中の面会制限により、終末期の患者様が家族様と最期のときを過ごすことが難しくなっている。今後、テレビ電話や WEB 面会を検討し、患者様とその家族様の意向に沿えるよう支援を行っていきたい。

関　連　施　設

―― 2020年 ――

56）八尾徳洲会介護センター　176
57）よろこび訪問看護介護センター　179
58）よろこび訪問看護ステーション　180
59）介護老人保健施設 八尾徳洲苑　182
60）八尾徳洲苑介護センター　190
61）特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷　192

56）八尾徳洲会介護センター

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

管理者　矢竹千津栄

1. 概要

厚生労働省は、地域共生社会の実現へ向けた政策を現在推進しています。2021年度の介護報酬改定ではそこに向けた実践や、感染症や災害への対応力の強化と恒久化が求められます。居宅介護支援では事務職の配置とICTの活用を要件として、基本報酬の逓減制の緩和が行われる予定です。これは20年間全サービスの中で唯一赤字となっている居宅介護支援事業所の経営状況を改善していくための見直しです。当事業所では2名体制となって1年以上が経過しましたが、特定事業所加算を取得していた時と同様に高い中重度率を維持し、24時間対応や実習生の受け入れ体制などを継続して行っており、末期がんの方への早急な対応やそれ以外の方を含む早期退院への調整など、在院日数短縮にも微力ながら貢献していると自負しています。またグループ内の施設やサービス事業所の収益に対しても少なからず影響があります。

ケアマネジャーが経営的なプレッシャーを受けることなく、公正中立なケアマネジメントを行える環境というのは所属法人の理解がないと成し得ません。

私達はどのような状況になろうともこの姿勢を崩さず、急性期病院・がん拠点病院併設であることの職責を果たしていく所存です。ケアマネジャーの存在価値を示し続けること、活動基盤としての事業の永続性を担保することは、私達の利用者への責任であると考えています。

2. メンバー構成

矢竹千津栄（主任介護支援専門員）、井澤瞳（主任介護支援専門員）

3. 実績

《介護度別請求人数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
要介護1	9	8	7	8	9	8	8	8	8	7	8	9	97
要介護2	19	17	15	18	18	17	16	17	15	19	18	18	207
要介護3	17	16	17	19	15	16	16	16	17	19	15	17	200
要介護4	12	11	11	13	10	12	13	16	14	14	15	16	157
要介護5	10	9	10	9	8	11	11	9	9	9	9	10	114
利用者合計	67	61	60	67	60	64	64	66	63	68	65	70	775

《加算》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
初回加算	1	0	2	3	2	2	1	3	3	2	0	1	20
入院時情報連携加算(I)	6	6	2	4	2	3	3	4	3	4	5	3	45
入院時情報連携加算(II)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院･退所加算(I1)	0	0	3	6	1	2	1	2	1	4	1	3	24
退院･退所加算(II1)	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	5
退院･退所加算(I2)	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	4
退院･退所加算(II2)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
退院･退所加算(III)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加算合計	9	6	7	14	5	9	7	10	7	10	7	9	100

《業務量》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
モニタリング訪問	67	62	65	63	62	66	65	70	65	68	68	68	789
サービス担当者会議	7	12	15	19	5	12	8	15	8	14	9	12	136
新規	0	0	4	2	1	4	2	4	3	2	2	3	27
終了	3	1	4	2	3	3	2	3	2	1	2	3	29

2）研修

・大阪府各市町村主催の研修・連絡会

10/15、16、20、22、23　令和2年度　八尾市指定介護サービス事業者集団指導
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する動画視聴／矢竹、井澤

11/26、12/4、12/8、12/11、12/15、12/16、12/22、12/24　令和2年度　大阪府認定調査員現任研修
web研修／矢竹、井澤

・八尾市介護保険事業者連絡協議会

2/18　令和元年度　総会、研修会　八尾市人権研修　認知症サポーター養成について／井澤

・法人内

1/22　リエゾンチームによるせん妄の対応　～リスクマネジメントの観点から～／井澤

3/24　第3回　院内感染対策講習会
八尾徳洲会における新型コロナウイルス感染症の現状と今後について／矢竹、井澤

8/28　コロナ禍におけるメンタルヘルス／矢竹、井澤

9/8　感染対策勉強会　令和2年8月21日　～新型コロナウイルス感染症対策～　感染管理部会
web研修視聴／矢竹、井澤

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

・事業所内

［疾患別研修］1/9、3/12、4/9、5/14、6/18、7/9、8/20、9/10、9/17、10/8、11/12、12/10

［認知症研修］2/20

［事 例 研 究］1/16、7/16

［症例検討・報告・情報提供・伝達研修］1/16、1/23、2/13、2/18、2/19、9/10、9/17、12/16

・その他

1/9　みんなで考えるアドバンス・ケア・プランニングと在宅医療　八尾市立病院／井澤

2/15　地域でがんと向き合いましょう！　中河内医療圏がん診療ネットワーク協議会／矢竹

12/15　フレイル予防、最新の福祉用具で上げるQOLとADL

～「電動車椅子に乗ると歩けなくなる」は間違い！～

「とりまとめ間近、2021年度　介護報酬改定のポイント」　web研修／井澤

12/17　自立支援対策こそ事業存続の鍵-介護保険事業の現在と未来から

介護現場における生産性向上の取組　ICTの活用に向けた取組　web研修／矢竹、井澤

4. 今後の目標

経験者の採用により、特定事業所加算の再取得を目指す

57）よろこび訪問看護介護センター

管理者　宮崎　美子

1. 概要

当センターは、常勤２名、非常勤３名の５名体制です。現在は2020年はコロナ禍で訪問利用者数の減少があるのか不安でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響での利用者減少はありませんでした。逆に人と会う機会が減り、ヘルパー訪問を待って下さっていました。在宅サービス利用者は、独居の方が殆どで、不安や寂しさ、時には苛立ちがあり、ヘルパー訪問によって安心され話をする事で寂しさや苛立ちが軽減する事を確認できました。今回の様な事態が起きたとき、必要とされる存在であるよう、訪問介護職員として、より一層、質の向上を目指していきます。

2. メンバー構成

管理者：宮崎　美子（介護福祉士、認知症実践者研修終了者）

サービス責任者：三島　麻美（介護福祉士）

訪問介護職員

常　勤：宮崎　美（兼務）、 三島　麻美（兼務）

非常勤：徳永　秀美、 星川　順華、 中西　順子

3. 実績

《訪問看護》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
利用者	27	26	24	23	23	24	27	26	26	28	29	29	312	26.0
訪問件数	221	186	191	191	202	187	209	218	224	230	221	247	2527	210.6
新規導入者	1	0	0	0	0	1	2	2	0	2	1	0	9	0.8
終了者(死亡)	1	1	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0.6

《研修及び行事》

認知症の家族会（12月）

4. 今後の目標

・利用者、ご家族に喜んでいただける事業所になるよう努力する。

・ケアカンファレンスを行い、コミュニケーションを密に行う。

・働きやすい職場環境を作る。

58）よろこび訪問看護ステーション

管理者　森　浩子

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

1. 概要

昨年に引き続き、訪問看護ステーションの数の増加に伴い、それぞれに特徴が明確になってきた。徳洲会グループのステーションだけでも然りと感じたのは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴っての事である。入院はおろか、受診も控える利用者の、家庭というゾーニングし難い環境で、感染に恐怖を感じる利用者や、全く動じない家族との対応において、日常生活をいかに日常とするか、我々の姿勢が問われていた。

今年は本所と支所がコミュニケーションを密に図ることを目標としていたが、どちらで感染者が出ても他方でカバーできるよう､交わることを避けた。長期戦になる事が分かってからは、オンライン会議にて情報共有に努めることにしています。

2. メンバー構成

管理者：森　浩子

看護師（常勤）：森　浩子（兼務）・須賀　明美・長谷川　由紀子・見崎　加奈（3 月産休、6 月より育休）・佐藤　晶代・中澤　陽子・吉村　理恵・廣瀬　賀洋子
吉田　宝（6 月育休より復帰）

看護師（非常勤）：辻本　由加里

理学療法士（常勤・病院より出向）：松本　龍也

3. 実績

《訪問看護》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
利用者	134	135	142	140	140	140	147	145	139	140	139	140	1,681	140.1
訪問件数	858	857	887	869	903	967	971	900	999	991	881	1,038	11,121	926.8
新規導入者	15	13	18	12	13	12	9	11	16	11	12	14	156	13.0
終了者(その他)	9	12	10	12	13	4	11	13	17	10	11	13	135	11.3

《研修及び行事》

1 月 10 日　八尾市介護保険事業者連絡協議会居宅サービス事業者部会　幹事会（森）
1 月 13/31 日　大阪府看護協会認知症研修（森）
1 月 18 日　大阪府ステーション協会中河内ブロック　新年会（森・須賀）
1 月 30 日　八尾市介護保険事業者連絡協議会　役員会（森）
2 月 1 ～ 2 日　徳洲会訪問看護ステーション所長会議（須賀・森）
2 月 7 ～ 9 日　精神科基本療養費算定研修（見崎）
2 月 12 日　八尾徳洲会病院副主任研修（須賀）
2 月 18 日　八尾市介護保険事業者連絡協議会総会（森）
八尾市介護保険事業者連絡協議会研修（見崎）
2 月 21 日　八尾市介護認定審査会役員会（森）

7月31日　　大阪府ステーション協会中河内ブロック　ZOOM研修
9月 8日　　大阪府ステーション協会中河内ブロックZOOM研修〈スキンテア〉
10月27日　　徳洲会グループ　所長ZOOM会議（森・須賀）
11月 1日　　よろこび訪問看護ステーション24周年
11月 6日　　八尾市介護保険事業者連絡協議会居宅サービス事業者部会　幹事会（森）
12月 5日　　大阪府訪問看護実践研修事業　中河内看看連携会　ZOOM研修
12月22日　　八尾市介護保険事業者連絡協議会居宅サービス事業者部会　役員会（森）

6月より毎月第3金曜日　大阪府看護協会訪問看護支援委員会（森）
6月まで隔月、7月よりZOOMにて毎月　大阪府ステーション協会中河内ブロック
管理者会（森）

《実習受け入れ》
大阪府医師会看護専門学校　計28名
7/13～14（3名）、7/15～16（2名）、8/3～4（3名）、8/5～6（2名）、8/24～25（3名）
8/26～27（2名）、9/14～15（2名）、9/16～17（2名）、9/28～29（2名）、10/5～6（2名）
10/19～20（2名）、10/21～22（2名）、11/9～10（1名）
太成学院大学　計11名
9/28～10/1（3名）、10/19～22（2名）、11/9～12（3名）、11/16～19（3名）
日本医療学園付属東亜看護学院　計3名
9/8～9（1名）、9/10～11（2名）

4. 今後の目標
次年度には本所、支所が連携して同じ利用者を共有でき、よろこびらしい看護の質を追求していくと共に、待機も合同で担うことで1人1人の負担の軽減を図りたいと考えています。

59）介護老人保健施設　八尾徳洲苑

施設長　髙寺　博史

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

1. 概要

2020 年の業務報告をいたします。新型コロナウイルス感染症のパンデミックは当苑にも多大の影響を与え、今なお継続しています。前年度末からのインフルエンザ対応を引き継ぐ形となり、面会禁止 , 各種行事やレクリエーションの中止が長期にわたり継続することになりました。

面会は Skype を使用し、ある程度の家族との対面機会をもてましたが、各種行事の中止は、認知症やフレイルの悪化を招く恐れがありました。可能であれば再開しようという、職員からの積極的な声もあがり、当院職員が講師を担当し、習字や手芸教室、生け花やお茶会（コーヒー）を再開したところご好評を頂きました。

ただ一番に危惧されたのは、面会禁止という自分の直接な感覚を使えない中で、高齢入所者の老化、フレイルの進行や認知症悪化を、家族が理解し受け入れられるか、ということでした。これには避けられぬ自然老化も、関係して来るからです。機会ある毎に、看護師、介護士、ケアマネージャーから家族へ利用者の現状を報告する方針をとりました。現在、これに関する大きな問題は発生していませんが、今後注意のいる所です。

マニュアルに従い、あるときは保健所の指示に先行する形で感染対策をとりました。いつ苑内クラスターの発生をみてもおかしくない状態でしたが、2020 年度には、通所利用者 1 名の発症をみたのみで、苑内感染は防げました。しかし幸運な偶然であったとも思われます。

今なお緊急事態下にありますが、ワクチン接種が順調に進み、パンデミックの収束を 1 日でも早く目にしたいものです。

2. 実績

《利用者数実績》

1）入所療養介護（長期入所）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	93	92	93	98	95	87	89	94	96	91	96	97	1121	93.4	－5.8%
延べ人数	2,710	2,434	2,674	2,624	2,595	2,514	2,662	2,692	2,703	2,647	2,654	2,688	31,597	2,633	－1.1%

2）短期入所療養介護（ショートステイ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	13	18	12	3	1	1	5	5	3	6	8	5	80	6.6	－49.1%
延べ人数	53	75	70	9	4	4	21	26	9	20	28	18	337	28.0	－56.2%

3）通所リハビリテーション（デイケア）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
利用者数	84	83	83	76	47	68	69	69	70	72	75	75	871	72.5	－11.7%
延べ人数	778	789	801	499	309	424	591	606	445	644	621	685	7,192	599.3	－22.2%

《入所経路と在宅復帰》（長期入所）

1）入所前場所

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
自宅	0	2	3	0	1	0	2	0	1	0	1	3	13	0.81%
八尾徳洲会	7	8	5	10	4	6	2	10	5	4	5	2	68	－5.5%
他病院	0	0	1	2	2	0	3	4	3	1	2	4	22	－40.5%
介護施設	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1	1	8	－38.4%
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－%
合計人数	7	11	11	13	7	6	7	15	9	6	9	10	111	－20.7%

2）退所先

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
自宅	3	3	4	1	4	1	3	4	1	0	3	5	32	－37.2%
八尾徳洲会	7	6	3	5	6	2	1	5	5	2	1	3	46	－2.2%
他病院	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	50%
特養	1	1	0	0	3	0	2	0	2	0	0	2	11	－26.6%
老健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－%
死亡(看取り)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	－75%
その他施設	3	1	1	2	1	0	0	0	3	3	0	6	20	－16.6%
合計人数	14	11	8	8	14	4	6	10	11	6	5	16	113	－20.4%
在宅復帰率	42.9%	41.7%	62.5%	37.5%	35.7%	33.3%	50%	44.4%	36.3%	60%	60%	68.8%	47.7%	－6.8%

《医療依存度》

1）重症度症例数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
平均要介護度	3.6	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4	40.7	3.39
経管栄養	297	221	247	238	202	203	224	186	183	186	183	169	2,539	211.5
インシュリン	42	1	0	21	2	13	7	0	0	15	30	51	182	15.1
褥瘡処置	127	88	43	30	68	83	98	112	132	110	103	73	1,067	88.9
酸素吸引	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	0.3
頻回吸引	1	116	122	117	113	115	126	101	144	109	153	100	1,447	120.5
点滴注射	75	65	40	54	68	58	73	136	141	90	55	48	903	75.2

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

稼働床に対する割合

2）看取り件数（過去 13 年）

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計	平均	前年比
10件	15件	9件	7件	10件	12件	2件	5件	3件	5件	3件	4件	1件	86件	7.16件	－13.7%

3）重症者搬送件数

八尾徳洲会総合病院	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年比
	2	5	1	0	2	0	0	3	1	0	1	2	17	1.41	－43.3%

3. 今後の目標

高齢者ができうる限り自分の生命力で過ごされるよう、生活と医療の有効な支援を提供できればと考えています。

今後ともご協力をお願い申し上げます。

【機能訓練室】　　理学療法士副室長　山田　知絵

1. 概要

新型コロナウイルス蔓延期におけるリハビリテーションのあり方が問われる年となりました。本部指示に則り、感染対策を取った上で利用者様への個別リハを各療法の専門性を生かし、実施しました。また、居宅へ在宅復帰予定の入所者様へは、退所前後訪問にて生活環境調整や家族介護指導等を実施しました。

PT1 名が介護老人保健施設リスクマネジャー資格を有しており、施設内のリスクマネジメントに関連する現状の課題を把握し、次年度の活動方針を打ち出しました。学会や外部研修へは感染拡大予防の観点から、その多くが中止されたため、積極的な参加は叶いませんでした。認知症と権利擁護関連の講演活動は、実施主体団体と感染拡大予防策について協議し、おおむね前年度同様に大阪府下で活動しました。

2. メンバー構成

理学療法士　5 名

作業療法士　1 名

言語聴覚士　1 名（非常勤）

3. 実績

1）通所・入所　個別リハビリテーション実施件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
実施延べ数	1,301	1,220	1,344	1,368	1,029	1,297	1,441	1,394	1,375	1,334	1,390	1,467	15,960	1,330
内、加算算定数	305	218	257	359	284	283	242	263	310	261	319	272	3,373	281

2）講演活動

PT 山田：・大阪府認知症介護実践リーダー研修
・大阪府多職種協働による意思決定支援の推進研修

PT 土井：・大阪府認知症介護実践研修（実践者・実践リーダー）
・大阪府「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定ガイドライン伝達講習会」
・大阪介護福祉士会「ファンデーション研修　身体拘束・虐待」
・高槻市介護保険事業者協議会「身体拘束廃止・虐待防止研修」
・奈良リハビリテーション専門学校 「脳疾患患者に対する理学療法」
・野田福祉会 「安全管理について」
・大阪府多職種協働による意思決定支援の推進研修
「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援について」

4. 今後の目標

感染拡大予防策を継続し、個別リハや他の活動を行います。また、令和 3 年度介護報酬改定では、リハビリテーションマネジメントの強化、利用者データの提供及びフィードバックによる科学的介護（リハ）の推進、リスクマネジメントの強化が求められています。これら改定の意図を汲み、超強化型老健算定要件の維持とリハビリテーションマネジメントの再構築に努めます。

【栄養科】　栄養科主任　樋口　晶代

1. 概要

2019 年は新型コロナウイルス感染防止対策により食事提供に関しても様々な対応が求められました。密集・密接回避のため、利用者様には座席の食事環境についてもご協力をいただいています。また、ご家族様を招いてのイベント食や外部業者による「屋台お好み焼き」、利用者様自身で作っていただく「おやつ実習」など、感染リスクが高いと考えられる食事イベントは中止とさせていただきました。その中で、少しでも季節感のある食事を楽しんでいただけるように、「行事食」や「おかず選択」、「各種バイキング」等は提供形式を一部変更し、利用者様に喜んでいただける食事イベントの実施を行いました。

栄養管理におきましては、栄養マネジメントにて低栄養状態の改善が見られる方があるものの、月平均すると低栄養（Alb3.5 未満）の割合が 85％（低栄養状態：中リスク者 70％、高リ

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

スク者15%）となっています。また嚥下調整食（食事形態に配慮した食事）が必要な方は約30%であり、このうち90%以上が低栄養に該当します。嚥下調整食に関しては、他職種の意見も取り入れながら適した形状や安定性、味のバランスなどの改善を目指しました。また9月からは、おやつに「やわらか食対応」としてより安全に配慮した別献立を開始し、医師・言語聴覚士等と連携を取りながら定期的にアセスメントを行い、より充実した経口維持の支援を実施しました。

2. メンバー構成

管理栄養士　樋口晶代

3. 実績

1）療養食加算（長期入所）　食数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	月平均件数
1,071	1,021	1,168	1,114	1,049	1,154	1,244	1,264	1,459	1,410	1,259	1,232	14,445	1,203	401

2）経口維持加算（Ⅰ）（Ⅱ）　件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
（Ⅰ）	20	17	18	19	20	17	17	18	18	18	16	17	215	18
（Ⅱ）	9	7	8	8	8	9	9	8	9	8	6	6	95	8

3）行事食・イベント食

1月　1～3日：正月おせち料理、新年会 松花堂弁当、（通所）揚げたて天ぷら
2月　節分 巻き寿司、（通所）おでんバイキング、パンバイキング
3月　握り寿司バイキング、（通所）焼きたて餃子
4月　春のお花見弁当、（通所）揚げたて天ぷら
5月　端午の節句　弁当、（通所）おでんバイキング
6月　（通所）焼きたて餃子
7月　七夕　ちらし寿司と七夕そうめん、（通所）パンバイキング
8月　（通所）揚げたて天ぷら
9月　敬老会　祝い弁当
10月　（通所）焼きたて餃子
11月　秋の弁当、（通所）おでんバイキング
12月　お楽しみ寿司ランチ、（通所）揚げたて天ぷら

4 ）実習生受け入れ

・関西福祉科学大学健康福祉部福祉栄養学科　　臨床栄養臨地実習　実習生2名

・武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科　　臨地実習Ⅰ（給食管理学実習）　実習生2名

4. 今後の目標

今後も、多職種との連携を行いながら、利用者様の状態に見合った栄養管理と安全で美味しい食事の提供を行えるように努めたいと考えています。

【支援相談員】　　支援相談員副主任　北出　眞和

1. 概要

長期入所･短期入所･通所リハビリテーションを希望される方の窓口となり、ご利用にあたっての相談対応を行っています。

入所は100床あるベッドを運用し、入退所調整を行っています。100床中約2床は短期入所として活用しています。新型コロナウイルス感染症の感染予防も兼ねて、短期入所に関しては日数の制限や利用時の活動場所のソーニングを行なった影響で利用希望者が減少しました。

入所サービスは基本的に要介護認定を受けられ、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅への復帰を目指すために、各職種との協働の下、リハビリテーション・栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供するサービスとして、相談対応させていただいております。

今年の傾向としては、入所者数113名の内、協力医療機関の八尾徳洲会総合病院からの紹介者数は65名となっており、約57%の方を紹介していただきました。入所に関しても新型コロナウイルス感染症の影響をかなり受け紹介者数としては過去最低を記録しました。八尾市内・大阪市・柏原市・東大阪市といった近隣の医療関係との相談対応を行い、全体の23%の方の紹介をいただきました。こちらに関しても減少がみられました。

老健施設基準でもある「在宅復帰超強化型」は維持できていますが、入所者数の確保が難しい年になりました。今後も、他職種との連携・協働を意識していきたいと考えています。

今後も新たな取り組みを検討・構築し、各医療機関や地域でお困りの方に対して積極的に情報発信していき、医療機関の後方支援先・地域の相談窓口としての協力体制を整えていきたいと考えています。

2. メンバー構成

北出　眞和　　小茂田　加奈

3. 実績

114名の方が退所されました。内在宅復帰34名（29%）病院搬送53名（46%）特養入所者9名（1%）有料老人ホーム入所者（有料･サービス付き高齢者向け住宅など含む）17名（15%）となっております。この実績に関しても新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、在宅復帰を希望される方も減少しました。病院搬送者数も過去最高の割合となっています。

本年の年間在宅復帰率は45.1%。在宅復帰率が50%を下まわりました。入所者数の減少と入院患者数の増加に伴い厳しい結果となりました。

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

4. 今後の目標

長期入所に関しては在宅復帰超強化型を維持できましたが、安定した入所者数の確保が難しく、安定した入所者数の確保をまずは目指していきたいと思います。

新型コロナウイルス感染後の方のリハビリテーション受け入れ、相談等の早期対応を意識して取り組むなど、医療機関や地域からの相談に対して迅速に対応し、地域の窓口として開けた対応を実践していくと共に、施設運営の向上に繋がる支援体制を今後も構築していけるように努力していきたいと思います。

【介護・看護部】　　総看護師長　武田　郁子

1. 概要

新型コロナ感染症の蔓延で今年度は利用者様、家族様には大変なご不便をかけることになりました。入所利用者様には面会禁止に始まり、フロアから出ることも規制され、集団での活動も制限しています。通所利用者様には常時マスクの着用や距離を取った行動など窮屈な思いをされていると思います。そんな中でも少しでも楽しく笑顔で過ごしていただくための工夫をしています。部署ごとの敬老会や新年会を実施しました。早く元の生活に戻れるよう祈ると共に利用者様、家族様との信頼関係も継続し安心して利用してもらえるよう努めていきます。

≪年間行事≫

施設全体での行事開催はせず、フロアごとの行事を行った

2. 実績

1）看護介護目標と成果

目　　標	成　　果
デイケア： 看護　利用者の状態把握に努める、職員間の情報共有ができる、感染対策の徹底 介護　利用者の把握に務め、情報共有ができる、職員自身の体調管理ができる	・毎朝のミーティングにより利用者の状態把握と職員間での共有ができた ・個々の利用者への丁寧な対応に務め、よい関係構築になった ・職員の体調自己管理については大きな体調悪化はなかった
1階：ラダーの活用により自己評価、修正ができる カンファレンスの習慣化、ケアの質の向上	・ラダーの活用には至らなかった ・事故発生時のカンファレンスは毎回実施できた、対策の徹底につながった
２階：「人にやさしく」 をモットーにスピーチロックの廃止、尊敬の心を持って接する	・認知症ケアの向上は今後も課題である ・職員の意識も低く今後も改善に取り組んでいく

2）教育人材育成

・実務者研修受講　1名

・介護福祉士受験　3名

3）身体拘束委員会　　身体拘束ゼロの継続が実行出来ている、委員会でセンサーマット利用の評価分析を実施

4）事故防止委員会　　毎月の事故報告書を分析し、複数回転倒事例など検討、分析している

5）感染対策委員会　　新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、施設での感染発生を防止している

6）内部研修

2月　記録とケアプラン

3月　消防訓練

5月　身体拘束、高齢者虐待について
　　介護保険サービスと倫理及び法令遵守

6月　介護職員の医行為について

8月　プライバシー保護、感染対策

9月　誤嚥誤飲を防止するために

10月　看取りについて、褥瘡対策

7）実習受け入れ

・大阪府医師会看護専門学校　　看護師実習生21名　　在宅看護論（6/22～12/3）

・大精協看護専門学校　　准看護師実習生72名　　老年看護（7/28～11/27）

3. 今後の目標

今後は、看取り介護についても学びを深め、よりよい看取りケアを目指していきます。

60）八尾徳洲苑介護センター

管理者　日髙　陽子

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

1. 概要

当センターは併設の八尾徳洲苑と同法人以外に、他法人や各種機関との連携を図っています。24 時間の連絡体制、定期的な勉強会や会議開催等を整備し、特定事業所加算Ⅱを算定しています。

2020 年は新型コロナウイルスに不安が募る年となりました。私たちが媒介者にならない為に日々情報収集や体調管理、訪問時にはマスク着用、アルコール持参、検温等の感染対策を徹底して行いました。他国のでき事と捉えて、東京オリンピックに期待していた年始がはるか昔のようです。

緊急事態宣言発令による通所サービスなどの自粛では、担当利用者様・家族様の生活に我慢や負担が生じ、心が痛む事もありました。そこでも当センターの持ち前の明るさ、スタッフ間の支え合い、利用者様を支えるという使命感で乗り越え従事しています。ふんわりとした中にあるこのチームワークが事業所の強みだと自負しています。また利用サービスを休止しても生活に変化や影響がない方もあり、その間の新規相談件数も減少。サービス導入やモニタリングの際に本当に必要なサービスかどうか今まで以上に確認する視点ができ、大変な中にも得たこともありました。

まだ新型コロナウイルスの終息の見通しは付きませんが、2021 年 3 月 1 日には開設して 21 年目を迎えます。これまで以上に利用者様・家族様の支えとなり、共に乗り越え、地域の皆様から信頼される事業所となるよう、邁進して参ります。

2. メンバー構成

管理者・主任介護支援専門員　：　日髙　陽子
主任介護支援専門員　：　山﨑　美保、野宗　かおり
介護支援専門員　：　更井　久子（八尾徳洲苑へ 2 月より異動）
橘　早苗（1 月入職）

3. 実績

1）業務実績

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均	前年度
介護利用者	97	93	101	90	95	89	89	85	90	96	102	106	1,133	94.4	99.4
予防利用者	28	27	28	27	35	37	40	38	38	39	39	42	418	34.8	27.7
居宅支援Ｉ1	60	58	61	56	56	55	54	53	52	56	59	60	680	56.7	62.0
居宅支援Ｉ2	37	35	40	34	39	34	35	32	38	40	43	46	453	37.8	37.4
相談件数	5	4	5	4	3	5	2	9	8	6	8	3	62	5.2	3.4
新規開始者	0	3	3	3	2	6	1	1	7	7	6	6	45	3.8	2.8
終了者	4	1	1	1	2	3	3	1	2	3	2	3	26	2.2	12.5
認定調査	0	5	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	16	1.3	10.75
担当者会議	13	11	20	9	5	21	15	11	26	16	26	15	188	15.7	20.1

2）研修

【外部研修】

八尾市高齢介護課　介護保険適正化事業研修会	：1/24（野宗）
八尾市事業者連絡協議会居宅部会	：1/22（日髙、山﨑）
八尾市保健所　難病患者の嚥下摂食障害と在宅生活について	：1/23（野宗）
八尾市介護保険事業者連絡協議会　総会	：2/18（野宗）
八尾市認定調査員 Web 研修	：1 月（日髙、山﨑、野宗、橘）

【内部研修】

・記録の勉強会（所内）

書籍：言葉のダイエット使用／月1回

・事例研究会（徳洲会介護センター合同）　：1/16, 7/16

・認知症勉強会（徳洲会介護センター合同）：2/20

・施設内研修

講義形式は避けて資料を読み報告書記載

実践：スタットコール、嘔吐物処理勉強会は全員、BLS橘参加

4. 今後の目標

・法人の掲げる理念の実践に努め、併設施設、関連施設への協力、連携を図る。

・利用者様の意思および人格を尊重し自立支援に努める。

・事業目標を達成し、単独事業所として健全経営を目指す。

・日々の活動や福祉講演などを通して、地域から信頼される事業所を目指す。

・新入職者の一連の業務習得に向けて協力し合えるチームづくり。

61）特別養護老人ホーム久宝寺愛の郷

理事長　酒井　　敬
理事　木口　良章

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

1. 概要

法人として、新型コロナウイルスの感染者がでないよう、感染対策に力点をおいた施設運営を実施した。年初大きな目標として、利用者の方には「施設でのありふれた日常を大切に」、職員に対しては「エンゲージメント思考の定着」ということを掲げた。しかし、新型コロナウイルス感染症は、利用者の方のありふれた日常も大きく変えることになった。面会制限のため家族に会いたくても会えない事は、本人や家族はもちろん職員もつらかった。職員のエンゲージメント思考の定着については、規制の多い中、いろんな工夫をしながら利用者や組織の事を考えた行動をとってくれた。この活動は職員と組織の絆を深めることができ、退職する介護士も少なく施設への愛着心も増したように感じる。地域支援活動は、八尾市地域包括支援センターを通して、高齢者や社会的弱者といわれる方々に対し、地域資源を活用しながら丁寧に対応してきた。

経営的には、ほぼ計画通りに運営することが出来た。

2. メンバー構成

部門	職種	常勤	非常勤		人数計	換算計
			人数	換算		
管理部	管理者	2			2	2.0
特養	事務	1	1	0.3	2	1.3
	生活相談員	1			1	1.0
	介護支援専門員	1			1	1.0
	医師		2	0.2	2	0.2
	看護部	3	1	0.4	4	3.4
	栄養部	5	4	1.4	9	6.4
	介護職	21	10	6.5	31	27.5
短期入所	生活相談員				0	0.0
	介護職員	5	2	1.6	7	6.6
デイサービス	生活相談員	1			1	1.0
	看護部	1	1	0.9	2	1.9
	機能訓練	1			1	1
	介護職員	2	6	5.6	8	7.6
	運転手		2	1.1	2	1.1
地域包括	ケアマネ・保健師	2			2	2.0
合計		46	29	18.0	75	64.0

3. 実績

(1) 特別養護老人ホーム　久宝寺愛の郷（50 床）

常に満床の状況であり、申込をしていただいている方も 200 名近くになっている。1 ヶ月に一度入居選考委員会を開催し、必要度の高い方から入居いただいている。昨年の稼働率は平均 99.0%、要介護度は平均 4.5 であった。14 名の方がお亡くなりになったが、その内 13 名が看取りだった。新型コロナウイルス感染症のため面会制限が続く中、オンライン面会も導入した。11 月には、どうしても直に会いたいという家族の強い要望をお聞きし、感染対策を実施する中、直接面会をしていただいた。外出行事はできなかったが、ユニット単位、フロア単位で敬老祝賀会やレクリエーションなど工夫を凝らして実施できた。その模様は「愛の郷新聞」月 1 回発行で紹介できた。

資格取得は介護福祉士に 3 名が合格、1 名が社会福祉主事任用資格を取得した。

(2) ショートステイ 久宝寺愛の郷（10 床）

短期入所は、出来るだけ在宅で過ごしていただくための重要な役割を担っている。利用者の平均要介護度は 3.1 で、認知症の方や動かれる方も多く、転倒などのリスク要因を抱えているため、介護士を厚く配置した。各種変動要因がある中、稼働率は平均 97%でほぼ満床という状況。相談員を兼ねた介護士を置くことによって達成できた数字である。

(3) デイサービス 久宝寺愛の郷（定員 32 名 / 日）

今年、一番苦戦をした事業となった。4 月の新型コロナウイルス感染対策として発せられた緊急事態宣言から利用者の方が減少。その後回復したかと思うと、感染の 2 波、3 波に合わせて利用者の方の利用控えが発生。積極的な営業もできず、登録者の数も 8 名ほど減少した。せっかく利用いただいても、楽しみであったカラオケも出来ず、昨年まで実施してきた、ボランティアによる各種活動などもできなかった。

	特養（50 床）			短期入所（10 床）			通所介護（定員：32）		
	入所数	入所率	退所数	利用者数	延利用者数	利用率	利用者数	延利用者数	利用率
1 月	49.0	99.0%	2	40	289	92.0%	76	653	78.5%
2 月	49.5	99.0%	2	43	313	107.9%	77	640	80.0%
3 月	50.0	100.0%	0	38	297	95.5%	74	658	79.1%
4 月	49.7	99.4%	1	35	295	98.3%	73	579	66.5%
5 月	49.7	99.4%	1	37	300	96.8%	66	565	67.9%
6 月	49.1	98.1%	0	33	298	99.3%	80	670	80.5%
7 月	49.6	99.1%	1	39	304	98.1%	81	721	83.4%
8 月	49.4	98.8%	1	38	300	96.8%	73	630	75.7%
9 月	50.0	100.0%	1	37	263	87.0%	70	615	74.0%
10 月	48.8	97.5%	0	39	290	93.5%	77	660	76.4%
11 月	49.0	97.9%	2	36	297	99.0%	73	622	77.8%
12 月	49.9	99.7%	3	36	306	98.7%	71	602	69.7%

介護セン 176
よろこび 訪問看護介護 179
よろこび 訪問看護ステ 180
徳洲苑 182
徳洲苑 介護セン 190
特養久宝寺 愛の郷 192

(4) 八尾市地域包括支援センター（公益事業）

地域包括支援センターを八尾市から委託されて3年が経過、高齢者のよろず相談を多く受けるようになった。地域（中学校区）の方々にも、その存在と役割が浸透し、件数は年々増加しており、地域の福祉委員とも連携をとりながら、その役割を十分果たしている。新型コロナウイルス感染症の拡大で、介護予防教室や家族介護教室はほとんどが中止された。また、地域行事もなくなり、地域の方々との接点は少なかった。

職員の1名が介護支援専門員試験に合格した。

内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年比
相談受付	369	320	365	311	380	383	375	363	348	350	308	324	4,196	516件増
介護予防支援費	279	270	264	251	269	265	257	246	251	250	249	250	3,101	20件減
介護予防教室等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	6	17件減
地域行事	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	15	61件減
実態把握	28	14	28	15	18	19	20	18	22	28	22	19	251	29件増

4. 今後の目標

社会福祉法人として、求められる役割をしっかりと認識すると共に利用者の方の日常に寄り添いながら、少しでも穏やかに過ごしていただける環境を整備する。そのためには介護士の質を向上させると共に施設全体でのチーム介護が出来るよう一層努力する。

経営的には、来年度は中期経営計画の最終年であり、安定した経営の確保を図るためにも、その達成を優先する。また、2021年4月に実施される3年に1回の介護報酬の改定を確認し、各事業の今後の方向性を決め、次の中期計画に反映させる。

新型コロナウイルス感染症は2021年も終息に至るとは思えない。職員一丸となってクラスターを起こさないよう、利用者のみならず職員の健康管理に細心注意を払いながら運営する。職員教育は最重要課題として、常に質の高いサービスを意識しながら実施する。

学　術　業　績

―― 2020年 ――

62）学会発表　198
63）学術論文　202

62）学会発表

【形成外科】

・2020.1.16　第3回Vascular Rheumatology研究会（大阪）　綾部忍　末梢動脈限局の血管炎による足壊疽に対する形成外科的治療
・2020.7.12　第125回関西形成外科学会学術集会（大阪）　綾部　特別講演　綾部忍　Biofilm Based Wound Management　～バイオフィルム制御をいかに行うか～
・2020.8.26～28　第63回日本形成外科学会総会学術集会（名古屋）　綾部忍　Arterial insufficiency, Infection, and foot Deformity concept in the management of diabetic foot ulcers
・2020.9.11～12　第22回日本褥瘡学会学術集会（神戸）　綾部忍　創傷治療を先進する注目デバイス　～超音波デブリードマンデバイス～
・2020.10.8～9　第29回日本形成外科学会基礎学術集会（横浜）　綾部忍　創傷治療を先進する注目デバイス　～超音波デブリードマンデバイス～
・2020.10.8～9　第29回日本形成外科学会基礎学術集会（横浜）　綾部忍　REDV修飾したダチョウ由来小口径脱細胞化血管による50cm超バイパス実験モデルについて
・2020.11.20～21　第47回日本マイクロサージャリー学会学術集会（北九州）　綾部忍　遠位バイパスにおける必要な知識と手技について　～Distal Bypass Surgery for Critical Limb Ischemia～
・2020.11.28　第2回日本フットケア学会関西地方会（大阪）　綾部忍　CLTI患者に対する感染CLIにおけるデブリードマンのイロハ
・2020.11.28　第2回日本フットケア学会関西地方会（大阪）　綾部忍　血管炎による足壊疽に対する形成外科的治療を施行した症例
・2020.11.28　第2回日本フットケア学会関西地方会（大阪）　綾部忍　CLIにおける治療の順序重要性について再考する
・2020.11.28　第2回日本フットケア学会関西地方会（大阪）　綾部忍　血行再建だけで治る傷と治らない傷
・2020.11.29　第126回関西形成外科学会学術集会　入潮実季　後遺症を残さず経過したcapnocytophaga canimorsus感染症の一例
・2020.12.10～11　第12回日本創傷外科学会学術集会（徳島）　綾部忍　難治性創傷に対するOASISの有用性：臨床経験から
・2020.12.10～11　第12回日本創傷外科学会学術集会（徳島）　綾部忍　シャルコー足に対するSurgical Offloadingについて

【呼吸器外科】

・2020.9.29　第37回日本呼吸器外科学会学術集会（web開催）　市橋良夫　再発肺癌に対する外科治療
・2020.10.29　第82回日本臨床外科学会総会（web開催）　市橋良夫　同一肺葉内に肺腺癌と肺過誤腫を合併した1手術例

【歯科口腔外科】

・2020.11.13～15　日本口腔外科学会総会学術大会　中川記世子、小林夏子、藤多健、占部一彦　『真性減免動脈瘤の１例』

【糖尿病代謝内科】

・2020.10.5～16　第63回　日本糖尿病学会年次学術集会（WEB開催）　中田智里、服部玄徳、雪井美穂、野村日呂美、石橋里江子　行動変容ステージに合わせた運動指導が身体活動および自己効力感に与える影響
・2020.10.17～31　第57回　日本糖尿病学会近畿地方会（WEB開催）　岸本真悠、古澤千波、佐藤友亮、服部玄徳、高津美乃里、坂野千賀、酒井菜穂子、八島麻美子、植田秀樹、髙原良典、石橋里江子　当院の糖尿病教育入院における栄養指導の

効果の検討

・2020.10月17～31日　第57回　日本糖尿病学会近畿地方会（WEB開催）　由留木千恵、大谷康仁、藤井安希子、酒井菜穂子、植田秀樹、髙原良典、石橋里江子　当院糖尿病外来におけるFreeStyleリブレ導入患者の使用状況とQOLの検討

【脳神経外科】

・2020.5.22　日本定位放射線治療学会（東京）　宇田裕史、岩井謙育、石橋謙一、山中一浩　頭蓋底髄膜腫に対するガンマナイフ治療（≦12Gy）の長期治療成績

・2020.6.24　71st Annual Meeting of the DGNC（ドイツ、WEB）　Yuta Nakanishi Y, Kentaro Naito,Toru Yamagata, Toshihiro Takami
Health-Related Quality of Life after Microscopically Total Removal of Spinal Intramedullary Ependymomas with Safe and Precise Strategy in a Single-Institute 3-Year Prospective Study

・2020.7.4　第10回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研究会（福岡）　吉村政樹、神埼智行、宇田裕史、中西勇太、鶴野卓史、高見俊宏　Hip-Spine症候群を考慮して治療した環軸椎不安定性を伴う歯突起後方偽腫瘍の一例

・2020.8.23　第49回脳卒中の外科学会（WEB）
吉村政樹、神埼智行、宇田裕史、中西勇太、鶴野卓史　鋳型状脳室内出血を伴う視床出血に対する前頭部小開頭による顕微鏡下血腫除去術

・2020.8.24　第45回日本脳卒中学会学術集会（WEB）　中西勇太、川上太一郎、田上雄大、長濱篤文、高沙野、佐々木強、服部真人、西川節　急性期血栓回収療法における追従性に優れたBalloon guide catheterの使用と Balloon inflation techniqueの有用性

・2020.10.2～3　第27回JPSTSS（WEB）　吉村政樹、神埼智行、宇田裕史、中西勇太、鶴野卓史、高見俊宏　Hip-Spine症候群を考慮して治療した環軸椎不安定性を伴う歯突起後方偽腫瘍の一例

・2020.10.15～17　第79回　日本脳神経外科学会（WEB）　吉村政樹、神埼智行、宇田裕史、中西勇太、鶴野卓史　鋳型状脳室内出血を伴う視床出血に対する前頭部小開頭による顕微鏡下血腫除去術
中西勇太、宇田裕史、神崎智行、池田祥平、吉村政樹、鶴野卓史、川上太一郎　優れた誘導性が期待される新規吸引カテーテルを用いた血栓回収術の初期成績
神崎智行、中西勇太、宇田裕史、吉村政樹、鶴野卓史　心原性脳塞栓症に対する静注血栓溶解療法、経皮的脳血栓回収術中に冠動脈塞栓症による心筋梗塞を合併した心原性脳塞栓症の１例

・2020.11.10～11　日本脊髄外科学会/Asia Spine（WEB）　M. Yoshimura, T. Kanzaki, H. Uda, Y. Nakanishi, T. Tsuruno, T. Takami
Thoracic girdle sensation as a cervical false localizing sign.

・2020.11.14　APCSS／第82回近畿脊髄外科研究会（大阪）　M. Yoshimura, T. Kanzaki, H. Uda, Y. Nakanishi, T. Tsuruno, T. Takami, Y. Nishimura
Retro-odontoid pseudotumor with atlantoaxial instability successfully treated by a combination of C1 laminectomy and improved global alignment after total hip arthroplasty
神崎智行、吉村政樹、中西勇太、宇田裕史、鶴野卓史　硬膜腹側に局在する硬膜外膿瘍に対してPEDD(percutaneous endoscopic debridment & drainage) の１例

・2020.11.19　第36回日本脳神経血管内治療学会学術集会（京都）　中西勇太、宇田裕史、神崎智行、池田祥平、吉村政樹、鶴野卓史、川上太一郎　優れた誘導性が期待される新規吸引カテーテルを用いた血栓回収術の初期成績
神崎智行、中西勇太、宇田裕史、吉村政樹、鶴野卓史　心原性脳塞栓症に対する静注血栓溶解療法、経皮的脳血栓回収術中に冠動脈塞栓症による心筋梗塞を合併した心原性脳塞栓症の１例

【心臓血管外科】

・2020.517～19　42th annual meeting in American Thoracic Surgery (ATS), Philaderphia, USA, Hitoshi Ogino, Yutaka Okita, Naomichi Uchida. Japan made frozen elephant trunk. Multi-center trial of total arch replacement in patients with aortic arch aneurysm and dissection.（Web）
・2020.8.17-19　第50回心臓血管外科学会総会（福島）　会長要望演題　座長：内田直里　感染性胸部大動脈瘤の外科治療
・2020.11.21　ハートwebカンファレンス（大阪）　講演　内田直里　心臓外科領域における弁膜症・不整脈治療
・2020.11.29　第48回日本血管外科学会（東京）　web開催　一般演題　座長：内田直里　大動脈解離に対するステントグラフト。

【泌尿器科】

・2020.9.26　第33回近畿内視鏡外科研究会　金丸知寛、ワークショップ９　「当院での腹腔鏡下膀胱全摘除術における体腔内回腸導管造設術の工夫と基本手技」

【病理診断科】

・2020.6.20～7.19　第61回日本臨床細胞学会総会春期大会（Web開催）　岡﨑健、岩﨑由恵、久保勇記、室木魁人　上皮結合を認めなかったALK肺癌の一例
・2020.11.21、12.11～27　第59回日本臨床細胞学会秋期大会（横浜、Web開催）　松尾優希、久保勇記、岩﨑由恵、岡﨑健、室木魁人　当院で経験した節外性リンパ腫の2症例
・2020.11.21、12.11～27　第59回日本臨床細胞学会秋期大会（横浜、Web開催）　室木魁人、岩﨑由恵、岡﨑健、松尾優希、久保勇記　CD10免疫染色による子宮内膜細胞診の精度向上

【臨床検査科】

・2020.11.21～22　第59回日本臨床細胞学会秋季大会　パシフィコ横浜　室木魁人　CD10免疫染色による子宮内膜細胞診の精度向上
・2020.11.21～22　第59回日本臨床細胞学会秋季大会　パシフィコ横浜　松尾優希　当院で経験した節外性リンパ腫の２症例

【臨床心理科】

・2020.1.26　第17回日本小児心身医学会関西地方会（滋賀）　八島麻美子、神原雪子、朴祐希、田中英高　家族背景と特性により対応に苦慮している発達障害の一例
・2020.9.11～13　第38回日本小児心身医学会学術集会（Web開催）　八島麻美子、神原雪子、朴祐希、東佐保子、田中英高　当院心身症外来におけるヤングケアラーの実態について
・2020.9.11～13　第38回日本小児心身医学会学術集会（Web開催）　朴祐希、神原雪子、八島麻美子、田中英高　言語化が困難な心身症患者に芸術療法を介した心理療法を行った3症例

【MSW】

・2020.2.15　中河内がん診療ネットワーク協議会シンポジウム（大阪）　三谷勇一　地域でがんと向き合いましょう（シンポジスト）
・2020.8.10　第68回日本緩和医療学会（WEB開催）　三谷勇一　がんサロン参加者のself-efficacyに関連する特性：がん診療（連携）拠点病院を対象とした3次医療圏規模の量的調査（研究奨励賞事業助成）
・2020.9.19　第26回関西がんチーム医療研究会（WEB開催）　三谷勇一　がん患者家族会始動：ユニットスーパービジョンを活用したセルフヘルプグループの組織化
・2020. 9.19　第26回関西がんチーム医療研究会（WEB開催）　門田翔太、三谷勇一　進行性肺がん患者へのACP：プロスペクト理論から考え

る代理決定者による意思決定の功罪
・2020.9.19　第26回関西がんチーム医療研究会（WEB開催）　岩尾涼、三谷勇一　身寄りがないがん末期患者への金銭管理の実際
・2020.9.21　関西福祉科学大学福祉実習室（大阪）　三谷勇一　コロナ禍における相談援助実習の在り方（招聘講演）
・2020.12.23　株式会社コロレ企業内研修（WEB開催）　三谷勇一　がんゲノムの最先端の動向と、がん検診の必要性（招聘講演）

【褥瘡対策委員会】
・2014.8.29～30　第16回日本褥瘡学会学術集会（名古屋）　「褥瘡発生予防対策への取り組み」（発表　看護師　油谷裕子）
「点滴固定用テープにおける皮膚損傷の原因考察」（発表　看護師　井元英樹）
「DPC導入病院での褥瘡治療法単純化の試み」（発表　形成外科　綾部忍）

63）学術論文

【内分泌内科】

・Yamamoto T. Opinion: The collaboration between adrenal cortex and medulla from clinical standpoints. Int J Endocrinol Metab Dis 2020;6（1）（on line）
山本智英。しんどいとアドレナリン分泌不全：副腎皮質と髄質の機能的関係を医療の現場から考える。ホルモン・ステーション News Letter 2020;3:2.

【形成外科】

・Strategies to reduce practice variation in wound assessment and management: The T.I.M.E.Clinical Decision Support Tool: Zana Moore, Dot Weir, Shinobu Ayabe, Andrea Bellingeri, Keryln Carville, AlisonGarten, Rolf Jelnes, Lee Ruotsi, Henri Post, Joanna Swan, Terry Swanson, Ewa Sturmer, Gulnaz Tariq, Kevin Woo, Michael Clark. Consensus Document produced by Wounds International and launched at the 6th World Union of Wound Healing Societies Congress 2020, www.woundsinternatiomal.com

【膠原病・リウマチ科】

・A retrospective study evaluating efficacy and safety of compassionate use of tocilizumab in 13 patients with severe-to-critically ill COVID-19: analysis of well-responding cases and rapidly-worsening cases after tocilizumab administration
・Shoji Hashimoto, Heita Kitajima, Tsuyoshi Arai, Yoshitaka Tamura, Takayuki Nagai, Hiroshi Morishita, Hiroto Matsuoka, Yuki Han, Seijiro Minamoto, Tomonori Hirashima, Tomoki Yamada, Yozo Kashiwa, Makoto Kameda, Seiji Yamaguchi, Kazuko Uno, Emi Nakayama, Tatsuo Shioda, Kazuyuki Yoshizaki, Sujin Kang, Tadamitsu Kishimoto, Toshio Tanaka
・medRxiv
・doi: https://doi.org/10.1101/2020.06.24.20134288

【心臓血管外科】

急性大動脈解離術後遠隔期に人工血管屈曲による溶血性貧血を来した１例。内田直里、薦岡成年、平田昌敬。日本血管外科学会誌　2020;29:181-183.

【脳神経外科】

・Burr hole drainage without irrigation for chronic subdural hematoma.　Uda H, Nagm A, Ichinose T, Onishi Y, Yoshimura M, Tsuruno T, Ohata K.　Surg Neurol Int. 2020;11:89

【歯科口腔外科】

・『Huge true aneurysm of the facial artery treated with internal trapping and Surgical excision: a case report』
Kiyoko Nakagawa,Takuji Yasuda,Natsuko Kobayashi,Kazuhiko Urabe
Journal of Surgical Case Report.2020:9,1-3

【MSW】

・大阪府におけるがん患者サロンの参加者の特性と，サロンへの貢献意欲に関連する要因～サロンの均てん化の促進を目指したPDCAサイクルの構築のための基礎調査報告書：三谷勇一. 2018年年度研究奨励賞事業助成　日本医療ソーシャルワーク学会　基礎調査報告書（中河内がん相談支援センター部会）p1-13. 2月／2020
・実践から捉えたソーシャルワーク；医療現場におけるソーシャルワーク実践：三谷勇一. 現代ソーシャルワーク論－社会福祉の理論と実践をつなぐ－（晃洋書房）p89-92. 3月／2020
・高齢者の生きがいと社会参加　第2節　社会参加

の現状　第3節　社会参加に向けた課題と対応策
三谷勇一．学びを追求する高齢者福祉（教育情報出版）p16-19．10月／2020

八尾徳洲会総合病院年報

発行日：令和三年五月

発　行：八尾徳洲会総合病院　病院長　原田　博雅
〒581-0011 大阪府八尾市若草町1番17号
ＴＥＬ（072）９９３－８５０１（代）
ＦＡＸ（072）９９３－８５６７
http://www.yao.tokushukai.or.jp/

印　刷：寝屋川市高宮栄町２２番１８号
イセン印刷㈱
ＴＥＬ（072）８２４－０８０５
ＦＡＸ（072）８２５－０６５４

医療法人
徳洲会八尾徳洲会総合病院

〒581-0011 大阪府八尾市若草町1番17号
TEL（072）993-8501（代）
FAX（072）993-8567
http://www.yao.tokushukai.or.jp/